

「松戸市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
（いきいき安心プラン）」見直しのための
市民アンケート調査報告書

平成 20 年 3 月

松 戸 市

目 次

序章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の構成	1
3. 回収状況	1
4. 報告書の見方	2
第1章 市民アンケート・一般高齢者調査	3
1. あなたのことについて	5
2. 健康や日常の生活状況等について	8
3. 暮らし向きや各種活動への参加について	22
4. 介護予防について	29
5. 介護保険について	31
第2章 市民アンケート・若年者調査	41
1. あなたのことについて	43
2. 健康や日常の生活状況等について	46
3. 暮らし向きや各種活動への参加について	55
4. 介護予防について	60
5. 介護をする立場になったときのことについて	62
6. 介護を受ける立場になったときのことについて	64
7. 介護保険について	65
第3章 在宅要支援認定者調査	73
1. あなたのことについて	75
2. 日常の生活状況等について	79
3. 今後の生活について	92
4. 介護保険サービスの利用について	94
5. ケアプランについて	101
6. ケアマネジャーについて	103
7. サービス事業者について	104
8. 災害など緊急事態の対応について	105
9. 介護保険について	107
10. 介護サービスについて	109
11. 配食サービスについて	111
12. 市に期待すること	114
13. 主な介護者（お世話をする側）について	115

第4章 在宅要介護認定者調査	119
1. あなたのことについて	121
2. 日常の生活状況等について	125
3. 今後の生活について	137
4. 介護保険サービスの利用について	139
5. ケアプランについて	150
6. ケアマネジャーについて	152
7. サービス事業者について	154
8. 災害など緊急事態の対応について	154
9. 介護保険について	157
10. 介護サービスについて	159
11. 配食サービスについて	161
12. 市に期待すること	165
13. 主な介護者（お世話をする側）について	166
第5章 施設サービス利用者調査	171
1. あなたのことについて	173
2. 介護保険サービスの利用について	175
3. 日常の生活状況等について	182
4. 今後の生活について	184
第6章 自由回答	187
. 一般高齢者	189
. 若年者	195
. 在宅要支援認定者	198
. 在宅要介護認定者	200
. 施設サービス利用者	204
資料 アンケート調査票	205

序章 調査の概要

1. 調査の目的

松戸市では、平成 20 年度に「松戸市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(いきいき安心プラン)」の見直しを予定している。そこで、平成 19 年度の高齢者等実態調査及び当事者である要支援・要介護高齢者のサービス利用状況や評価等の把握を通して、計画の見直しのための基礎資料として用いることを目的として調査を実施する。

2. 調査の構成

本調査の調査対象者、調査方法、実施期間は以下の通りである。

調査の種類	調査対象者	調査方法・調査時期
(1)市民アンケート・一般高齢者調査	65 歳以上で介護保険の要支援・要介護の認定を受けていない方	< 調査方法 > 郵送配布・郵送回収 < 調査時期 > 平成 20 年 3 月
(2)市民アンケート・若年者調査	20 歳以上 65 歳未満で介護保険の要支援・要介護の認定を受けていない方	
(3)介護保険在宅要支援認定者調査	平成 20 年 2 月現在で、要支援の認定を受け、在宅の方	
(4)介護保険在宅要介護認定者調査	平成 20 年 2 月現在で、要介護の認定を受け、在宅の方	
(5)介護保険施設サービス利用者調査	平成 19 年 12 月現在で、介護保険関連施設に入所(入院)されている方	

3. 回収状況

各調査の回収状況は、以下の通りである。

調査の種類	調査対象者数(A)	有効回収数(B)	回収率(B/A)
(1)市民アンケート・一般高齢者調査	2,000 人	1,276 人	63.8%
(2)市民アンケート・若年者調査	1,000 人	359 人	35.9%
(3)介護保険在宅要支援認定者調査	600 人	388 人	64.7%
(4)介護保険在宅要介護認定者調査	1,400 人	729 人	52.1%
(5)介護保険施設サービス利用者調査	200 人	101 人	50.5%

4 . 報告書の見方

(1) 報告書を読むにあたっての注意

- ・ 調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100%を超える。
- ・ 図表中の「n」(net) とは、その設問への回答者数を表す。小数点以下 1 位まで示した数値は、回答比率(%)である。
- ・ 選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いている。
- ・ 経年比較については、一般高齢者調査及び在宅要介護認定者調査に掲載している。前回調査までは、一般高齢者と若年者は市民として一本化して調査を行うとともに、要支援と要介護についても、要介護(要支援)として調査を行ってきたため、今回調査との比較にあたっては再集計を行い、それぞれに掲載した。

(2) 居住地区の分類について

本報告書においては、居住する字を 13 の日常生活圏域別に分類し、集計を行っている。また、設問によっては、地域包括支援センターを単位とする 3 つの圏域にも分類し、集計を行っている。

日常生活圏域	該当する字名	地域包括支援センター管轄
小金	大金平、大谷口、大谷口新田、上総内、久保平賀、幸田、小金、小金上総町、小金きよしヶ丘、小金清志町、殿平賀、中金杉、根木内(小金支所管轄地域:国道6号線以西)、東平賀、平賀、二ツ木、二ツ木二葉町	小金
小金原	栗ヶ沢、小金原、根木内(小金支所管轄地域:国道6号線以东)、八ヶ崎(小金原支所管轄地域)	
新松戸	新松戸、新松戸北、新松戸東、横須賀	
馬橋	幸谷、新作、中根、中根長津町、中和倉、八ヶ崎(馬橋支所管轄地域)、八ヶ崎緑町、馬橋(馬橋支所管轄地域:新坂川以东)、三ヶ月	
馬橋西	旭町、七右衛門新田、新松戸南、外河原、西馬橋、西馬橋相川町、西馬橋蔵元町、西馬橋幸町、西馬橋広手町、馬橋(新松戸支所管轄地域:新坂川以西)、主水新田	
明第1	岩瀬、小根本、胡録台、仲井町、根本、野菊野、松戸新田、緑ヶ丘、稔台、吉井町	中央
明第2西	古ヶ崎、栄町、栄町西、樋野口	
明第2東	上本郷、北松戸、竹ヶ花、竹ヶ花西町、南花島、南花島中町、南花島向町	
東部	秋山、大橋(東部支所管轄地域:旧有料道路以南)、紙敷、河原塚、高塚新田、田中新田、二十世紀が丘戸山町、二十世紀が丘中松町、二十世紀が丘梨元町、二十世紀が丘丸山町、和名ヶ谷	
本庁	小山、二十世紀が丘美野里町、本町、松戸	
矢切	大橋(矢切支所管轄地域:旧有料道路以北)、上矢切、栗山、下矢切、中矢切、二十世紀が丘柿の木町、二十世紀が丘萩町、三矢小台	
五香六実	串崎新田、串崎南町、五香、五香西、五香南、五香六実、高柳、高柳新田、初富飛地、松飛台、六実、六高台	常盤平
常盤平	金ヶ作、千駄堀、常盤平、常盤平陣屋前、常盤平西窪町、常盤平双葉町、常盤平松葉町、常盤平柳町、日暮、牧の原	

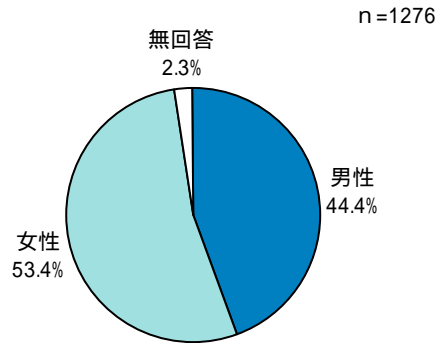
第1章 市民アンケート・一般高齢者調査

1. あなたのことについて

(1) 性別

F 1 あなたの性別は。(1つに)

「女性」53.4%、「男性」44.4%であり、女性が男性をやや上回る。

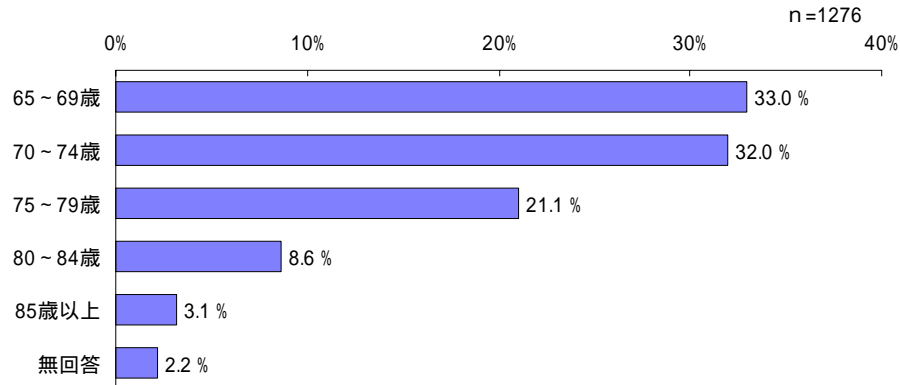


(2) 年齢

F 2 あなたの年齢は。(1つに)

「65～69歳」33.0%、「70～74歳」32.0%、「75～79歳」21.1%、「80～84歳」8.6%、「85歳以上」3.1%である。

「65～69歳」及び「70～74歳」の74歳までの高齢者が65.0%、「75～79歳」及び「80～84歳」、「85歳以上」の75歳以上の高齢者が32.8%である。



[性別]

「70～74歳」及び「75～79歳」では男性が女性をやや上回り、それ以外の年齢層では女性が男性をやや上回る。また、74歳までの高齢者、75歳以上の高齢者の男女差は少ない。

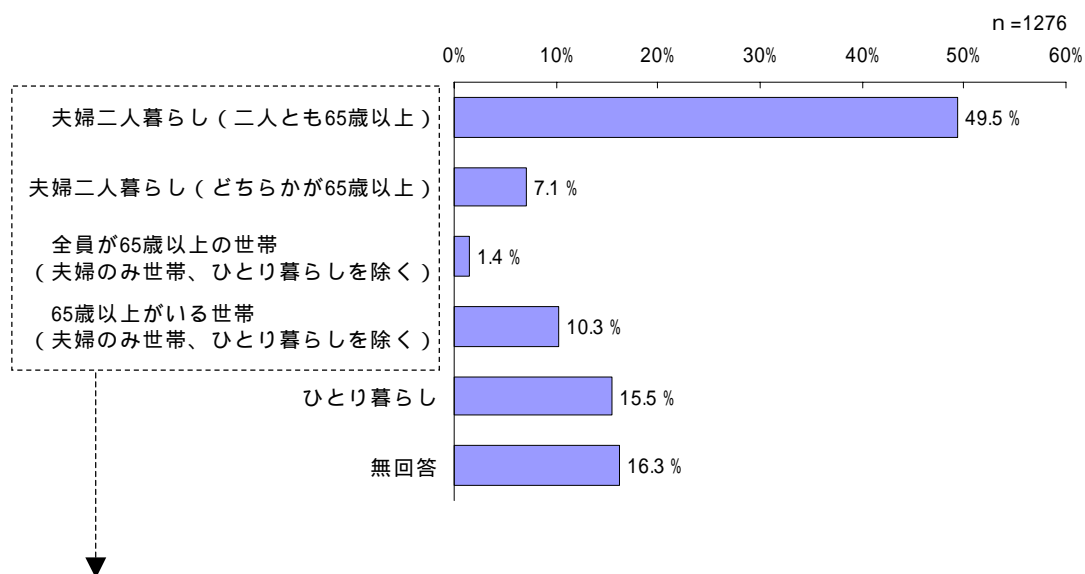
単位：%

	回答者数 (人)	年 齢					無回答	高齢者区分		
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上		74歳までの 高齢者	75歳以上の 高齢者	
全 体	1276	33.0	32.0	21.1	8.6	3.1	2.2	65.0	32.8	
性 別	男 性	566	32.7	34.6	22.3	7.8	2.7	0.0	67.3	32.7
	女 性	681	34.5	31.1	20.4	9.7	3.7	0.6	65.6	33.8

(3) 同居家族

F 3 あなたが同居しているご家族は。(1 つに)

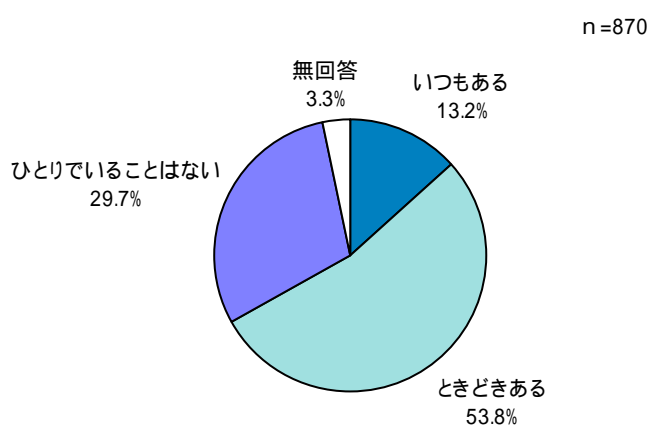
同居の家族は「夫婦二人暮らし(二人とも65歳以上)」が49.5%、半数である。以下「ひとり暮らし」15.5%、「65歳以上がいる世帯(夫婦のみ世帯、ひとり暮らしを除く)」10.3%、「夫婦二人暮らし(どちらかが65歳以上)」7.1%、「全員が65歳以上の世帯(夫婦のみ世帯、ひとり暮らしを除く)」1.4%である。



(4) 日中独居

F 3 - 1 あなたは、昼間、お住まいでひとりであることがありますか。(1 つに)

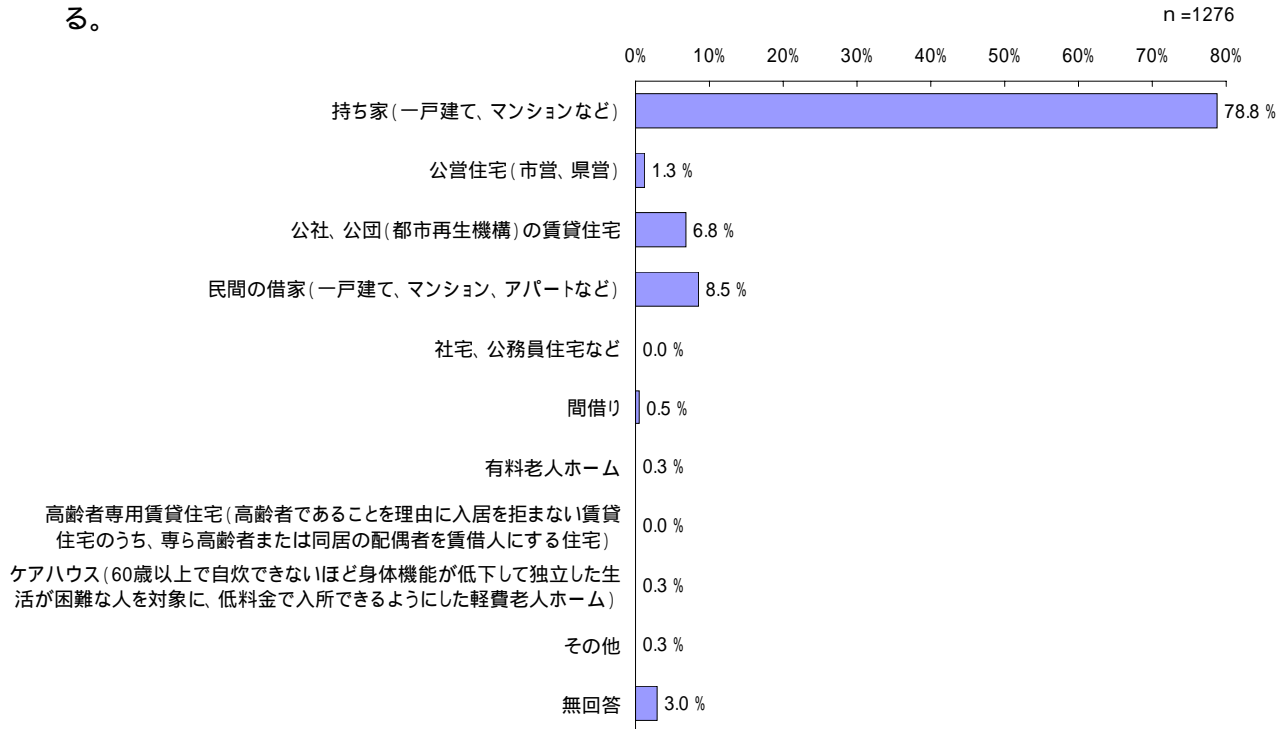
昼間、ひとりであることが「ときどきある」53.8%、「ひとりであることはない」29.7%、「いつもある」13.2%である。



(5) 住まい

F 4 お住まいは次のどれですか。(1つに)

「持ち家(一戸建て、マンションなど)」が78.8%、8割である。以下「民間の借家(一戸建て、マンション、アパートなど)」8.5%、「公社、公団(都市再生機構)の賃貸住宅」6.8%などである。

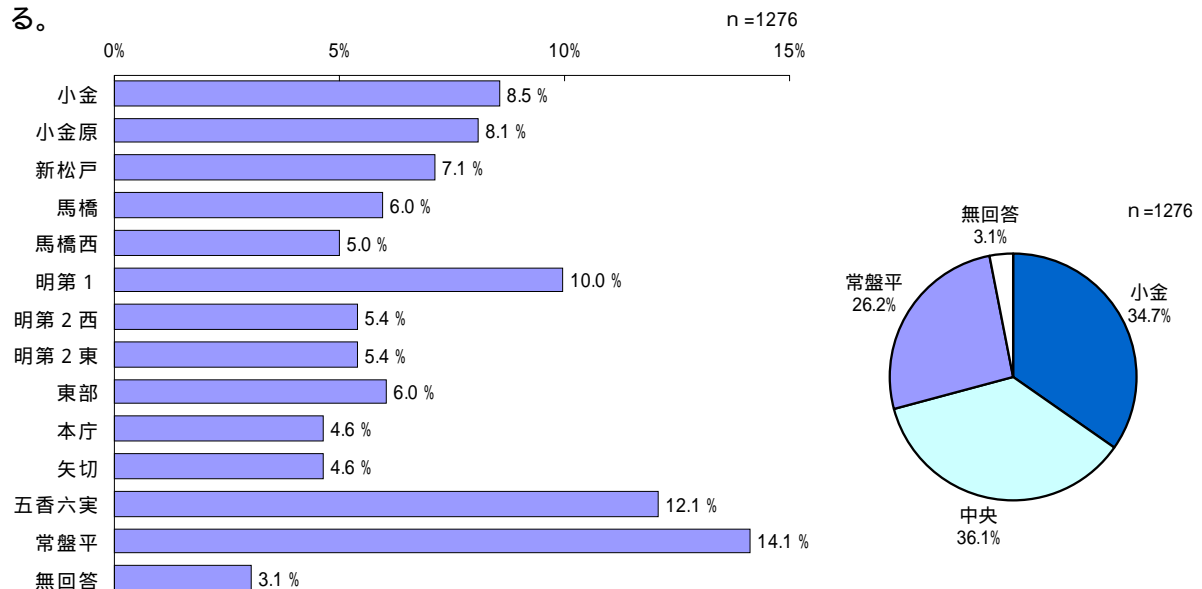


(6) 居住地区

F 5 あなたの住所はどちらですか。(1つに)

13の日常生活圏域で多いのが「常盤平」の14.1%、「五香六実」の12.1%、「明第1」の10.0%である。以下「小金」8.5%、「小金原」8.1%、「新松戸」7.1%などである。

また、地域包括支援センター管轄では「中央」36.1%、「小金」34.7%、「常盤平」26.2%である。



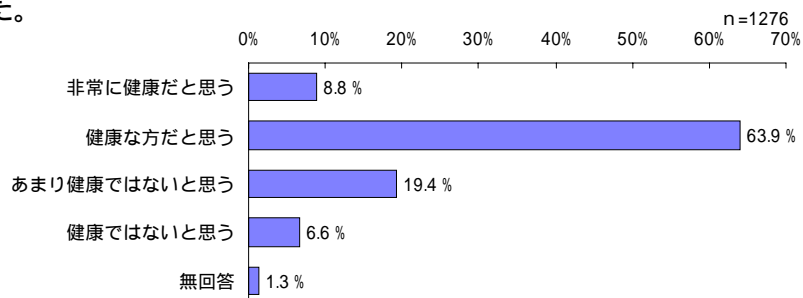
2. 健康や日常の生活状況等について

(1) 現在の健康状態

問1 現在のあなたの健康状態をお聞かせください。(1つに)

健康状態について「非常に健康だと思う」8.8%、「健康な方だと思う」63.9%、合わせた『健康』は72.7%、7割以上が健康であるとしている。「あまり健康ではない」19.4%、「健康ではないと思う」6.6%である。

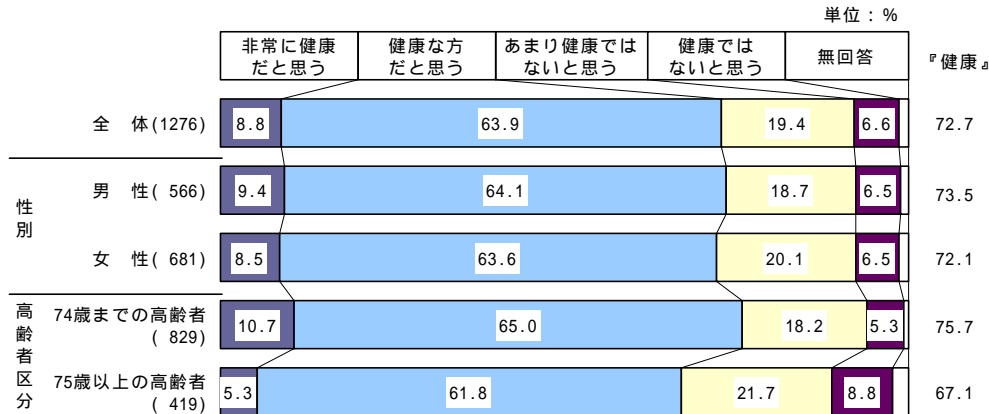
また、「あまり健康ではないと思う」と「健康ではないと思う」とした人にその理由を聞いたが、足腰・リウマチ・神経痛等79件、血圧に関する症状62件、心臓に関する症状33件など大半は疾病があげられた。



[性別・高齢者区分]

性別ではほとんど差はなく、『健康』は男性73.5%、女性72.1%である。

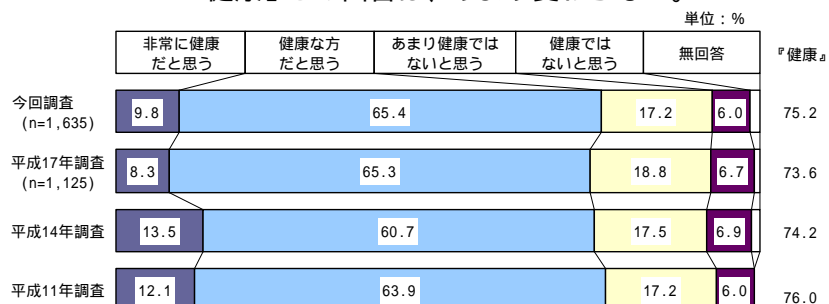
高齢者区分では74歳までの高齢者の『健康』は75.7%と75歳以上の高齢者の67.1%を上回る。



注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

【 経年比較 】

『健康』との回答は、あまり変わらない。



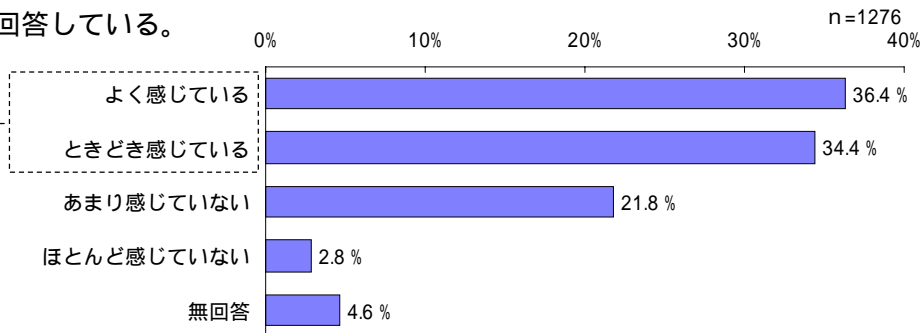
注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

(2) 日常での生きがい

問2 日常生活を送る中で「こころのハリ」や「生きがい」を感じていますか。
(1つに)

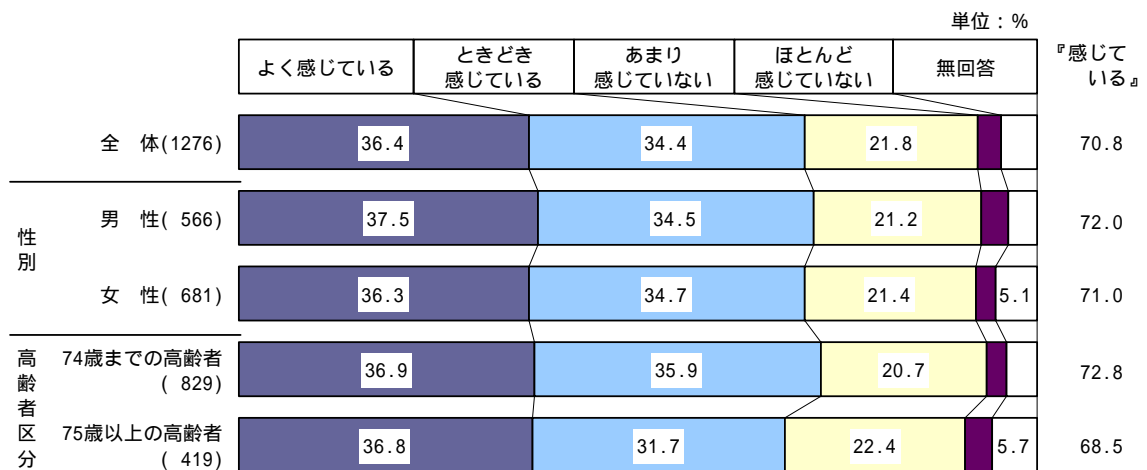
日常生活を送る中でこころのハリや生きがいについて、「よく感じている」36.4%、「ときどき感じている」34.4%、「あまり感じていない」21.8%である。

「よく感じている」と「ときどき感じている」を合わせた『感じている』は70.8%、7割の人が回答している。



[性別・高齢者区分]

性別・高齢者区分による差はほとんどない。



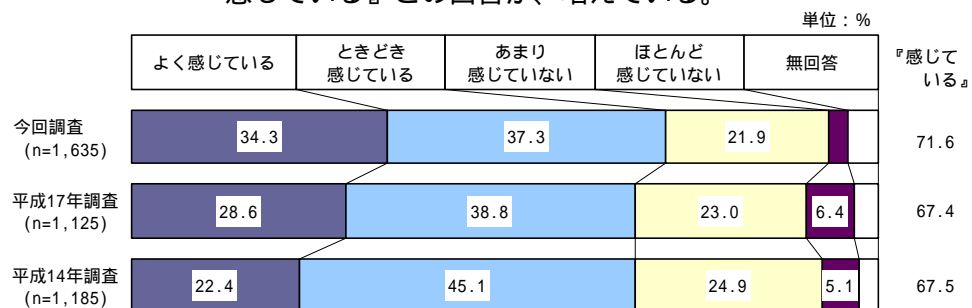
注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

[ひとり暮らし・日中独居]

『感じている』はひとり暮らし66.1%、日中いつもひとりであることの多い人62.6%である。

【 経年比較 】

『感じている』との回答が、増えている。

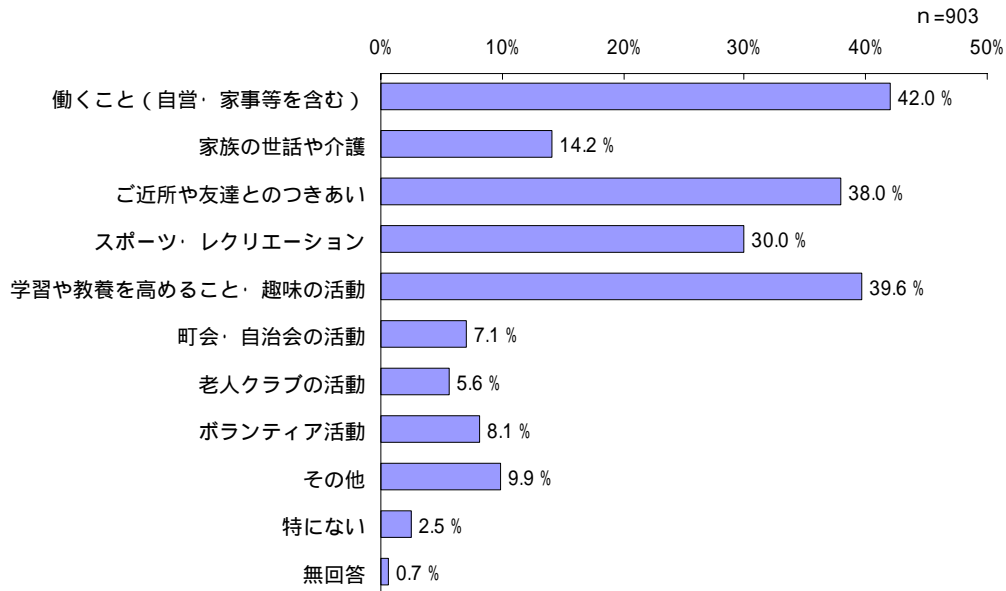


注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

(3) 生きがいを感じること

問2-1 あなたが、現在こころのハリや生きがいを感じていることは、どんなことですか。(3つまでに)

こころのハリや生きがいを感じることで最も多いのが、「働くこと(自営・家事等を含む)」42.0%、次いで「学習や教養を高めること・趣味の活動」39.6%、「ご近所や友達とのつきあい」38.0%、「スポーツ・レクリエーション」30.0%、「家族の世話や介護」14.2%などである。



[性別・高齢者区分]

男性の1位は「働くこと(自営・家事等を含む)」44.7%に対し、女性の1位は「ご近所や友達とのつきあい」46.0%である。

高齢者区分においての1位は、74歳までの高齢者「働くこと(自営・家事等を含む)」44.4%、75歳以上の高齢者「学習や教養を高めること・趣味の活動」40.4%である。

		回答者数(人)	働くこと(自営・家事等を含む)	家族の世話や介護	ご近所や友達とのつきあい	スポーツ・レクリエーション	学習や教養を高めること・趣味の活動	町会・自治会の活動	老人クラブの活動	ボランティア活動	その他	特にない	無回答
全体		903	42.0	14.2	38.0	30.0	39.6	7.1	5.6	8.1	9.9	2.5	0.7
性別	男性	407	44.7	9.6	29.0	36.6	37.8	10.1	5.4	9.8	11.5	3.7	0.5
	女性	483	39.5	18.0	46.0	24.6	41.0	4.8	6.0	6.6	8.5	1.2	0.8
高齢者区分	74歳までの高齢者	604	44.4	14.6	37.9	34.1	38.9	7.5	4.8	9.3	10.6	1.8	0.7
	75歳以上の高齢者	287	36.6	13.2	38.7	21.3	40.4	6.6	7.7	5.6	8.4	3.8	0.7

丸数字は順位

[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らしは「家族の世話や介護」が少ないこともあり、「学習や教養を高めること・趣味の活動」49.6%や「ご近所や友達とのつきあい」45.8%がやや多い。

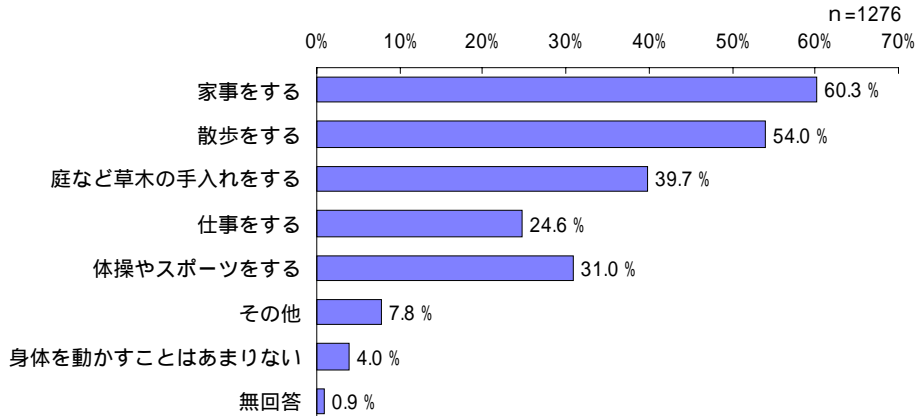
		回答者数(人)	働くこと(自営・家事等を含む)	家族の世話や介護	ご近所や友達とのつきあい	スポーツ・レクリエーション	学習や教養を高めること・趣味の活動	町会・自治会の活動	老人クラブの活動	ボランティア活動	その他	特にない	無回答
全体		903	42.0	14.2	38.0	30.0	39.6	7.1	5.6	8.1	9.9	2.5	0.7
家族同居	ひとり暮らし	131	32.1	4.6	45.8	28.2	49.6	7.6	6.9	4.6	13.7	2.3	0.8
独居中	いつもある	72	30.6	15.3	37.5	29.2	40.3	4.2	2.8	11.1	9.7	1.4	1.4

丸数字は順位

(4) 日常で身体を動かすこと

問3 日ごろから身体を動かすことはありますか。(あてはまるものすべてに)

「家事をする」が60.3%、次いで「散歩をする」54.0%、「庭など草木の手入れをする」39.7%、「体操やスポーツをする」31.0%、「仕事をする」24.6%であり、「身体を動かすことはあまりない」は4.0%にとどまる。



[高齢者区分]

74歳までの高齢者、75歳以上の高齢者とも最も多いのは「家事をする」で各59.6%、61.3%である。ほとんどの項目で74歳までの高齢者が75歳以上の高齢者を上回るが、「家事をする」「庭など草木の手入れをする」については75歳以上の高齢者が74歳までの高齢者を上回る。

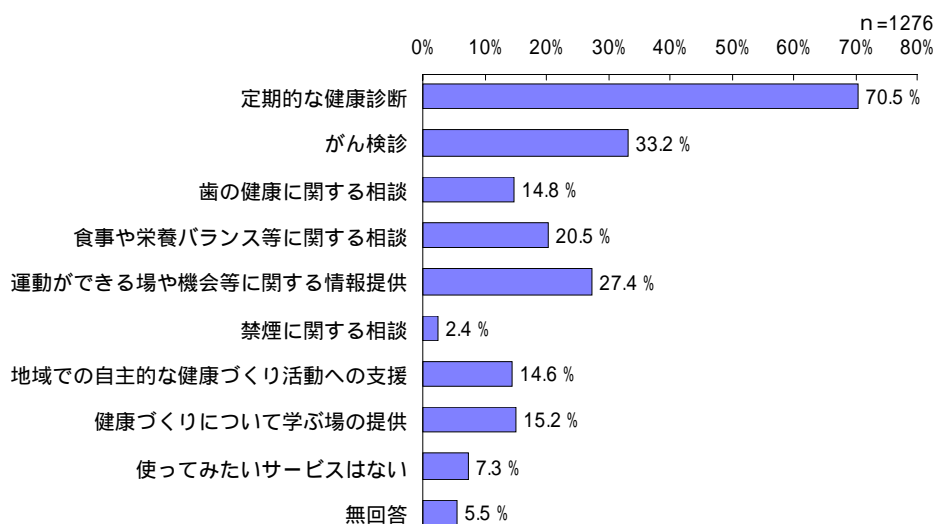
単位：%

	回答者数 (人)	家事をする	散歩をする	庭など 草木の手入 れをする	仕事をする	体操や スポーツを する	その他	身体を動か すことは あまりない	無回答	
全 体	1276	60.3	54.0	39.7	24.6	31.0	7.8	4.0	0.9	
高 齢 者 区 分	74歳までの 高齢者	829	59.6	56.0	37.9	29.3	34.1	8.4	3.4	0.6
	75歳以上の 高齢者	419	61.3	49.9	44.2	15.0	24.3	6.9	4.8	1.4

(5) 今後使いたいサービス

問4 今後、健康を維持するためにどのようなサービスを使ってみたいと思っていますか。(3つまでに)

健康を維持するために使いたいサービスは、「定期的な健康診断」が70.5%、7割の人があげて1位である。次いで「がん検診」33.2%、「運動ができる場や機会等に関する情報提供」27.4%、「食事や栄養バランス等に関する相談」20.5%、「健康づくりについて学ぶ場の提供」15.2%、「歯の健康に関する相談」14.8%、「地域での自主的な健康づくり活動への支援」14.6%などである。



[性別・高齢者区分]

男女とも1位は「定期的な健康診断」であり、男性が74.0%、女性が67.8%である。男女でやや差があるのは、「食事や栄養バランス等に関する相談」の女性が23.1%、男性が16.6%である。

74歳までの高齢者、75歳以上の高齢者の1位も「定期的な健康診断」である。74歳までの高齢者と75歳以上の高齢者で大きな差があるのが「運動ができる場や機会等に関する情報提供」であり、各32.4%、17.9%である。

単位：%

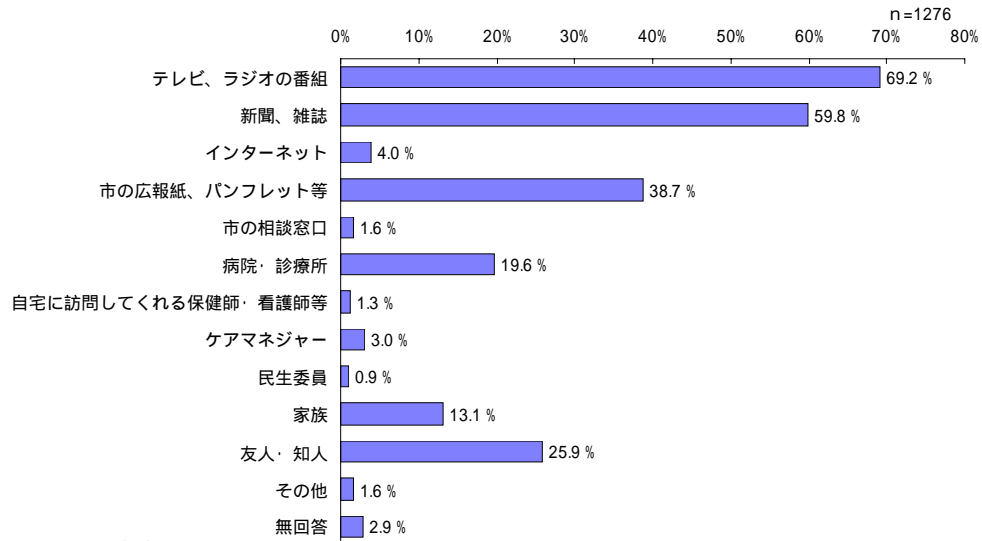
		回答者数 (人)	定期的な 健康診断	がん検診	歯の健康に 関する相談	食事や栄養 バランス等 に関する相談	運動ができる 場や機会等 に関する 情報提供
全 体		1276	70.5	33.2	14.8	20.5	27.4
性別	男 性	566	74.0	35.2	13.6	16.6	29.0
	女 性	681	67.8	32.2	16.0	23.1	26.6
高齢者 区分	74歳までの高齢者	829	73.2	36.2	13.4	19.9	32.4
	75歳以上の高齢者	419	65.6	27.7	17.7	20.8	17.9

		回答者数 (人)	禁煙に 関する相談	地域での 自主的な 健康づくり 活動への支援	健康づくり について学ぶ 場の提供	使ってみたい サービスは ない	無回答
全 体		1276	2.4	14.6	15.2	7.3	5.5
性別	男 性	566	3.4	16.3	15.4	7.2	3.9
	女 性	681	1.3	13.4	15.1	7.3	6.8
高齢者 区分	74歳までの高齢者	829	2.8	17.1	16.0	6.0	4.2
	75歳以上の高齢者	419	1.2	9.5	13.6	9.8	7.6

(6) 健康等の情報の入手先

問5 健康維持や介護サービスに関する情報はどこから得ていますか。(3つまでに)

健康や介護サービスに関する情報は、「テレビ、ラジオの番組」69.2%が最も多く、次いで「新聞、雑誌」59.8%、「市の広報紙、パンフレット等」38.7%、「友人・知人」25.9%、「病院・診療所」19.6%、「家族」13.1%などである。「市の相談窓口」はわずか1.6%である。



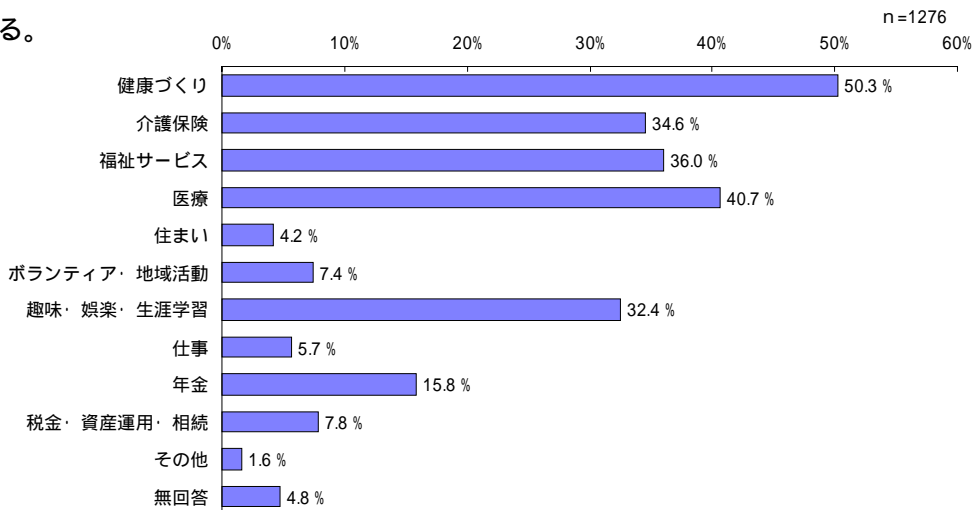
【ひとり暮らし・日中独居】

「テレビ、ラジオの番組」「新聞、雑誌」に次いでひとり暮らしは「友人・知人」37.9%であり、日中ひとりであることの多い人は「市の広報紙、パンフレット等」35.7%「病院・診療所」32.2%である。

(7) 今後、必要とする情報

問5-1 今後どんな情報を必要としていますか。(3つまでに)

今後、どんな情報を必要とするかは「健康づくり」50.3%、「医療」40.7%、「福祉サービス」36.0%、「介護保険」34.6%、「趣味・娯楽・生涯学習」32.4%、「年金」15.8%などが主なところである。



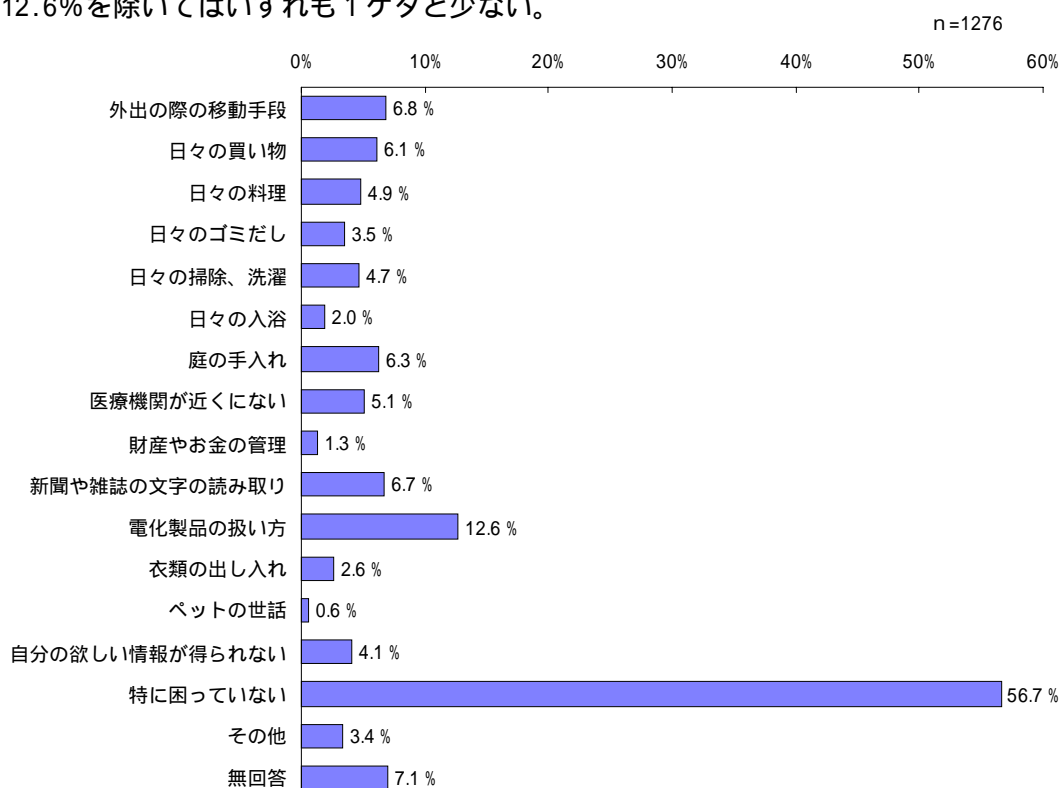
【ひとり暮らし・日中独居】

ひとり暮らしは、「健康づくり」41.9%と「福祉サービス」41.4%がほぼ同程度である。日中ひとりであることの多い人は「ボランティア・地域活動」10.4%がやや多い。

(8) 日常生活で困っていること

問6 日常生活の中で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに)

日常生活で困っていることについては、「特に困っていない」が56.7%である。「電化製品の扱い方」12.6%を除いてはいずれも1ケタと少ない。

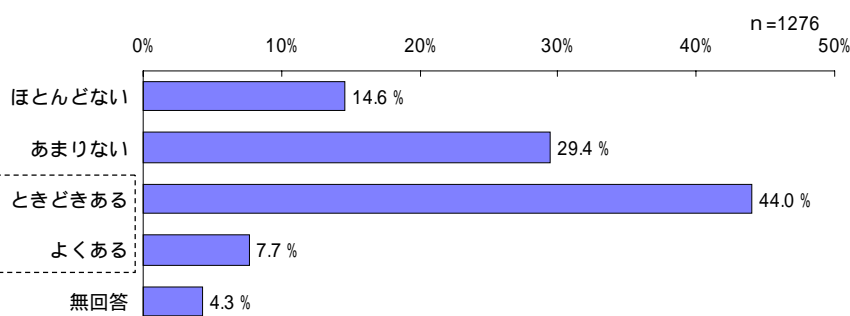


(9) 生活での不安・心配

問7 現在、生活の中で不安になったり、心配になったりすることはありますか。(1つに)

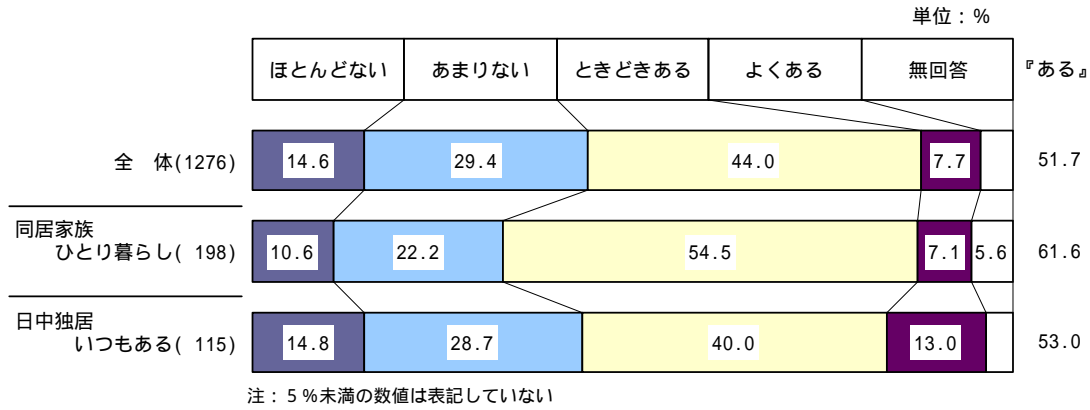
生活の中での不安・心配は、「ときどきある」44.0%、「あまりない」29.4%、「ほとんどない」14.6%、「よくある」7.7%である。

「ときどきある」と「よくある」を合わせた『ある』が51.7%、半数である。



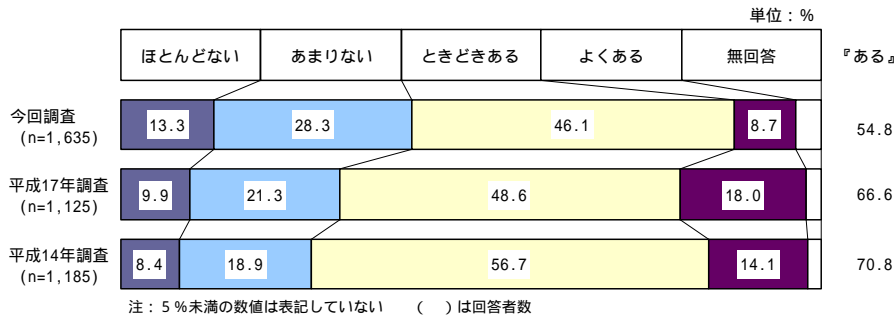
[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らしの『ある』は、61.6%、6割を超え、日中ひとりであることの多い人は53.0%である。



【 経年比較 】

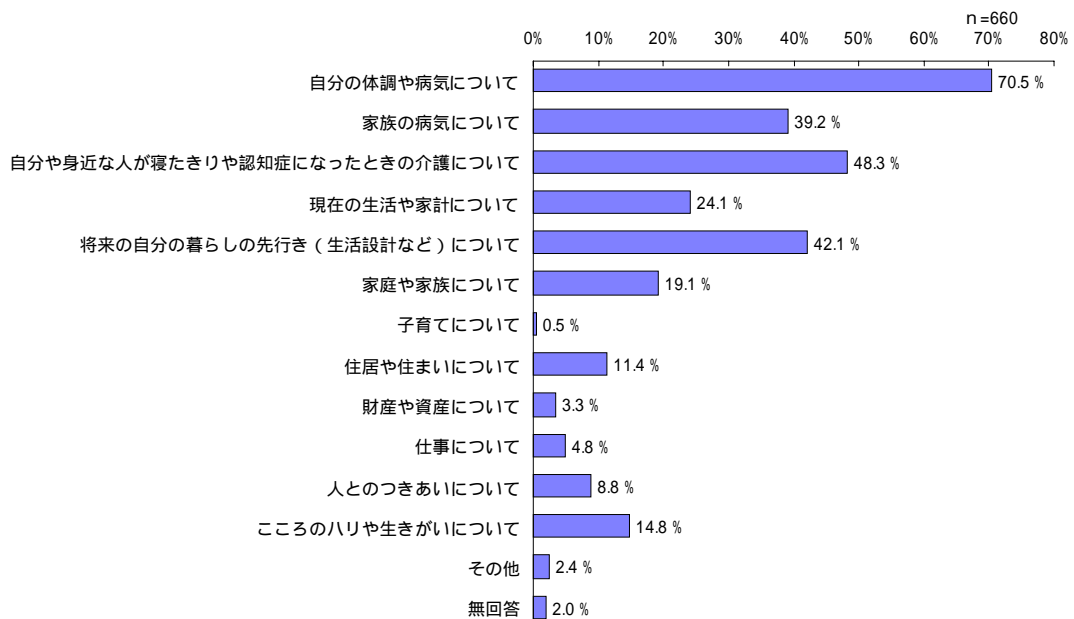
『ある』との回答は、少なくなる傾向にある。



(10) 不安・心配の内容

問7-1 次にあげた項目のうち不安になったり、心配になったりするのとはどんなことですか。(あてはまるものすべてに)

問7で『ある』と答えた人に、その内容を聞いた。「自分の体調や病気について」が70.5%、「自分や身近な人が寝たきりや認知症になったときの介護について」が48.3%、「将来の自分の暮らしの先行き(生活設計など)について」42.1%、「家族の病気について」39.2%、「現在の生活や家計について」24.1%、「家庭や家族について」19.1%などである。

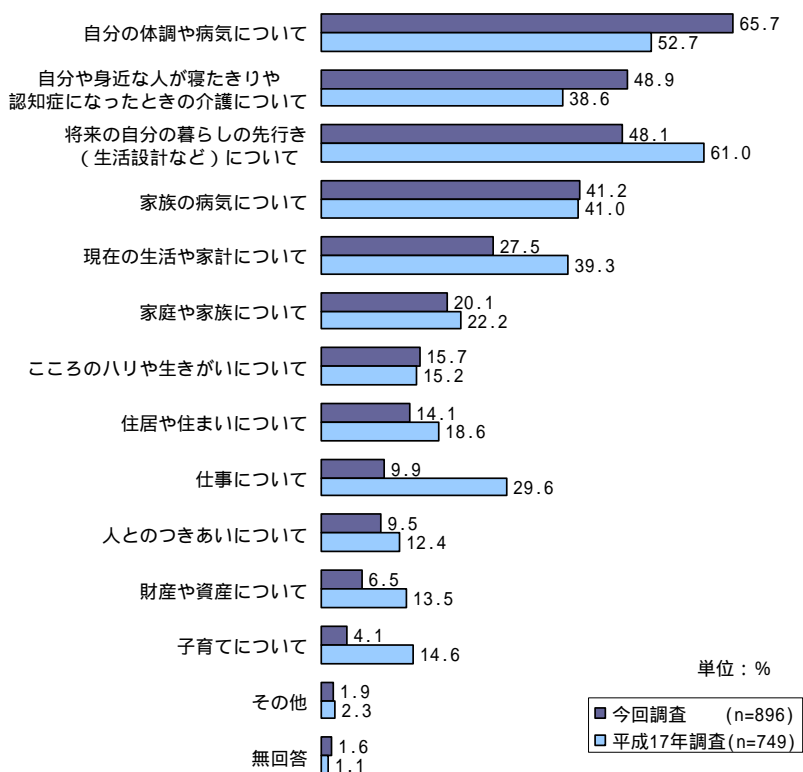


[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らし及び日中ひとりであることの多い人とも「自分の体調や病気について」が、各76.2%、68.9%と最も多く、次いでひとり暮らしは「将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について」が、46.7%、日中ひとりであることの多い人は「自分や身近な人が寝たきりや認知症になったときの介護について」55.7%である。

【 経年比較 】

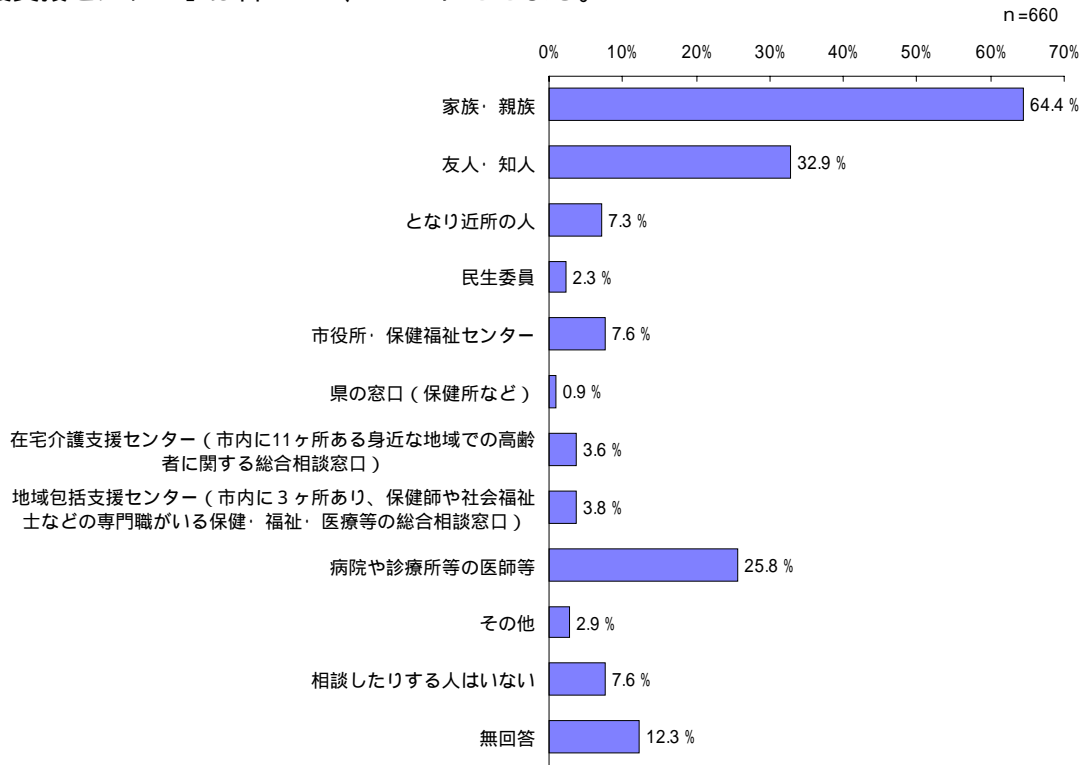
「自分の体調や病気について」や「自分や身近な人が寝たきりや認知症になったときの介護について」が増え、「将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について」などは減っている。



(11) 不安・心配の相談相手

問7-2 不安になったり、心配になったりしたとき、だれかに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(あてはまるものすべてに)

問7-1の内容に引き続き、相談相手を聞いた。「家族・親族」が64.4%、「友人・知人」が32.9%、「病院や診療所等の医師等」25.8%などが主なところであり、「地域包括支援センター」、「在宅介護支援センター」は各3.8%、3.6%にとどまる。



[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らし及び日中ひとりであることの多い人いずれも「家族・親族」が最も多く、ともに54.1%、次いでひとり暮らしは「友人・知人」、日中ひとりであることの多い人は「病院や診療所等の医師等」とともに37.7%である。

単位：%

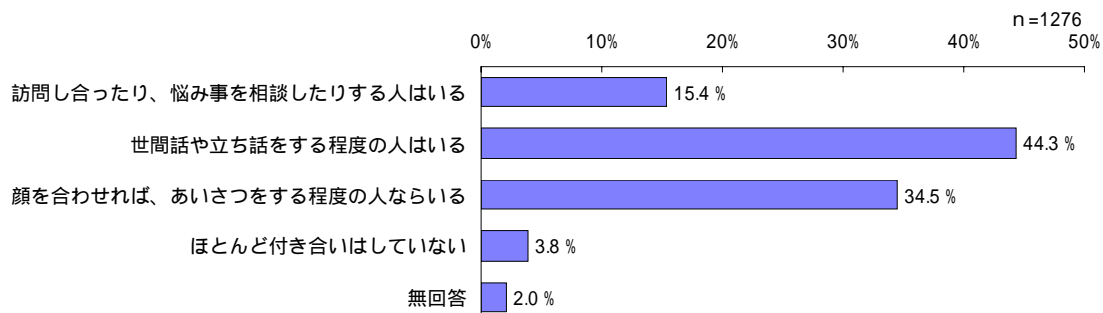
		回答者数(人)	家族・親族	友人・知人	となり近所の人	民生委員	市役所・保健福祉センター	県の窓口(保健所など)
全 体		660	64.4	32.9	7.3	2.3	7.6	0.9
家同族居	ひとり暮らし	122	54.1	37.7	7.4	6.6	8.2	1.6
独日居中	いつもある	61	54.1	31.1	6.6	1.6	1.6	0.0

		回答者数(人)	在宅介護支援センター	地域包括支援センター	病院や診療所等の医師等	その他	相談したりする人はいない	無回答
全 体		660	3.6	3.8	25.8	2.9	7.6	12.3
家同族居	ひとり暮らし	122	3.3	3.3	19.7	4.1	12.3	9.8
独日居中	いつもある	61	1.6	3.3	37.7	6.6	8.2	14.8

(12) 隣近所との付き合い

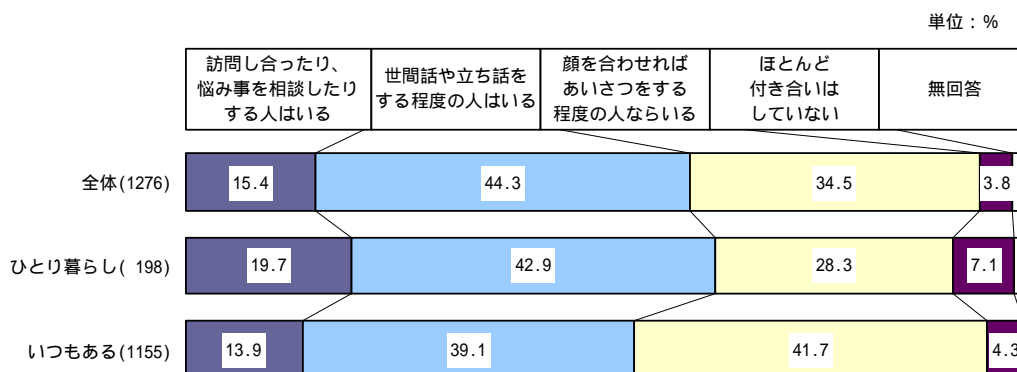
問8 あなたは、日頃、隣近所の方とどの程度の付き合いをしていますか。(1つに)

「世間話や立ち話をする程度の人はいる」44.3%、「顔を合わせれば、あいさつをする程度の人ならいる」34.5%、「訪問し合ったり、悩み事を相談したりする人はいる」15.4%の順であり、「ほとんど付き合いはしていない」は3.8%である。



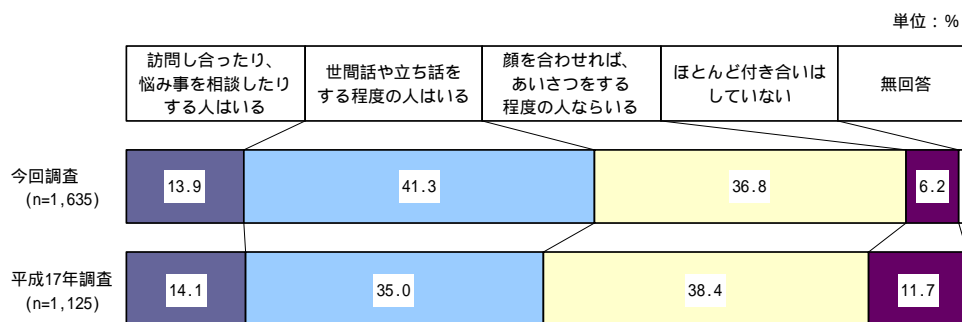
【ひとり暮らし・日中独居】

ひとり暮らしで最も多いのは「世間話や立ち話をする程度の人はいる」の42.9%、日中ひとりであることの多い人は「ほとんど付き合いはしていない」41.7%である。



【 経年比較 】

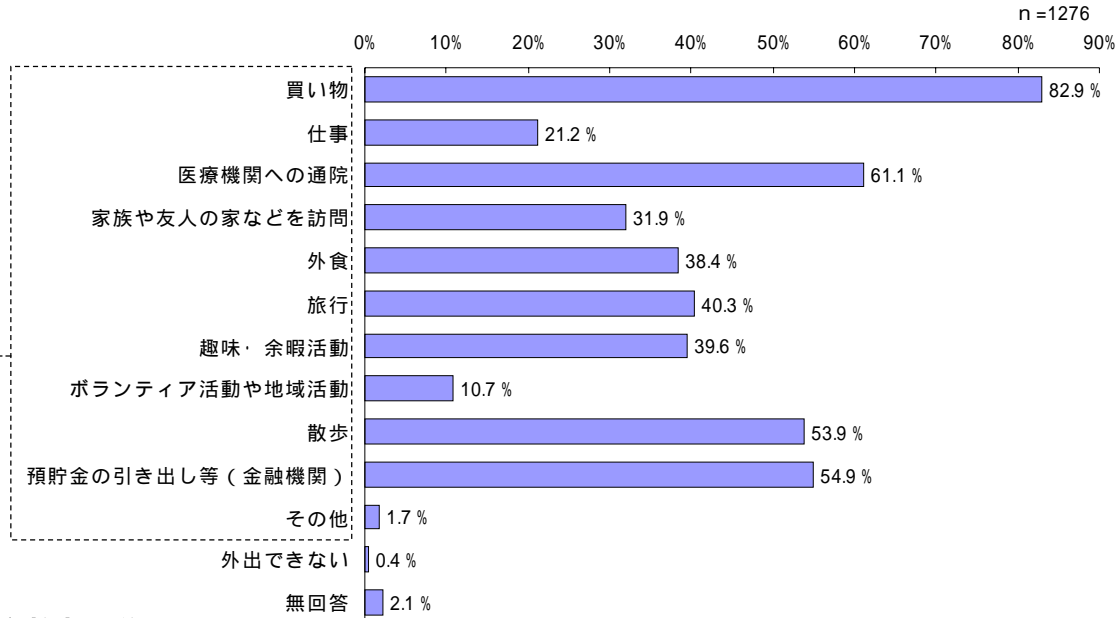
「世間話や立ち話をする程度の人はいる」が増え、「ほとんど付き合いはしていない」は減っている。



(13) 外出の目的

問9 日ごろ、どのような目的で外出していますか。(あてはまるものすべてに)

外出の目的は、「買い物」82.9%、「医療機関への通院」61.1%、「預貯金の引き出し等(金融機関)」54.9%、「散歩」53.9%、「旅行」40.3%、「趣味・余暇活動」39.6%、「外食」38.4%などであり、「仕事」は21.2%と少ない。



[高齢者区分]

74歳までの高齢者、75歳以上の高齢者とも「買い物」各84.7%、79.7%が最も多い。ほとんどの項目で74歳までの高齢者が75歳以上の高齢者を上回るが、「医療機関への通院」については各56.7%、70.6%と75歳以上の高齢者が上回る。

単位：%

		回答者数(人)	買い物	仕事	医療機関への通院	家族や友人の家などを訪問	外食	旅行	趣味・余暇活動
全体		1276	82.9	21.2	61.1	31.9	38.4	40.3	39.6
区分	74歳までの高齢者	829	84.7	26.7	56.7	34.6	43.7	45.0	44.3
	75歳以上の高齢者	419	79.7	10.0	70.6	26.7	29.4	31.3	31.0

		回答者数(人)	ボランティア活動や地域活動	散歩	預貯金の引き出し等(金融機関)	その他(具体的に)	外出できない	無回答
全体		1276	10.7	53.9	54.9	1.7	0.4	2.1
区分	74歳までの高齢者	829	12.5	56.0	57.2	1.8	0.1	1.9
	75歳以上の高齢者	419	7.4	49.9	51.6	1.4	1.0	2.1

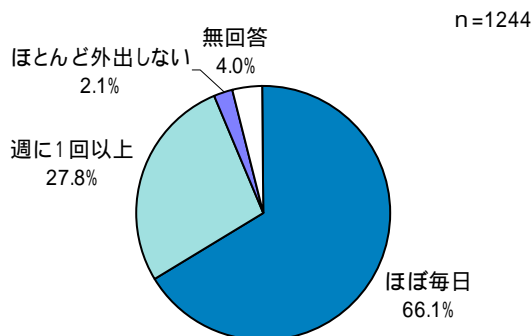
[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らしは「買い物」94.4%「預貯金の引き出し等(金融機関)」67.2%「医療機関への通院」59.6%などの順である。日中ひとりであることの多い人は、全体結果とほぼ変わらない。

(14) 外出の頻度

問9-1 日ごろ、どの程度外出していますか。(1つに)

問9で外出している人にどの程度かを聞いたが、「ほぼ毎日」が66.1%、「週に1回以上」が27.8%、「ほとんど外出しない」が2.1%である。



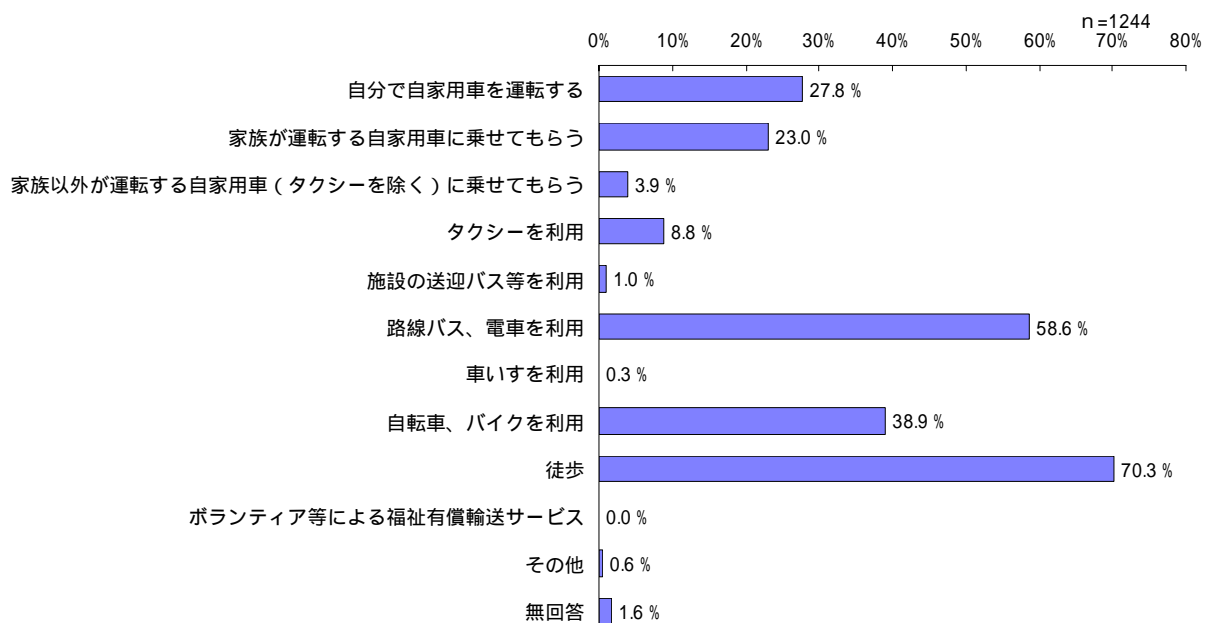
[ひとり暮らし・日中独居]

「ほぼ毎日」はひとり暮らしが59.3%、日中ひとりであることの多い人が56.3%である。

(15) 外出の方法

問9-2 あなたは日ごろ、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに)

外出している人に外出の方法を聞いた。「徒歩」が70.3%と最も多く、次いで「路線バス、電車を利用」58.6%、「自転車、バイクを利用」38.9%、「自分で自家用車を運転する」27.8%、「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」23.0%が主なものである。



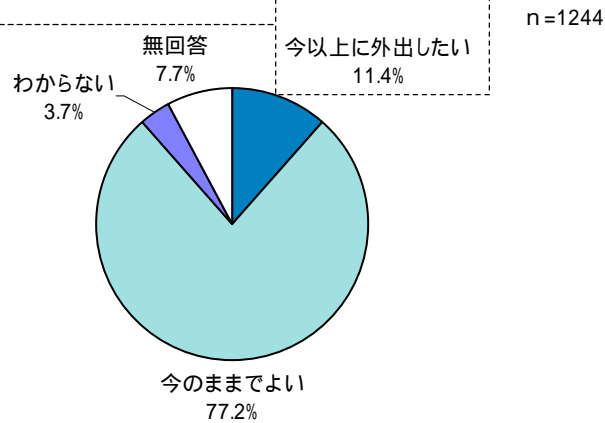
[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らしは「徒歩」74.2%「路線バス、電車を利用」63.4%が多く、「自分で自家用車を運転する」は12.9%と少ない。日中ひとりであることの多い人は、全体結果とほぼ同じである。

(16) 今以上に外出したいか

問9-3 今以上に外出したいですか。(1つに)

外出している人に、今以上に外出したいかを聞いたものであるが、「今のままでよい」が77.2%、8割近い。「今以上に外出したい」は11.4%、1割強にとどまる。



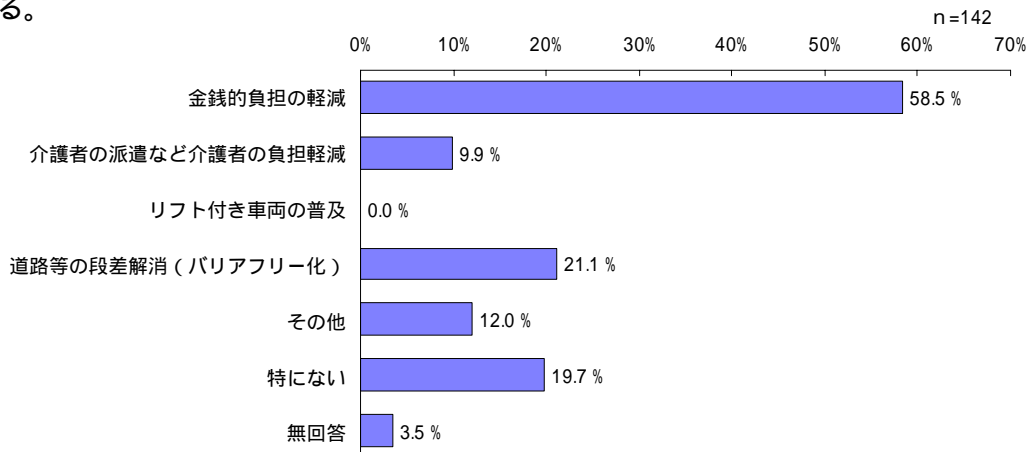
[ひとり暮らし・日中独居]

「今以上に外出したい」は、ひとり暮らし14.9%、日中ひとりであることの多い人13.4%である。

(17) 外出のために必要な援助

問9-4 今以上に外出するためには、どのような援助があればよいですか。(あてはまるものすべてに)

問9-3で今以上に外出したいと答えた人に、必要な援助を聞いた。「金銭的負担の軽減」が58.5%と最も多く、次いで「道路等の段差解消(バリアフリー化)」21.1%、「特にない」19.7%である。



[ひとり暮らし・日中独居]

「金銭的負担の軽減」は、ひとり暮らし62.1%、日中ひとりであることの多い人46.7%である。

3.暮らし向きや各種活動への参加について

(1) ゆとり

問10 あなたは、自分自身のふだんの生活の中でどの程度ゆとりがあると感じていますか。時間的なゆとりと経済的なゆとりにわけてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに)

時間的なゆとり

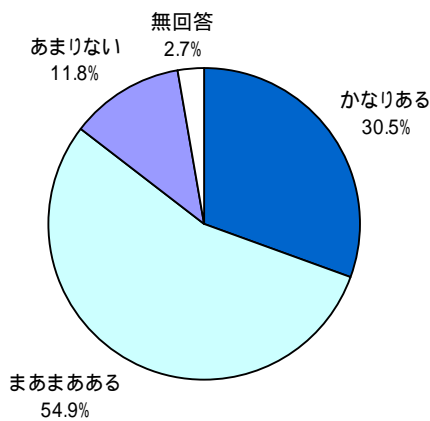
時間的なゆとりは、「まあまあある」が54.9%、「かなりある」30.5%、「あまりない」11.8%である。

経済的なゆとり

経済的なゆとりは「まあまあある」の49.5%、「あまりない」の41.3%、「かなりある」は4.5%と少ない。

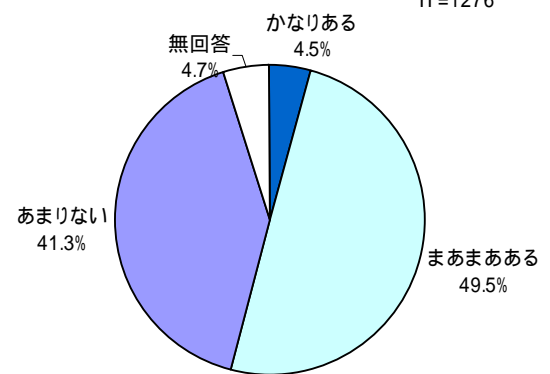
【時間的なゆとり】

n=1276



【経済的なゆとり】

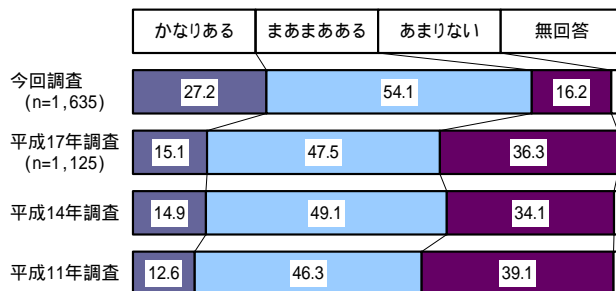
n=1276



【 経年比較 】

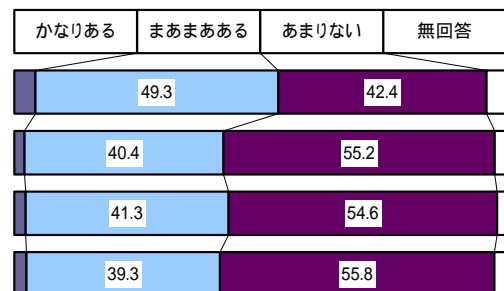
時間的、経済的なゆとりとも「かなりある」「まあまあある」がともに多くなっている。

【時間的なゆとり】



【経済的なゆとり】

単位：%

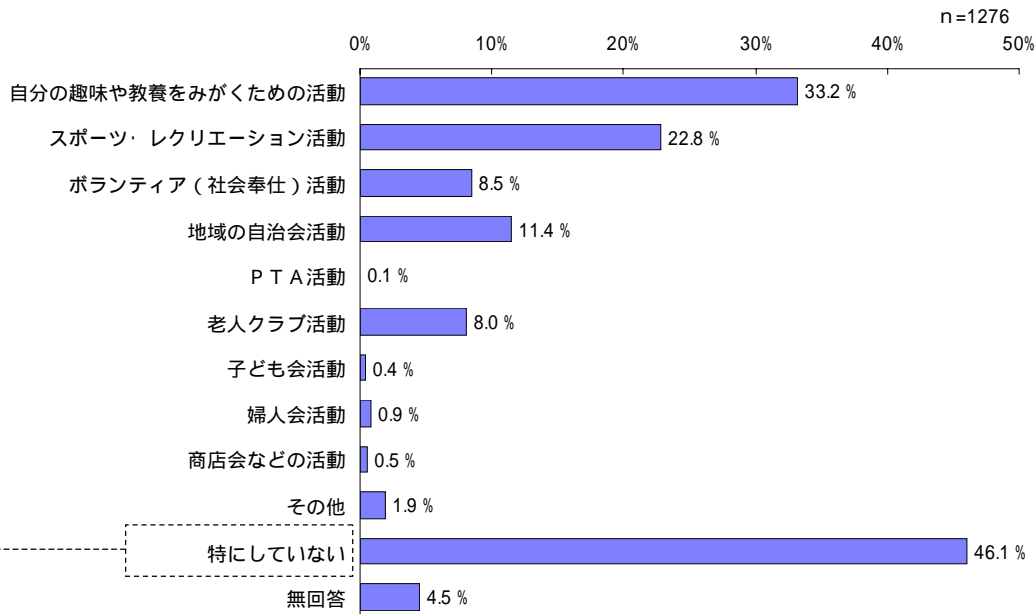


注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

(2) 現在、参加している活動

問11 あなたは、現在、以下のような活動に参加していますか。(3つまでに)

「特にしていない」46.1%が最も多い。「自分の趣味や教養をみがくための活動」33.2%、「スポーツ・レクリエーション活動」22.8%、「地域の自治会活動」11.4%、「ボランティア(社会奉仕)活動」8.5%、「老人クラブ活動」8.0%が主なところである。



【居住地区】

13地区のうち「特にしていない」が最も多い地区は10地区であり、中でも明第2東地区は60.9%と他地区を大きく上回り、常盤平の53.3%とともに半数を超える。

小金原、新松戸、本庁地区は「自分の趣味や教養をみがくための活動」が「特にしていない」を上回る。

単位：%

	回答者数(人)	自分の趣味や教養をみがくための活動	スポーツ・レクリエーション活動	ボランティア(社会奉仕)活動	地域の自治会活動	PTA活動	老人クラブ活動	子ども会活動	婦人会活動	商店会などの活動	その他	特にしていない	無回答	
全体	1276	33.2	22.8	8.5	11.4	0.1	8.0	0.4	0.9	0.5	1.9	46.1	4.5	
居住地区	小金	109	32.1	26.6	4.6	9.2	0.0	7.3	0.0	0.0	1.8	46.8	3.7	
	小金原	103	45.6	27.2	13.6	16.5	0.0	15.5	1.0	1.0	1.0	32.0	2.9	
	新松戸	91	45.1	25.3	9.9	14.3	0.0	5.5	0.0	0.0	2.2	37.4	3.3	
	馬橋	76	32.9	22.4	6.6	7.9	0.0	6.6	0.0	1.3	0.0	1.3	46.1	11.8
	馬橋西	64	31.3	15.6	10.9	17.2	1.6	10.9	0.0	3.1	0.0	1.6	48.4	4.7
	明第1	127	37.0	21.3	7.9	15.7	0.0	11.0	0.0	0.8	0.0	3.1	45.7	3.1
	明第2西	69	29.0	21.7	13.0	10.1	0.0	13.0	0.0	1.4	1.4	4.3	42.0	2.9
	明第2東	69	23.2	17.4	5.8	2.9	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	4.3	60.9	5.8
	東部	77	33.8	28.6	6.5	6.5	0.0	11.7	2.6	0.0	1.3	0.0	44.2	5.2
	本庁	59	42.4	23.7	10.2	16.9	0.0	6.8	0.0	0.0	3.4	0.0	40.7	3.4
	矢切	59	32.2	28.8	5.1	18.6	0.0	8.5	0.0	0.0	0.0	1.7	49.2	0.0
	五香六実	154	30.5	28.6	11.0	10.4	0.0	3.9	0.0	0.6	0.0	1.3	47.4	3.9
	常盤平	180	25.6	15.6	6.7	8.9	0.0	3.9	1.1	0.6	1.1	1.7	53.3	3.9

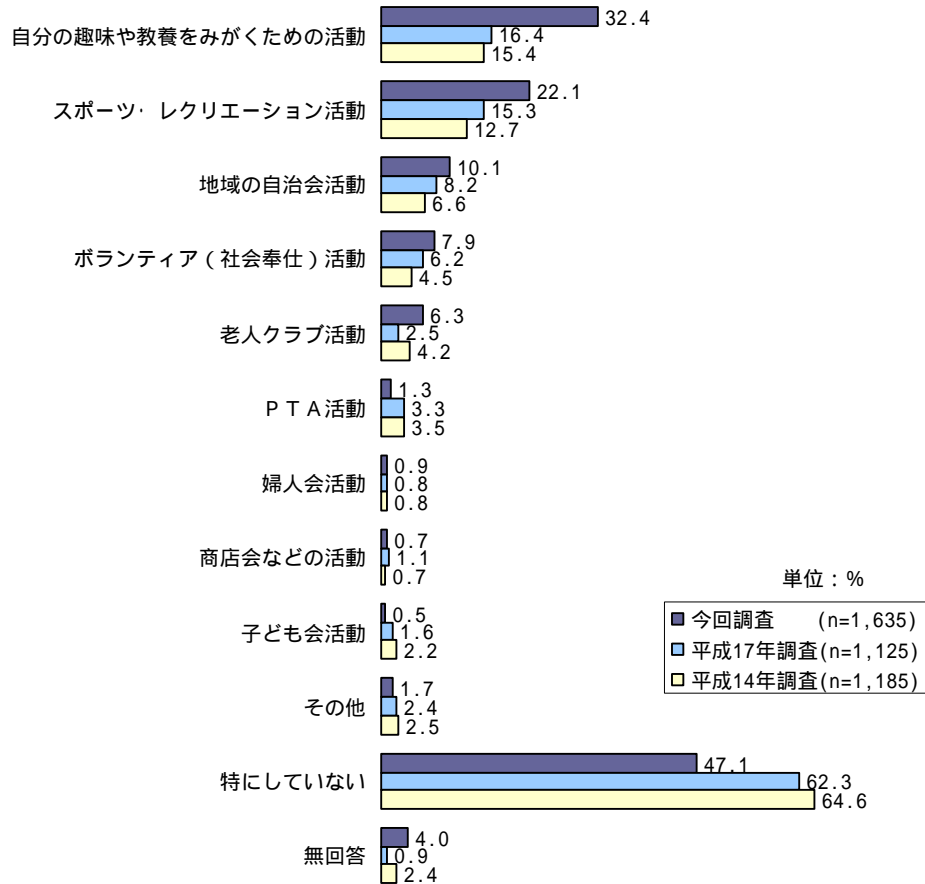
丸数字は順位

[ひとり暮らし・日中独居]

「特にしていない」は、ひとり暮らしが51.0%、日中ひとりであることの多い人が50.4%である。日中ひとりであることの多い人は、「ボランティア(社会奉仕)活動」が13.9%とやや多い。

【 経年比較 】

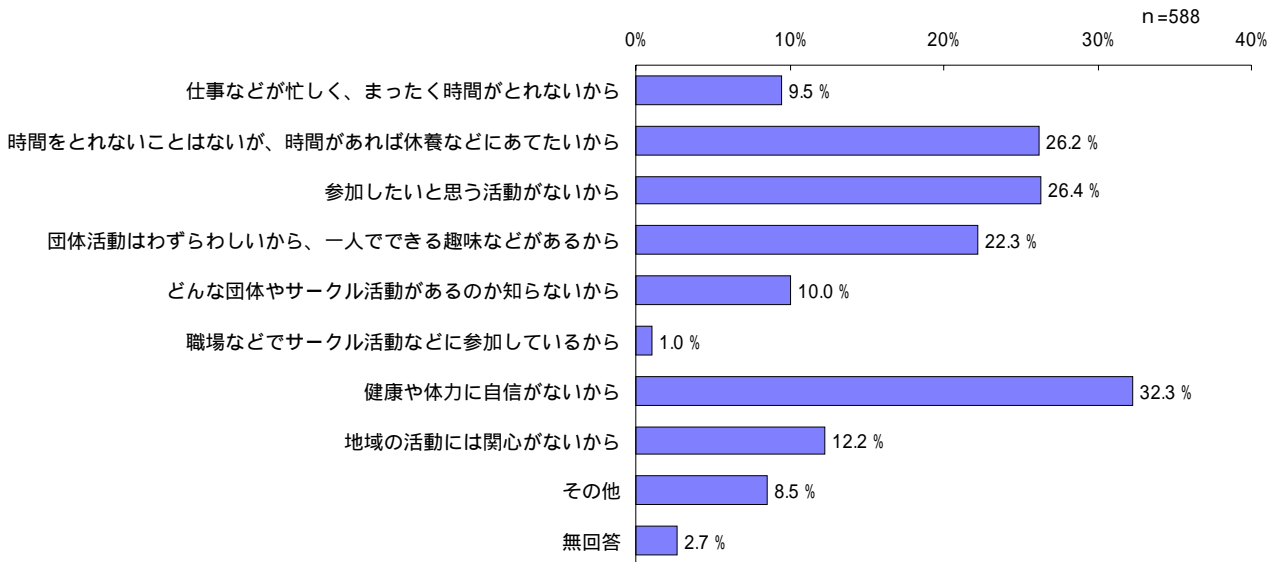
参加している活動は増えており、特に「自分の趣味や教養をみかくための活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は著しい。活動が減っているのは「PTA活動」や「子ども会活動」である。「特にしていない」が半数以下となっている。



(3) 特にしていない理由

問 11-1 特にしていないのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに)

問 11 で「特にしていない」と答えた人にその理由を聞いたものである。「健康や体力に自信がないから」32.3%、「参加したいと思う活動がないから」26.4%、「時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから」26.2%、「団体活動はわずらわしいから、一人のできる趣味などがあるから」22.3%、「地域の活動には関心がないから」12.2%などである。

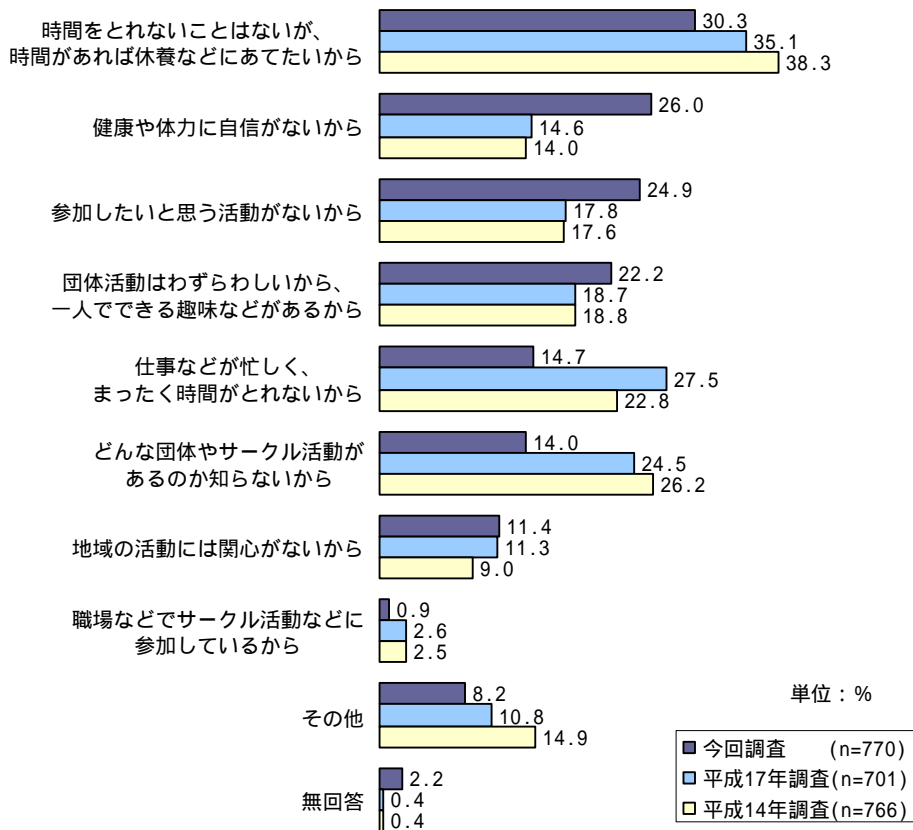


[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らしで全体を上回るのは、「団体活動はわずらわしいから、一人でできる趣味などがあるから」27.7% 「どんな団体やサークル活動があるのか知らないから」17.8%である。日中ひとりであることの多い人は、「健康や体力に自信がないから」43.1%をあげることができる。

【 経年比較 】

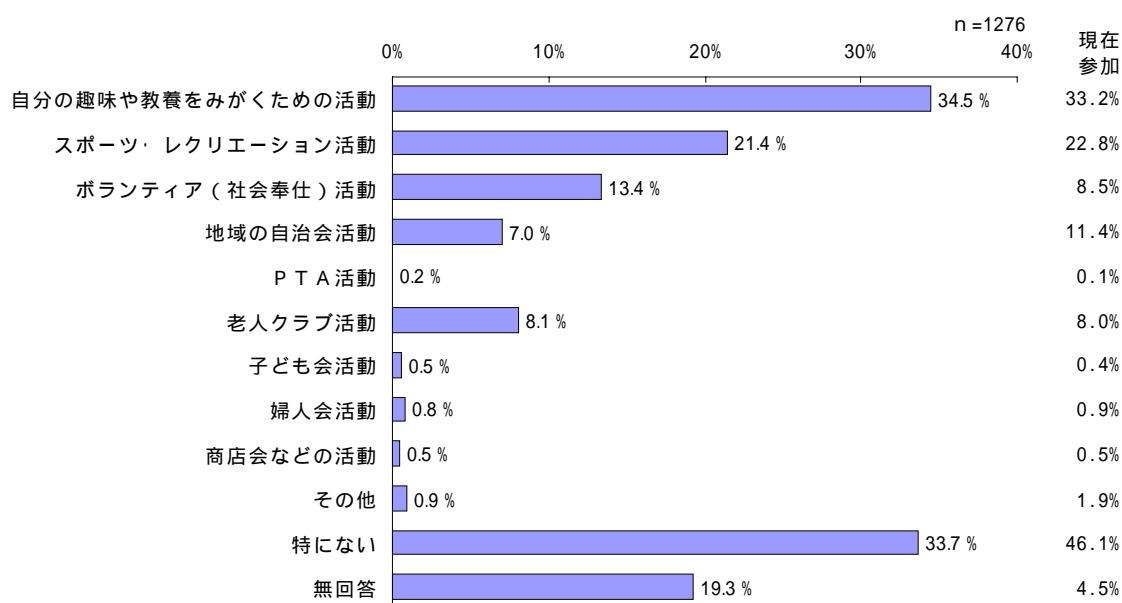
「時間」や「情報不足」をあげる人が少なくなっているのに対し、「健康や体力に自信がないから」「参加したいと思う活動がないから」などが多くあげられている



(4) 今後、参加したいこと

問 12 問 11 のこうした活動の中で、今後参加したいことは何ですか。(あてはまるものすべてに)

今後、参加したいことについて「自分の趣味や教養をみがくための活動」34.5%、「特にない」33.7%が同程度である。以下、「スポーツ・レクリエーション活動」21.4%、「ボランティア(社会奉仕)活動」13.4%、「老人クラブ活動」8.1%、「地域の自治会活動」7.0%などである。



[ひとり暮らし・日中独居]

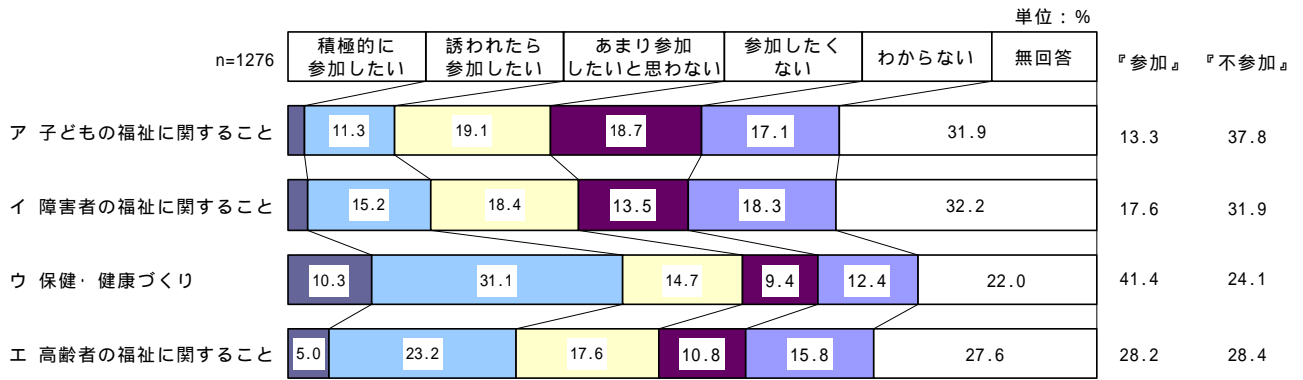
「自分の趣味や教養をみがくための活動」は、ひとり暮らし 38.4%、日中ひとりであることの人 33.9%である。また「ボランティア(社会奉仕)活動」に対しては、ひとり暮らし 12.6%、日中ひとりであることの人 15.7%である。

(5) ボランティア活動

問 13 あなたは、以下のようなボランティア活動に参加してみたいと思いますか。(それぞれあてはまる番号 1 つに)

どのようなボランティア活動に参加したいかについて、「積極的に参加したい」が最も多いのは「保健・健康づくり」の 10.3%、次いで「高齢者の福祉に関すること」5.0%、「障害者の福祉に関すること」2.4%、「子どもの福祉に関すること」2.0%である。「誘われたら参加したい」を合わせた『参加』についても、「保健・健康づくり」41.4%、「高齢者の福祉に関すること」28.2%、「障害者の福祉に関すること」17.6%、「子どもの福祉に関すること」13.3%と順位は同じである。

逆に、「あまり参加したいと思わない」と「参加したくない」を合わせた『不参加』は、『参加』とは反対の順に「子どもの福祉に関すること」37.8%、「障害者の福祉に関すること」31.9%、「高齢者の福祉に関すること」28.4%、「保健・健康づくり」24.1%である。



注：5%未満の数値は表記していない

【ひとり暮らし・日中独居】

『参加』は、ひとり暮らし、日中ひとりであることの多い人いずれも「保健・健康づくり」各41.4%、40.0%「高齢者の福祉に関すること」各28.7%、25.2%など全体結果と差は少ない。

【居住地区】

各種ボランティア活動への『参加』意向の高い上位地区をみる。新松戸及び矢切地区は4つすべての活動で上位に入っており、新松戸地区では「保健・健康づくり」及び「高齢者の福祉」で、矢切地区では「子どもの福祉」でそれぞれ他地区を上回る。

これに次いで馬橋及び馬橋西地区では3つの活動が、小金及び小金原では2つの活動がそれぞれ上位となっている。

ボランティア活動への『参加』 単位：%

居住地区	回答者数(人)	子どもの福祉に関すること	障害者の福祉に関すること	保健・健康づくり	高齢者の福祉に関すること
		順位	順位	順位	順位
小金	109	18.4	19.2	42.2	31.2
小金原	103	13.6	21.3	45.6	31.1
新松戸	91	16.5	24.0	48.4	38.5
馬橋	76	9.2	25.0	44.7	35.5
馬橋西	64	15.7	23.4	46.9	22.7
明第1	127	18.1	17.4	37.7	28.3
明第2西	69	13.0	14.4	39.1	23.1
明第2東	69	5.8	14.4	33.3	21.7
東部	77	10.4	13.0	37.7	20.8
本庁	59	10.2	17.0	39.0	32.2
矢切	59	20.4	22.0	47.5	37.3
五香六実	154	10.4	13.6	42.2	23.4
常盤平	180	11.2	13.3	40.6	23.3

丸数字は順位

【経年比較】

「保健・健康づくり」を除いては『参加』が大幅に減っている。

ボランティア活動への『参加』 単位：%

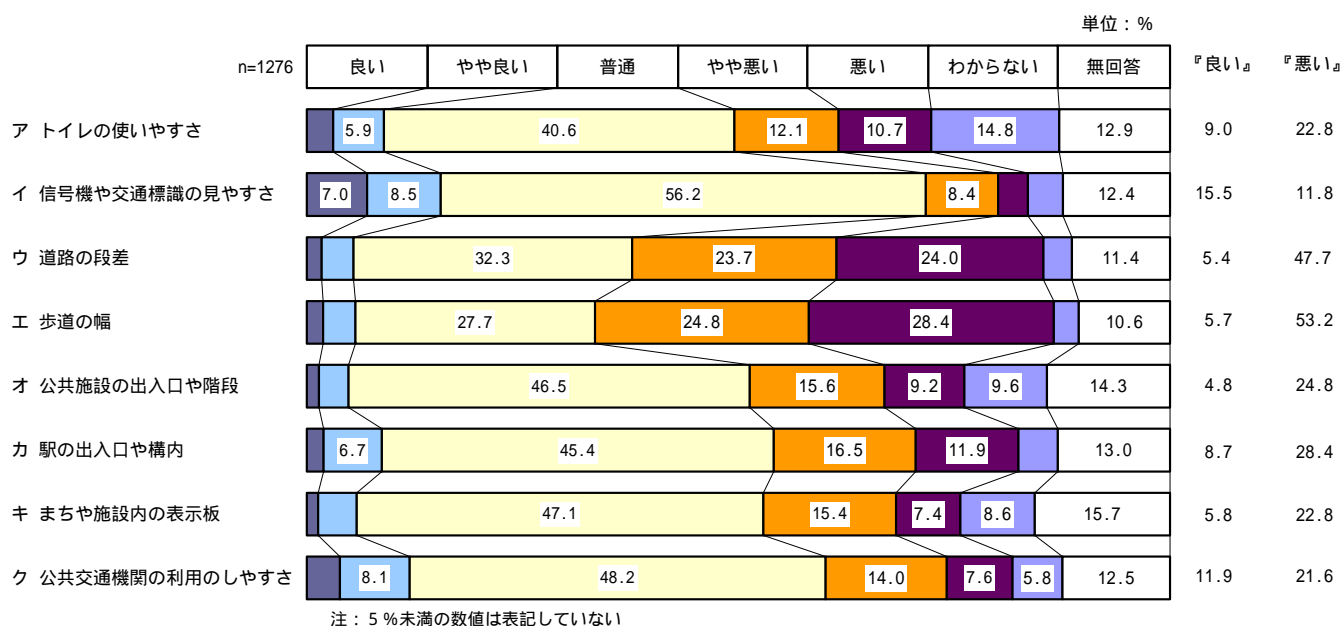
	回答者数(人)	子どもの福祉に関すること		障害者の福祉に関すること		保健・健康づくり		高齢者の福祉に関すること	
		参加	不参加	参加	不参加	参加	不参加	参加	不参加
今回調査	1,635	17.5	37.6	19.9	33.8	42.4	24.8	29.8	29.8
平成17年調査	1,125	30.3	43.7	29.7	43.6	41.1	36.6	41.1	37.7

(6) 安心して暮らせるまちづくり

問 14 誰もが地域で安心して暮らしていけるまちづくりという観点から見て、あなたは、市内の状況をどう評価されますか。(それぞれあてはまる番号1つに)

市内の状況評価は、「良い」と「やや良い」を合わせた『良い』の順は、「信号機や交通標識の見やすさ」15.5%、「公共交通機関の利用のしやすさ」11.9%、「トイレの使いやすさ」9.0%、「駅の出入口や構内」8.7%、「まちや施設内の表示板」5.8%などであり、最下位は「公共施設の出入口や階段」4.8%である。

これに対し、「やや悪い」と「悪い」を合わせた『悪い』は、必ずしも『良い』とは反対の順ではなく、「歩道の幅」53.2%と「道路の段差」47.7%をあげる人が多い。



【 経年比較 】

平成17年調査よりも『良い』が増え『悪い』が減ったのは、「トイレの使いやすさ」「信号機や交通標識の見やすさ」「道路の段差」「駅の出入口や構内」「公共交通機関の利用のしやすさ」である。これに対し「公共施設の出入口や階段」及び「まちや施設内の表示板」は『良い』は減っているが、『悪い』も減っている。

市内の状況評価 単位：%

	回答者数 (人)	トイレの使いやすさ		信号機や交通標識 の見やすさ		道路の段差		歩道の幅	
		良い	悪い	良い	悪い	良い	悪い	良い	悪い
今回調査	1,635	8.3	26.6	14.1	14.7	5.1	51.5	5.4	57.4
平成17年調査	1,125	6.5	36.8	9.8	22.5	4.2	58.5	5.4	64.2

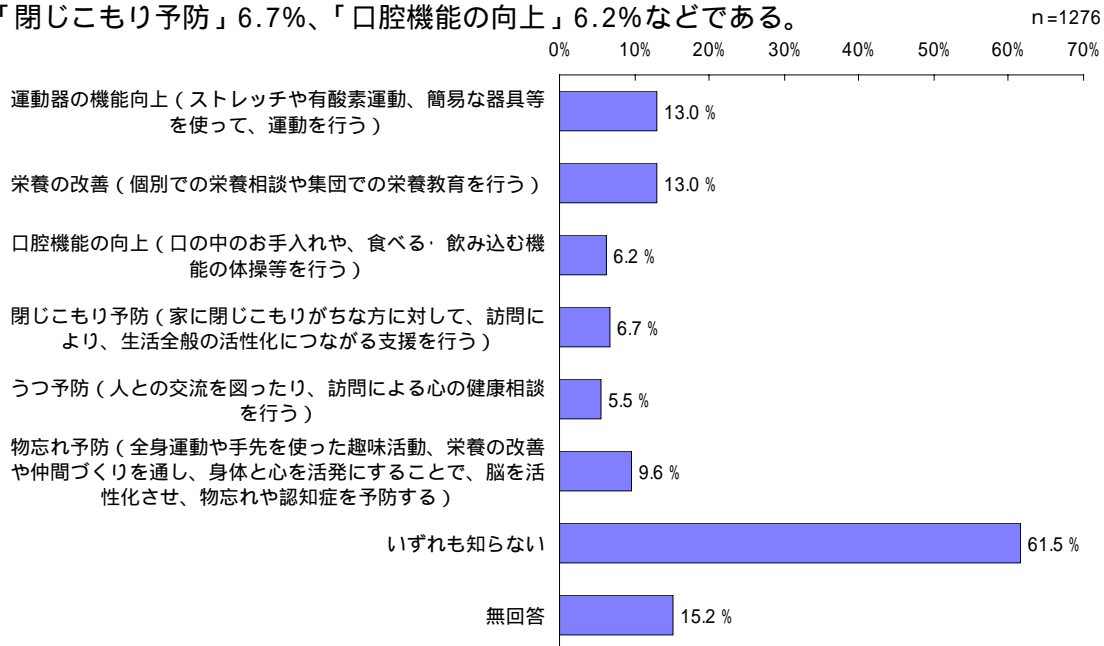
	回答者数 (人)	公共施設の 出入口や階段		駅の出入口や構内		まちや施設内の 表示板		公共交通機関の 利用のしやすさ	
		良い	悪い	良い	悪い	良い	悪い	良い	悪い
今回調査	1,635	5.4	26.2	8.7	31.4	6.0	24.6	12.6	23.4
平成17年調査	1,125	6.2	29.8	7.1	43.3	6.4	32.5	11.8	32.7

4 . 介護予防について

(1) 介護予防事業

問 15 松戸市では、健診受診後に、介護保険の要支援・要介護状態になるおそれがあると判定された方を対象に介護予防事業を実施していますが、あなたは、下記の事業を知っていますか。(あてはまるものすべてに)

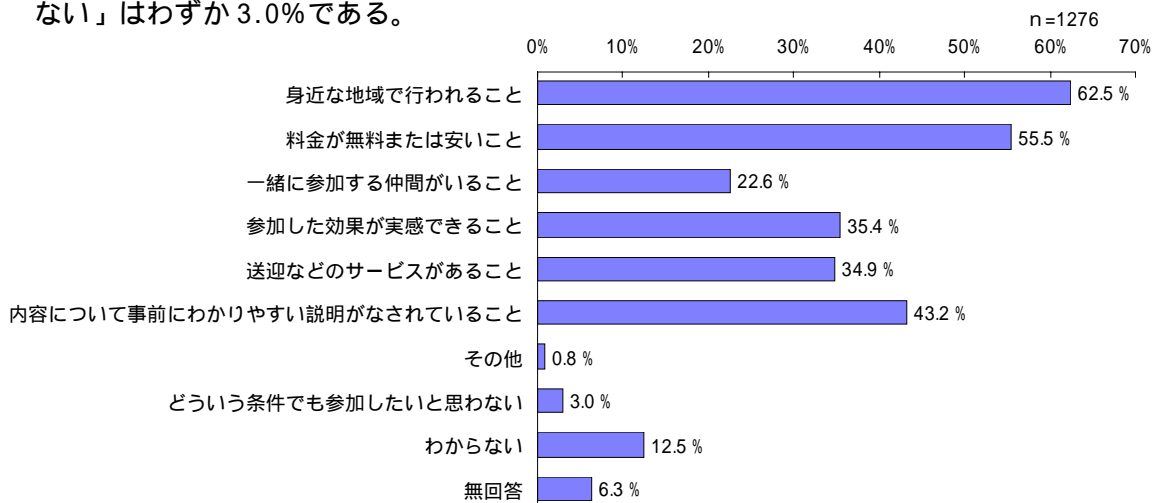
介護予防事業の知っている事業をあげてもらったが、「いずれも知らない」が61.5%、約6割である。「運動器の機能向上」及び「栄養の改善」ともに13.0%が最も多く、「物忘れ予防」9.6%、「閉じこもり予防」6.7%、「口腔機能の向上」6.2%などである。



(2) 事業参加に必要な条件

問 16 もし、あなたが介護予防事業に参加するとしたら、必要な条件は何ですか。(あてはまるものすべてに)

介護予防事業参加に必要な条件では、「身近な地域で行われること」62.5%、「料金が無料または安いこと」55.5%が多い。次いで「内容について事前にわかりやすい説明がなされていること」43.2%、「参加した効果が実感できること」35.4%である。「どういう条件でも参加したいと思わない」はわずか3.0%である。

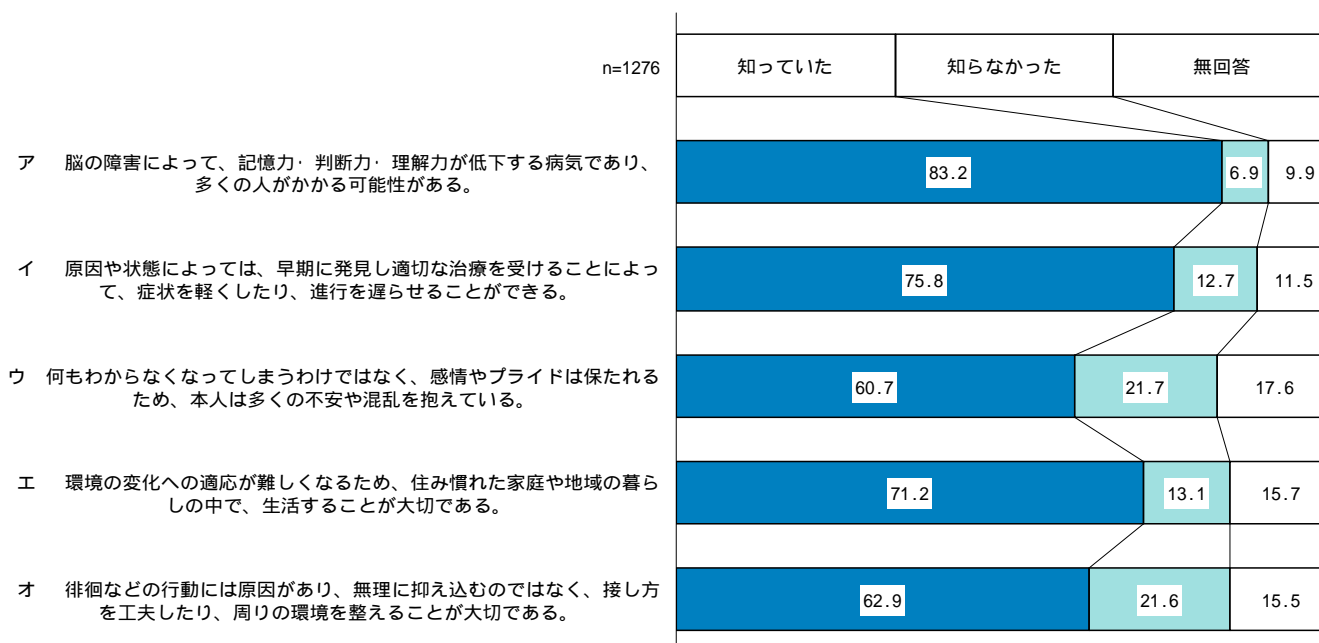


(3) 認知症について

問 17 認知症は、多くの人がかかる可能性のある病気で、認知症の方やご家族を支える地域づくりが重要な課題となっていますが、あなたは、認知症に関する以下の内容を知っていますか。(それぞれあてはまる番号1つに)

認知症については、いずれの内容も「知っている」が6割を超え、最も多いのが「脳の障害によって記憶力・判断力・理解力が低下する病気であり、多くの人がかかる可能性がある。」83.2%である。

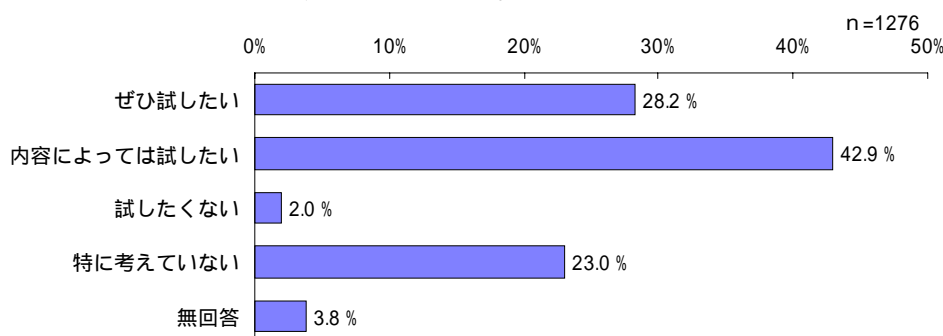
単位：%



(4) 認知症予防について

問 18 認知症の予防には、運動や食事など、生活習慣の改善をはじめとした予防法が考えられていますが、その予防法に効果があるとしたら、あなたは試してみたいと思いますか。(1つに)

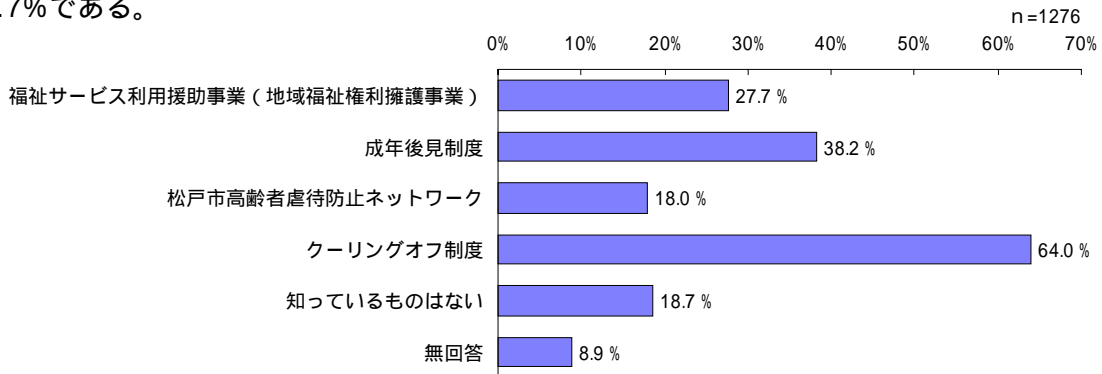
認知症予防の効果があれば、「ぜひ試したい」は28.2%、「内容によっては試したい」42.9%、合わせた『試したい』は71.1%、7割を超える。



(5) 権利擁護の制度やしきみ

問19 高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度やしきみを知っていますか。(あてはまるものすべてに)

権利擁護の制度やしきみの知っていることは、「クーリングオフ制度」64.0%が最も多い。以下はやや差があり、「成年後見制度」38.2%、「福祉サービス利用援助事業(地域福祉権利擁護事業)」27.7%、「松戸市高齢者虐待防止ネットワーク」18.0%の順である。「知っているものはない」は18.7%である。

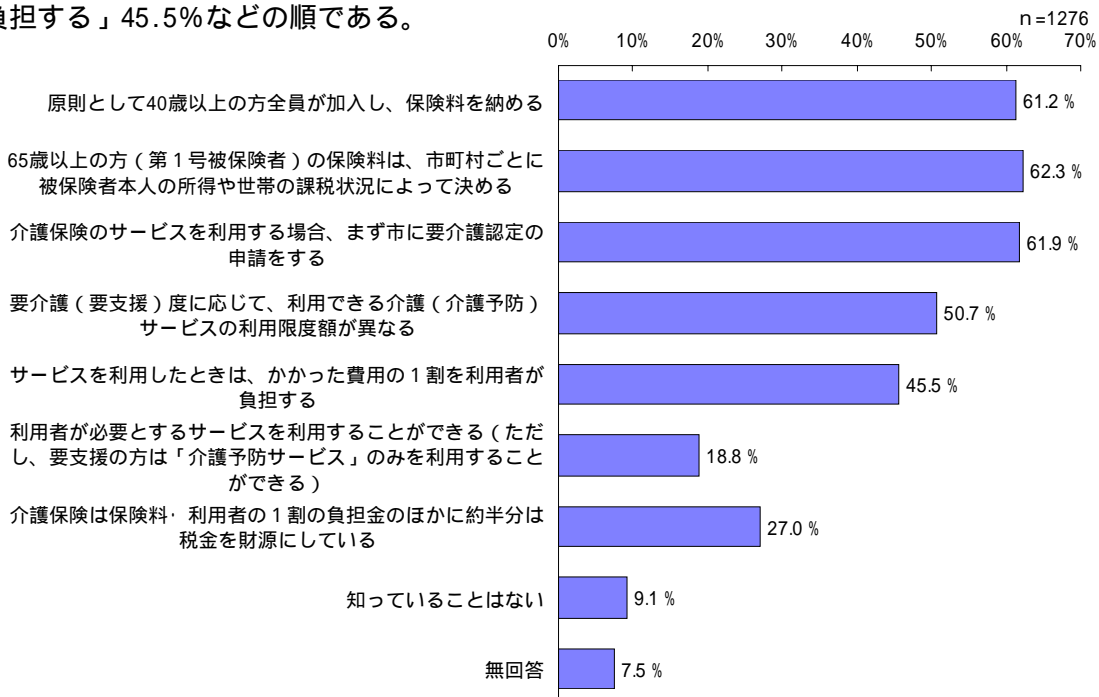


5. 介護保険について

(1) 介護保険制度について

問20 介護保険制度についてどの程度知っていますか。(あてはまるものすべてに)

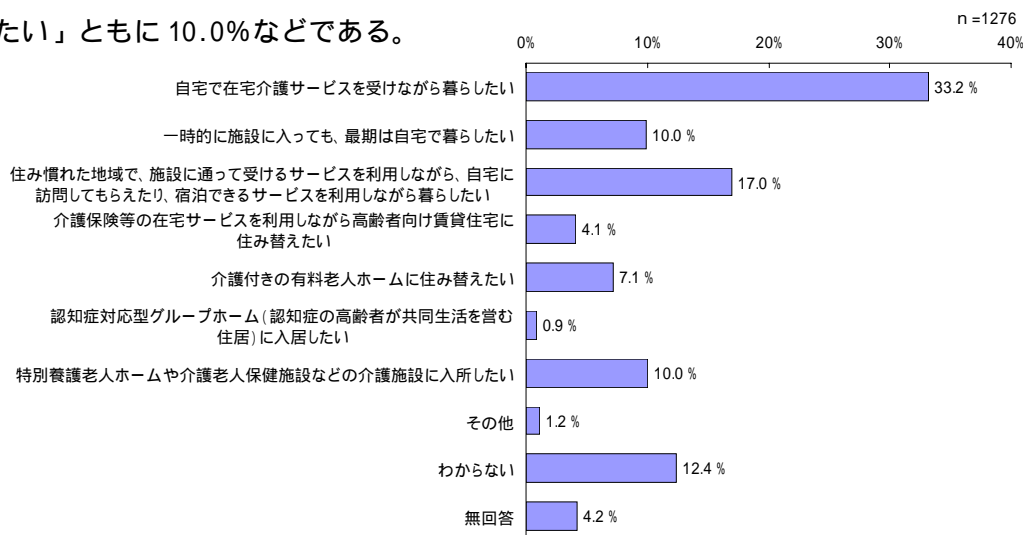
「65歳以上の方(第1号被保険者)の保険料は、市町村ごとに被保険者本人の所得や世帯の課税状況によって決める」62.3%、「介護保険のサービスを利用する場合、まず市に要介護認定の申請をする」61.9%、「原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める」61.2%、これらはほとんど差がない。以下「要介護(要支援)度に応じて、利用できる介護(介護予防)サービスの利用限度額が異なる」50.7%、「サービスを利用したときは、かかった費用の1割を利用者が負担する」45.5%などの順である。



(2) 介護必要時の生活場所

問 21 あなたは、かりに、身の回りのことを自分でできなくなったとき、どこで生活したいと思いますか。(1つに)

「自宅で在宅介護サービスを受けながら暮らしたい」33.2%が最も多い。次いで「住み慣れた地域で、施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、宿泊できるサービスを利用しながら暮らしたい」17.0%、「わからない」12.4%、「一時的に施設に入っても、最期は自宅で暮らしたい」及び「特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの介護施設に入所したい」ともに 10.0%などである。



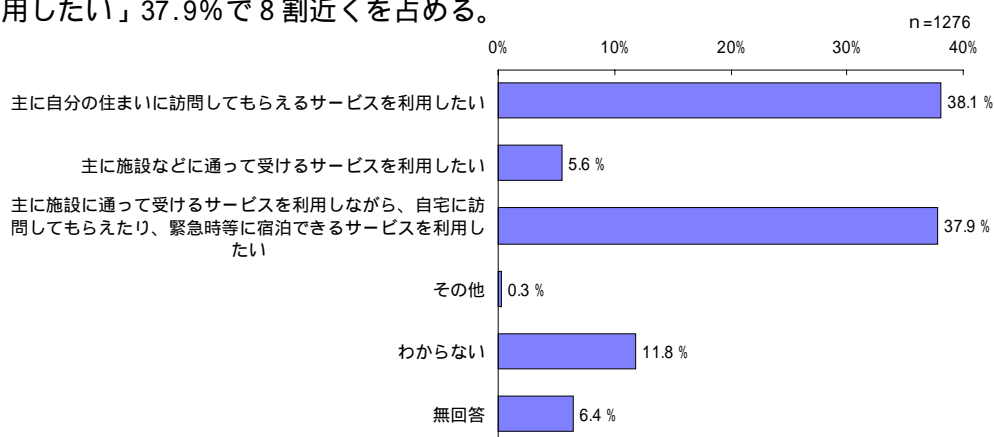
【 経年比較 】

前回調査までは、「施設」が「自宅」を上回っていたが、今回調査では、「自宅」を中心とした生活が大半である。

(3) 利用したい介護サービス

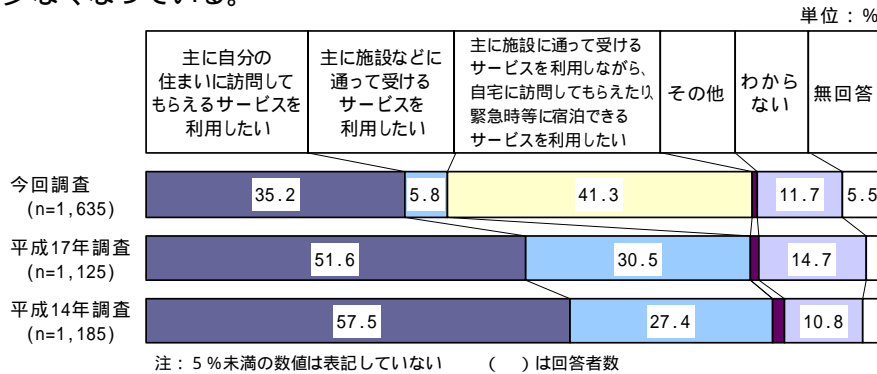
問 22 かりに自分の住まいで介護サービスを受ける場合、主にどのような種類のサービスを利用したいですか。(1つに)

「主に自分の住まいに訪問してもらえるサービスを利用したい」38.1%と、「主に施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、緊急時等に宿泊できるサービスを利用したい」37.9%で8割近くを占める。



【 経年比較（参考） 】

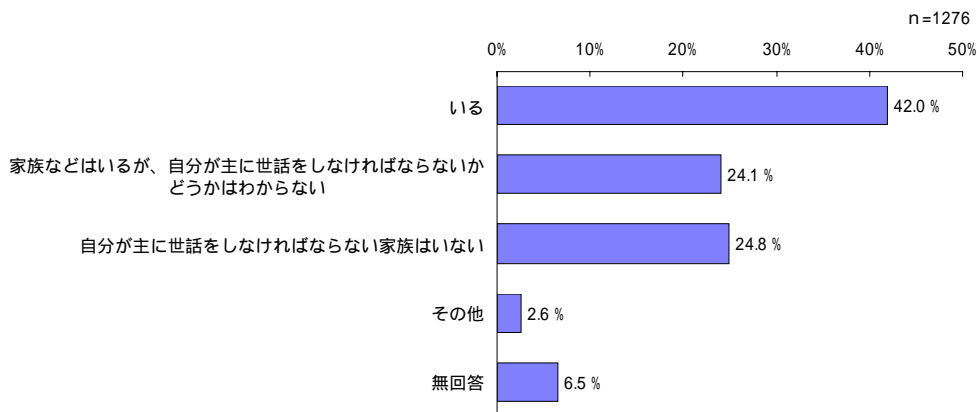
今回調査で新たな選択肢として入れた「主に施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、緊急時等に宿泊できるサービスを利用したい」が最も多いことから、前回調査の各回答はいずれも少なくなっている。



(4) 世話をすべき家族

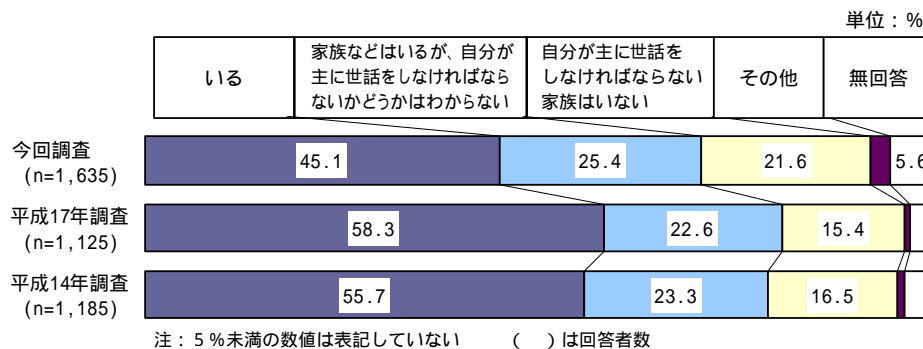
問23 現在または将来、主にあなたが老後の世話をしなければならぬと思っ
ている家族などはいますか。(1つに)

「いる」が42.0%である。「自分が主に世話をしなければならぬ家族はいない」24.8%、「家族などはいるが、自分が主に世話をしなければならぬかどうかはわからない」24.1%である。



【 経年比較 】

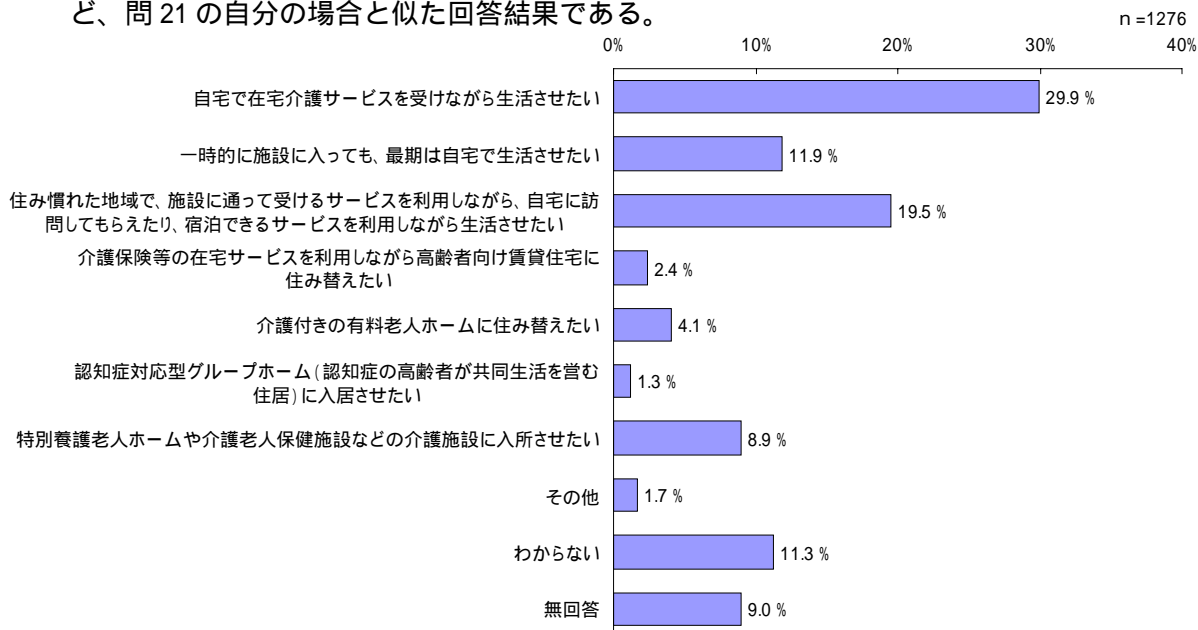
「いる」との回答は、大きく減少している。



(5) 家族介護時の生活場所

問 24 あなたは、かりに、家族が高齢などのために身の回りのことを自分で十分にできなくなったとき、どこで生活をさせたいですか。(1つに)

「自宅で在宅介護サービスを受けながら生活させたい」29.9%、「住み慣れた地域で、施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、宿泊できるサービスを利用しながら生活させたい」19.5%、「一時的に施設に入っても、最期は自宅で生活させたい」11.9%など、問 21 の自分の場合と似た回答結果である。



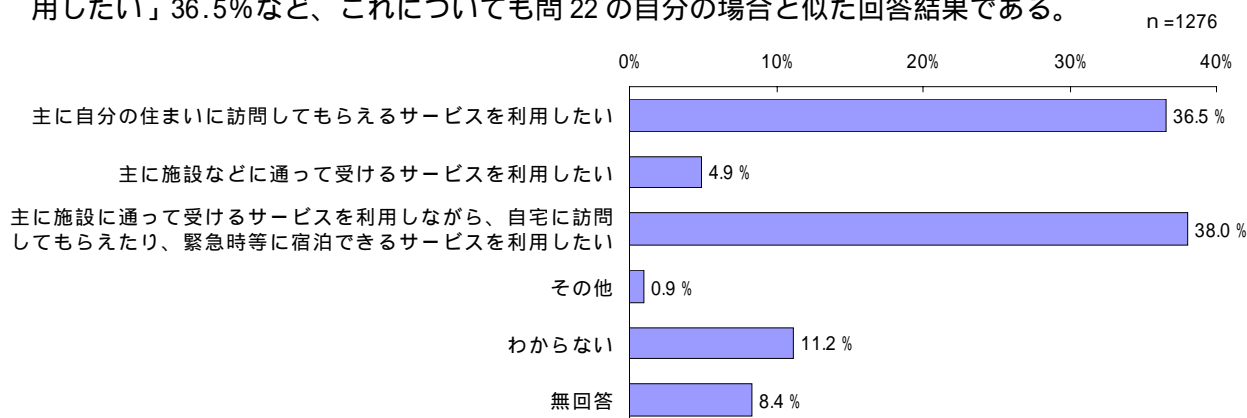
【 経年比較 】

前回調査までは、「自宅」が「施設」をやや上回る程度であったが、今回調査では、「自宅」が中心である。

(6) 家族のために利用したい介護サービス

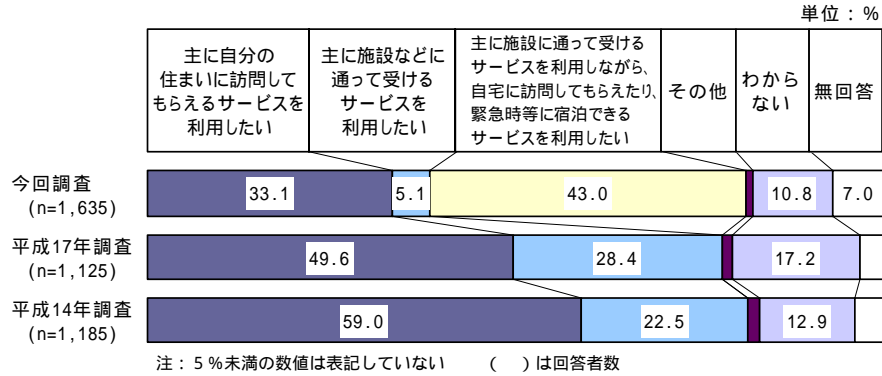
問 25 かりに、自分の住まいで家族のために介護サービスを利用する場合、主にどのような種類のサービスを利用したいですか。(1つに)

「主に施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、緊急時等に宿泊できるサービスを利用したい」38.0%、「主に自分の住まいに訪問してもらえるサービスを利用したい」36.5%など、これについても問 22 の自分の場合と似た回答結果である。



【 経年比較 参考】

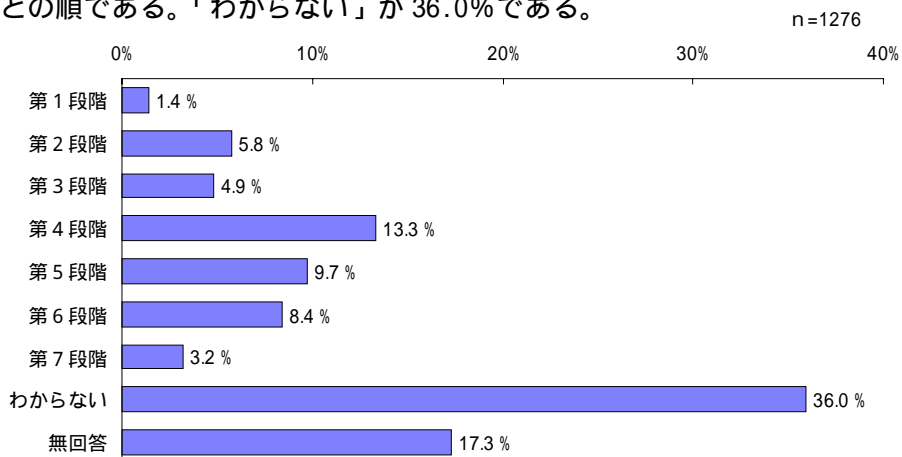
問 22 の自分と同じく、今回調査の新たな選択肢である「主に施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、緊急時等に宿泊できるサービスを利用したい」が最も多いことから、前回調査までの各回答は、いずれも少なくなっている。



(7) 平成19年度の介護保険料

問 26 あなたの平成19年度の介護保険料の段階は次のうちどれですか(1つに)

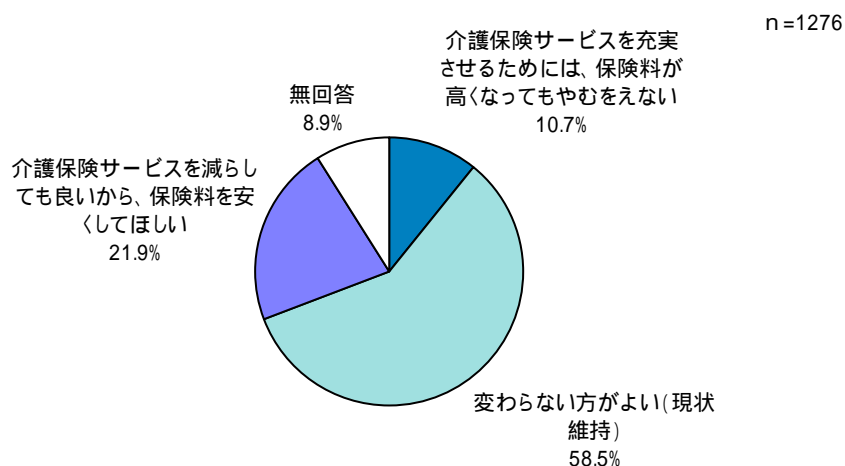
「第4段階」13.3%、「第5段階」9.7%、「第6段階」8.4%、「第2段階」5.8%、「第3段階」4.9%などの順である。「わからない」が36.0%である。



(8) 介護保険料の今後

問 27 あなたが納めている介護保険料について、次の3つの方針から、あえて1つ選ぶとしたら、どれを選びますか。(1つに)

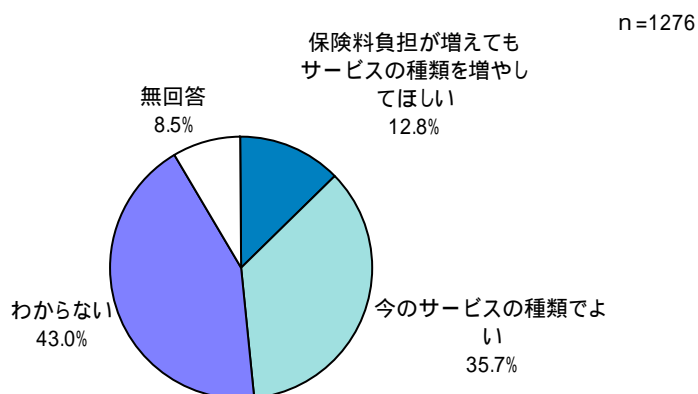
「変わらない方がよい(現状維持)」が58.5%、約6割である。「介護保険サービスを減らしても良いから、保険料を安くしてほしい」21.9%、「介護保険サービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない」10.7%である。



(9) サービスの種類と保険料負担

問 28 介護保険制度では、保険給付の対象となるサービスの種類が定められていますが、各市町村ごとに新たなサービスの種類を増やすことができます。この場合、皆さんの保険料負担が増えることになりましたが、このことについてどう思いますか。(1つに)

「わからない」43.0%、「今のサービスの種類でよい」35.7%、「保険料負担が増えてもサービスの種類を増やしてほしい」12.8%である。

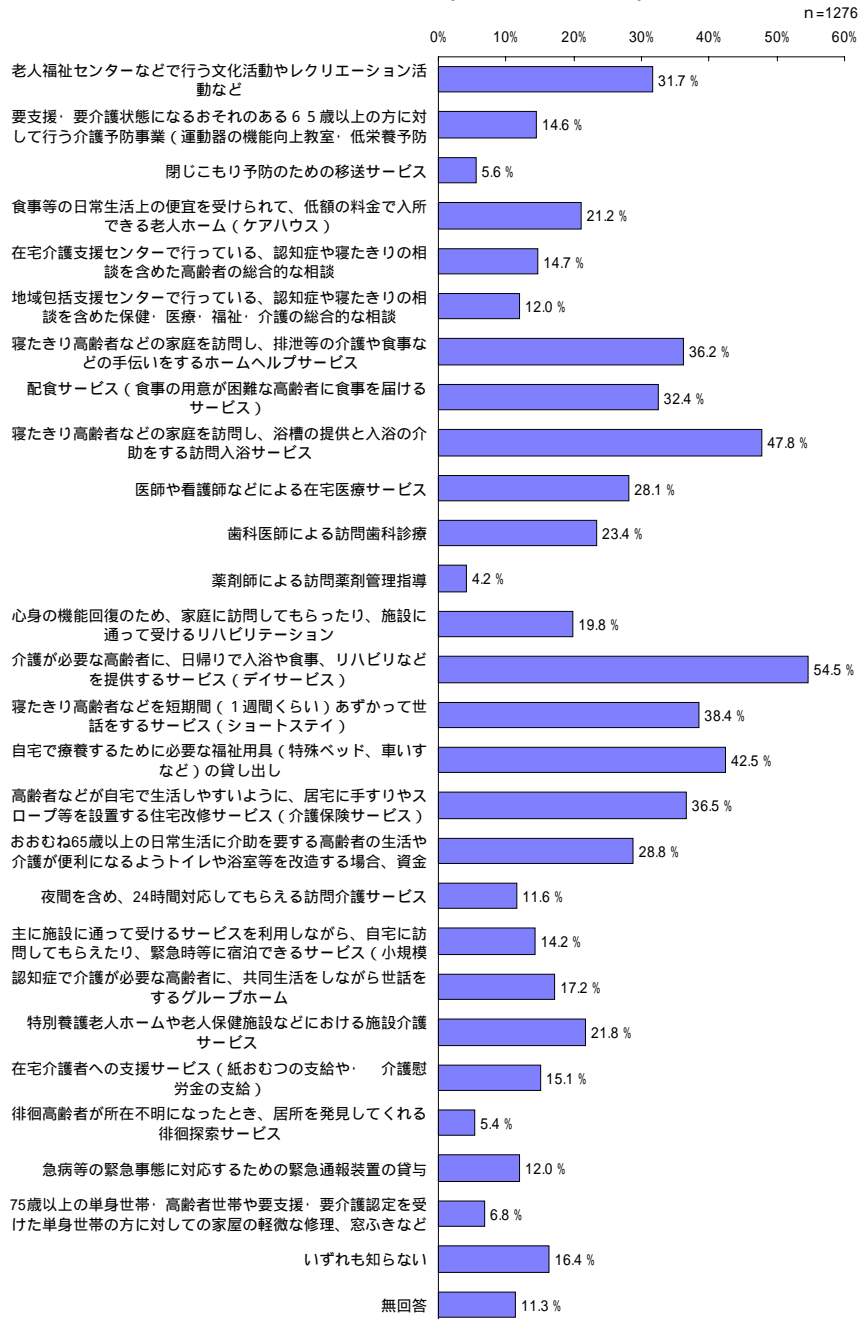


(10) 保健・医療・福祉サービス

問 29 あなたは次のような保健・医療・福祉サービスを知っていますか。(あてはまるものすべてに)

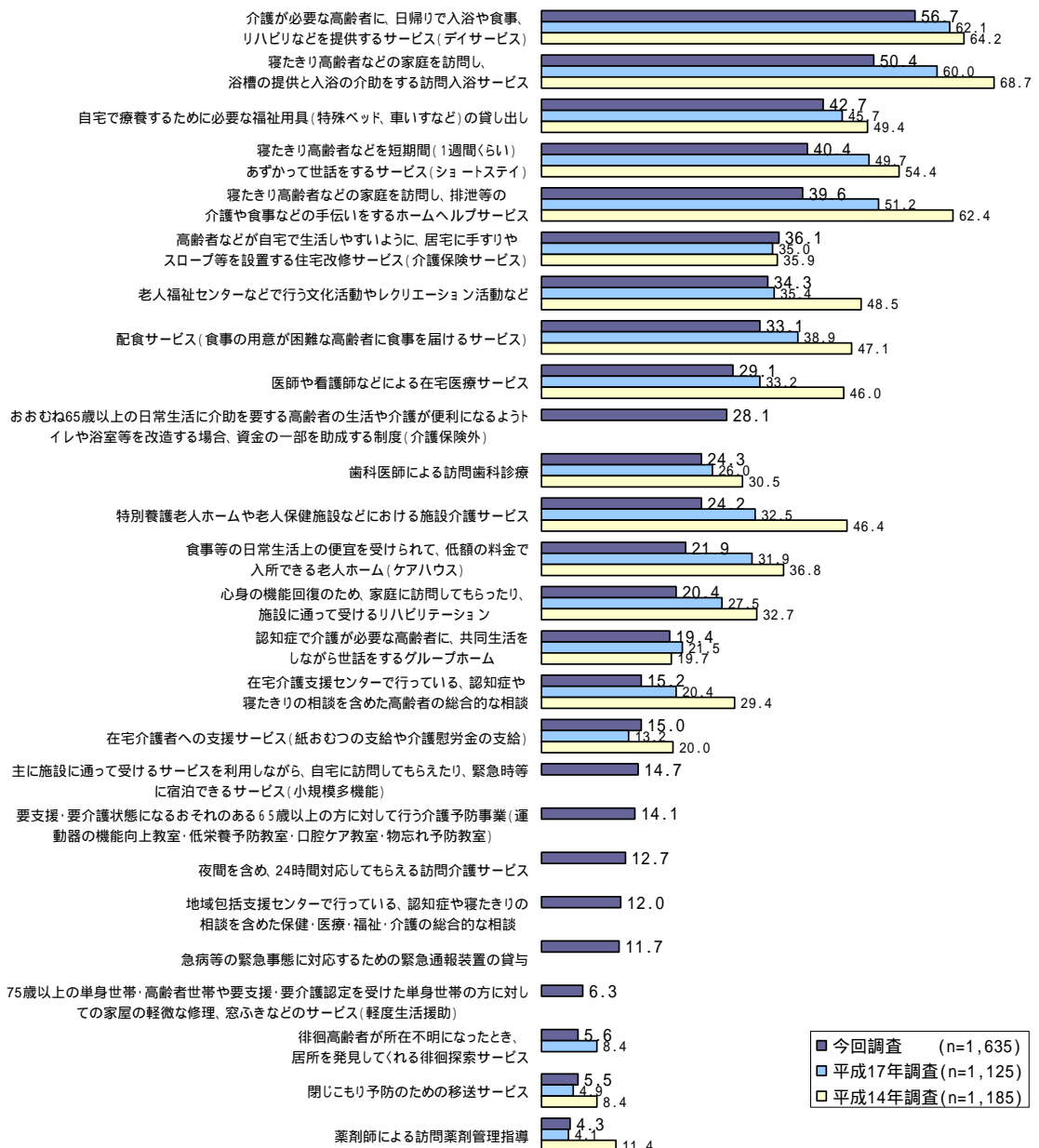
最も多いのが、「介護が必要な高齢者に、日帰りで入浴や食事、リハビリなどを提供するサービス(デイサービス)」54.5%、次いで「寝たきり高齢者などの家庭を訪問し、浴槽の提供と入浴の介助をする訪問入浴サービス」47.8%、「自宅で療養するために必要な福祉用具(特殊ベッド、車いすなど)の貸し出し」42.5%、「寝たきり高齢者などを短期間(1週間くらい)あずかって世話をするサービス(ショートステイ)」38.4%などである。

逆に、少ないのは「薬剤師による訪問薬剤管理指導」4.2%、「徘徊高齢者が所在不明になったとき、居所を発見してくれる徘徊探索サービス」5.4%、「閉じこもり予防のための移送サービス」5.6%、「75歳以上の単身世帯・高齢者世帯や要支援・要介護認定を受けた単身世帯の方に対しての家屋の軽微な修理、窓ふきなどのサービス(軽度生活援助)」6.8%などである。



【 経年比較 参考】

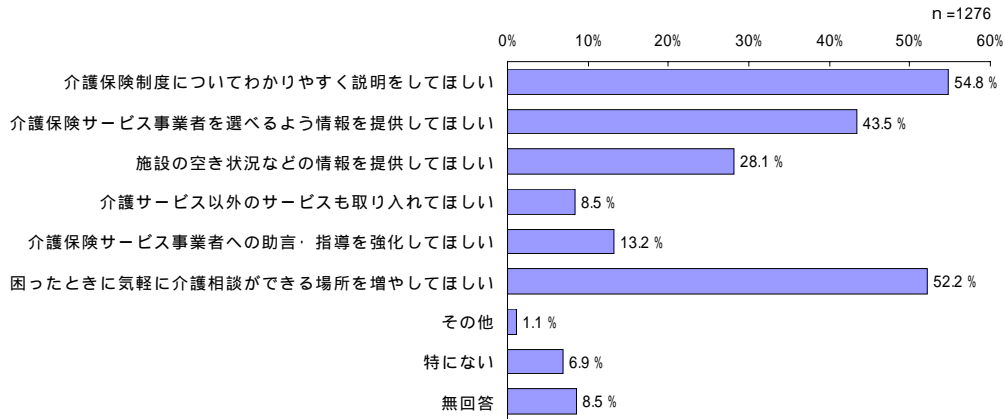
今回調査では、これまでの調査よりも選択肢が多いため、いずれの回答も少なくなっている。「介護が必要な高齢者に、日帰りで入浴や食事、リハビリなどを提供するサービス(デイサービス)」「寝たきり高齢者などの家庭を訪問し、浴槽の提供と入浴の介助をする訪問入浴サービス」の上位は変わらないが「自宅で療養するために必要な福祉用具(特殊ベッド、車いすなど)の貸し出し」や「寝たきり高齢者などの家庭を訪問し、排泄等の介護や食事などの手伝いをするホームヘルプサービス」などはやや順位を下げている。



(11) 市に期待すること

問30 今後の介護保険サービスについて、市に期待することは何ですか。(3つまでに)

「介護保険制度についてわかりやすく説明してほしい」54.8%、「困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい」52.2%、「介護保険サービス事業者を選べるよう情報を提供してほしい」43.5%、「施設の空き状況などの情報を提供してほしい」28.1%などである。

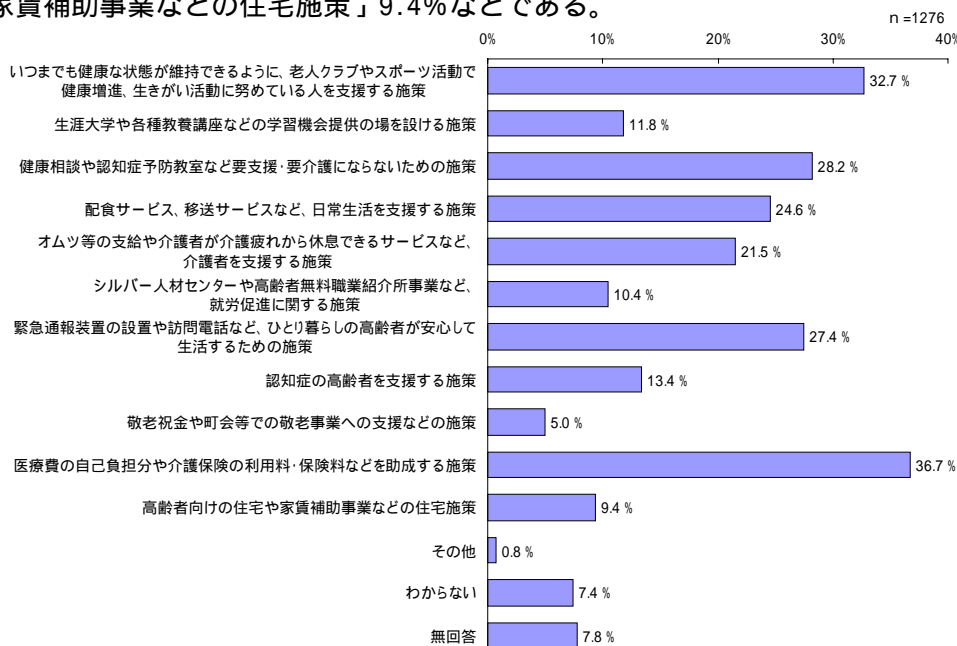


(12) 充実すべき高齢者施策

問31 あなたは、今後介護保険以外の施策で、どのような高齢者施策を充実すべきだと思いますか。(3つまでに)

「医療費の自己負担分や介護保険の利用料・保険料などを助成する施策」36.7%、「いつまでも健康な状態が維持できるように、老人クラブやスポーツ活動で健康増進、生きがい活動に努めている人を支援する施策」32.7%、「健康相談や認知症予防教室など要支援・要介護にならないための施策」28.2%、「緊急通報装置の設置や訪問電話など、ひとり暮らしの高齢者が安心して生活するための施策」27.4%、「配食サービス、移送サービスなど、日常生活を支援する施策」24.6%などである。

逆に少ないのは、「敬老祝金や町会等での敬老事業への支援などの施策」5.0%、「高齢者向けの住宅や家賃補助事業などの住宅施策」9.4%などである。

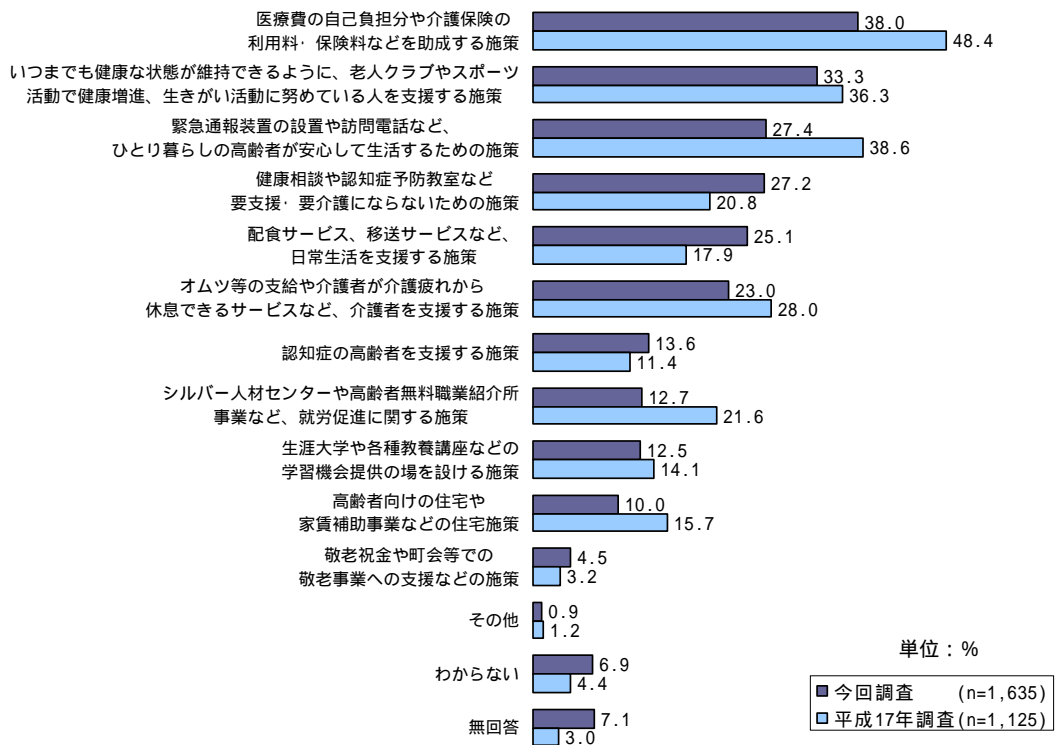


【ひとり暮らし・日中独居】

ひとり暮らしでは「緊急速報装置の設置や訪問電話など、ひとり暮らしの高齢者が安心して生活するための施策」42.9%が最も多い。日中ひとりであることの多い人は、全体結果とほぼ同じである。

【 経年比較 】

「健康相談や認知症予防教室など要支援・要介護にならないための施策」及び「配食サービス、移送サービスなど、日常生活を支援する施策」「認知症の高齢者を支援する施策」「敬老祝金や町会等での敬老事業への支援などの施策」を除いては、軒並み減っている。



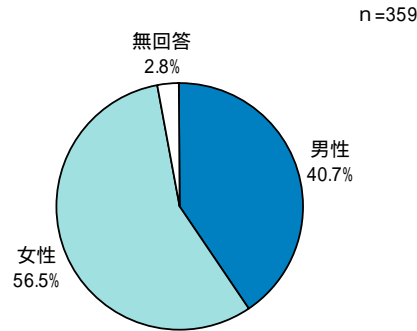
第2章 市民アンケート・若年者調査

1. あなたのことについて

(1) 性別

F 1 あなたの性別は。(1つに)

性別は、「女性」56.5%、「男性」40.7%であり、女性が男性を上回る。

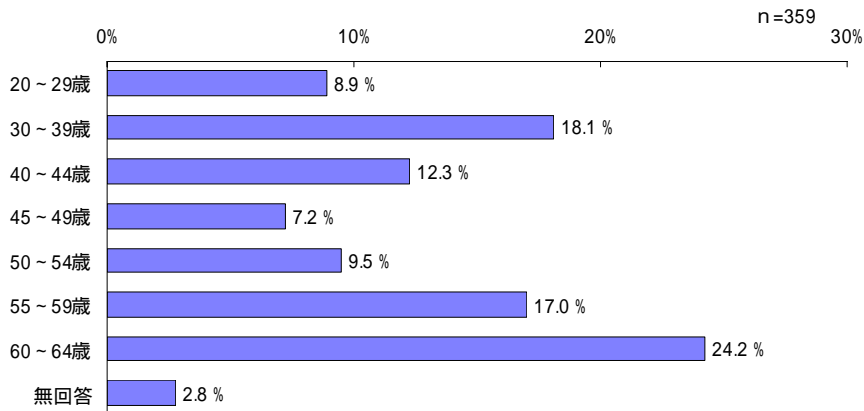


(2) 年齢

F 2 あなたの年齢は。(1つに)

年齢は「60～64歳」が24.2%、「30～39歳」が18.1%、「55～59歳」が17.0%、「40～44歳」12.3%などである。

第2号被保険者である40歳以上は70.2%、7割である。



[性別]

男性は「30～39歳」23.3%、「60～64歳」22.6%、「55～59歳」17.1%などの順であるが、女性は「60～64歳」26.6%、「55～59歳」17.7%などの順である。

第2号被保険者は、男性67.8%、女性75.3%である。

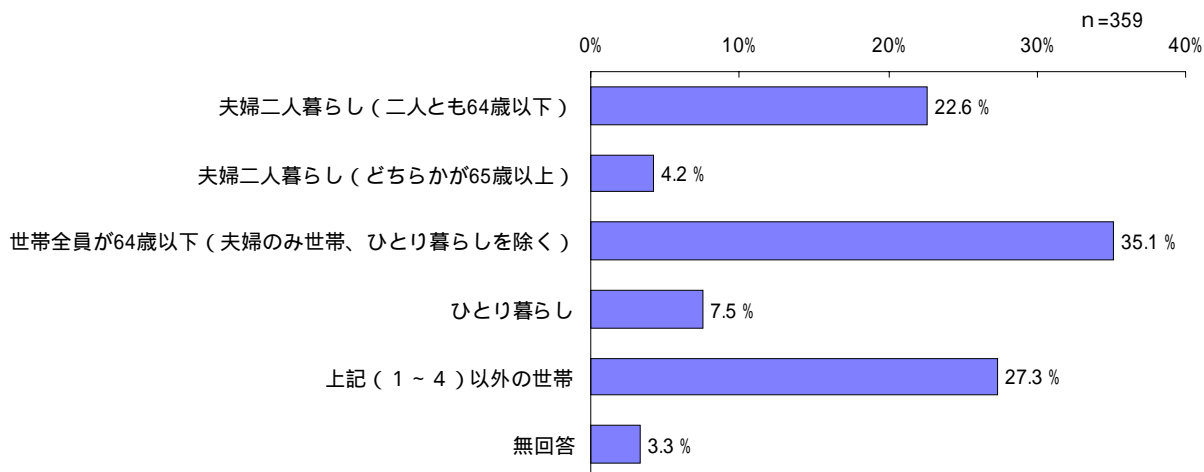
単位：%

		回答者数 (人)	20～29歳	30～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	無回答
全 体		359	8.9	18.1	12.3	7.2	9.5	17.0	24.2	2.8
性別	男性	146	8.9	23.3	13.0	6.2	8.9	17.1	22.6	0.0
	女性	203	9.4	15.3	12.3	8.4	10.3	17.7	26.6	0.0

(3) 同居家族

F 3 あなたが同居されているご家族は。(1 つに)

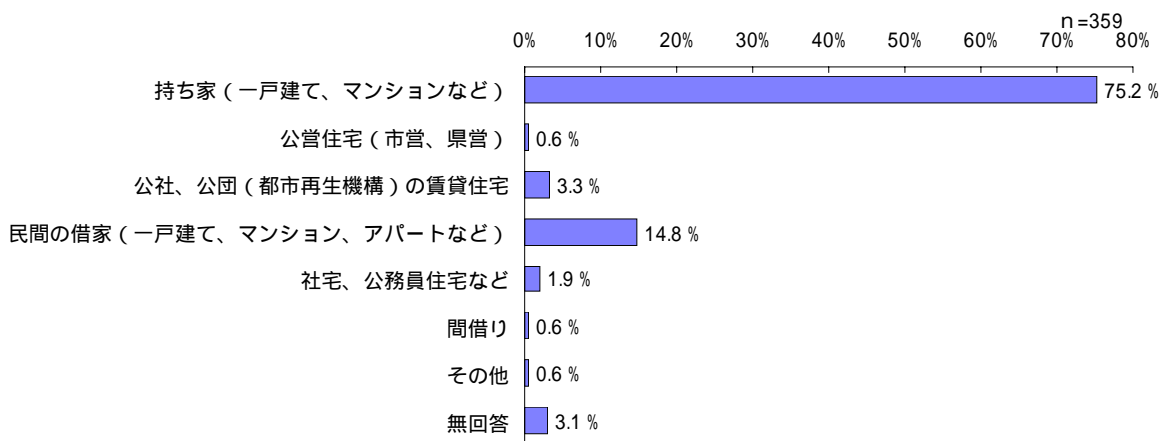
同居の家族は、「世帯全員が 64 歳以下 (夫婦のみ世帯、ひとり暮らしを除く)」35.1%、「上記以外の世帯」27.3%、「夫婦二人暮らし (二人とも 64 歳以下)」22.6%が主なところである。



(4) 住まい

F 4 お住まいは次のどれですか。(1 つに)

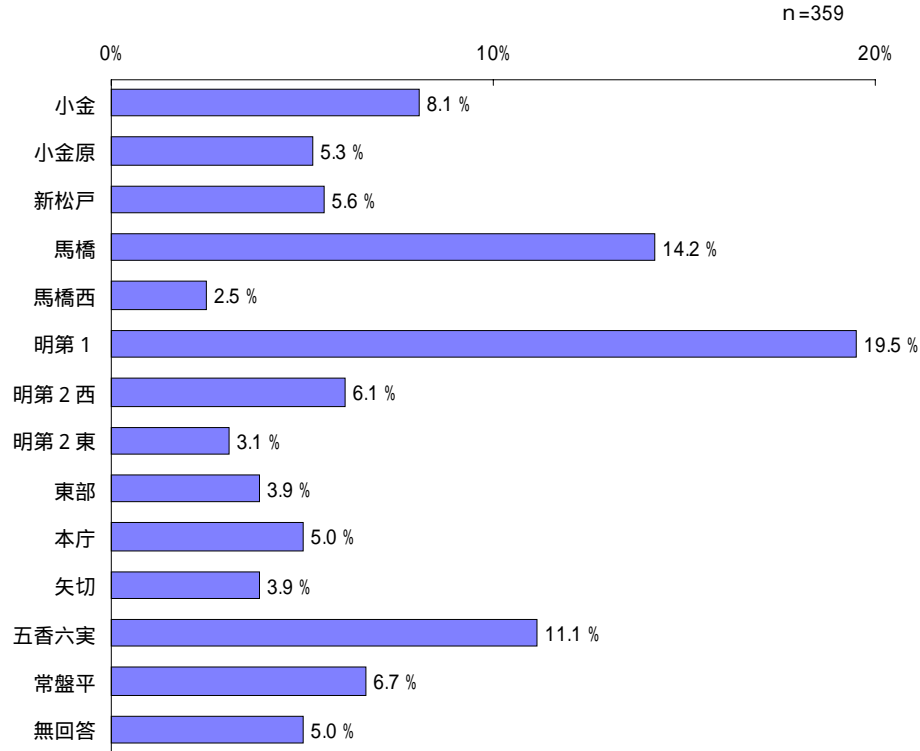
「持ち家 (一戸建て、マンションなど)」が 75.2%、以下「民間の借家 (一戸建て、マンション、アパートなど)」14.8%、「公社、公団 (都市再生機構) の賃貸住宅」3.3%などである。



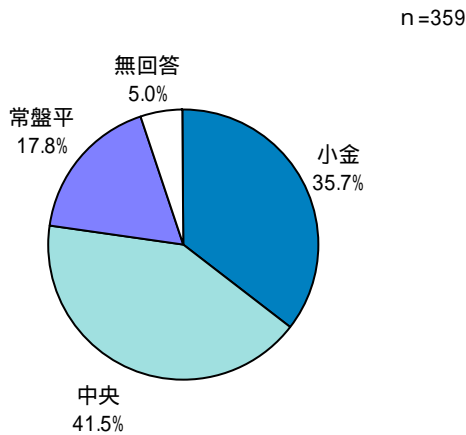
(5) 居住地区

F5 あなたの住所はどちらですか。(1つに)

13の日常生活圏域でみると「明第1」19.5%、「馬橋」14.2%、「五香六実」11.1%、「小金」8.1%、「常盤平」6.7%などの順である。



また、地域包括支援センター管轄では、「中央」41.5%、「小金」35.7%、「常盤平」17.8%である。



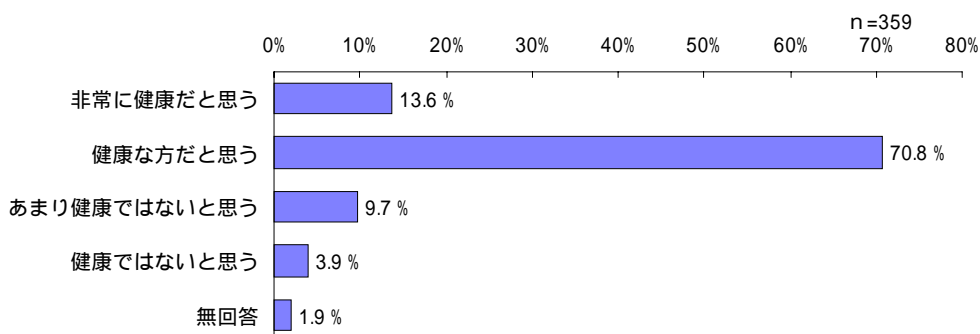
2. 健康や日常の生活状況等について

(1) 現在の健康状態

問1 現在のあなたの健康状態をお聞かせください。(1つに)

健康状態について「非常に健康だと思う」13.6%、「健康な方だと思う」70.8%、合わせた『健康』は84.4%と8割以上が健康であるとしている。「あまり健康ではないと思う」9.7%、「健康ではないと思う」3.9%である。

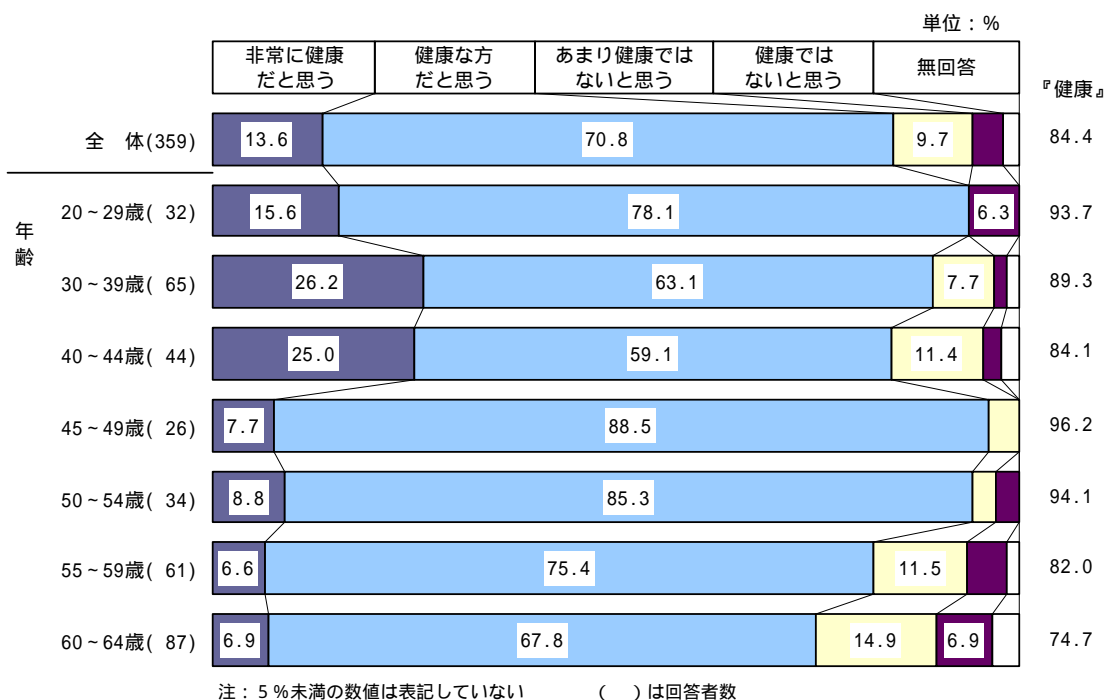
また、「あまり健康ではないと思う」と「健康ではないと思う」とした人にその理由を聞いたが、血圧に関する症状7件、足腰・リウマチ等及び生活習慣病ともに5件など疾病があげられた。



[性別・年齢]

性別では『健康』とする男性は84.3%、女性は85.7%とほとんど差はない。

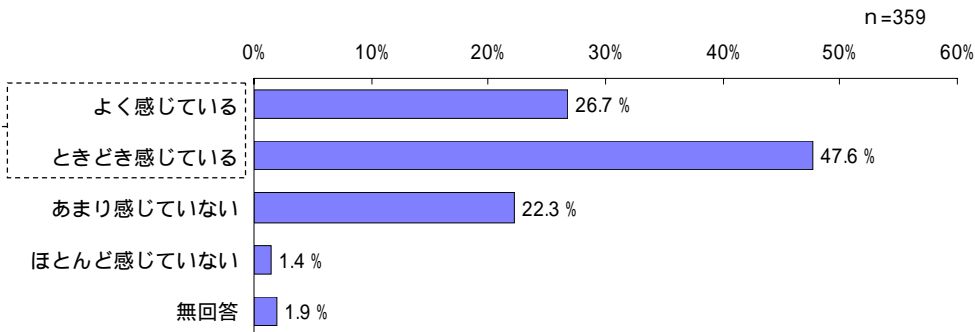
年齢では『健康』は45～49歳が96.2%、50～54歳が94.1%、20～29歳が93.7%と多いのに対し、60～64歳は74.7%、55～59歳は82.0%、40～44歳は84.1%にとどまる。



(2) 日常での生きがい

問2 日常生活を送る中で「こころのハリ」や「生きがい」を感じていますか。(1つに)

日常生活を送る中でこころのハリや生きがいについて、「よく感じている」26.7%、「ときどき感じている」47.6%、合わせた『感じている』は74.3%である。



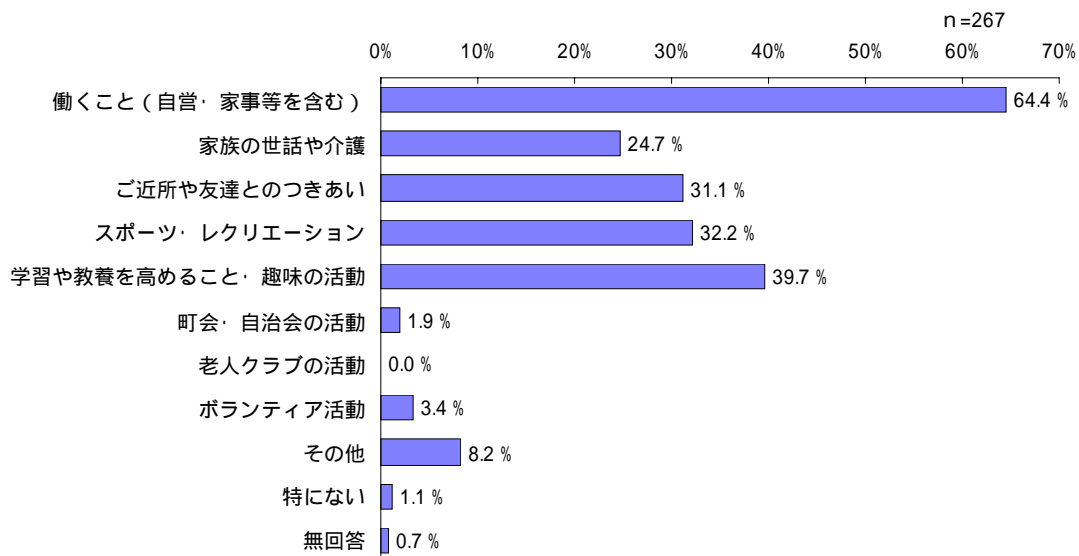
[性別・年齢]

『感じている』は女性の76.4%が男性の70.5%を上回り、年齢では「50～54歳」79.4%、「30～39歳」78.4%、「60～64歳」75.8%などの順であり、「55～59歳」の67.2%が最も少ない。

(3) 生きがいを感じることに

問2-1 あなたが、現在こころのハリや生きがいを感じていることは、どんなことですか。(3つまでに)

問2で『感じている』と答えた人にその内容を聞いた。最も多いのが、「働くこと(自営・家事等を含む)」64.4%、「学習や教養を高めること・趣味の活動」39.7%、「スポーツ・レクリエーション」32.2%、「ご近所や友達とのつきあい」31.1%、「家族の世話や介護」24.7%などである。



[性別・年齢]

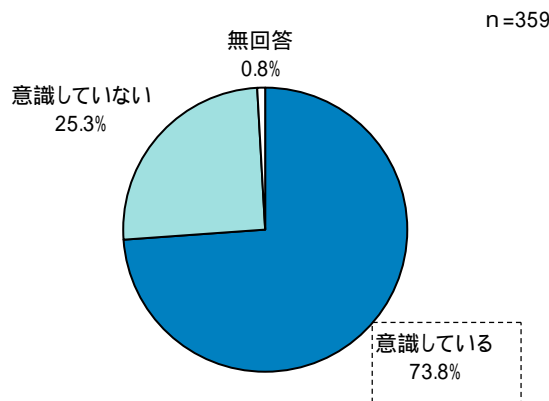
性別、年齢にかかわらず、1位は「働くこと(自営・家事等を含む)」である。中でも「40～44歳」は働き盛りということもあり、83.9%と最も多い。

2位は、男性が「スポーツ・レクリエーション」41.7%に対し、女性は「学習や教養を高めること・趣味の活動」45.8%である。年齢ではこうした項目に加えて、40～44歳では「家族の世話や介護」が35.5%、45～49歳及び50～54歳では「ご近所や友達とのつきあい」各47.4%、40.7%を2位としている。

(4) 健康づくりの意識

問3 普段健康づくりについて意識していますか。(1つに)

健康づくりを「意識している」73.8%、「意識していない」25.3%である。



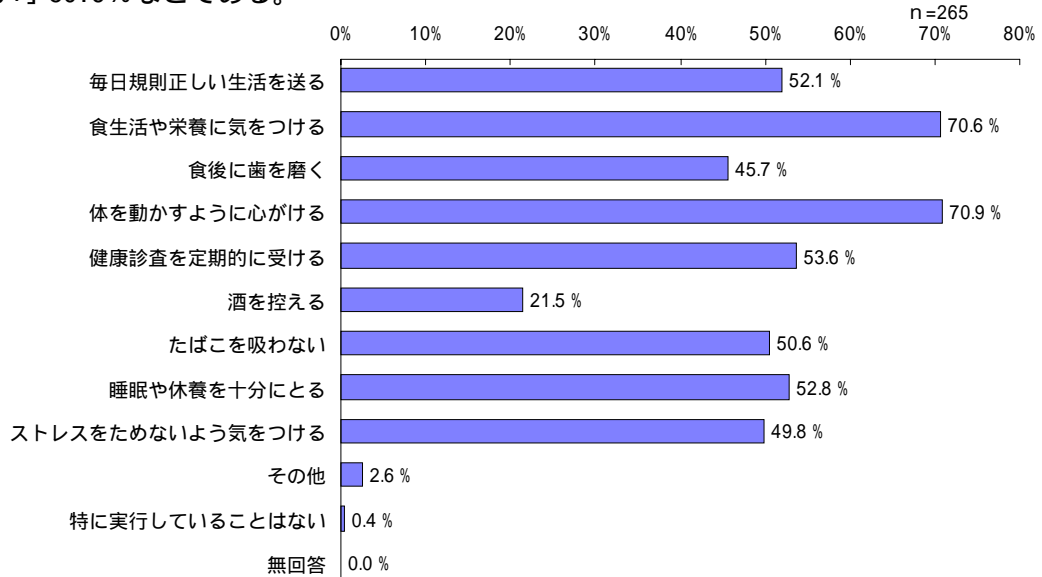
[性別・年齢]

「意識している」は女性77.3%が男性67.8%を上回り、年齢では加齢とともに多くなり、45～49歳で76.9%となり、50～54歳で70.6%とやや少なくなるが、55～59歳78.7%、60～64歳85.1%である。

(5) 実行している健康づくり

問3-1 健康づくりのために実行していることは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに)

問3で「意識している」と答えた人に実行していることを聞いた。「体を動かすように心がける」70.9%と「食生活や栄養に気をつける」70.6%が多くあげられ、以下「健康診査を定期的に受ける」53.6%、「睡眠や休養を十分にとる」52.8%、「毎日規則正しい生活を送る」52.1%、「たばこを吸わない」50.6%などである。



[性別・年齢]

最も多いのが男性は「体を動かすように心がける」70.7%に対し、女性は「食生活や栄養に気をつける」80.9%である。また、「毎日規則正しい生活を送る」に対しては、女性 58.6%が男性 42.4%を大きく上回る。

年齢で見ると、「体を動かすように心がける」と「食生活や栄養に気をつける」が多くあげられ、次いで「毎日規則正しい生活を送る」や「健康診査を定期的に受ける」などである。

単位: %

	回答者数 (人)	毎日規則正しい生活を送る	食生活や栄養に気をつける	食後に歯を磨く	体を動かすように心がける	健康診査を定期的に受ける	酒を控える	
全体	265	52.1	70.6	45.7	70.9	53.6	21.5	
性別	男性	99	42.4	54.5	28.3	70.7	47.5	21.2
	女性	157	58.6	80.9	58.0	70.1	57.3	21.7
年齢	20～29歳	19	21.1	57.9	52.6	57.9	10.5	5.3
	30～39歳	40	30.0	70.0	42.5	57.5	45.0	12.5
	40～44歳	31	58.1	74.2	45.2	83.9	54.8	19.4
	45～49歳	20	70.0	75.0	55.0	75.0	55.0	20.0
	50～54歳	24	37.5	79.2	33.3	62.5	66.7	33.3
	55～59歳	48	58.3	68.8	45.8	68.8	56.3	29.2
60～64歳	74	66.2	70.3	50.0	77.0	62.2	23.0	

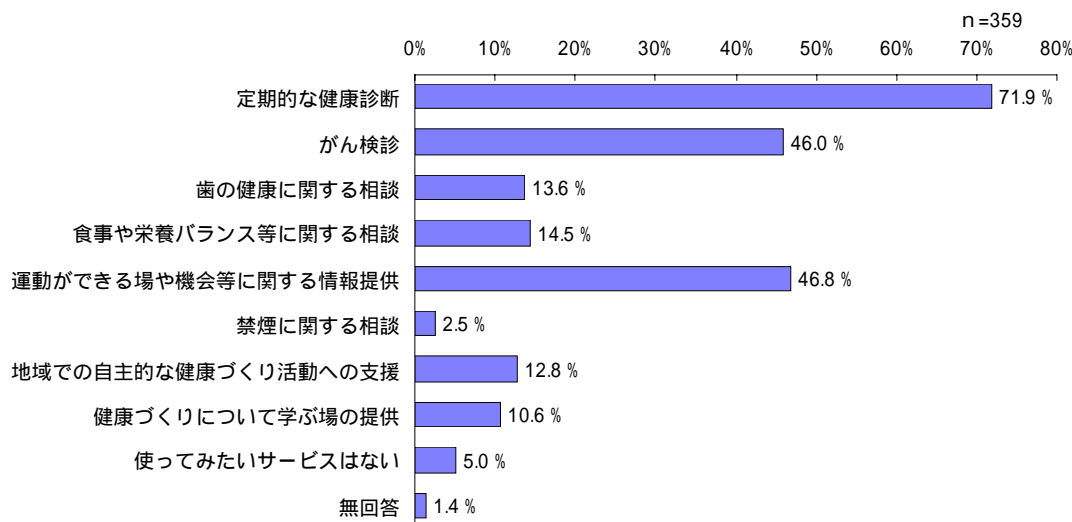
	回答者数 (人)	たばこを吸わない	睡眠や休養を十分にとる	ストレスをためないよう気をつける	その他	特に実行していることはない	無回答	
全体	265	50.6	52.8	49.8	2.6	0.4	0.0	
性別	男性	99	50.5	53.5	43.4	1.0	0.0	0.0
	女性	157	51.0	52.2	54.8	2.5	0.6	0.0
年齢	20～29歳	19	36.8	47.4	42.1	5.3	0.0	0.0
	30～39歳	40	52.5	52.5	42.5	0.0	2.5	0.0
	40～44歳	31	48.4	54.8	48.4	0.0	0.0	0.0
	45～49歳	20	50.0	45.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	50～54歳	24	37.5	33.3	50.0	4.2	0.0	0.0
	55～59歳	48	54.2	52.1	41.7	4.2	0.0	0.0
60～64歳	74	56.8	62.2	66.2	1.4	0.0	0.0	

丸数字は順位

(6) 健康維持に使いたいサービス

問4 今後、健康を維持するためにどのようなサービスを使ってみたいと思っていますか。(3つまでに)

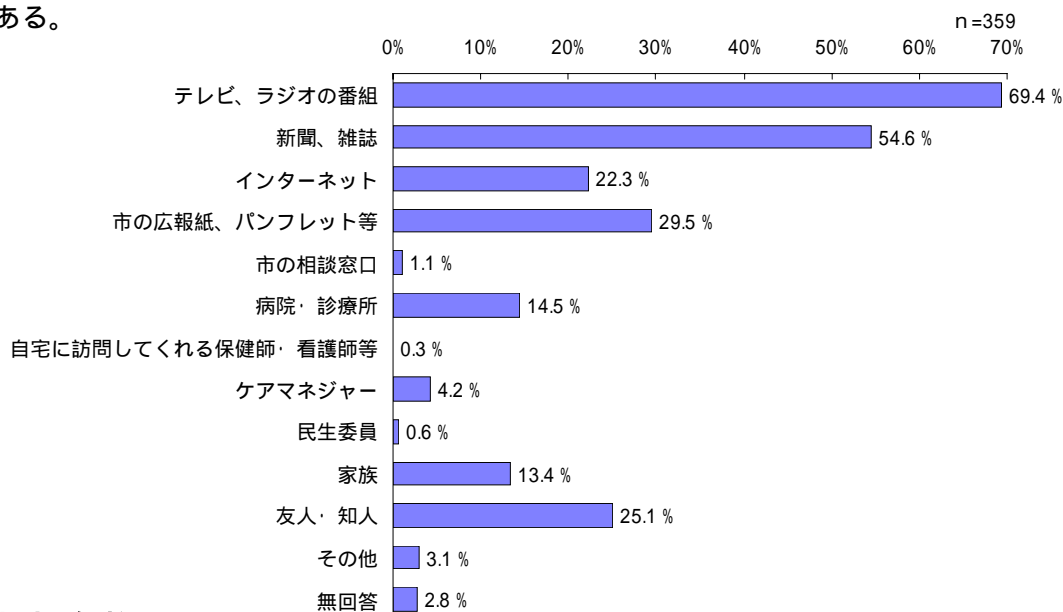
「定期的な健康診断」71.9%が最も多く、「運動ができる場や機会等に関する情報提供」46.8%、「がん検診」46.0%が主なものであり、以下とはやや差がある。



(7) 健康等の情報の入手先

問5 健康維持や介護サービスに関する情報はどこから得ていますか。(3つまでに)

健康や介護サービスに関する情報は、「テレビ、ラジオの番組」69.4%、「新聞、雑誌」54.6%、「市の広報紙、パンフレット等」29.5%、「友人・知人」25.1%、「インターネット」22.3%などである。



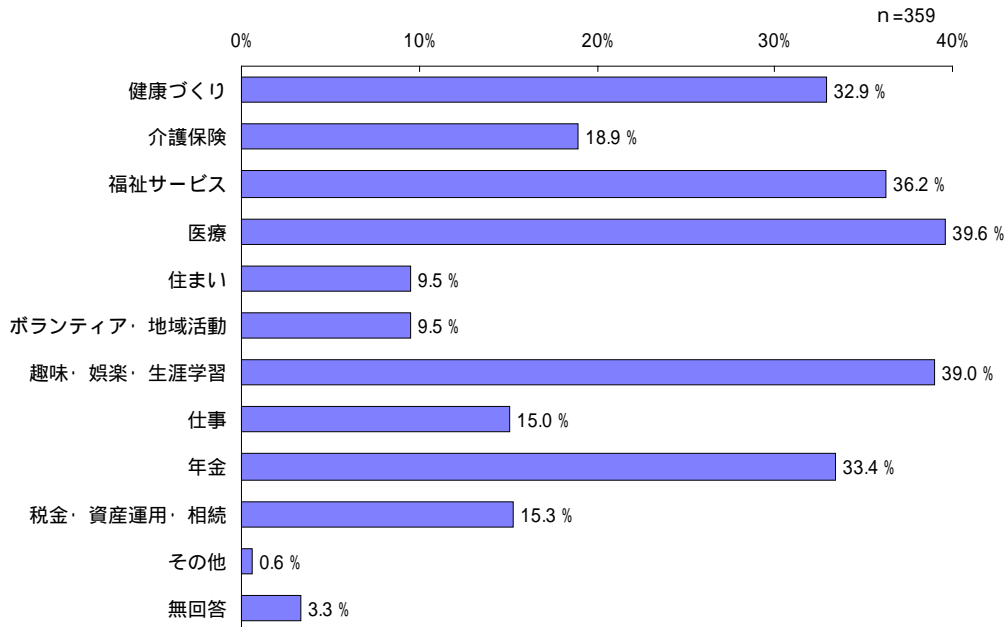
[性別・年齢]

性別・年齢にかかわらず、「テレビ、ラジオの番組」、「新聞、雑誌」が多い。「インターネット」は55歳以上で急に少なくなり、その分「市の広報紙、パンフレット等」が多くなる。

(8) 今後、必要とする情報

問6 今後どんな情報を必要としていますか。(3つまでに)

今後、どんな情報を必要とするかは「医療」39.6%、「趣味・娯楽・生涯学習」39.0%、「福祉サービス」36.2%、「年金」33.4%、「健康づくり」32.9%などである。



[性別・年齢]

最も多い「医療」は、性別、年齢で見ると40～44歳の45.5%のみ1位にあげている。「趣味・娯楽・生涯学習」を1位にあげているのは、男性の41.1%、20～29歳の43.8%、30～39歳の46.2%、45～49歳の53.8%であり、55～59歳及び60～64歳は「福祉サービス」の各47.5%、44.8%である。また、60～64歳は「健康づくり」を同率で1位としている。

単位：%

	回答者数 (人)	健康づくり	介護保険	福祉サービス	医療	住まい	ボランティア・地域活動	
全体	359	32.9	18.9	36.2	39.6	9.5	9.5	
性別	男性	146	33.6	15.1	23.3	38.4	12.3	8.9
	女性	203	31.5	22.7	46.3	39.9	7.4	9.9
年齢	20～29歳	32	28.1	6.3	12.5	25.0	21.9	6.3
	30～39歳	65	24.6	15.4	23.1	43.1	13.8	4.6
	40～44歳	44	31.8	15.9	43.2	45.5	4.5	11.4
	45～49歳	26	23.1	7.7	50.0	50.0	0.0	3.8
	50～54歳	34	29.4	35.3	26.5	29.4	17.6	2.9
	55～59歳	61	31.1	23.0	47.5	36.1	8.2	14.8
	60～64歳	87	44.8	24.1	44.8	41.4	4.6	13.8

	回答者数 (人)	趣味・娯楽・生涯学習	仕事	年金	税金・資産運用・相続	その他	無回答	
全体	359	39.0	15.0	33.4	15.3	0.6	3.3	
性別	男性	146	41.1	19.9	36.3	19.9	0.7	3.4
	女性	203	36.9	11.3	32.5	12.8	0.5	2.5
年齢	20～29歳	32	43.8	31.3	31.3	28.1	0.0	3.1
	30～39歳	65	46.2	15.4	32.3	20.0	0.0	1.5
	40～44歳	44	29.5	13.6	31.8	9.1	2.3	9.1
	45～49歳	26	53.8	19.2	38.5	15.4	0.0	0.0
	50～54歳	34	26.5	17.6	55.9	23.5	2.9	0.0
	55～59歳	61	32.8	11.5	41.0	13.1	0.0	1.6
	60～64歳	87	40.2	9.2	23.0	10.3	0.0	3.4

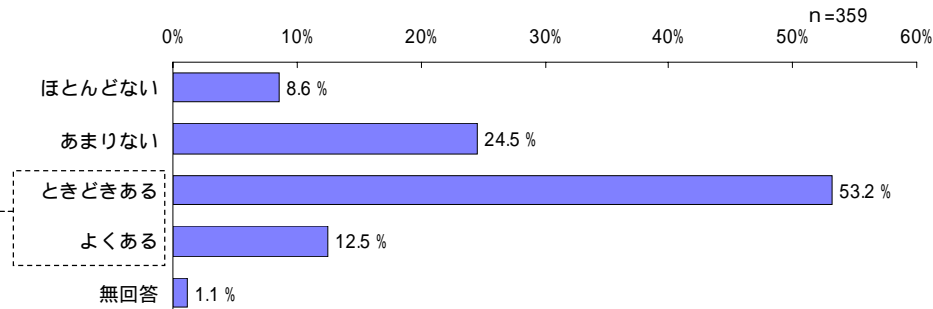
丸数字は順位

(9) 生活での不安・心配

問7 現在、生活の中で不安になったり、心配になったりすることはありますか。
(1つに)

生活の中での不安・心配は、「ときどきある」53.2%、「あまりない」24.5%、「よくある」12.5%、「ほとんどない」8.6%である。

「ときどきある」と「よくある」を合わせた『ある』は65.7%である。



[性別・年齢]

『ある』は男性が69.2%、女性が63.5%である。年齢では50～54歳が82.3%と他の年齢を大きく上回る。最も少ないのは、60～64歳の56.3%である。

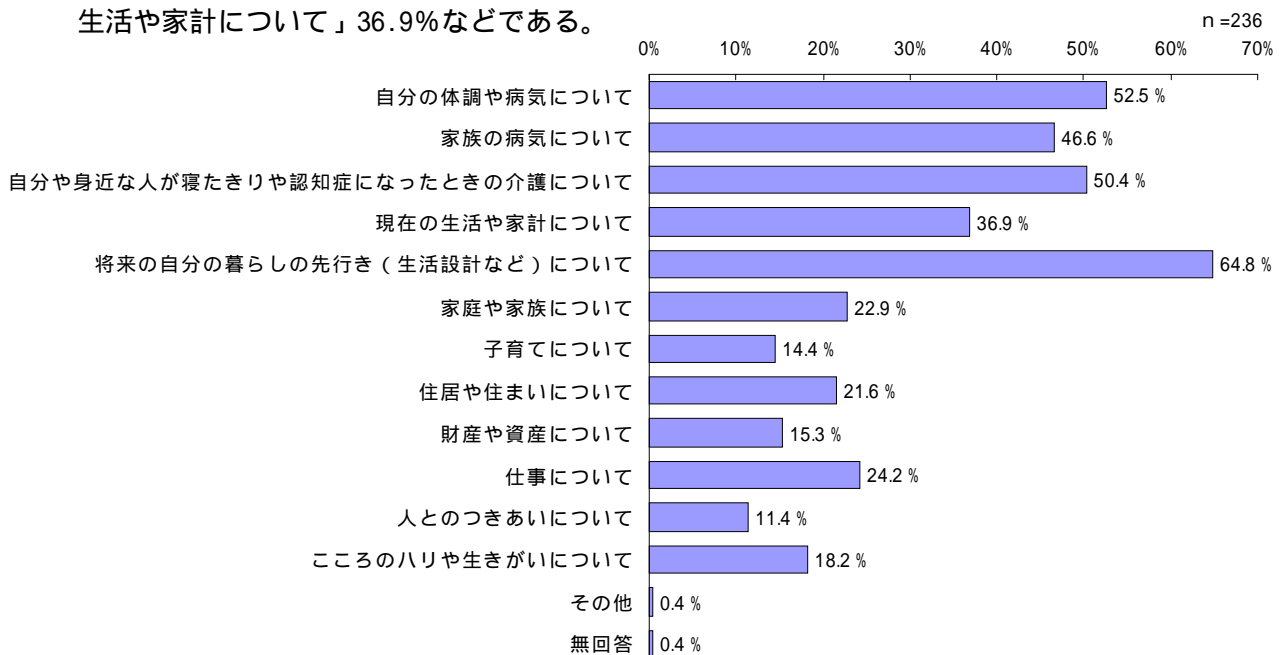
[ひとり暮らし]

『ある』は62.9%である。

(10) 不安・心配の内容

問7-1 次にあげた項目のうち不安になったり、心配になったりするのはどんなことですか。(あてはまるものすべてに)

問7で『ある』と答えた人に、その内容を聞いた。「将来の自分の暮らしの先行き(生活設計など)について」が64.8%、次いで「自分の体調や病気について」52.5%、「自分や身近な人が寝たきりや認知症になったときの介護について」50.4%、「家族の病気について」46.6%、「現在の生活や家計について」36.9%などである。



[性別・年齢]

「将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について」は男性 70.3%、女性 60.5%、いずれも 1 位である。

年齢では 20～29 歳の 81.8%、30～39 歳の 73.9%、40～44 歳の 56.7%、さらには 55～59 歳の 62.5.%で 1 位としている。これに対し、45～49 歳及び 50～54 歳は、「自分や身近な人が寝たきりや認知症になったときの介護について」が各 73.3%、60.7%と 1 位としている。また、40～44 歳は「将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について」と同率で 1 位としている。

60～64 歳の 1 位は、「自分の体調や病気について」69.4%である。

単位：%

	回答者数 (人)	自分の 体調や病気 について	家族の 病気につ いて	自分や身近な 人が寝たきりや認知 症になったときの 介護について	現在の 生活や家計 について	将来の自分の 暮らしの先行き (生活設計など) について	家庭や 家族につ いて	子育てに ついて
全 体	236	52.5	46.6	50.4	36.9	64.8	22.9	14.4
性 別	男性	101	57.4	51.5	40.6	39.6	70.3	20.8
	女性	129	46.5	43.4	58.9	34.1	60.5	24.0
年 齢	20～29歳	22	40.9	36.4	27.3	45.5	81.8	36.4
	30～39歳	46	41.3	52.2	54.3	32.6	73.9	13.0
	40～44歳	30	43.3	46.7	56.7	50.0	56.7	16.7
	45～49歳	15	46.7	33.3	73.3	33.3	66.7	20.0
	50～54歳	28	46.4	39.3	60.7	25.0	53.6	17.9
	55～59歳	40	57.5	50.0	40.0	27.5	62.5	22.5
	60～64歳	49	69.4	53.1	51.0	42.9	61.2	32.7

	回答者数 (人)	住居や 住まいに ついて	財産や 資産に ついて	仕事に ついて	人との つきあいに ついて	こころのハリ や生きがいに ついて	その他	無回答
全 体	236	21.6	15.3	24.2	11.4	18.2	0.4	0.4
性 別	男性	101	20.8	16.8	30.7	9.9	11.9	1.0
	女性	129	21.7	14.0	18.6	13.2	24.0	0.0
年 齢	20～29歳	22	31.8	22.7	54.5	36.4	18.2	0.0
	30～39歳	46	21.7	23.9	28.3	13.0	13.0	0.0
	40～44歳	30	20.0	13.3	30.0	16.7	16.7	0.0
	45～49歳	15	6.7	13.3	13.3	0.0	40.0	0.0
	50～54歳	28	17.9	7.1	17.9	0.0	10.7	0.0
	55～59歳	40	15.0	12.5	25.0	15.0	32.5	2.5
	60～64歳	49	28.6	12.2	8.2	4.1	12.2	0.0

丸数字は順位

[同居家族]

夫婦二人暮らし（どちらかが 65 歳以上）を除いては、「将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について」が最も多く、中でもひとり暮らしは 76.5%と他を大きく上回る。

夫婦二人暮らし（どちらかが 65 歳以上）は、「家族の病気について」87.5%であり、同じ夫婦二人暮らし（二人とも 64 歳以下）の 50.0%とは大きな差がある。

単位：%

	回答者数 (人)	自分の 体調や病気 について	家族の 病気につ いて	自分や身近な 人が寝たきりや認知 症になったときの 介護について	現在の 生活や家計 について	将来の自分の 暮らしの先行き (生活設計など) について	家庭や 家族につ いて	子育てに ついて
同居家族	夫婦二人暮らし (二人とも64歳以下)	50	52.0	50.0	44.0	40.0	66.0	20.0
	夫婦二人暮らし (どちらかが65歳以上)	8	62.5	87.5	50.0	50.0	50.0	0.0
	世帯全員が64歳以下 (夫婦のみ世帯、ひとり暮らしを除く)	82	45.1	39.0	54.9	31.7	67.1	25.6
	ひとり暮らし	17	58.8	41.2	29.4	64.7	76.5	5.9
	上記以外の世帯	71	54.9	52.1	54.9	32.4	60.6	28.2

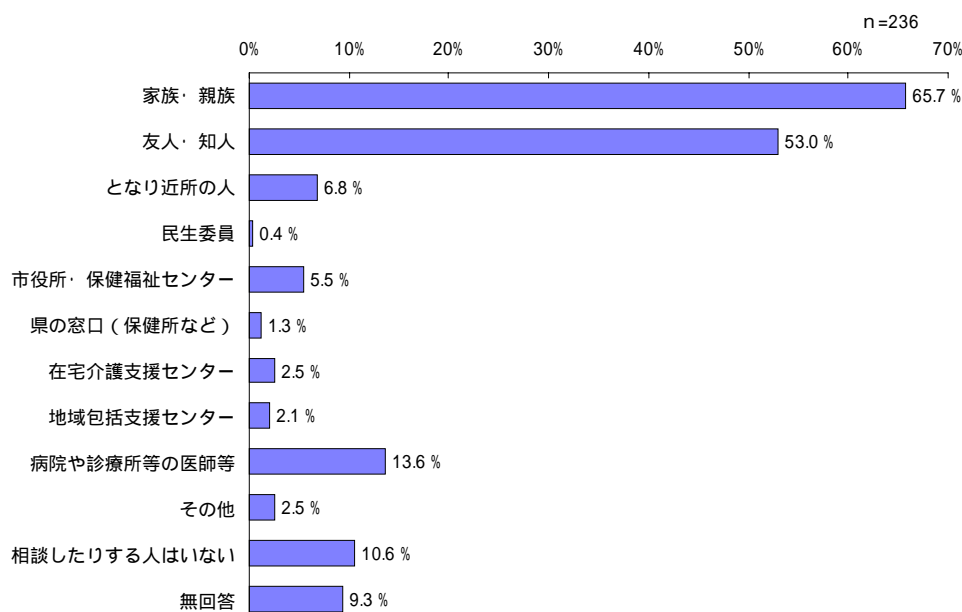
	回答者数 (人)	住居や 住まいに ついて	財産や 資産に ついて	仕事に ついて	人との つきあいに ついて	こころのハリ や生きがいに ついて	その他	無回答
同居家族	夫婦二人暮らし (二人とも64歳以下)	50	26.0	16.0	20.0	8.0	24.0	0.0
	夫婦二人暮らし (どちらかが65歳以上)	8	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	世帯全員が64歳以下 (夫婦のみ世帯、ひとり暮らしを除く)	82	19.5	19.5	23.2	9.8	19.5	0.0
	ひとり暮らし	17	35.3	0.0	29.4	23.5	23.5	0.0
	上記以外の世帯	71	18.3	15.5	26.8	15.5	14.1	1.4

丸数字は順位

(11) 不安・心配の相談相手

問7-2 不安になったり、心配になったりしたとき、だれかに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(あてはまるものすべてに)

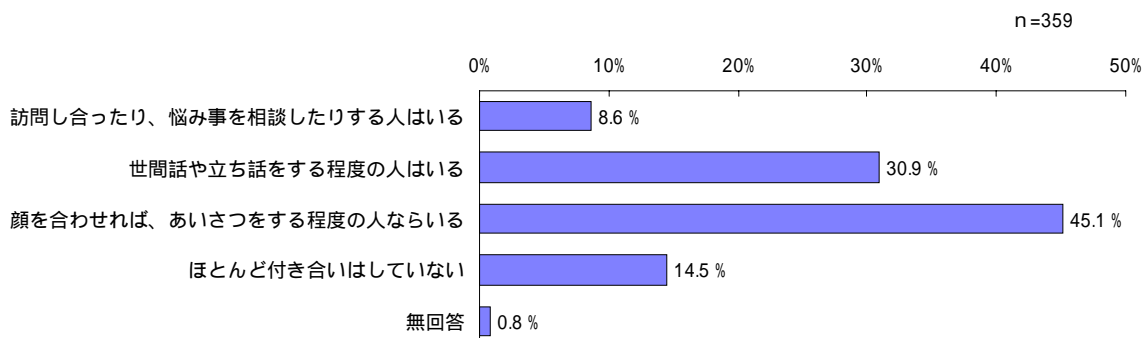
問7-1の内容に引き続き、相談相手を聞いた。「家族・親族」65.7%、「友人・知人」53.0%が主なところであり、以下の「病院や診療所等の医師等」13.6%などとは差がある。



(12) 隣近所との付き合い

問8 あなたは、日頃、隣近所の方とどの程度の付き合いをしていますか。(1つに)

隣近所との付き合いは、「顔を合わせれば、あいさつをする程度の人ならいる」45.1%、「世間話や立ち話をする程度の人はいる」30.9%、「ほとんど付き合いはしていない」14.5%、「訪問し合ったり、悩み事を相談したりする人はいる」8.6%の順である。



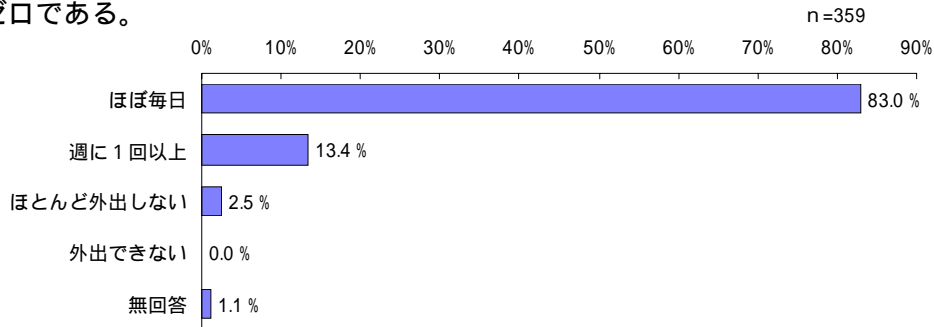
[ひとり暮らし]

ひとり暮らしの「顔を合わせれば、あいさつをする程度の人ならいる」は55.6%、「ほとんど付き合いはしていない」は29.6%といずれも全体を10ポイント以上上回る。

(13) 外出の頻度

問9 日ごろ、どの程度外出していますか。(1つに)

「ほぼ毎日」が83.0%、「週に1回以上」13.4%、「ほとんど外出しない」2.5%、「外出できない」はゼロである。



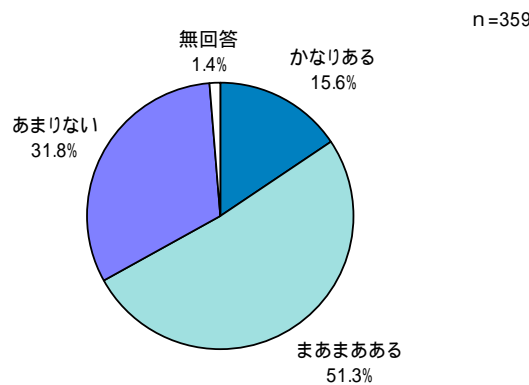
3.暮らし向きや各種活動への参加について

(1) ゆとり

問10 あなたは、自分自身のふだんの生活の中でどの程度ゆとりがあると感じていますか。時間的なゆとりと経済的なゆとりにわけてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに)

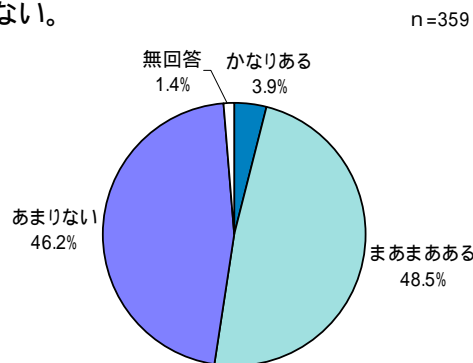
時間的なゆとり

時間的なゆとりは「まあまあある」が51.3%、「あまりない」31.8%、「かなりある」15.6%である。



経済的なゆとり

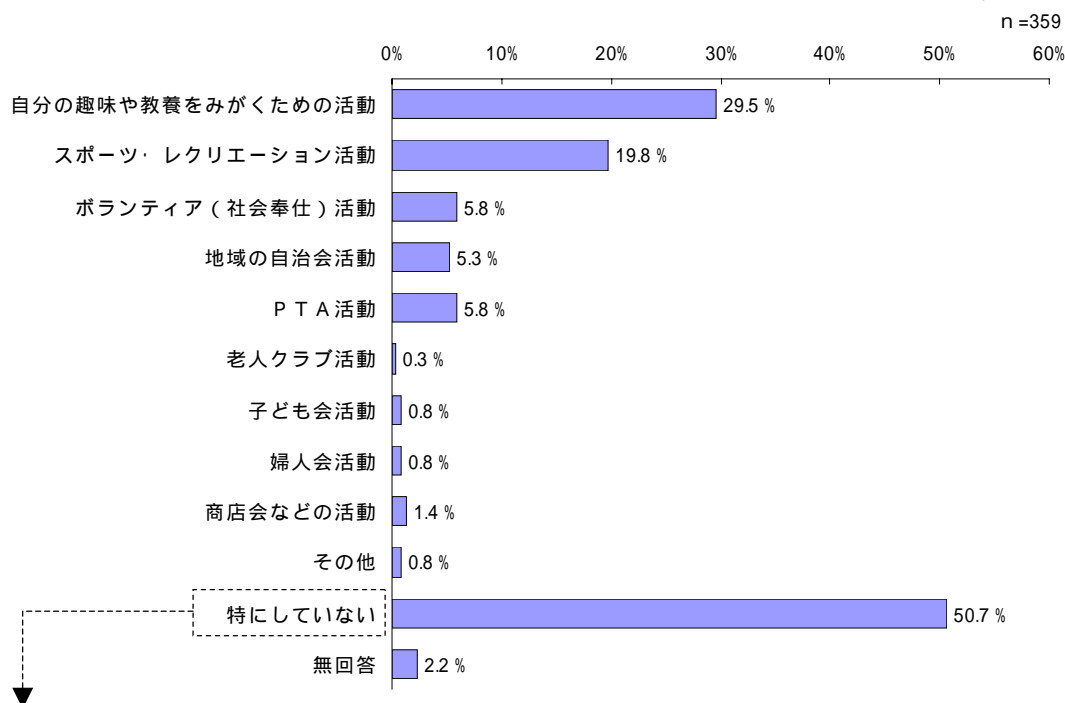
経済的なゆとりは「まあまあある」の48.5%と「あまりない」の46.2%が同程度である。「かなりある」は3.9%と少ない。



(2) 現在、参加している活動

問 11 あなたは、現在、以下のような活動に参加していますか。(は3つまで)

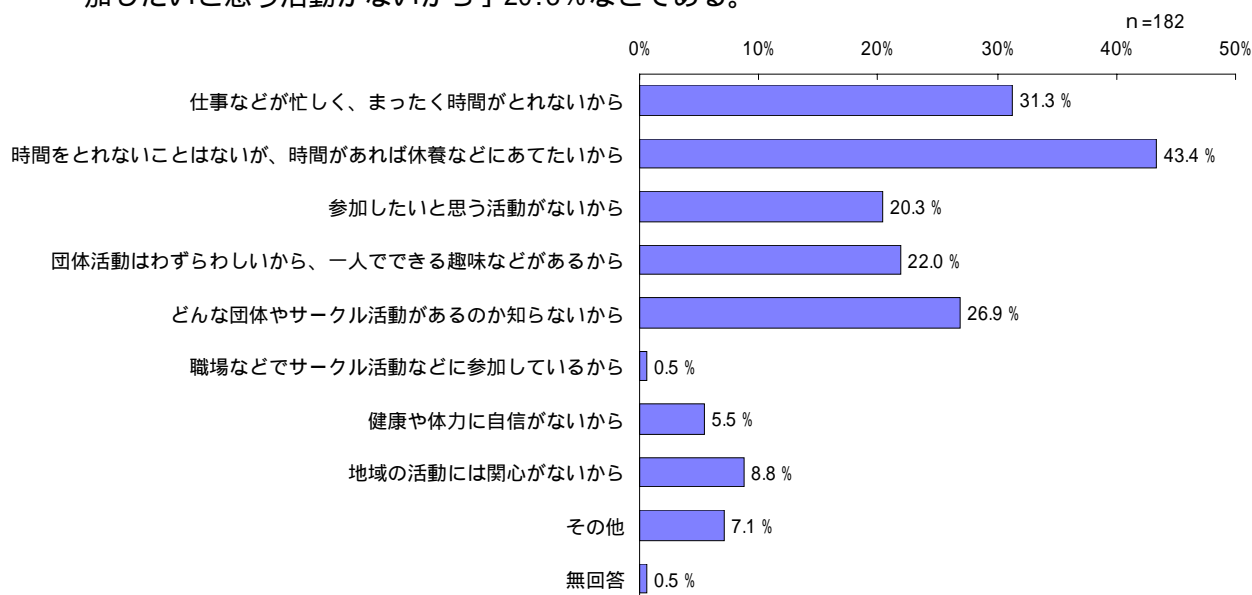
「特にしていない」が半数の 50.7%である。参加している活動で多いのは、「自分の趣味や教養をみがくための活動」29.5%と「スポーツ・レクリエーション活動」19.8%である。



(3) 特にしていない理由

問 11- 1 特にしていないのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに)

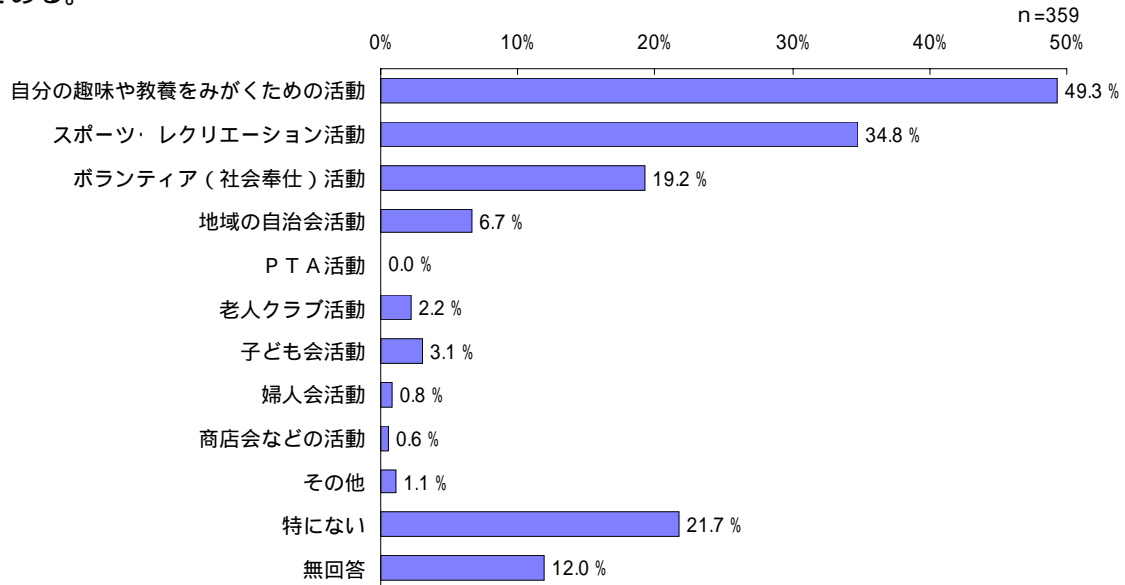
問 11 で「特にしていない」と答えた人にその理由を聞いたものである。最も多いのは「時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから」43.4%である。以下「仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから」31.3%、「どんな団体やサークル活動があるのか知らないから」26.9%、「団体活動はわずらわしいから、一人でできる趣味などがあるから」22.0%、「参加したいと思う活動がないから」20.3%などである。



(4) 今後、参加したいこと

問12 問11のこうした活動の中で、今後参加したいことは何ですか。(あてはまるものすべてに)

今後、参加したいことは、「自分の趣味や教養をみかくための活動」49.3%、「スポーツ・レクリエーション活動」34.8%、「特にない」21.7%、「ボランティア(社会奉仕)活動」19.2%などである。

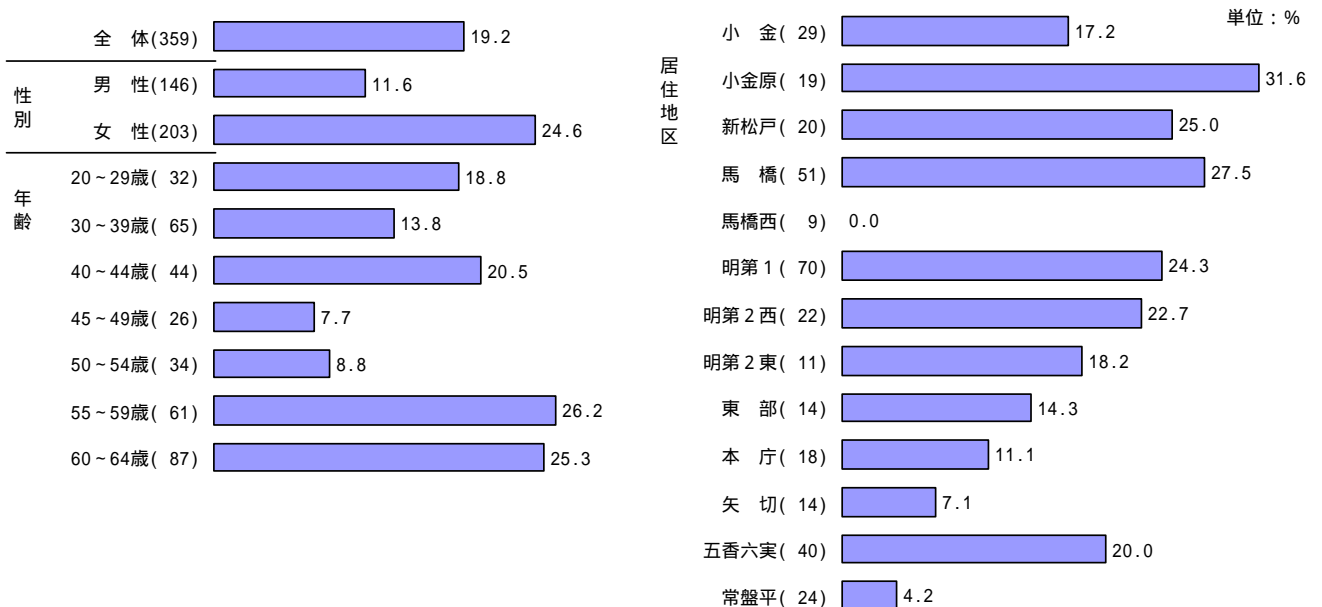


[性別・年齢・居住地区]

「ボランティア活動」は、性別では女性の24.6%が男性11.6%を上回る。年齢では55~59歳26.2%、60~64歳25.3%、40~44歳20.5%、20~29歳18.8%などの順である。

居住地区は、小金原31.6%、馬橋27.5%、新松戸25.0%、明第124.3%、明第2西22.7%などの順である。

< ボランティア活動への参加意向 >



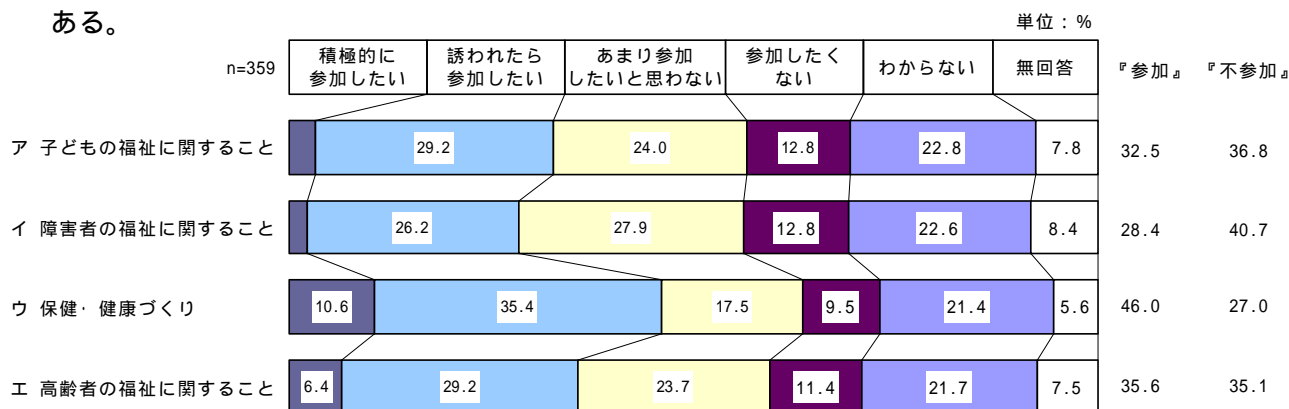
()は回答者数

(5) ボランティア活動

問 13 あなたは、以下のようなボランティア活動に参加してみたいと思いますか。
(それぞれあてはまる番号1つに)

どのようなボランティア活動に参加したいかについては、「積極的に参加したい」が最も多いのは「保健・健康づくり」の10.6%、次いで「高齢者の福祉に関すること」6.4%などである。「誘われたら参加したい」を合わせた『参加したい』についても、「保健・健康づくり」46.0%、「高齢者の福祉に関すること」35.6%などの順である。

これに対し、「あまり参加したいと思わない」と「参加したくない」を合わせた『参加したくない』は、「障害者の福祉に関すること」40.7%、「子どもの福祉に関すること」36.8%などの順である。



注：5%未満の数値は表記していない

[性別・年齢・居住地区]

20～29歳を除いては、性別、年齢にかかわらず、「保健・健康づくり」が最も多い。居住地区においても、小金原及び東部、常盤平を除いては、「保健・健康づくり」である。小金原及び東部は「子どもの福祉」、常盤平は「高齢者の福祉」が最も多い。

単位：%

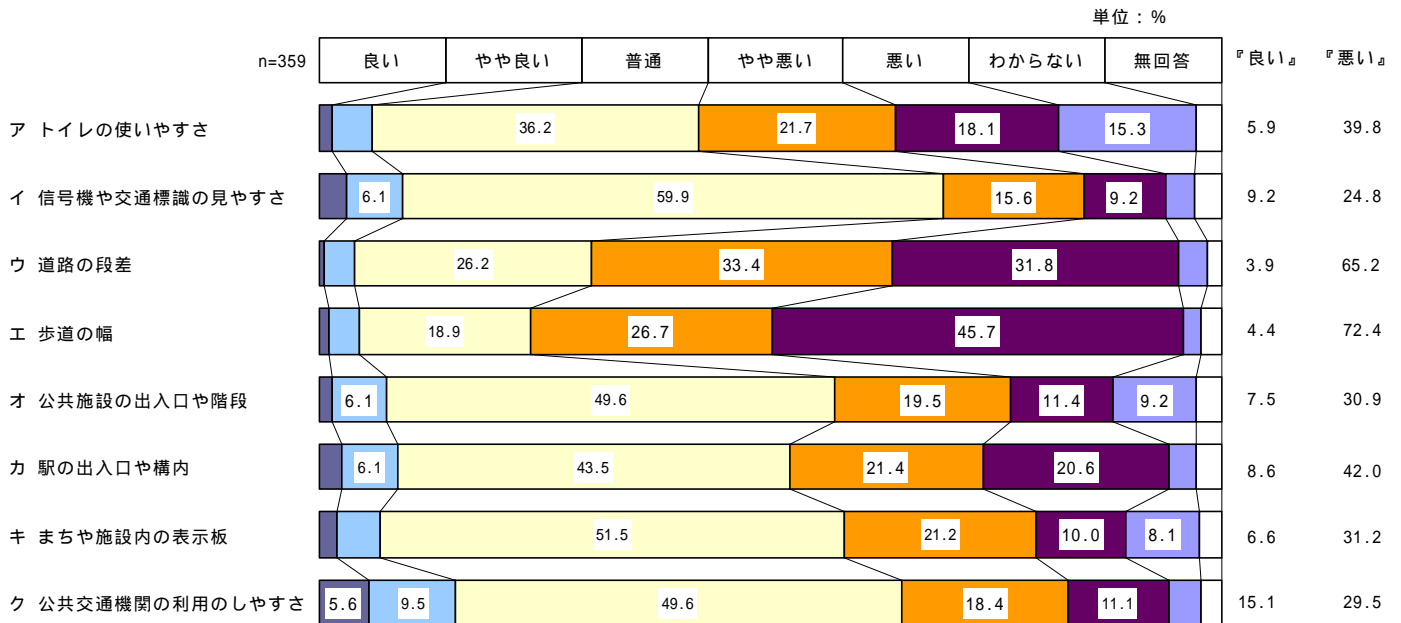
性別・年齢・地区別にみる『参加したい』		回答者数 (人)	子どもの福祉に 関すること	障害者の福祉に 関すること	保健・健康づくり	高齢者の福祉に 関すること
全体		359	32.5	28.4	46.0	35.6
性別	男性	146	23.3	22.6	43.8	28.1
	女性	203	38.9	32.6	48.3	41.4
年齢	20～29歳	32	50.1	31.2	43.8	31.3
	30～39歳	65	32.3	24.6	35.4	27.7
	40～44歳	44	29.5	31.8	34.0	34.1
	45～49歳	26	34.6	26.9	53.8	34.6
	50～54歳	34	26.4	20.6	41.2	26.4
	55～59歳	61	27.8	27.8	52.5	39.3
	60～64歳	87	32.2	32.1	57.4	45.9
居住地区	小金	29	37.9	27.5	55.1	41.3
	小金原	19	52.7	31.6	42.1	42.1
	新松戸	20	30.0	30.0	30.0	25.0
	馬橋	51	33.3	31.4	45.1	31.4
	馬橋西	9	66.7	33.3	77.8	55.6
	明第1	70	27.1	24.3	50.0	30.0
	明第2西	22	40.9	36.4	45.5	45.4
	明第2東	11	45.5	36.4	54.5	36.4
	東部	14	42.8	28.6	35.7	35.7
	本庁	18	16.7	22.2	33.4	27.8
	矢切	14	35.7	35.7	50.0	28.5
	五香六実	40	22.5	30.0	60.0	52.5
	常盤平	24	29.2	25.0	25.0	33.4

(6) 安心して暮らせるまちづくり

問14 誰もが地域で安心して暮らしていけるまちづくりという観点から見て、あなたは、市内の状況をどう評価されますか。(それぞれあてはまる番号1つに)

市内の状況評価は、「良い」と「やや良い」を合わせた『良い』はいずれも少なく、「公共交通機関の利用のしやすさ」15.1%、「信号機や交通標識の見やすさ」9.2%、「駅の出入口や構内」8.6%などである。

これに対し「やや悪い」と「悪い」を合わせた『悪い』は、「歩道の幅」72.4%、「道路の段差」65.2%が特に多い。次いで「駅の出入口や構内」42.0%、「トイレの使いやすさ」39.8%などである。



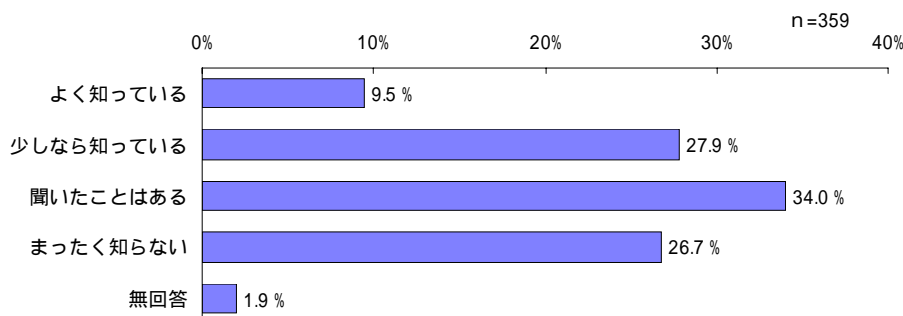
注：5%未満の数値は表記していない

4 . 介護予防について

(1) 介護予防事業

問 15 「介護予防」には、足などの筋力をつけること、栄養の改善をすること、口腔機能を向上させること、認知症の予防などがあります。このことについて、あなたは知っていますか。(1 つに)

介護予防事業について「よく知っている」は9.5%、「少しなら知っている」は27.9%、最も多いのが「聞いたことはある」34.0%、「まったく知らない」は26.7%である。



[性別・年齢]

「よく知っている」は、女性の13.3%が男性4.3%を大きく上回る。

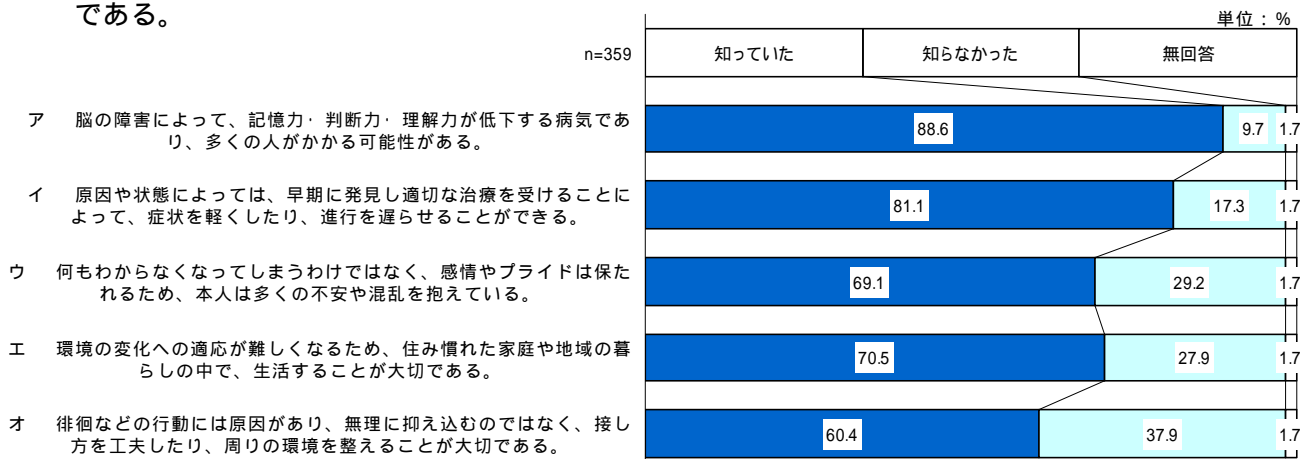
年齢では、「よく知っている」は60～64歳17.2%、45～49歳11.5%などの順であり、30～39歳の4.6%が最も少ない。

「まったく知らない」は20～29歳34.4%と30～39歳の43.1%を下回るのを除き、30～39歳以降、加齢とともに少なくなる。

(2) 認知症について

問 16 認知症は、多くの人がかかる可能性のある病気で、認知症の方やご家族を支える地域づくりが重要な課題となっていますが、あなたは、認知症に関する以下の内容を知っていますか。(それぞれあてはまる番号1つに)

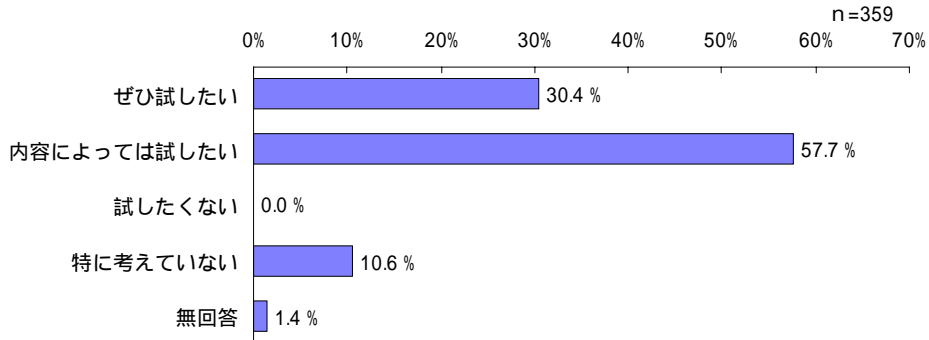
認知症については、いずれの内容も「知っていた」が6割を超え、最も多いのが「脳の障害によって記憶力・判断力・理解力が低下する病気であり、多くの人がかかる可能性がある。」88.6%である。



(3) 認知症予防について

問 17 認知症の予防には、運動や食事など、生活習慣の改善をはじめとした予防法が考えられていますが、その予防法に効果があるとしたら、あなたは試してみたいと思いますか。(1つに)

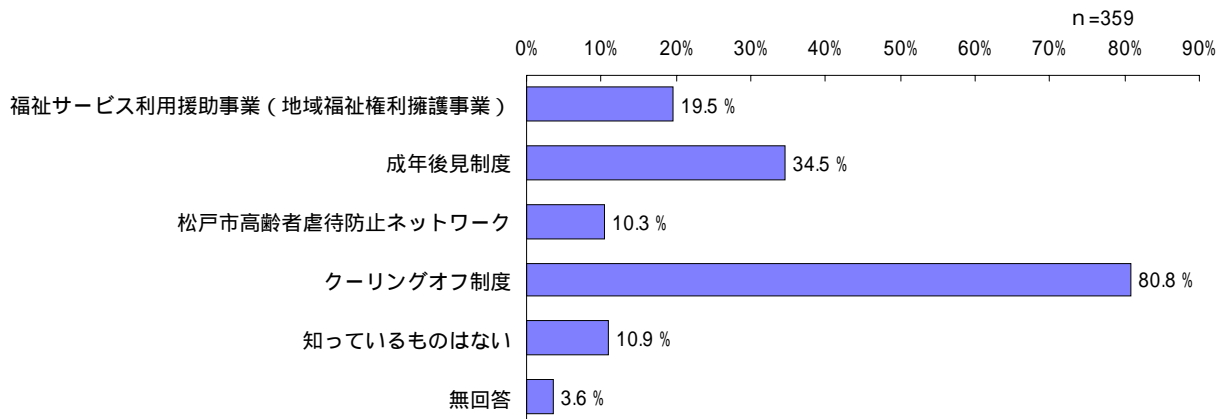
認知症予防の効果があれば「ぜひ試したい」は30.4%、「内容によっては試したい」57.7%、合わせた『試したい』は88.1%、9割近い。



(4) 権利擁護の制度やしきみ

問 18 高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度やしきみを知っていますか。(あてはまるものすべてに)

権利擁護の制度やしきみで知っていることは「クーリングオフ制度」80.8%が最も多い。以下はやや差があり、「成年後見制度」34.5%、「福祉サービス利用援助事業(地域福祉権利擁護事業)」19.5%などである。「知っているものはない」は10.9%と少ない。

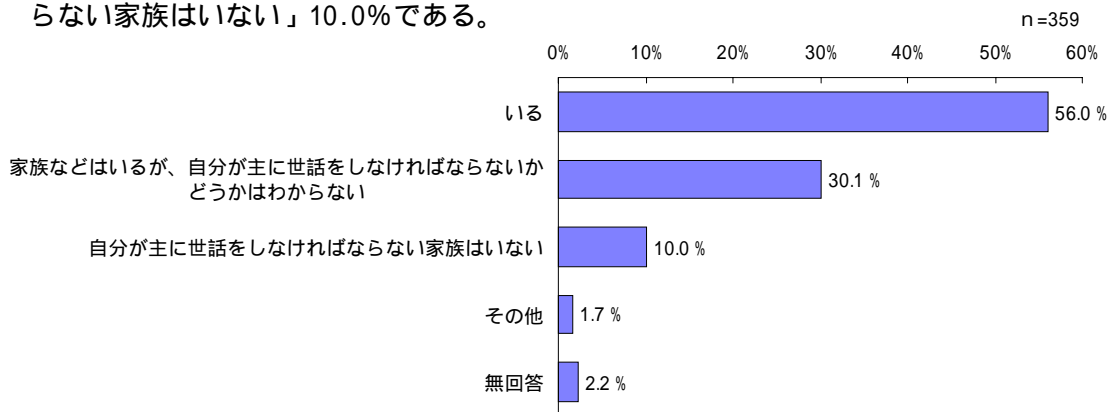


5 . 介護をする立場になったときのことについて

(1) 世話をすべき家族

問 19 現在または将来、主にあなたが老後の世話をしなければならないと思っている家族などはいますか。(1 つに)

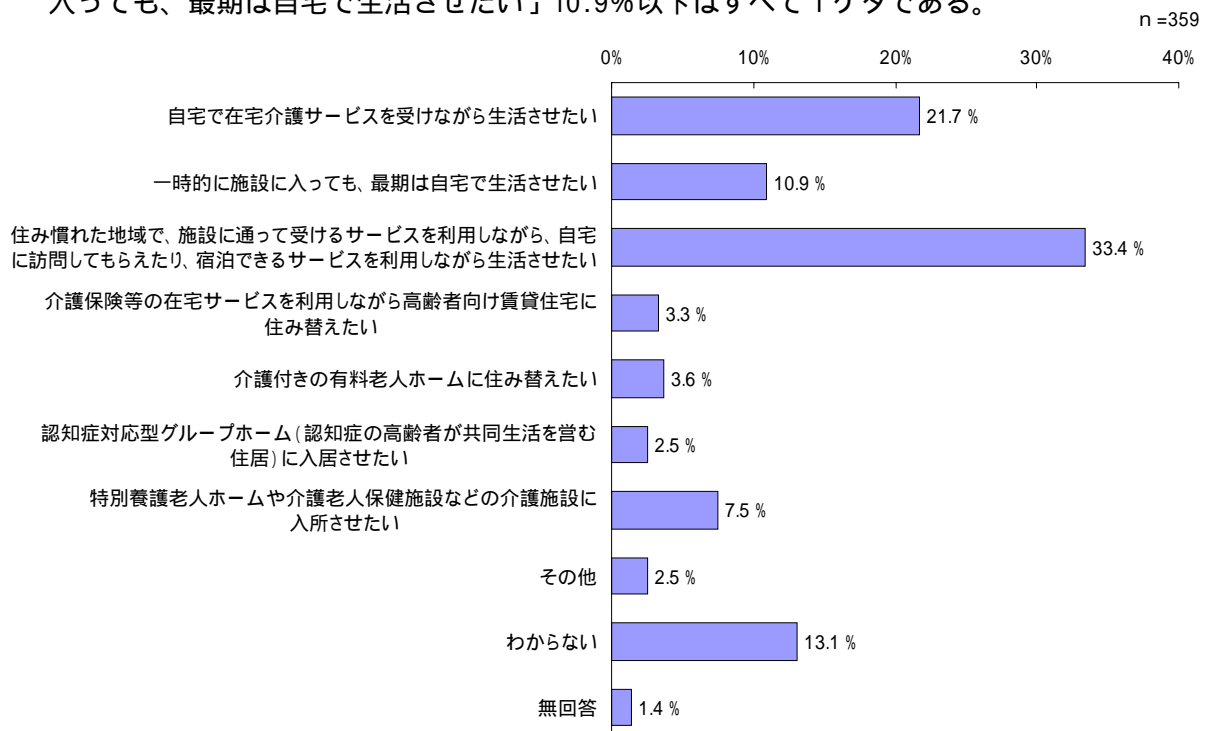
老後の世話をしなければならない家族が「いる」は 56.0%である。「家族などはいるが、自分が主に世話をしなければならないかどうかはわからない」30.1%、「自分が主に世話をしなければならない家族はいない」10.0%である。



(2) 家族介護時の生活場所

問 20 あなたは、かりに、家族が高齢などのために身の回りのことを自分で十分にできなくなったとき、どこで生活をさせたいですか。(1 つに)

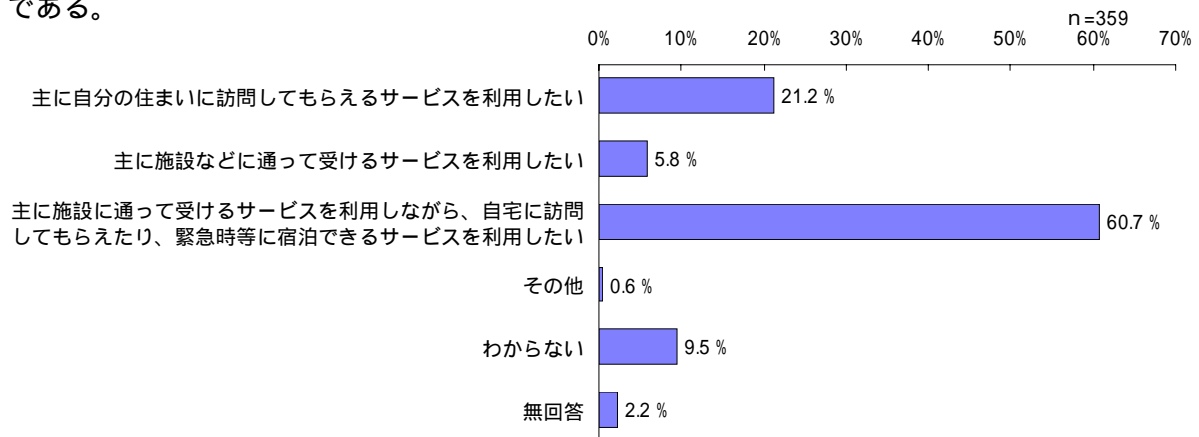
家族介護時の生活場所は、「住み慣れた地域で、施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、宿泊できるサービスを利用しながら生活させたい」33.4%、「自宅で在宅介護サービスを受けながら生活させたい」21.7%、「わからない」13.1%、「一時的に施設に入っても、最期は自宅で生活させたい」10.9%以下はすべて 1 ケタである。



(3) 家族のために利用したい介護サービス

問21 かりに、自分の住まいで家族のために介護サービスを利用する場合、主にどのような種類のサービスを利用したいですか。(1つに)

「主に施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、緊急時等に宿泊できるサービスを利用したい」が60.7%、6割である。「主に自分の住まいに訪問してもらえるサービスを利用したい」21.2%、「主に施設などに通って受けるサービスを利用したい」5.8%である。



[性別・年齢]

性別・年齢にかかわらず、「主に施設に通って受けるサービスを利用したい」が最も多く、中でも女性の67.5%、年齢では50～54歳の70.6%、55～59歳の70.5%をあげることができる。

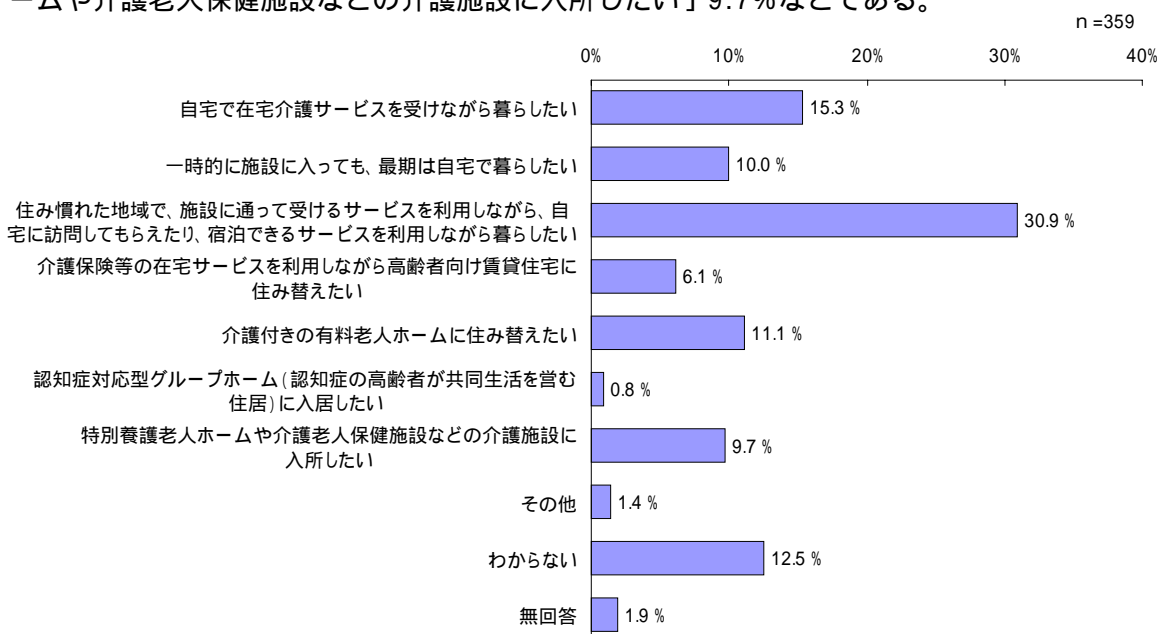
そのため、これらの属性は「主に自分の住まいに訪問してもらえるサービスを利用したい」は、女性は15.8%、50～54歳は11.8%、55～59歳は16.4%と他よりも少ない。

6 . 介護を受ける立場になったときのことについて

(1) 介護必要時の生活場所

問 22 あなたは、かりに、身の回りのことを自分でできなくなったとき、どこで生活したいと思いますか。(1 つに)

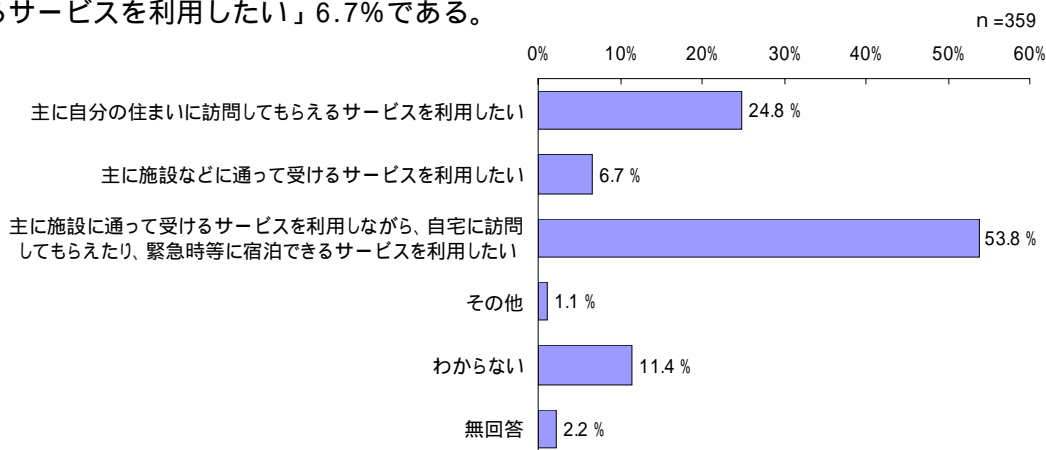
「住み慣れた地域で、施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、宿泊できるサービスを利用しながら暮らしたい」が 30.9%、「自宅で在宅介護サービスを受けながら暮らしたい」が 15.3%、「わからない」12.5%、「介護付きの有料老人ホームに住み替えたい」11.1%、「一時的に施設に入っても、最期は自宅で暮らしたい」10.0%、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの介護施設に入所したい」9.7%などである。



(2) 利用したい介護サービス

問 23 かりに、自分の住まいで介護サービスを受ける場合、主にどのような種類のサービスを利用したいですか。(1 つに)

「主に施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、緊急時等に宿泊できるサービスを利用したい」が 53.8%、半数を超える。次いで「主に自分の住まいに訪問してもらえるサービスを利用したい」24.8%、「わからない」11.4%、「主に施設などに通って受けるサービスを利用したい」6.7%である。

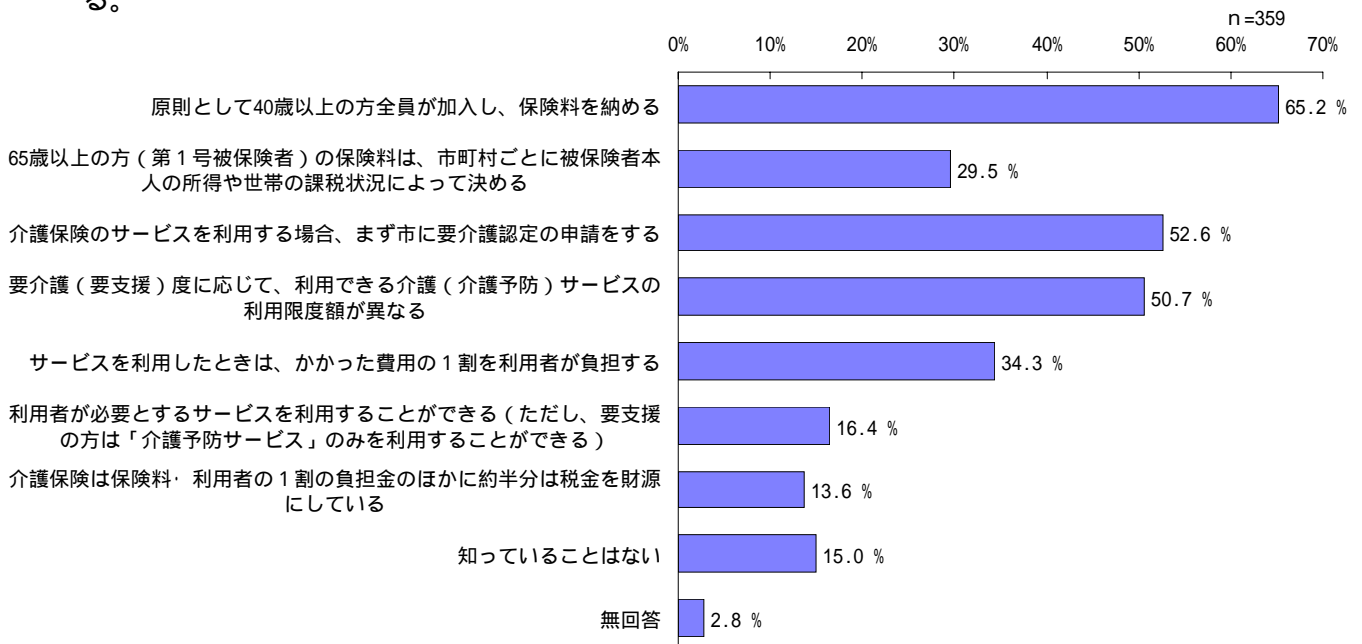


7. 介護保険について

(1) 介護保険制度について

問 24 介護保険制度についてどの程度知っていますか。(あてはまるものすべてに)

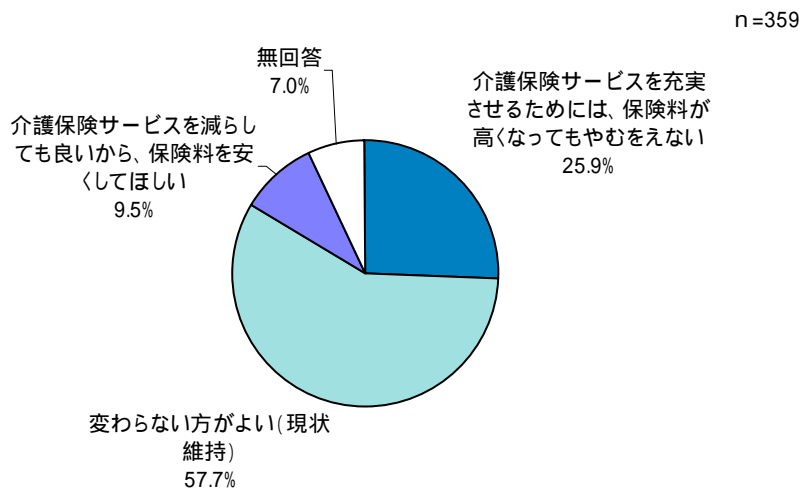
介護保険制度について知っていることは、「原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める」65.2%、「介護保険のサービスを利用する場合、まず市に要介護認定の申請をする」52.6%、「要介護（要支援）度に応じて、利用できる介護（介護予防）サービスの利用限度額が異なる」50.7%、「サービスを利用したときは、かかった費用の1割を利用者が負担する」34.3%などである。



(2) 介護保険料の今後

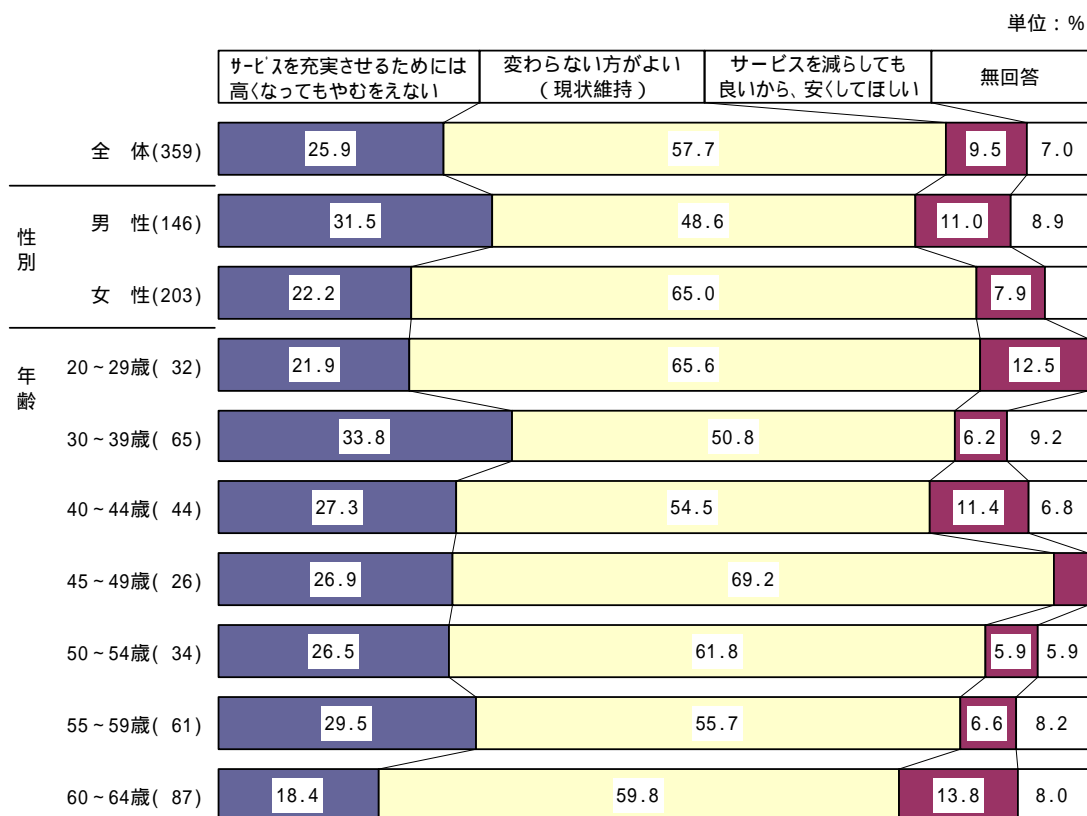
問 25 あなたは、介護保険サービスと介護保険料の負担について、次の3つの方針から、あえて1つ選ぶとしたら、どれを選びますか。(1つに)

「変わらないほうがよい(現状維持)」が57.7%、約6割である。「介護保険サービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない」25.9%、「介護保険サービスを減らしても良いから、保険料を安くしてほしい」9.5%である。



[性別・年齢]

性別・年齢にかかわらず、「変わらないほうがよい(現状維持)」が最も多く、中でも男性48.6%よりは女性65.0%、年齢では45~49歳の69.2%、20~29歳の65.6%などをあげることができる。

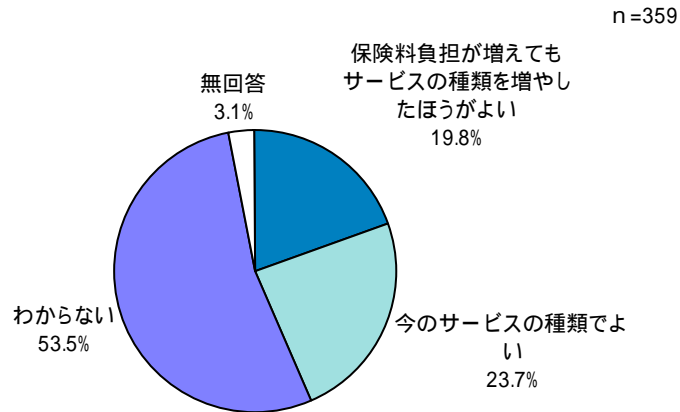


注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

(3) サービスの種類と保険料負担

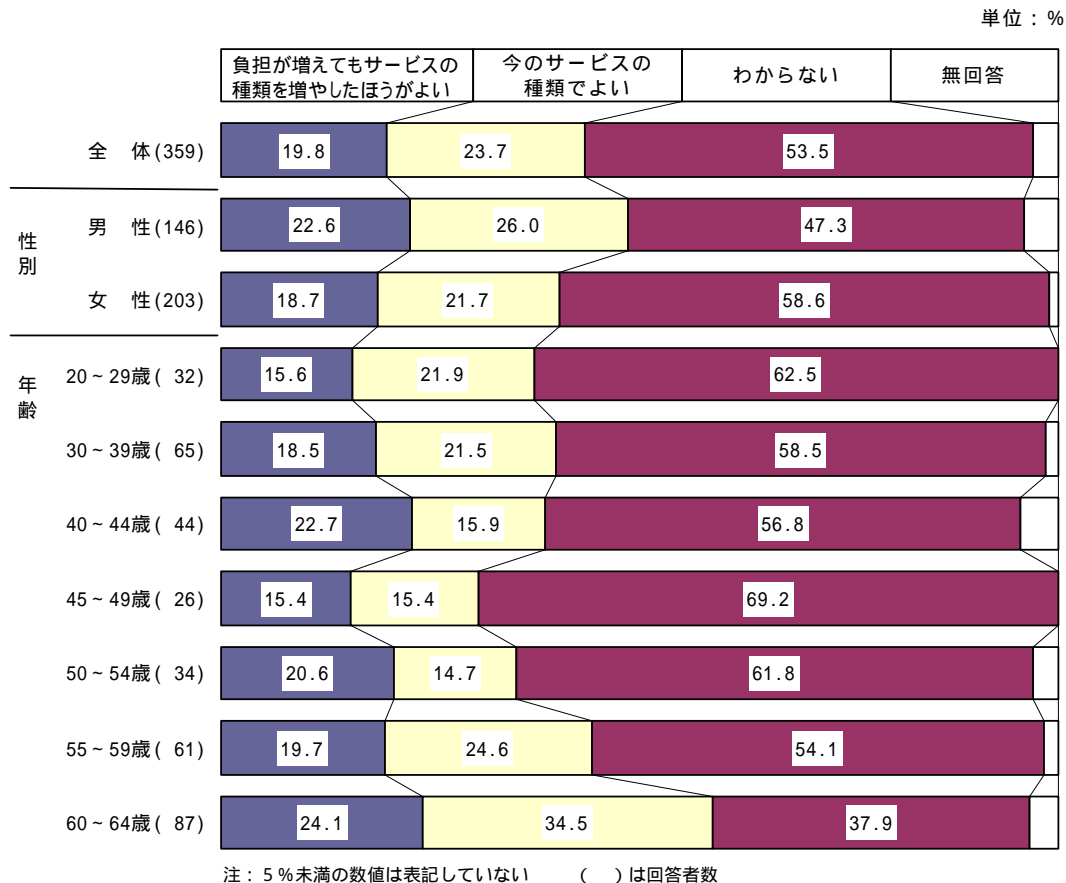
問 26 介護保険制度では、保険給付の対象となるサービスの種類が定められていますが、各市町村ごとに新たなサービスの種類を増やすことができます。この場合、65歳以上の方の保険料負担が増えることとなりますが、このことについてどう思いますか。(1つに)

「わからない」53.5%。「今のサービスの種類でよい」23.7%、「保険料負担が増えてもサービスの種類を増やしたほうがよい」19.8%である。



[性別・年齢]

40～44歳のみ「今のサービスの種類でよい」15.9%を「保険料負担が増えてもサービスの種類を増やしたほうがよい」22.7%が上回る。

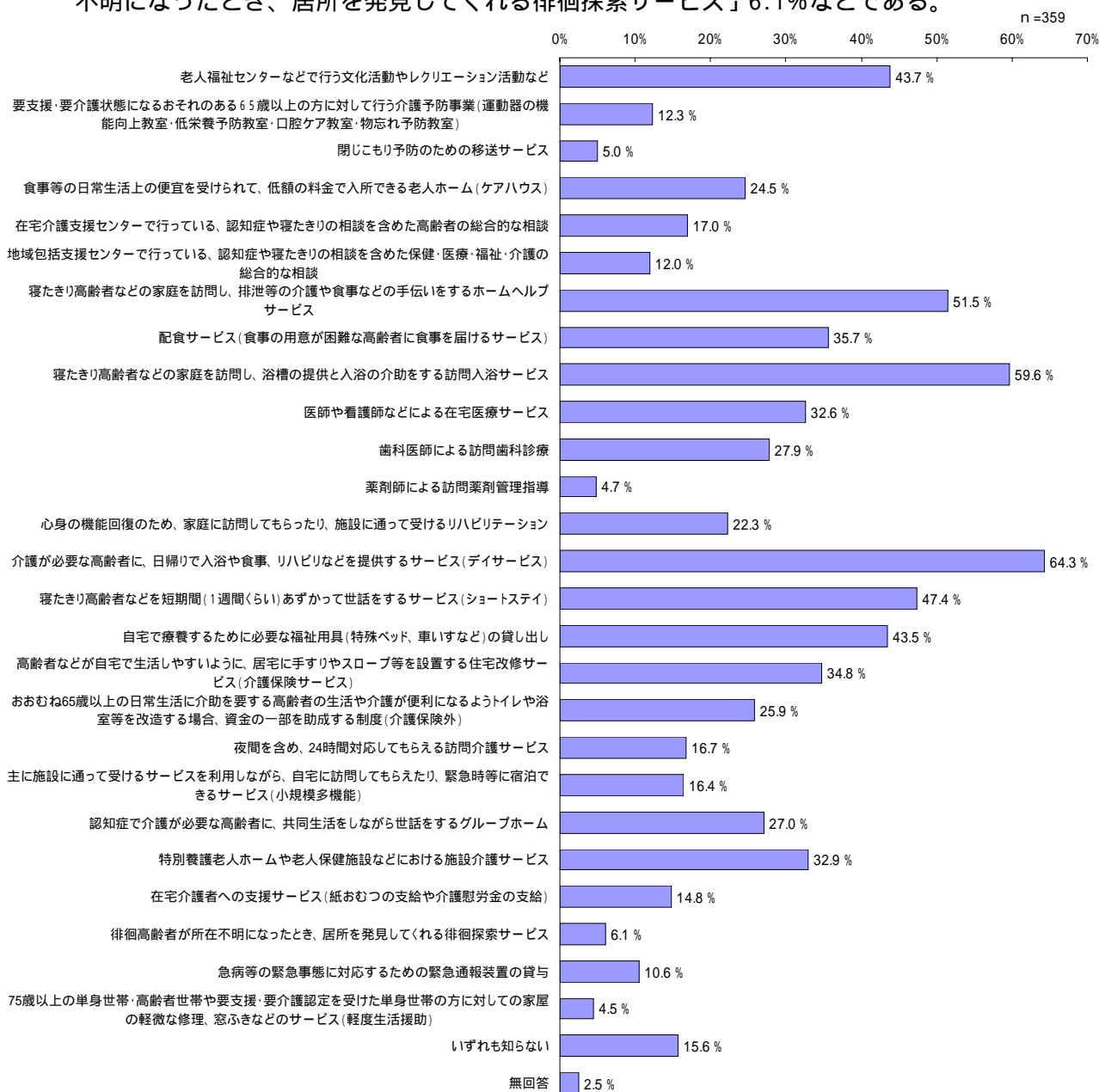


(4) 保健・医療・福祉サービス

問 27 あなたは次のような保健・医療・福祉サービスを知っていますか。(あてはまるものすべてに)

最も多いのが「介護が必要な高齢者に、日帰りで入浴や食事、リハビリなどを提供するサービス(デイサービス)」64.3%、次いで「寝たきり高齢者などの家庭を訪問し、浴槽の提供と入浴の介助をする訪問入浴サービス」59.6%、「寝たきり高齢者などの家庭を訪問し、排泄等の介護や食事などの手伝いをするホームヘルプサービス」51.5%、「寝たきり高齢者などを短期間(1週間くらい)あずかって世話をするサービス(ショートステイ)」47.4%、「老人福祉センターなどで行う文化活動やレクリエーション活動など」43.7%、「自宅で療養するために必要な福祉用具(特殊ベッド、車いすなど)の貸し出し」43.5%などである。

逆に少ないのは、「75歳以上の単身世帯・高齢者世帯や要支援・要介護認定を受けた単身世帯の方に対しての家屋の軽微な修理、窓ふきなどのサービス(軽度生活援助)」4.5%、「薬剤師による訪問薬剤管理指導」4.7%、「閉じこもり予防のための移送サービス」5.0%、「徘徊高齢者が所在不明になったとき、居所を発見してくれる徘徊探索サービス」6.1%などである。



[性別・年齢]

性別で見ると「デイサービス」をはじめとした上位5位までは、いずれも女性が男性を大きく上回る。

年齢で見ると「デイサービス」及び「訪問入浴サービス」「ホームヘルプサービス」「ショートステイ」いずれも全体を上回るのは45歳以上である。ただし「訪問入浴サービス」は60～64歳のみ全体を下回る。

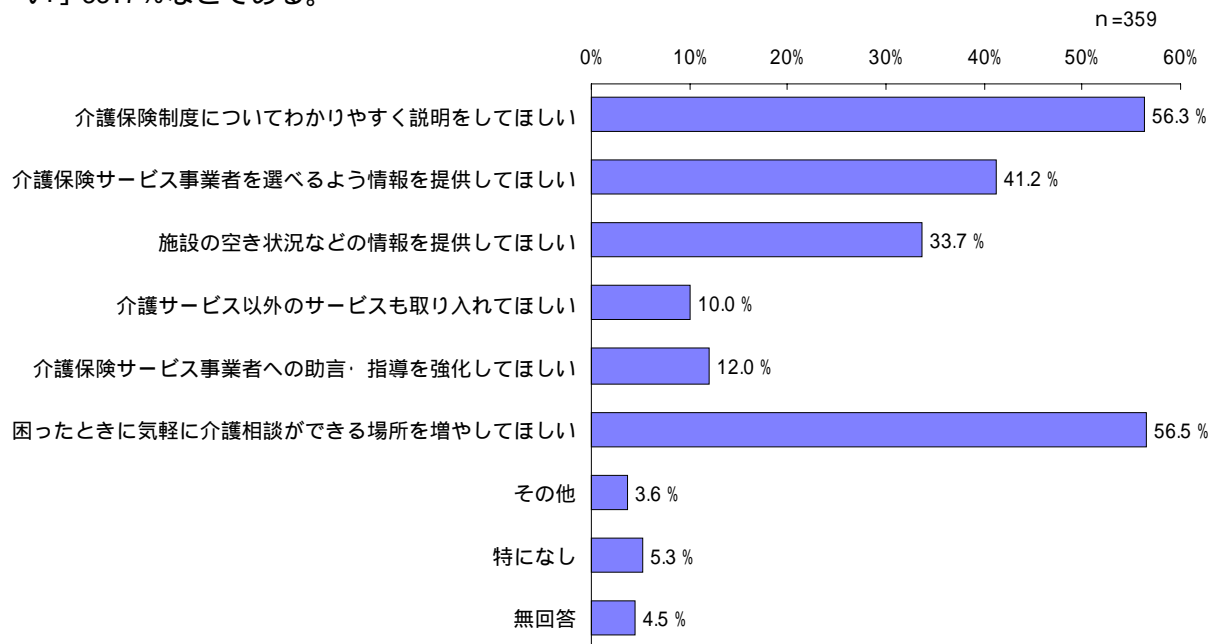
単位：%

		回答者数 (人)	デイサービス	訪問入浴 サービス	ホームヘルプ サービス	ショートステイ	文化活動や レクリエーション活動
全 体		359	64.3	59.6	51.5	47.4	43.7
性 別	男 性	146	56.2	50.7	44.5	34.9	36.3
	女 性	203	70.9	68.5	58.6	57.1	48.3
年 齢	20～29歳	32	50.0	50.0	46.9	37.5	43.8
	30～39歳	65	46.2	52.3	46.2	29.2	40.0
	40～44歳	44	56.8	52.3	43.2	31.8	47.7
	45～49歳	26	76.9	76.9	65.4	53.8	50.0
	50～54歳	34	76.5	70.6	55.9	52.9	23.5
	55～59歳	61	78.7	75.4	60.7	68.9	59.0
	60～64歳	87	70.1	57.5	54.0	55.2	37.9

(5) 市に期待すること

問 28 今後の介護保険サービスについて、市に期待することは何ですか。(3つまでに)

「困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい」56.5%と「介護保険制度についてわかりやすく説明をしてほしい」56.3%を多くの人があげている。以下、「介護保険サービス事業者を選べるよう情報を提供してほしい」41.2%、「施設の空き状況などの情報を提供してほしい」33.7%などである。



[性別・年齢]

「困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい」は、45～49歳のみ上位にない。45～49歳は、「介護保険制度についてわかりやすく説明をしてほしい」、「介護保険事業者を選べるよう情報を提供してほしい」、「施設の空き状況などの情報を提供してほしい」など、介護者を抱える人が多いためか、より具体的な項目が上位である。

単位：%

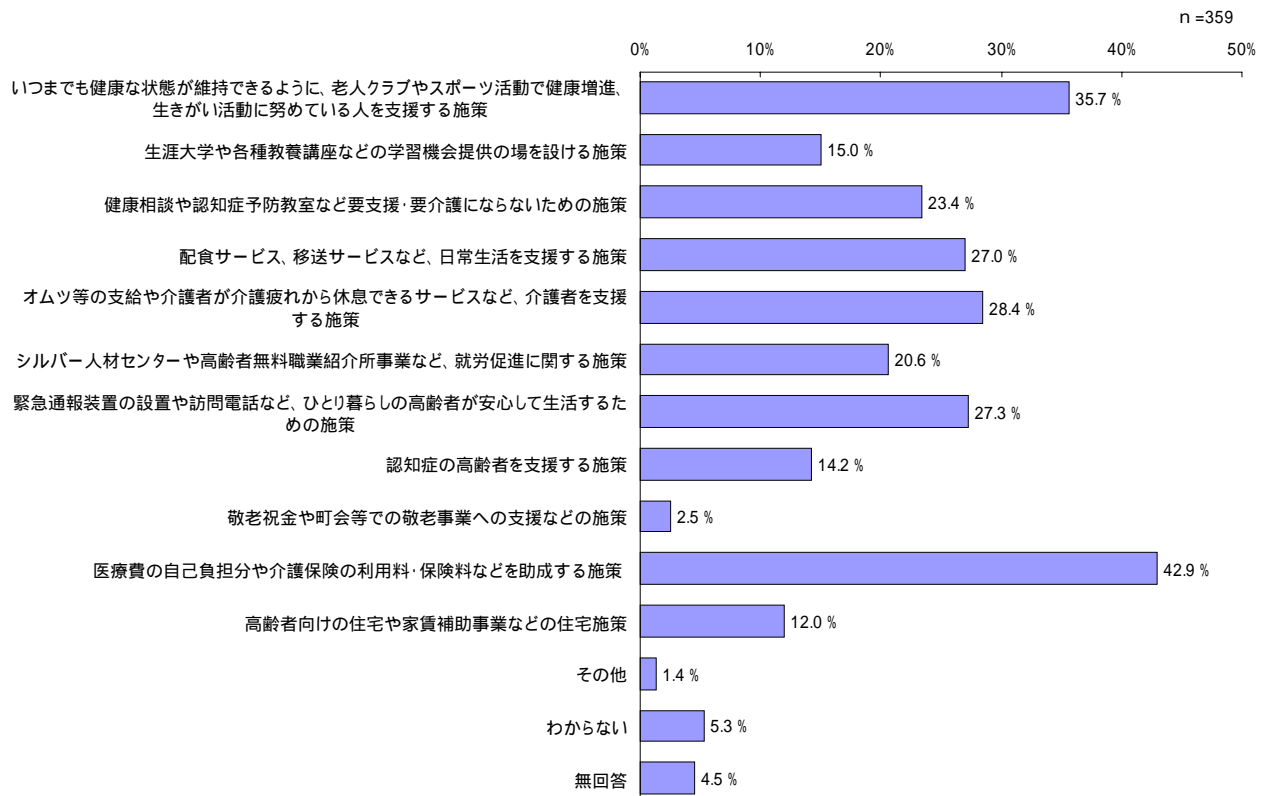
	回答者数 (人)	介護保険制度 について わかりやすく 説明をして ほしい	介護保険サ ービス事 業者を 選べるよ う情報 を提供 してほ しい	施設の空 き状況 などの 情報を 提供し てほ しい	介護サ ービス 以外 のサ ービ スも 取 り 入 れ て ほ しい	介護保 険サ ー ビ ス 事 業 者 へ の 助 言 ・ 指 導 を 強 化 し て ほ しい	困った とき に 軽 か ら に 介 護 相 談 が で き る 場 所 を 増 や し て ほ しい	その他	特 に な し	無 回 答
全 体	359	56.3	41.2	33.7	10.0	12.0	56.5	3.6	5.3	4.5
性 別										
男性	146	53.4	33.6	29.5	11.6	11.6	53.4	5.5	6.8	4.1
女性	203	59.1	46.8	37.9	9.4	12.3	58.1	2.5	4.4	3.9
年 齢										
20～29歳	32	65.6	9.4	25.0	6.3	6.3	40.6	3.1	15.6	3.1
30～39歳	65	58.5	26.2	24.6	15.4	12.3	66.2	6.2	3.1	1.5
40～44歳	44	56.8	34.1	29.5	18.2	6.8	45.5	9.1	9.1	2.3
45～49歳	26	65.4	65.4	53.8	3.8	7.7	46.2	0.0	11.5	0.0
50～54歳	34	55.9	52.9	26.5	8.8	17.6	55.9	2.9	2.9	5.9
55～59歳	61	44.3	49.2	39.3	9.8	11.5	67.2	1.6	4.9	4.9
60～64歳	87	58.6	50.6	41.4	6.9	16.1	55.2	2.3	1.1	6.9

丸数字は順位

(6) 充実すべき高齢者施策

問 29 あなたは、今後介護保険以外の施策で、どのような高齢者施策を充実すべきだと思いますか。(3つまでに)

介護保険以外の施策では、「医療費の自己負担分や介護保険の利用料・保険料などを助成する施策」42.9%が最も多い。次いで「いつまでも健康な状態が維持できるように、老人クラブやスポーツ活動で健康増進、生きがい活動に努めている人を支援する施策」35.7%、「オムツ等の支給や介護者が介護疲れから休息できるサービスなど、介護者を支援する施策」28.4%、「緊急通報装置の設置や訪問電話など、ひとり暮らしの高齢者が安心して生活するための施策」27.3%、「健康相談や認知症予防教室など要支援・要介護にならないための施策」23.4%などである。



[性別・年齢]

「医療費の自己負担分や介護保険の利用料・保険料などを助成する施策」は、男女とも1位にあげられているとともに、年齢においては30～39歳及び40～44歳、50～54歳、55～59歳でも1位である。それ以外の年齢の1位は、20～29歳および60～64歳は「いつまでも健康な状態が維持できるように、老人クラブやスポーツ活動で健康増進、生きがい活動に努めている人を支援する施策」、45～49歳は「オムツ等の支給や介護者が介護疲れから休息できるサービスなど、介護者を支援する施策」となっている。また、40～44歳のみ「認知症の高齢者を支援する施策」を上位にあげている。

単位：%

	回答者数 (人)	いつまでも健康な状態が維持できるように、老人クラブやスポーツ活動で健康増進、生きがい活動に努めている人を支援する施策	生涯大学や各種教養講座などの学習機会提供の場を設ける施策	健康相談や認知症予防教室など要支援・要介護にならないための施策	配食サービス、移送サービスなど、日常生活を支援する施策	オムツ等の支給や介護者が介護疲れから休息できるサービスなど、介護者を支援する施策	シルバー人材センターや高齢者無料職業紹介所事業など、就労促進に関する施策	緊急通報装置の設置や訪問電話など、ひとり暮らしの高齢者が安心して生活するための施策	
全 体	359	35.7	15.0	23.4	27.0	28.4	20.6	27.3	
性別	男性	146	39.0	17.8	25.3	21.9	23.3	23.3	21.9
	女性	203	33.0	12.8	22.2	31.5	32.5	18.2	31.5
年齢	20～29歳	32	50.0	15.6	25.0	21.9	21.9	18.8	25.0
	30～39歳	65	40.0	16.9	26.2	27.7	26.2	23.1	36.9
	40～44歳	44	18.2	11.4	13.6	20.5	29.5	22.7	15.9
	45～49歳	26	26.9	19.2	34.6	26.9	46.2	23.1	23.1
	50～54歳	34	20.6	8.8	29.4	23.5	41.2	17.6	14.7
	55～59歳	61	37.7	23.0	16.4	36.1	24.6	24.6	21.3
	60～64歳	87	42.5	10.3	25.3	28.7	25.3	14.9	37.9

	回答者数 (人)	認知症の高齢者を支援する施策	敬老祝金や町会等での敬老事業への支援などの施策	医療費の自己負担分や介護保険の利用料・保険料などを助成する施策	高齢者向けの住宅や家賃補助事業などの住宅施策	その他	わからない	無回答
全 体	359	14.2	2.5	42.9	12.0	1.4	5.3	4.5
性別	男性	146	11.6	2.7	51.4	13.7	1.4	3.4
	女性	203	16.3	2.0	38.4	10.8	1.5	3.9
年齢	20～29歳	32	3.1	3.1	43.8	3.1	0.0	3.1
	30～39歳	65	7.7	0.0	52.3	13.8	3.1	1.5
	40～44歳	44	31.8	2.3	45.5	11.4	0.0	2.3
	45～49歳	26	7.7	0.0	30.8	11.5	0.0	0.0
	50～54歳	34	14.7	2.9	44.1	29.4	2.9	2.9
	55～59歳	61	19.7	1.6	42.6	11.5	3.3	1.6
	60～64歳	87	12.6	4.6	41.4	8.0	0.0	9.2

丸数字は順位

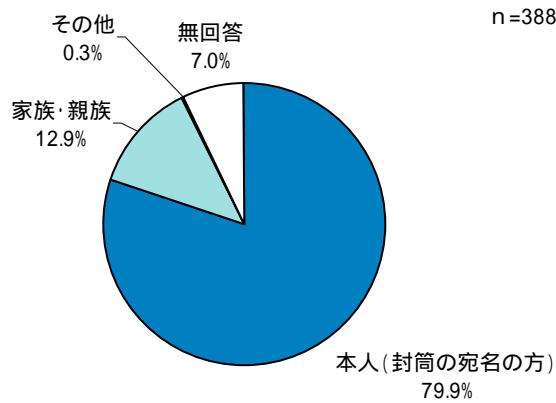
第3章 在宅要支援認定者調査

1. あなたのことについて

(1) 調査記入者

F 1 この調査に回答される方を教えてください。(1つに)

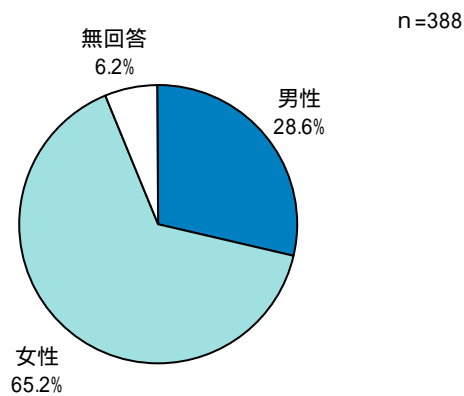
調査票記入者は、「本人」79.9%、「家族・親族」12.9%、「その他」0.3%である。



(2) 性別

F 2 あなたの性別は。(1つに)

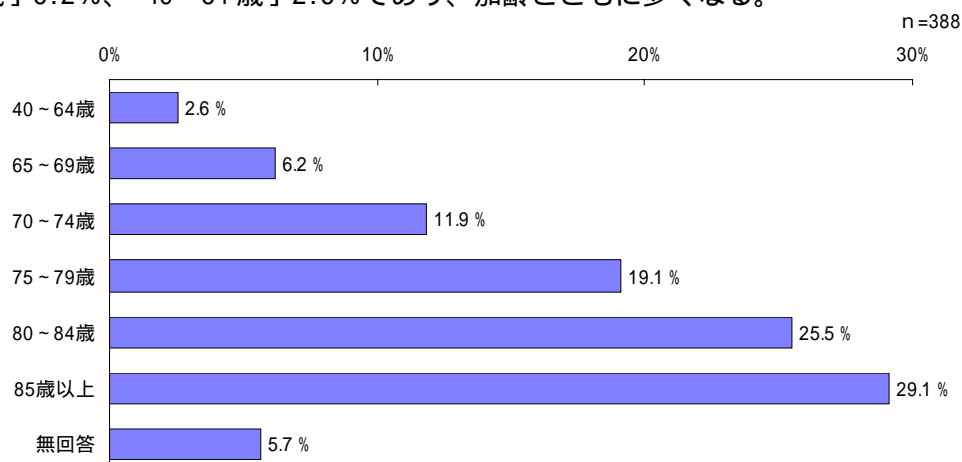
性別は、「女性」65.2%、「男性」28.6%である。



(3) 年齢

F 3 あなたの年齢は。(1つに)

年齢は「85歳以上」29.1%、「80～84歳」25.5%、「75～79歳」19.1%、「70～74歳」11.9%、「65～69歳」6.2%、「40～64歳」2.6%であり、加齢とともに多くなる。



[性別]

70歳代は男性が、80歳以上は女性が上回る。

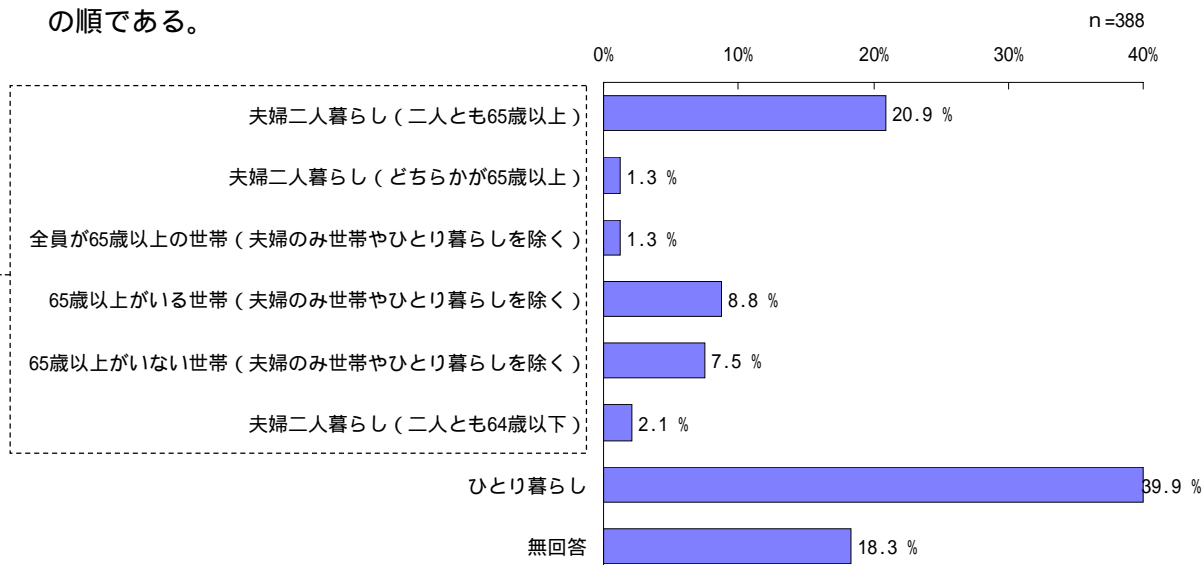
単位：%

		回答者数 (人)	40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
全	体	388	2.6	6.2	11.9	19.1	25.5	29.1	5.7
性 別	男性	111	3.6	6.3	16.2	22.5	22.5	27.9	0.9
	女性	253	2.4	6.3	11.1	19.4	28.1	32.4	0.4

(4) 同居家族

F 4 あなたが同居しているご家族は。(1つに)

同居の家族は、「ひとり暮らし」が39.9%と最も多く、「夫婦二人暮らし(二人とも65歳以上)」20.9%と合わせると約6割に達する。以下、「65歳以上がいる世帯(夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く)」8.8%、「65歳以上がいない世帯(夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く)」7.5%などの順である。



[年齢]

「ひとり暮らし」は75～79歳が最も多く59.5%、6割である。次いで70～74歳45.7%、85歳以上38.9%、80～84歳37.4%などである。

「夫婦二人暮らし(二人とも65歳以上)」は、70～74歳が37.0%、65～69歳29.2%、80～84歳26.3%などの順である。

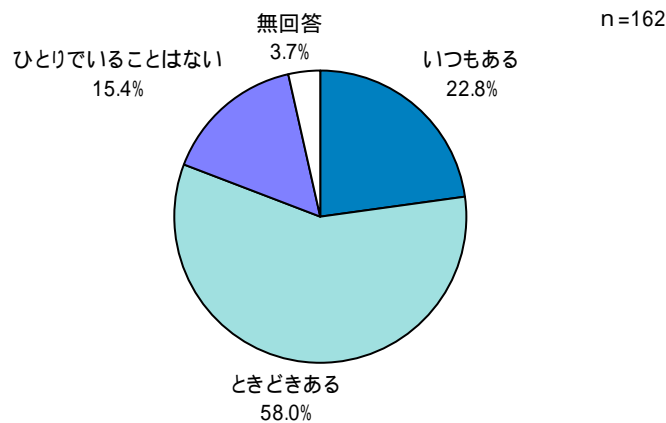
単位：%

	回答者数 (人)	夫婦二人 暮らし (二人とも 65歳以上)	夫婦二人 暮らし (どちらかが 65歳以上)	全員が65歳 以上の世帯 (夫婦のみ世帯 やひとり暮らし を除く)	65歳以上が いる世帯 (夫婦のみ世帯 やひとり暮らし を除く)	65歳以上が いない世帯 (夫婦のみ世帯 やひとり暮らし を除く)	夫婦二人 暮らし (二人とも 64歳以下)	ひとり 暮らし	無回答	
全 体	388	20.9	1.3	1.3	8.8	7.5	2.1	39.9	18.3	
年 齢	40～64歳	10	10.0	0.0	0.0	10.0	40.0	10.0	20.0	10.0
	65～69歳	24	29.2	8.3	8.3	16.7	8.3	0.0	25.0	4.2
	70～74歳	46	37.0	2.2	0.0	10.9	2.2	0.0	45.7	2.2
	75～79歳	74	20.3	0.0	1.4	1.4	8.1	1.4	59.5	8.1
	80～84歳	99	26.3	0.0	0.0	9.1	5.1	3.0	37.4	19.2
	85歳以上	113	12.4	1.8	1.8	12.4	9.7	2.7	38.9	20.4

(5) 日中の独居

F 4 - 1 あなたは、昼間ひとりであることがありますか。(1つに)

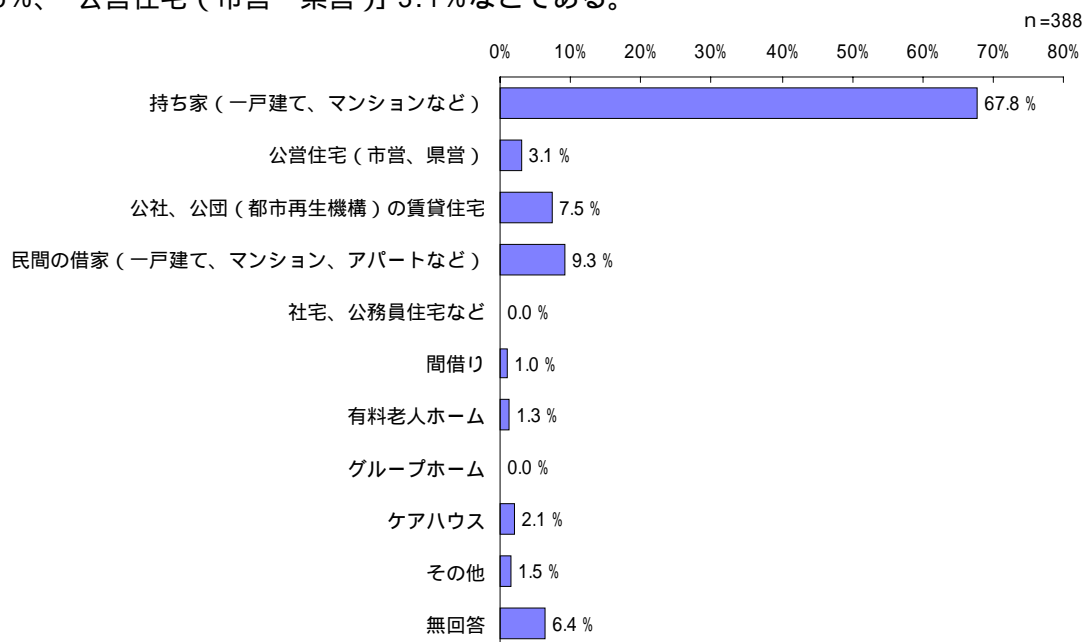
昼間ひとりであることに対し、「ときどきある」58.0%、「いつもある」22.8%、「ひとりであることはない」15.4%である。



(6) 住まい

F 5 お住まいは次のどれですか。(1つに)

住まいは「持ち家(一戸建て、マンションなど)」が67.8%、約7割を占める。次いで「民間の借家(一戸建て、マンション、アパートなど)」9.3%、「公社、公団(都市再生機構)の賃貸住宅」7.5%、「公営住宅(市営・県営)」3.1%などである。

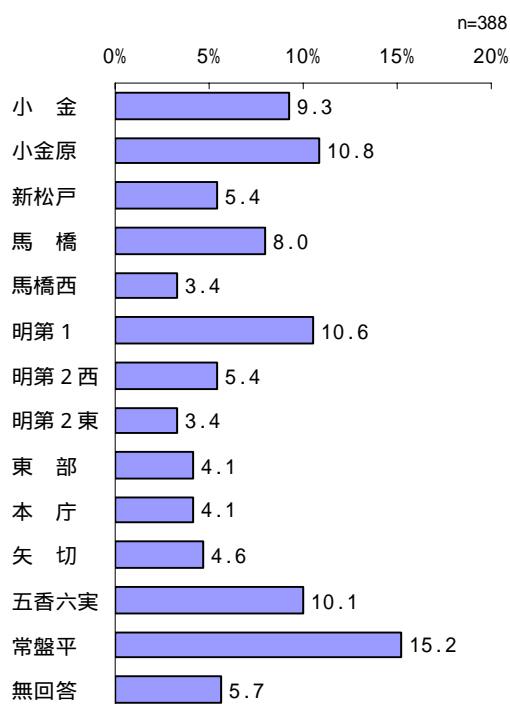
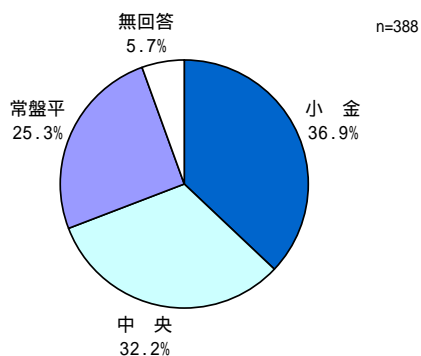


(7) 居住地区

F 6 あなたの住所は、どちらですか。(1つに)

13の日常生活圏域でみると、最も多いのが「常盤平」の15.2%、次いで「小金原」の10.8%、「明第1」の10.6%、「五香六実」の10.1%、「小金」の9.3%などである。

3つの地域包括支援センター管轄でみると「小金」36.9%、「中央」32.0%、「常盤平」25.3%となっている。

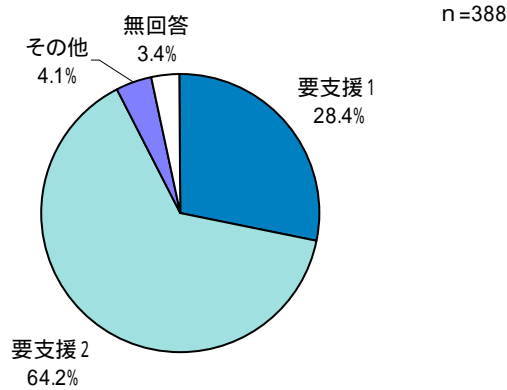


2. 日常の生活状況等について

(1) 要介護状態区分

問1 あなたの要介護状態区分は。(1つに)

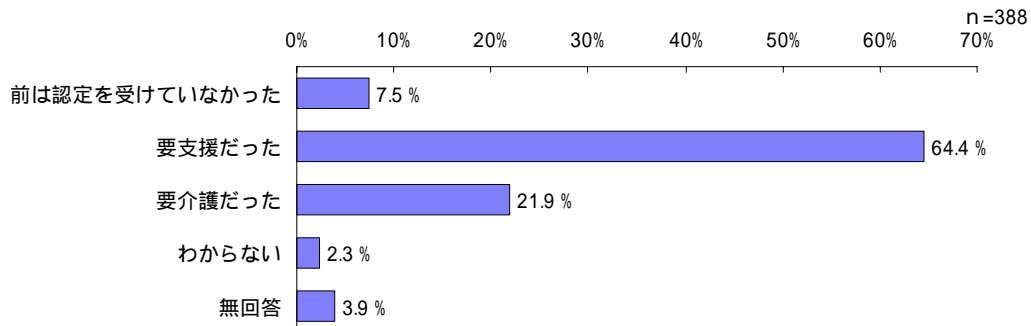
「要支援2」が64.2%、「要支援1」が28.4%、「その他」4.1%である。



(2) 前回の認定時の状態

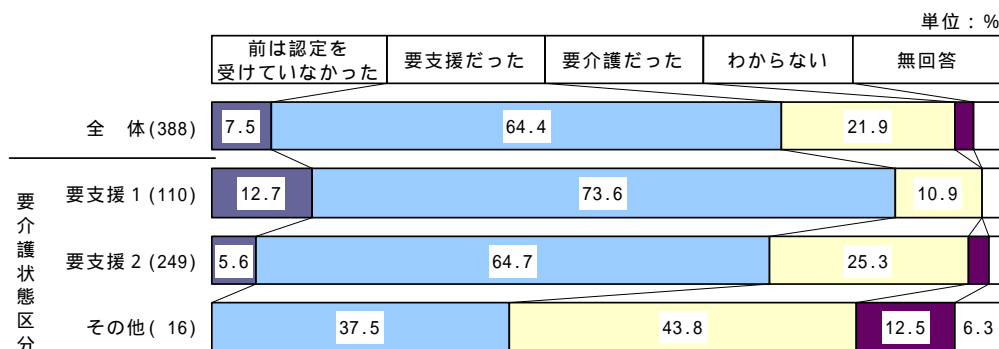
問2 前回の要介護・要支援認定の状態はどうでしたか。(1つに)

「要支援だった」が64.4%と最も多く、次いで「要介護だった」21.9%、「前は認定を受けていなかった」7.5%、「わからない」2.3%である。



[要介護状態区分]

要支援1及び要支援2とも、「要支援だった」が最も多く、各73.6%、64.7%である。「要介護だった」は要支援2の25.3%、要支援1の10.9%である。



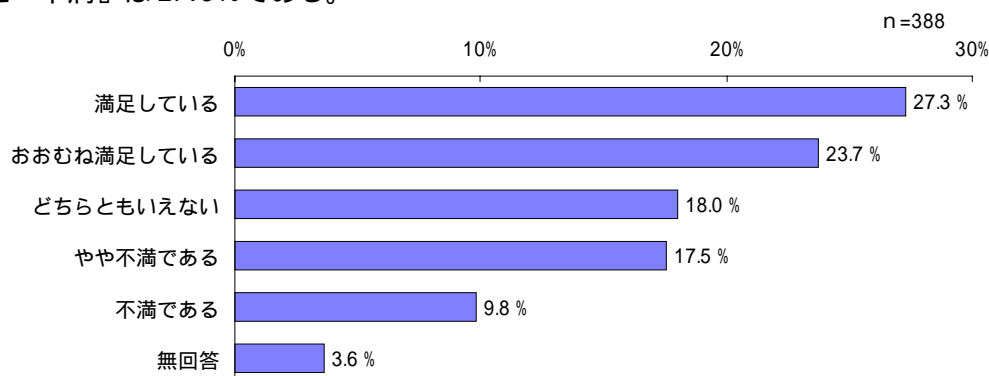
注：5%未満の数値は表記していない

()は回答者数

(3) 認定結果の満足度

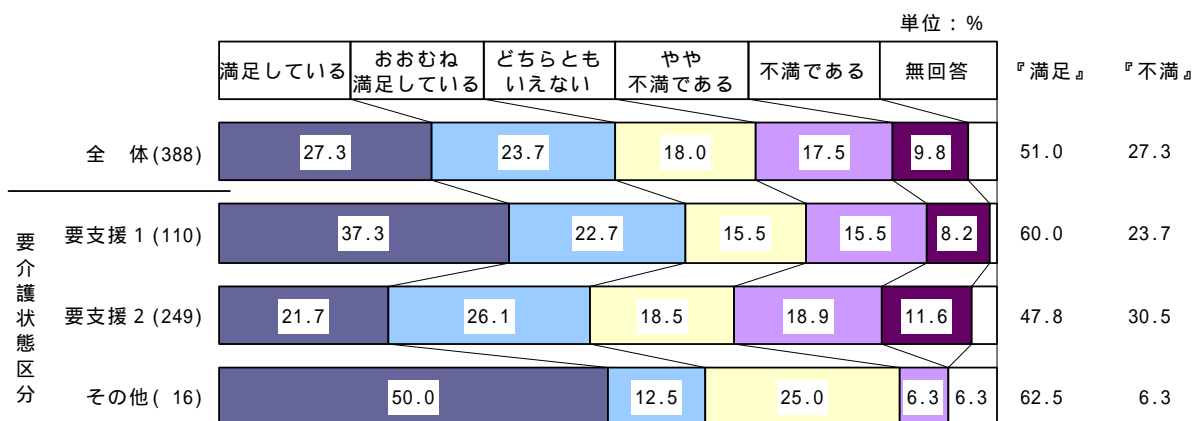
問3 あなたは、今回の認定結果に満足していますか。(1つに)

今回の認定結果に「満足している」27.3%、「おおむね満足している」23.7%、これらを合わせた『満足』は51.0%である。これに対し、「やや不満である」17.5%、「不満である」9.8%を合わせた『不満』は27.3%である。



[要介護状態区分]

『満足』は要支援1の60.0%が要支援2の47.8%を上回る。逆に『不満』は要支援1が23.7%に対し、要支援2は30.5%である。

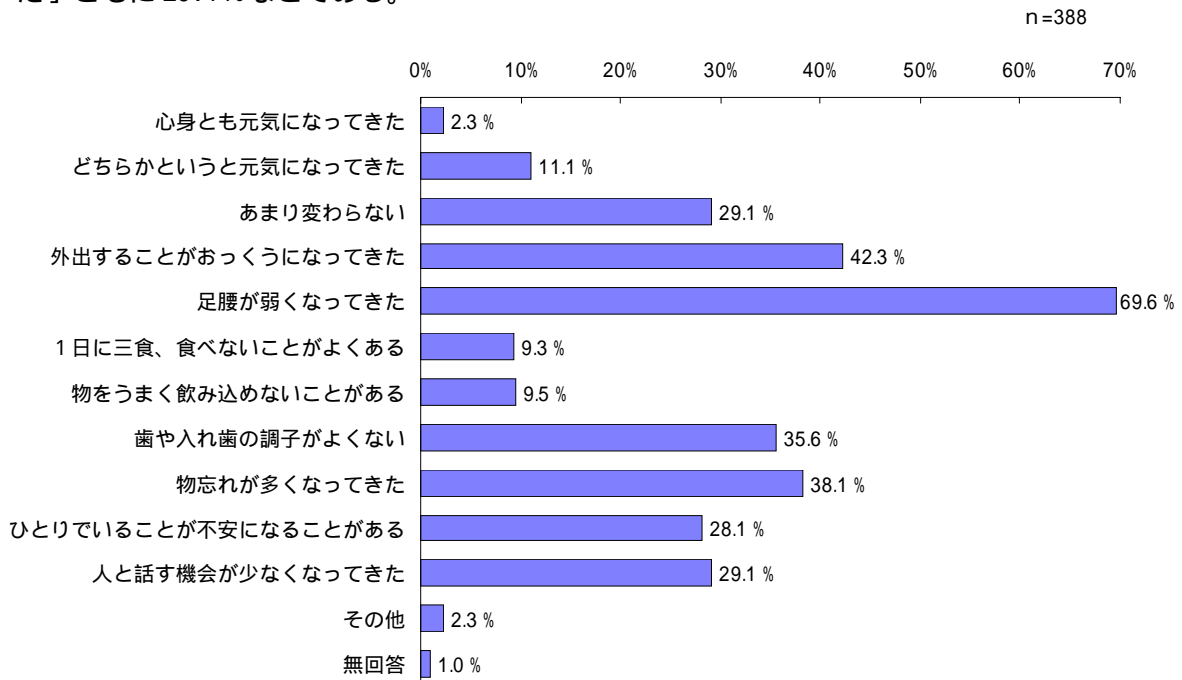


注：5%未満の数値は表記していない
()は回答者数

(4) ここ1年くらいの状態

問4 あなたは、ここ1年くらいの心身や日常生活の変化はありますか。(あてはまるものすべてに)

ここ1年くらいの状態の変化は、「足腰が弱くなってきた」が69.6%と多くの方があげている。以下、「外出することがおっくうになってきた」42.3%、「物忘れが多くなってきた」38.1%、「歯や入れ歯の調子がよくない」35.6%、「あまり変わらない」及び「人と話す機会が少なくなってきた」ともに29.1%などである。



[要介護状態区分]

要支援1及び要支援2とも「足腰が弱くなってきた」を各69.1%、69.9%と同じ程度に、最も多くあげている。要支援2が要支援1を大きく上回るものとして、「外出することがおっくうになってきた」の各46.2%、34.5%、逆に要支援1が要支援2を大きく上回るものとして、「物忘れが多くなってきた」の各44.5%、35.7%をあげることができる。

単位：%

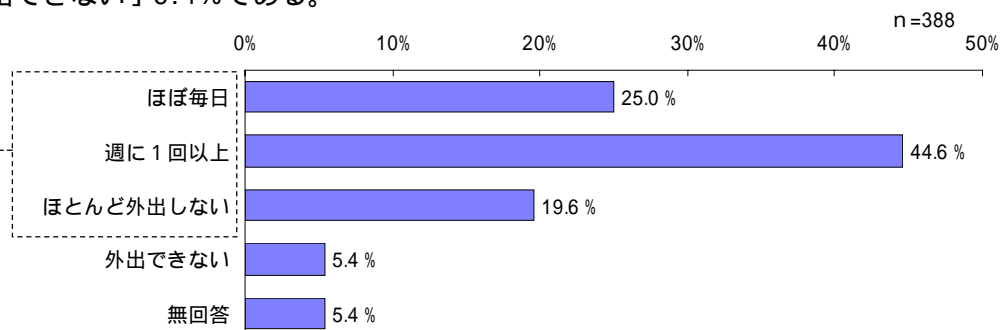
状態区分	要支援	回答者数 (人)	変化の種類						
			心身とも 元気が なってきた	どちらか という 元気が なってきた	あまり 変わらない	外出する ことが おっくうに なってきた	足腰が弱く なってきた	1日に三食、 食べない ことが よくある	物をうまく 飲み込め ないこと がある
全体		388	2.3	11.1	29.1	42.3	69.6	9.3	9.5
状態区分	要支援1	110	0.9	11.8	28.2	34.5	69.1	11.8	7.3
	要支援2	249	3.2	12.0	27.3	46.2	69.9	8.4	10.4
	その他	16	0.0	0.0	56.3	37.5	68.8	6.3	12.5

状態区分	要介護	回答者数 (人)	変化の種類					その他	無回答
			歯や入れ歯 の調子が よくない	物忘れが 多くなっ てきた	ひとり である ことが 不安に なる こと がある	人と話す 機会が 少なく なっ てきた			
全体		388	35.6	38.1	28.1	29.1	2.3	1.0	
状態区分	要支援1	110	35.5	44.5	28.2	26.4	2.7	0.0	
	要支援2	249	35.3	35.7	28.1	30.1	2.0	0.8	
	その他	16	37.5	43.8	25.0	37.5	0.0	0.0	

(5) 外出の頻度

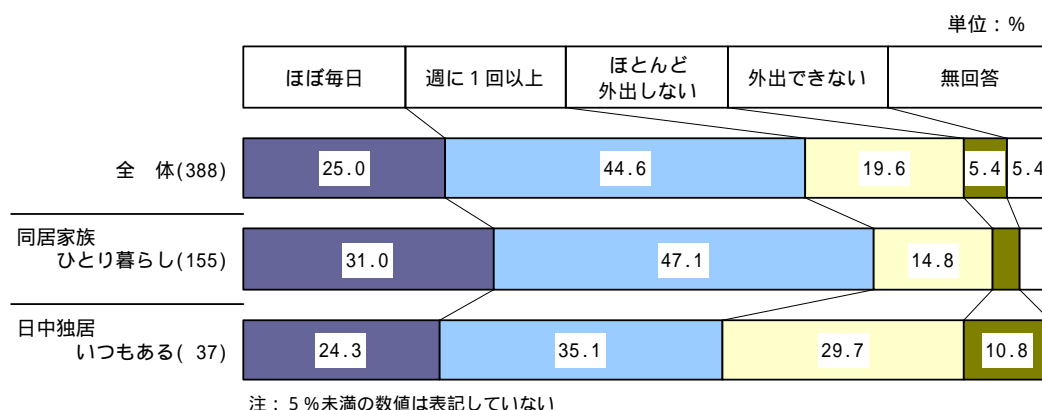
問5 日ごろ、どの程度外出していますか。(1つに)

日ごろの外出は「週に1回以上」44.6%、「ほぼ毎日」25.0%、「ほとんど外出しない」19.6%、「外出できない」5.4%である。



[ひとり暮らし・日中独居]

「ほぼ毎日」の外出は、ひとり暮らしが31.0%と他の家族構成を上回り、逆に「ほとんど外出しない」は日中いつもひとりであることが多い人の29.7%である。



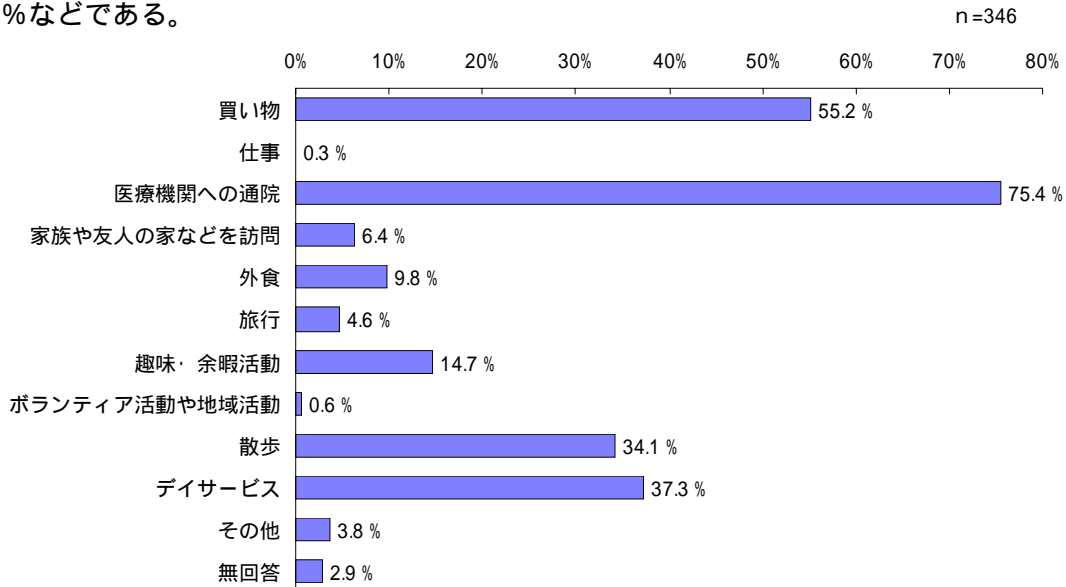
[要介護状態区分]

「ほぼ毎日」の外出は、要支援1の35.5%が要支援2の22.9%を上回る。逆に「ほとんど外出しない」は要支援2の23.3%が要支援1の9.1%を上回る。

(6) 外出の目的

問5-1 日ごろ、どのような目的で外出していますか。(あてはまるものすべてに)

外出の目的は「医療機関への通院」75.4%、「買い物」55.2%、「デイサービス」37.3%、「散歩」34.1%などである。



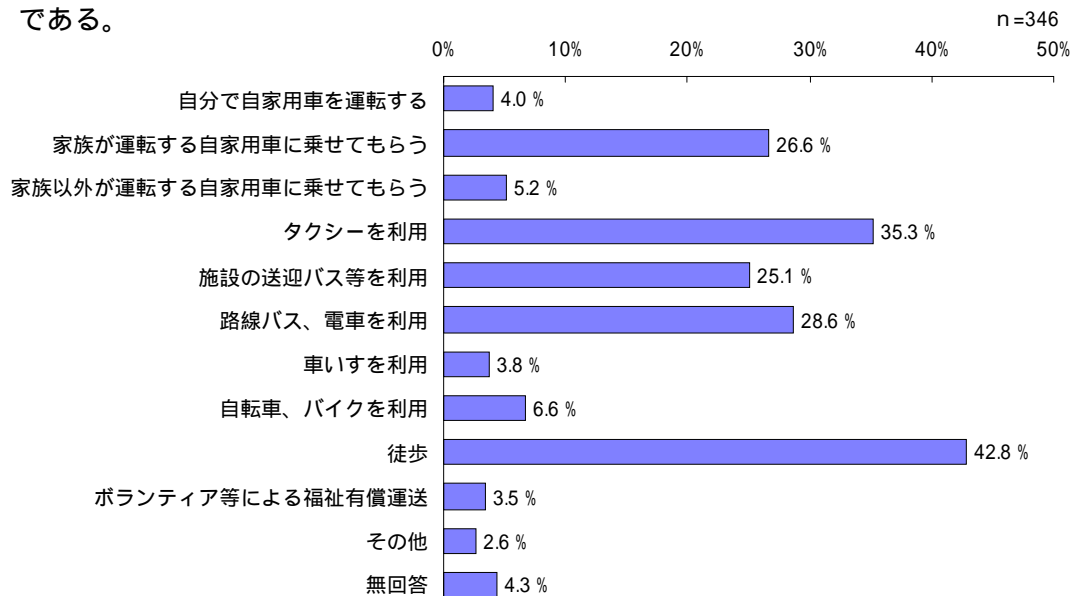
[ひとり暮らし・日中独居]

「買い物」はひとり暮らしが70.8%と他の家族構成を上回る。また、いつもひとりであることの多い人の「買い物」は51.5%であり、ひとりがときどきある人の43.4%、ひとりであることはない人の40.9%を上回る。

(7) 外出の方法

問5-2 日ごろ、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに)

外出の方法は「徒歩」42.8%、「タクシーを利用」35.3%、「路線バス、電車を利用」28.6%、「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」26.6%、「施設の送迎バス等を利用」25.1%が主なところである。



[同居家族]

「徒歩」は全員が65歳以上の世帯(夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く)が最も多く66.7%、次いでひとり暮らし52.8%、夫婦二人暮らし(二人とも64歳以下)50.0%などである。

単位：%

	回答者数 (人)	自分で自 家用車を 運転する	家族が 運転する 自家用車 に乗せて もらう	家族以外 が運転す る自家用 車に乗せ てもらう	タクシーを 利用	施設の 送迎バス 等を利用	路線バス、 電車を 利用	車いすを 利用	自転車、 バイクを 利用	徒歩	ボランティ ア等による 福祉有償 運送	その他	無回答	
全 体	346	4.0	26.6	5.2	35.3	25.1	28.6	3.8	6.6	42.8	3.5	2.6	4.3	
同居家族	夫婦二人暮らし (二人とも65歳以上)	71	4.2	33.8	5.6	46.5	25.4	23.9	4.2	4.2	33.8	7.0	4.2	1.4
	夫婦二人暮らし (どちらかが65歳以上)	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
	全員が65歳以上の世帯 (夫婦のみ世帯や ひとり暮らしを除く)	3	0.0	66.7	0.0	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	65歳以上がいる世帯 (夫婦のみ世帯や ひとり暮らしを除く)	30	3.3	40.0	3.3	33.3	30.0	20.0	3.3	6.7	40.0	0.0	0.0	6.7
	65歳以上がいない世帯 (夫婦のみ世帯や ひとり暮らしを除く)	27	7.4	37.0	3.7	29.6	51.9	18.5	3.7	3.7	40.7	0.0	7.4	0.0
	夫婦二人暮らし (二人とも64歳以下)	8	0.0	50.0	12.5	25.0	25.0	0.0	0.0	12.5	50.0	0.0	0.0	12.5
	ひとり暮らし	144	4.2	18.1	4.9	36.8	19.4	36.1	3.5	8.3	52.8	1.4	2.1	4.9

[日中独居]

日中ひとりであることの多い人は「タクシーを利用」及び「徒歩」がいずれも45.5%と最も多い。日中ひとりであることがときどきある人は「徒歩」39.8%「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」38.6%「タクシーを利用」37.3%と上位はあまり差がない。また、日中ひとりであることがない人は「タクシーを利用」45.5%「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」40.9%と続くが、「徒歩」は13.6%にすぎない。家族の世話が手厚いためと考えられる。

単位：%

	回答者数 (人)	自分で自 家用車を 運転する	家族が 運転する 自家用車 に乗せて もらう	家族以外 が運転す る自家用 車に乗せ てもらう	タクシーを 利用	施設の 送迎バス 等を利用	路線バス、 電車を 利用	車いすを 利用	自転車、 バイクを 利用	徒歩	ボランティ ア等による 福祉有償 運送	その他	無回答	
全 体	346	4.0	26.6	5.2	35.3	25.1	28.6	3.8	6.6	42.8	3.5	2.6	4.3	
日中独居	いつもある	33	3.0	33.3	6.1	45.5	30.3	18.2	0.0	3.0	45.5	6.1	9.1	3.0
	ときどきある	83	3.6	38.6	4.8	37.3	32.5	27.7	3.6	4.8	39.8	2.4	2.4	2.4
	ひとりであることは ない	22	4.5	40.9	4.5	45.5	27.3	4.5	9.1	9.1	13.6	9.1	0.0	9.1

[居住地区]

13地区のうち、重複1位を含め、「徒歩」を1位としたのが9地区、「タクシーを利用」が4地区、「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」及び「路線バス、電車を利用」各1地区である。「路線バス、電車を利用」は、本庁地区では64.3%であるが、馬橋地区ではわずか16.0%であり、地区による差は大きい。

単位：%

	回答者数 (人)	自分で自家用車を運転する	家族が運転する自家用車に乗せてもらう	家族以外が運転する自家用車に乗せてもらう	タクシーを利用	施設の送迎バス等を利用	路線バス、電車を利用	車いすを利用	自転車、バイクを利用	徒歩	ボランティア等による福祉有償運送	その他	無回答	
全体	346	4.0	26.6	5.2	35.3	25.1	28.6	3.8	6.6	42.8	3.5	2.6	4.3	
居住地区	小金	31	6.5	38.7	0.0	41.9	32.3	29.0	0.0	9.7	41.9	0.0	0.0	3.2
	小金原	40	7.5	32.5	12.5	30.0	12.5	37.5	0.0	0.0	45.0	5.0	2.5	7.5
	新松戸	20	10.0	30.0	5.0	30.0	20.0	25.0	0.0	10.0	50.0	5.0	0.0	0.0
	馬橋	25	4.0	32.0	12.0	44.0	40.0	16.0	8.0	4.0	20.0	0.0	4.0	4.0
	馬橋西	13	7.7	38.5	0.0	30.8	23.1	23.1	0.0	15.4	38.5	0.0	0.0	7.7
	明第1	37	0.0	29.7	0.0	27.0	27.0	18.9	2.7	10.8	45.9	2.7	2.7	8.1
	明第2西	17	0.0	23.5	0.0	29.4	17.6	17.6	5.9	5.9	52.9	5.9	0.0	5.9
	明第2東	13	0.0	23.1	15.4	23.1	15.4	38.5	7.7	0.0	69.2	7.7	0.0	0.0
	東部	13	7.7	23.1	0.0	38.5	23.1	23.1	15.4	0.0	23.1	0.0	7.7	7.7
	本庁	14	0.0	21.4	14.3	35.7	57.1	64.3	0.0	0.0	42.9	14.3	7.1	7.1
	矢切	16	0.0	18.8	6.3	50.0	12.5	37.5	6.3	0.0	31.3	12.5	0.0	0.0
	五香六実	35	8.6	25.7	8.6	25.7	31.4	20.0	5.7	5.7	48.6	2.9	5.7	0.0
	常盤平	53	1.9	18.9	0.0	37.7	20.8	26.4	3.8	11.3	47.2	1.9	1.9	3.8

丸数字は順位

[要介護状態区分]

要支援1、要支援2とも「徒歩」を1位としているが、要支援1の55.3%に対し、要支援2は38.9%にとどまる。要支援1は「路線バス、電車を利用」を2位にあげているが、要支援2では、2位に「タクシーを利用」、3位に「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」となっている。

単位：%

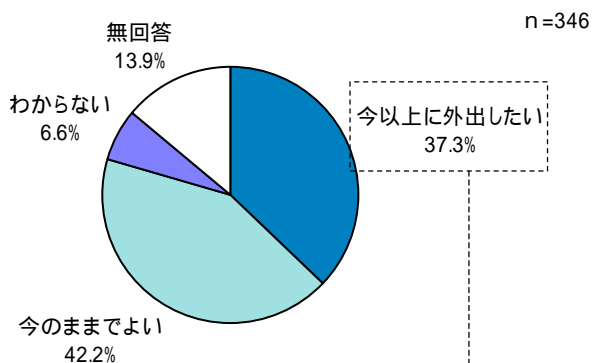
	回答者数 (人)	自分で自家用車を運転する	家族が運転する自家用車に乗せてもらう	家族以外が運転する自家用車に乗せてもらう	タクシーを利用	施設の送迎バス等を利用	路線バス、電車を利用	車いすを利用	自転車、バイクを利用	徒歩	ボランティア等による福祉有償運送	その他	無回答	
全体	346	4.0	26.6	5.2	35.3	25.1	28.6	3.8	6.6	42.8	3.5	2.6	4.3	
状態区分	要支援1	103	6.8	19.4	5.8	33.0	23.3	38.8	2.9	11.7	55.3	3.9	1.0	2.9
	要支援2	221	3.2	29.4	4.5	37.1	25.3	23.1	4.5	4.5	38.9	3.6	3.6	5.4
	その他	13	0.0	23.1	15.4	38.5	38.5	38.5	0.0	7.7	38.5	0.0	0.0	0.0

丸数字は順位

(8) 今以上に外出したいか

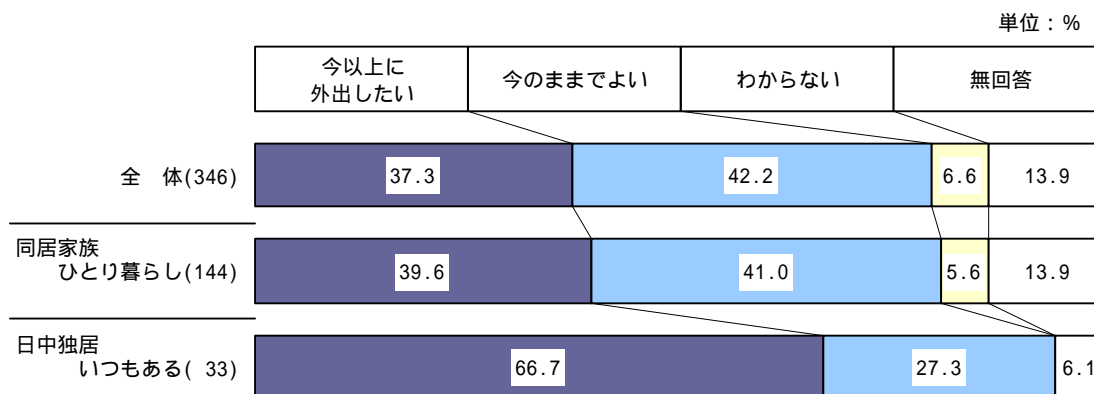
問5-3 今以上に外出したいですか。(1つに)

問5で外出が可能な人に、今以上に外出したいかを聞いた。「今のままでよい」42.2%、「今以上に外出したい」は37.3%にとどまり、「わからない」が6.6%である。



[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らしは全体結果とほぼ同じであるのに対し、いつもひとりであることの多い人は3分の2が「今以上に外出したい」としている。



注：5%未満の数値は表記していない

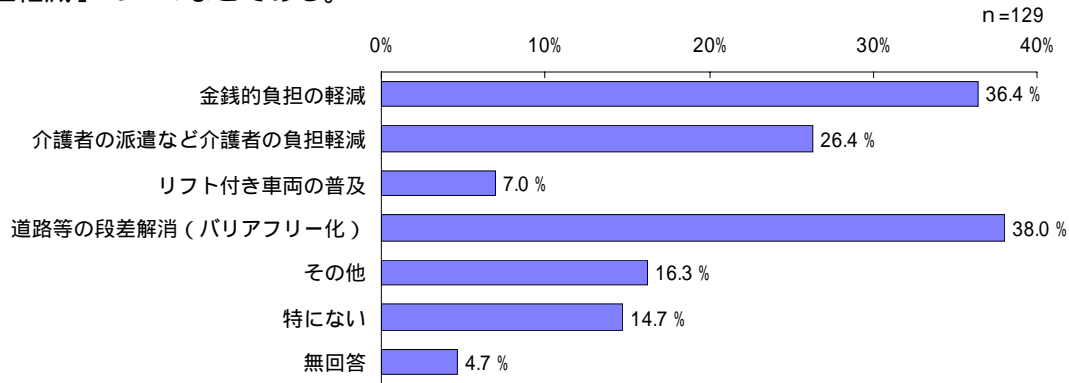
[要介護状態区分]

「今のままでよい」は要支援1の47.6%が要支援2の40.7%を上回る。逆に「今以上に外出したい」は要支援2の38.5%が、要支援1の33.0%を上回る。

(9) 外出のために必要な援助

問5-4 今以上に外出するためには、どのような援助があればよいですか。(あてはまるものすべてに)

問5-3で「今以上に外出したい」と答えた人に、どのような援助が必要かを聞いた。「道路等の段差解消(バリアフリー化)」38.0%、「金銭的負担の軽減」36.4%、「介護者の派遣など介護者の負担軽減」26.4%などである。



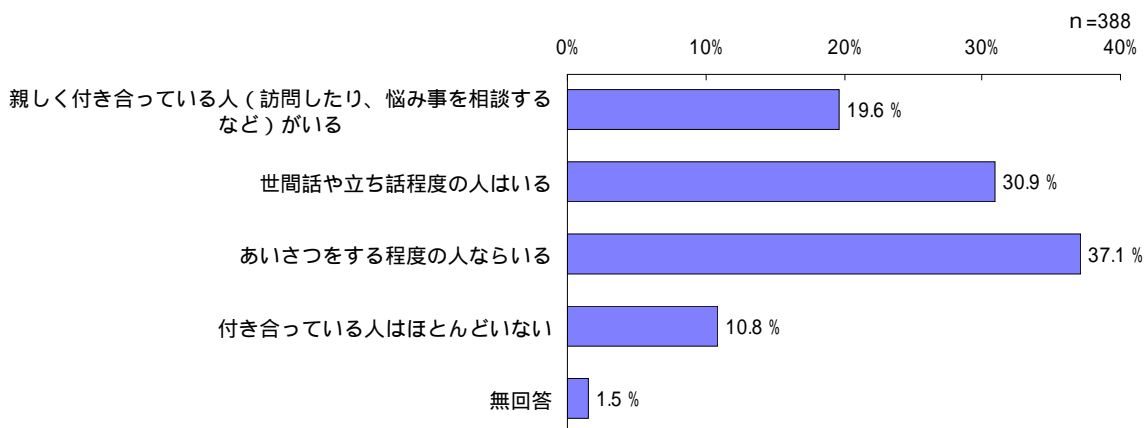
[ひとり暮らし・日中独居]

日中いつもひとりでいることの多い人では、「金銭的負担の軽減」50.0%「介護者の派遣など介護者の負担軽減」40.9%がとくに多くなっている。ひとり暮らしでは、とくに多い回答はみられない。

(10) 隣近所との付き合い

問6 あなたは、日ごろ隣近所の方と、どの程度の付き合いをしていますか。(1つに)

隣近所との付き合いは、「あいさつをする程度の人ならいる」37.1%、「世間話や立ち話程度の人はいる」30.9%、以下やや少なくなり、「親しく付き合っている人(訪問したり、悩み事を相談するなど)がいる」19.6%「付き合っている人はほとんどいない」10.8%である。

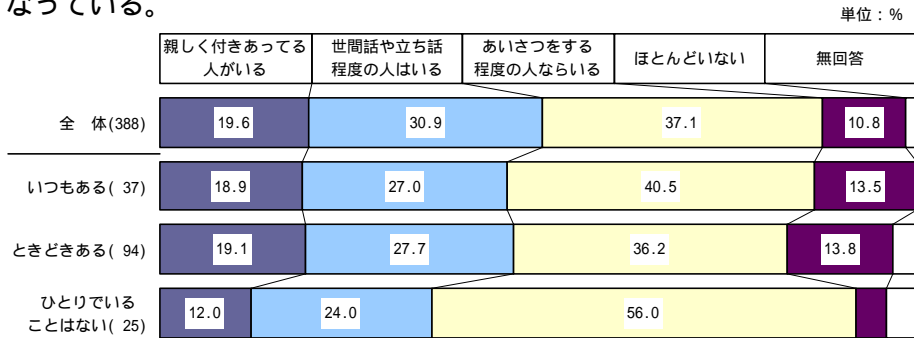


[ひとり暮らし]

ひとり暮らしは「あいさつをする程度の人ならいる」35.5%「世間話や立ち話程度の人はいる」32.9%「親しく付き合っている人がいる」23.2%「ほとんどいない」10.3%である。

[日中独居]

日中いつも、あるいは、ときどきひとりである人は「ほとんどいない」が各13.5%、13.8%とやや多くなっている。



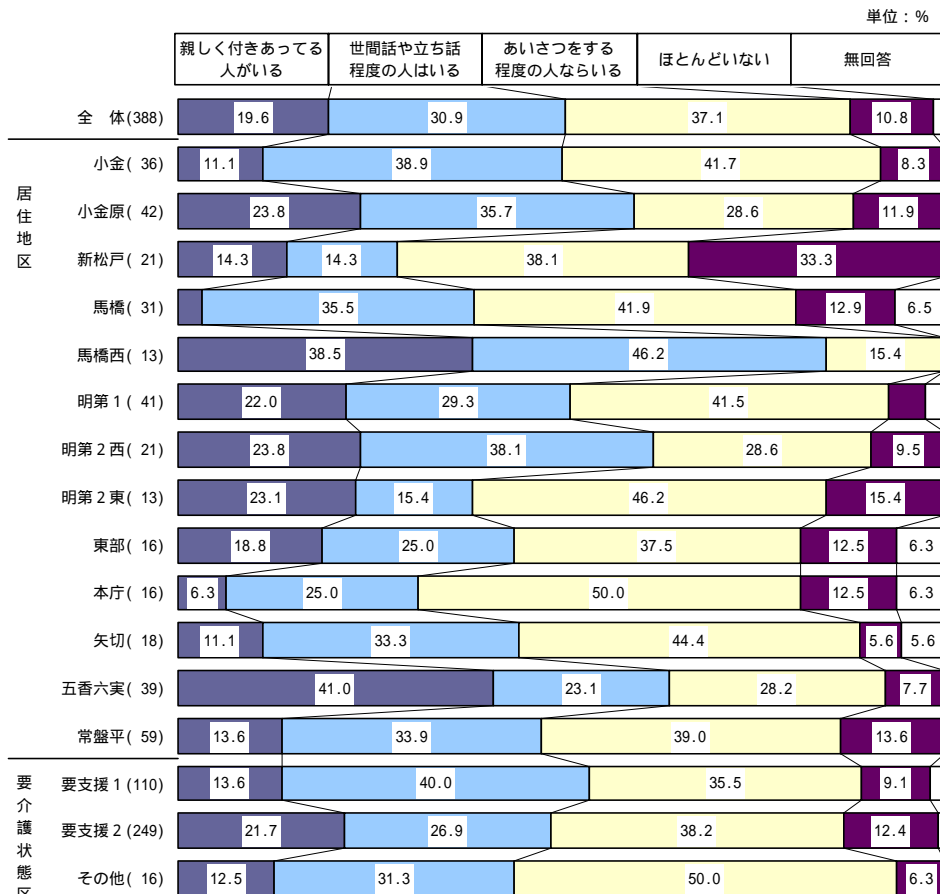
注：5%未満の数値は記入していない

[居住地区]

最も多いのは、「あいさつをする程度の人ならいる」は9地区、「世間話や立ち話程度の人はいる」は3地区、「親しく付き合っている人がいる」は1地区、五香六実地区である。

[要介護状態区分]

「あいさつをする程度の人ならいる」は要支援2の38.2%が要支援1の35.5%をやや上回るが、逆に、「世間話や立ち話程度の人はいる」は要支援1の40.0%が要支援2の26.9%を大きく上回る。また、「親しく付き合っている人がいる」は要支援2の21.7%に対し、要支援1は13.6%である。

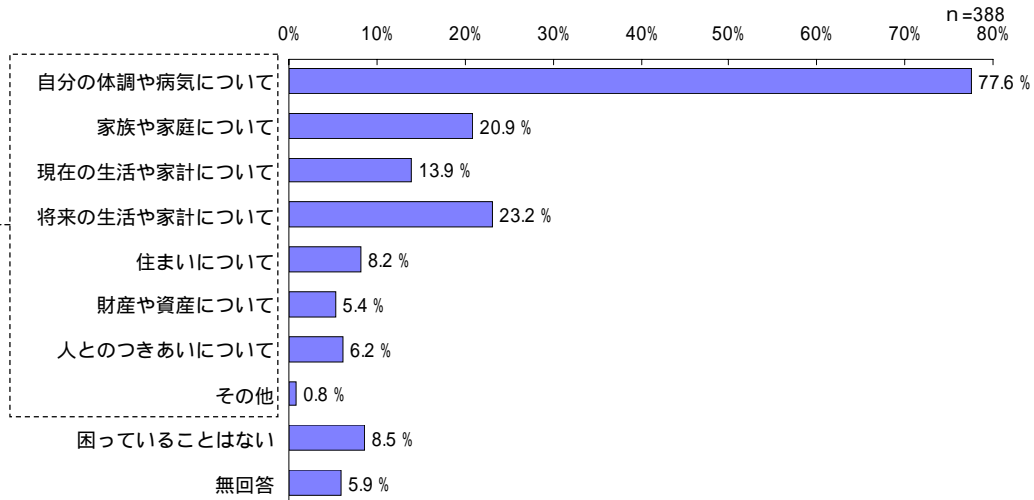


注：5%未満の数値は記入していない

(11) 不安・心配の内容

問7 次にあげた項目のうち、不安になったり心配になったりすることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに)

「自分の体調や病気について」77.6%と、8割近い人があげている。以下、「将来の生活や家計について」23.2%、「家族や家庭について」20.9%、「現在の生活や家計について」13.9%などである。



[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らし及び日中いつもひとりであることの多い人は、「自分の体調や病気について」各80.0%、78.4%、「将来の生活や家計について」が各29.0%、29.7%と全体を上回る。

また、いつもひとりであることの多い人は「家族や家庭について」が37.8%とひとり暮らしの11.0%を大きく上回る。

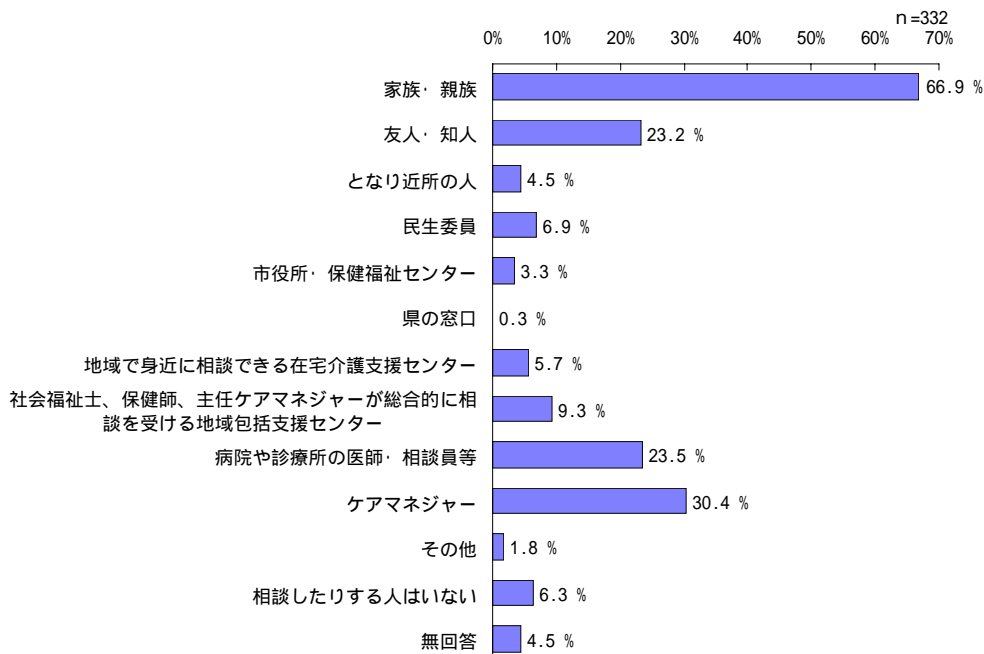
単位：%

	回答者数 (人)	自分の体調や病気について	家族や家庭について	現在の生活や家計について	将来の生活や家計について	住まいについて	財産や資産について	人とのつきあいについて	その他	困っていることはない	無回答
全 体	388	77.6	20.9	13.9	23.2	8.2	5.4	6.2	0.8	8.5	5.9
家族同居 ひとり暮らし	155	80.0	11.0	15.5	29.0	12.3	3.9	5.2	1.3	9.0	2.6
日中独居 いつもある	37	78.4	37.8	18.9	29.7	0.0	16.2	13.5	0.0	5.4	2.7

(12) 不安・心配の相談相手

問7-1 その心配事や悩みについて、だれかに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(あてはまるものすべてに)

相談相手で最も多いのは「家族・親族」66.9%、次いで「ケアマネジャー」30.4%、「病院や診療所の医師・相談員等」23.5%、「友人・知人」23.2%などである。



[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らし及び日中ひとりであることの多い人、いずれも「家族・親族」が各 59.9%、64.7%と最も多い。「病院や診療所の医師・相談員等」については、日中ひとりであることがときどきある人の 32.1%に対し、日中いつもひとりであることの多い人は 17.6%にとどまっている。

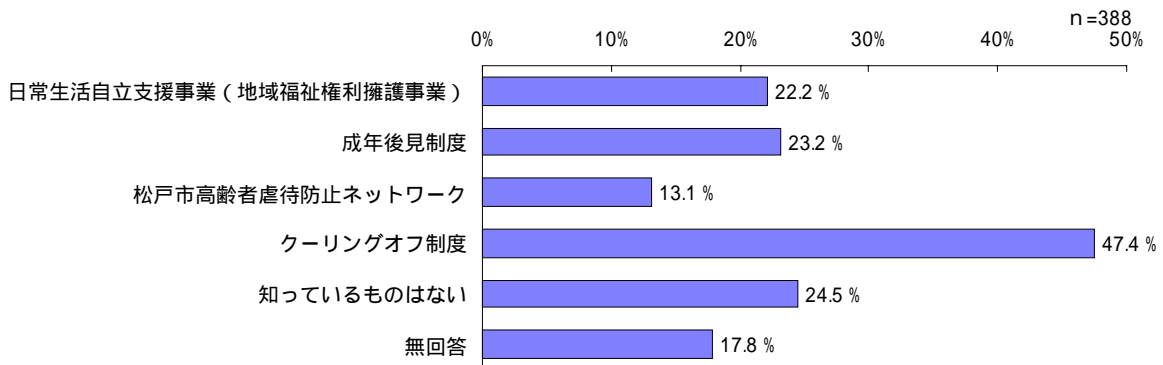
		回答者数 (人)	家族・親族	友人・知人	となり近所の人	民生委員	市役所・保健福祉センター	県の窓口	地域で身近に相談できる在宅介護支援センター
全 体		332	66.9	23.2	4.5	6.9	3.3	0.3	5.7
家 同 族 居	ひとり暮らし	137	59.9	28.5	5.1	11.7	5.8	0.7	10.2
	日中独居								
日 中 独 居	いつもある	34	64.7	29.4	5.9	2.9	5.9	0.0	2.9
	ときどきある	78	85.9	15.4	5.1	2.6	0.0	0.0	3.8
	ひとりであることはない	20	65.0	15.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		回答者数 (人)	社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャーが総合的に相談を受ける地域包括支援センター	病院や診療所の医師・相談員等	ケアマネジャー	その他	相談したりする人はいない	無回答
全 体		332	9.3	23.5	30.4	1.8	6.3	4.5
家 同 族 居	ひとり暮らし	137	12.4	24.8	30.7	2.9	6.6	4.4
	日中独居							
日 中 独 居	いつもある	34	14.7	17.6	38.2	2.9	11.8	0.0
	ときどきある	78	9.0	32.1	25.6	0.0	2.6	2.6
	ひとりであることはない	20	0.0	20.0	20.0	5.0	10.0	5.0

(13) 権利擁護等の制度や仕組み

問8 高齢者が安心して暮らせるための権利擁護等の制度や仕組みを知っていますか。(知っているものすべてに)

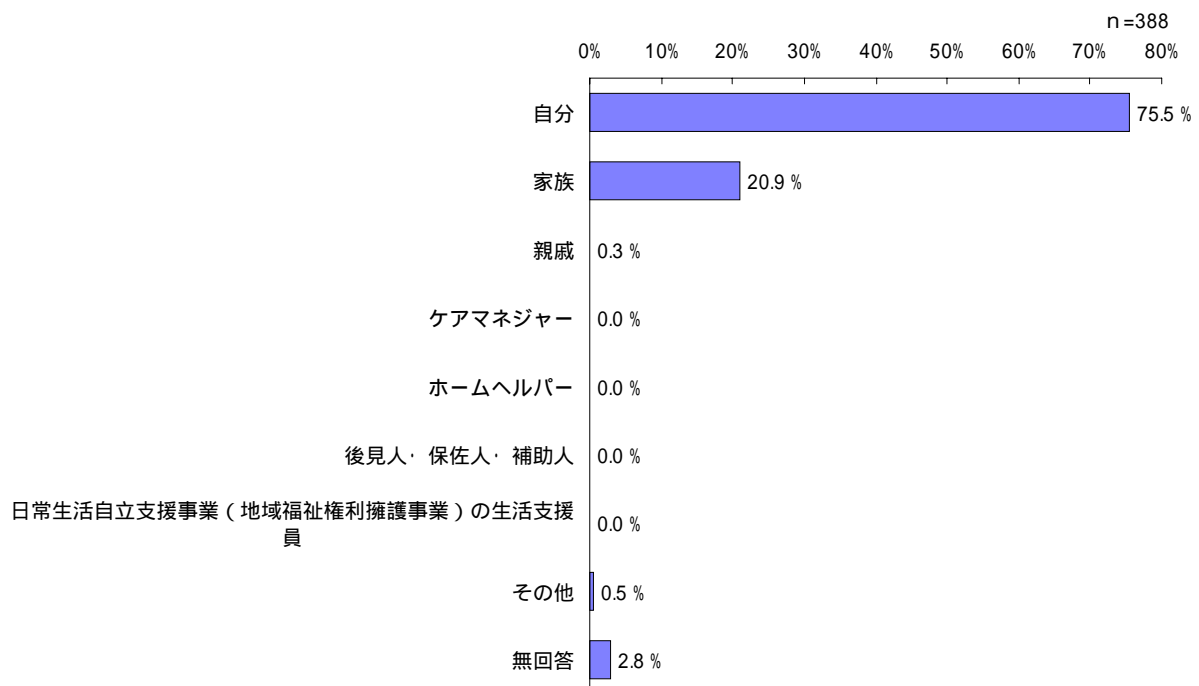
「クーリングオフ制度」は47.4%と半数近い人があげている。「知っているものはない」24.5%、「成年後見制度」23.2%、「日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）」22.2%が同程度である。



(14) 日常の金銭管理

問9 あなたの日常生活に関わる金銭管理は誰が行っていますか。(1つに)

日常生活に関わる金銭管理は、「自分」が75.5%、「家族」20.9%、「親戚」0.3%である。

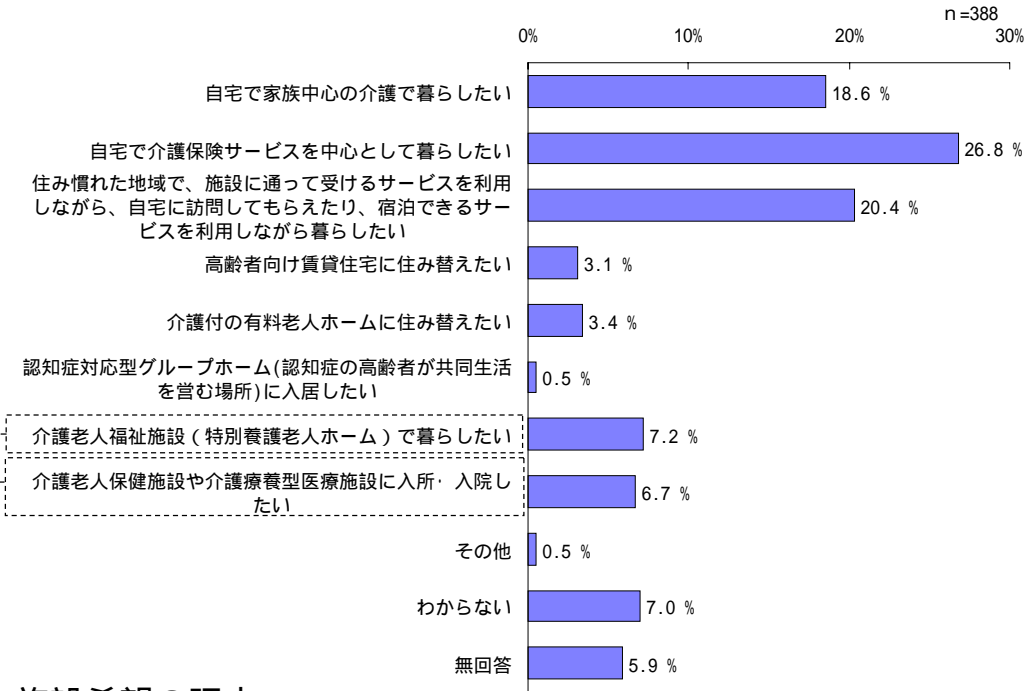


3. 今後の生活について

(1) どのように暮らしたいのか

問 10 あなたは今後の生活について、どのようにお考えですか (1つに)

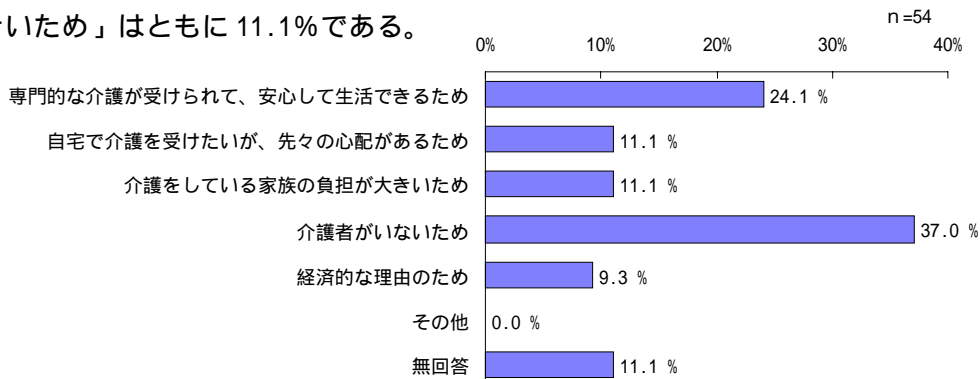
「自宅で介護保険サービスを中心として暮らしたい」26.8%、「住み慣れた地域で、施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、宿泊できるサービスを利用しながら暮らしたい」20.4%、「自宅で家族中心の介護で暮らしたい」18.6%が主なところである。



(2) 施設希望の理由

問 10- 1 施設等を希望される(ご自宅での生活を希望しない)最も大きな理由は何ですか。(1つに)

問 10 で「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)で暮らしたい」及び「介護老人保健施設や介護療養型医療施設に入所・入院したい」と答えた人にその理由を聞いた。最も多いのが、「介護者がいないため」37.0%、次いで「専門的な介護が受けられて、安心して生活できるため」24.1%であり、「自宅で介護を受けたいが、先々の心配があるため」及び「介護をしている家族の負担が大きいため」はともに 11.1%である。



[要介護状態区分]

「介護者がいないため」は要支援1が52.9%、要支援2が26.5%と大きな差がある。「専門的な介護が受けられて、安心して生活できるため」は、要支援2の26.5%が要支援1の17.6%を上回る。

単位：%

	回答者数 (人)	専門的な介護 が受けられて、 安心して生活 できるため	自宅で介護を 受けたいが、 先々の心配が あるため	介護をしてい る家族の負担 が大きいため	介護者が いないため	経済的な 理由のため	その他	無回答
全 体	54	24.1	11.1	11.1	37.0	9.3	0.0	11.1
要 介 護 状 態 区 分	要支援1	17	17.6	11.8	11.8	52.9	5.9	0.0
	要支援2	34	26.5	8.8	11.8	26.5	11.8	0.0
	その他	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らしは、「介護者がいないため」が46.2%であるのに対し、いつもひとりであることので多い人は、「自宅で介護を受けたいが、先々の心配があるため」42.9%である。

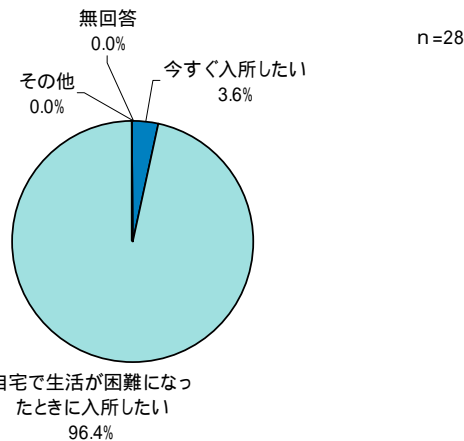
単位：%

	回答者数 (人)	専門的な介護 が受けられて、 安心して生活 できるため	自宅で介護を 受けたいが、 先々の心配が あるため	介護をしてい る家族の負担 が大きいため	介護者が いないため	経済的な 理由のため	その他	無回答
全 体	54	24.1	11.1	11.1	37.0	9.3	0.0	11.1
家 同 族 居	ひとり暮らし	26	26.9	3.8	7.7	46.2	7.7	0.0
独 日 居 中	いつもある	7	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0

(3) 施設に入所したい時期

問10-2 いつ介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）に入所したいですか。（1つに）

問9で「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）で暮らしたい」と答えた人に、いつ入所したいかを聞いた。「自宅で生活が困難になったときに入所したい」が96.4%と大半である。



[要介護状態区分]

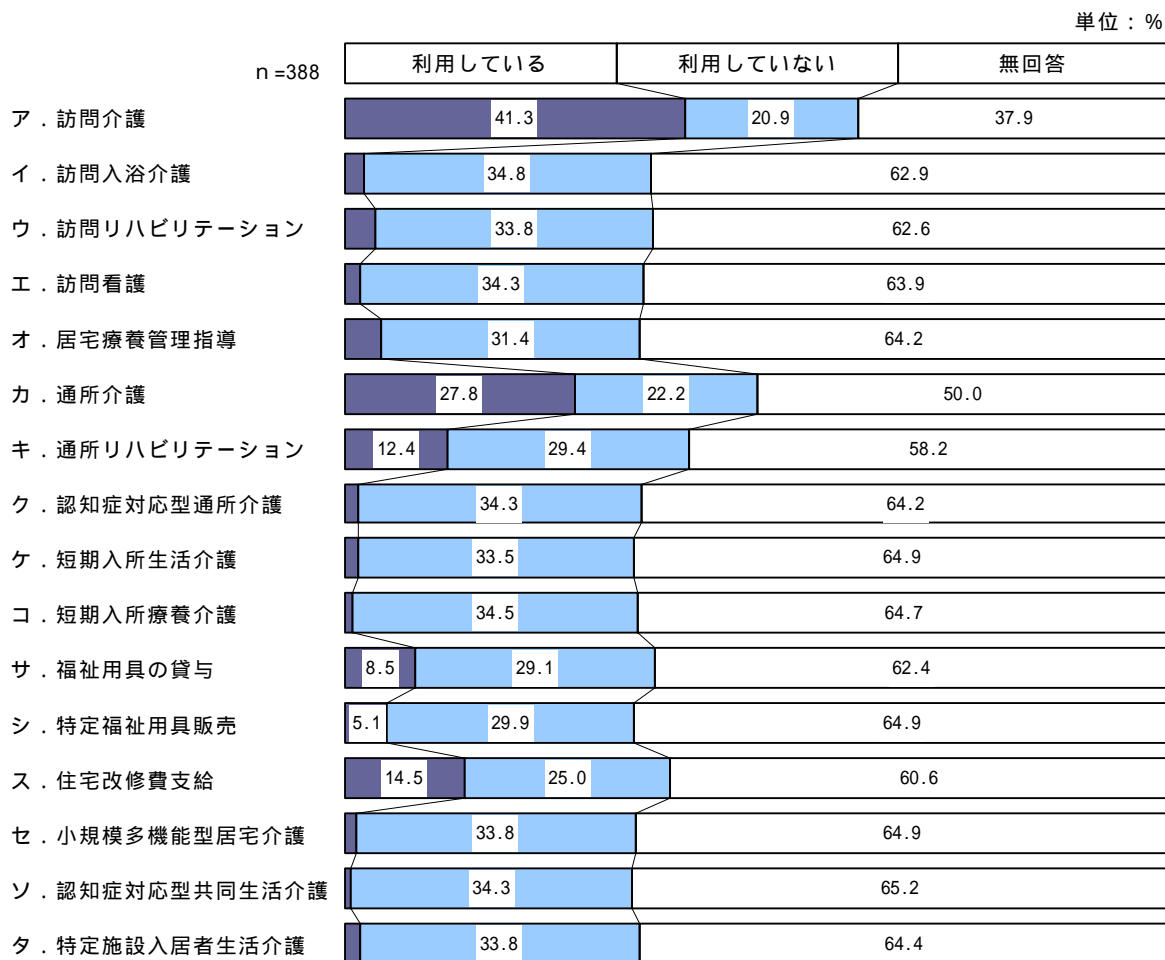
「今すぐ入所したい」は、要支援1はゼロ、要支援2は5.9%、1人である。

4. 介護保険サービスの利用について

(1) 利用の有無

問 11 あなたが利用している介護保険サービスについて、日ごろどのように感じていますか。それぞれの利用状況、また利用していればその感想についてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに)

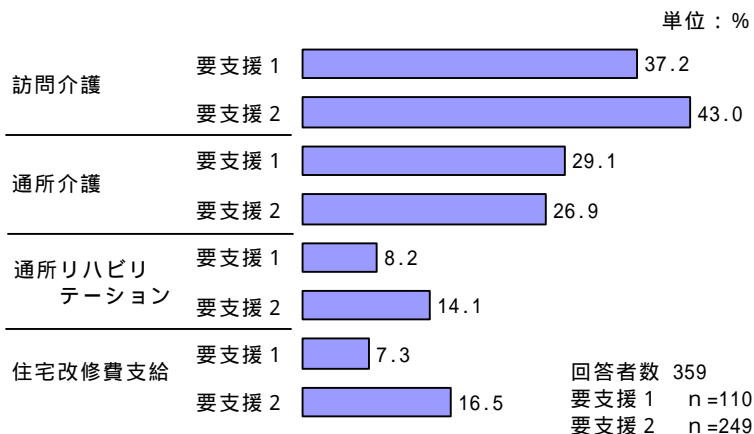
「利用している」は「訪問介護」41.3%、「通所介護」27.8%、「住宅改修費支給」14.5%、「通所リハビリテーション」12.4%の4つのサービスのみ2ケタ台である。



注：5%未満の数値は表記していない

[要介護状態区分]

要支援1、要支援2、いずれか10%以上の利用は、右の通りである。「通所介護」を除いては、要支援2の利用が要支援1を上回る。



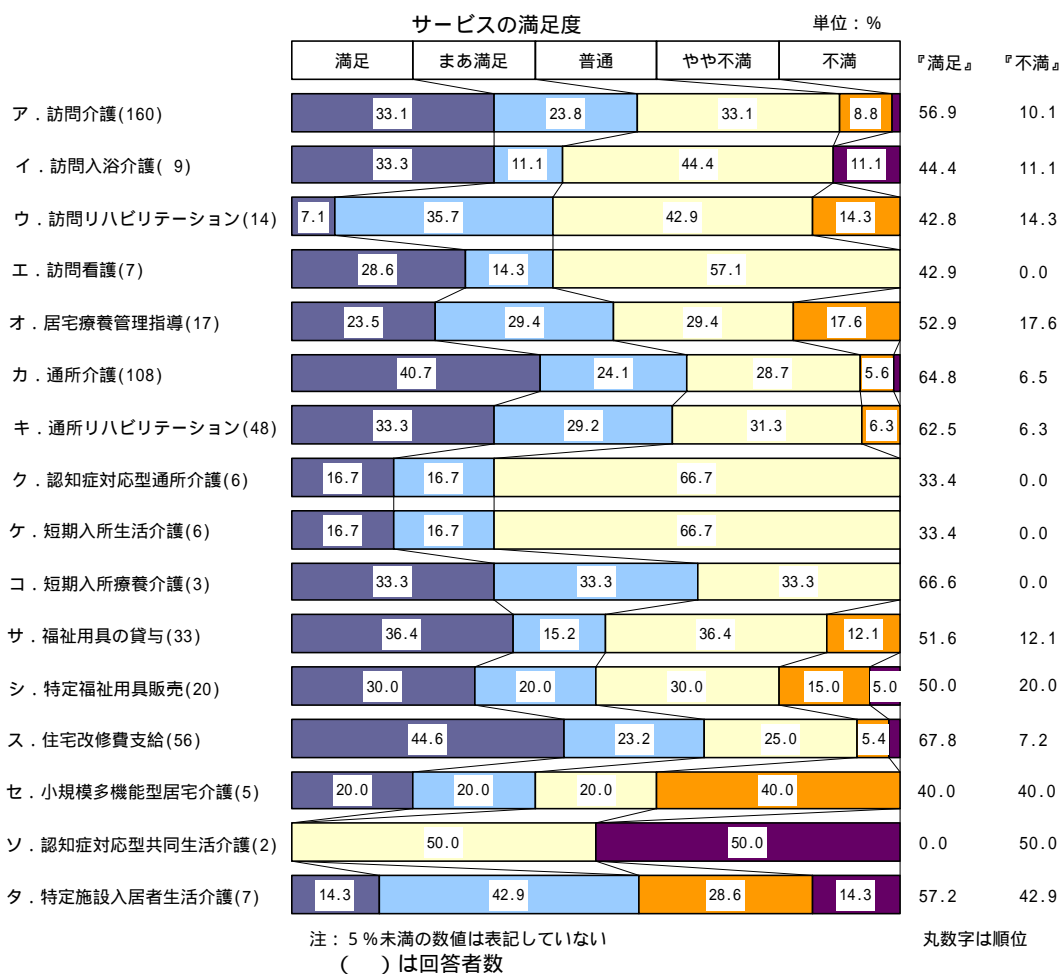
(2) 満足度

「満足」が最も多いのが「住宅改修費支給」44.6%、次いで「通所介護」40.7%、「福祉用具の貸与」36.4%、「訪問入浴介護」及び「通所リハビリテーション」、「短期入所療養介護」いずれも33.3%などである。

「満足」に「まあ満足」を合わせた『満足』についても、「住宅改修費支給」67.8%、「短期入所療養介護」66.6%、「通所介護」64.8%、「通所リハビリテーション」62.5%、「特定施設入居者生活介護」57.2%などであり、「特定施設入居者生活介護」以外の項目は共通している。

これに対し「不満」は、「特定施設入居者生活介護」14.3%、「訪問入浴介護」11.1%、「特定福祉用具販売」5.0%などである。（「認知症対応型共同生活介護」は回答者が2人のため除く。以下同じ。）

「不満」に「やや不満」を合わせた『不満』は、「特定施設入居者生活介護」42.9%、「小規模多機能型居宅介護」40.0%、「特定福祉用具販売」20.0%などである。



(3) サービスを利用していない理由 (問11で「利用していない」に をつけた人)

問11-1 あなたがどのサービスも利用していない理由は何ですか。(1つに)

問11でどのサービスも利用していない理由を聞いているが、回答者は24人と少ない。「自分でまだできるから」が13人、54.2%と半数を超える。次いで「利用したいサービスがないから」3人、12.5%、「家族等の介護で十分だから」2人、8.3%などである。

(4) 満足の理由

(問11で「満足」「まあ満足」に をつけた人)

問11-2 あなたはどのような点に「満足」していますか。利用している介護保険サービスについて、あてはまる番号に をつけてください。(はいくつでも)

問10の各種介護保険サービスについて『満足』と答えた理由を聞いた。回答者が少ないため、回答者数が10人以上の6つのサービスについてみる。4つのサービスで1位としているのが、「サービス担当者の心構えや対応がよい」であり、「希望するサービスが受けられた」は2つのサービスで1位である。各サービスであげられた上位は、この両項目に加え、「自分でサービス事業者を選べた」や「在宅生活が続けられる」などである。

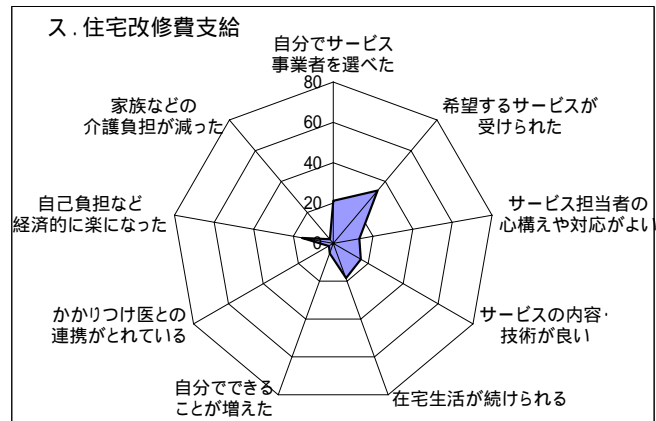
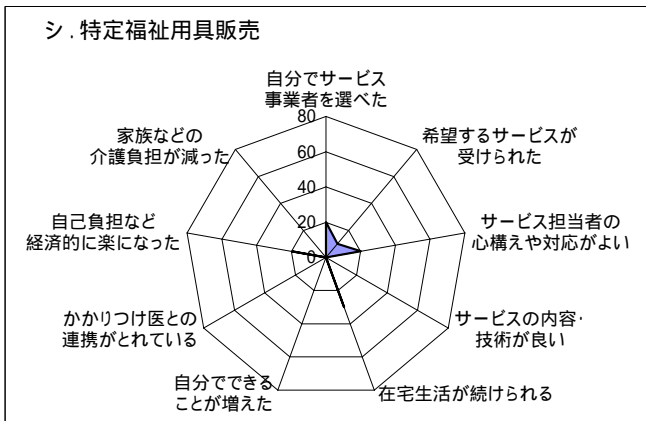
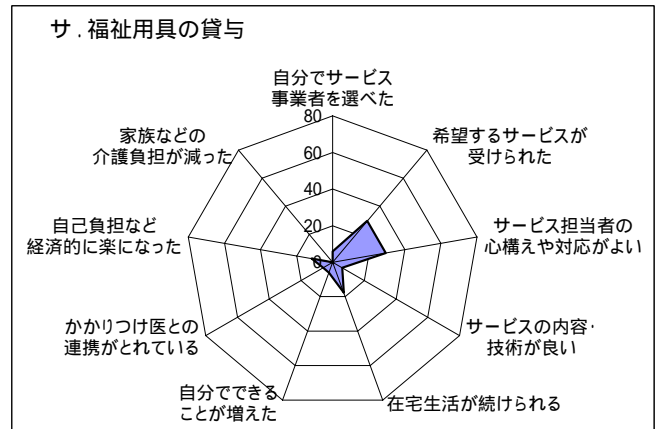
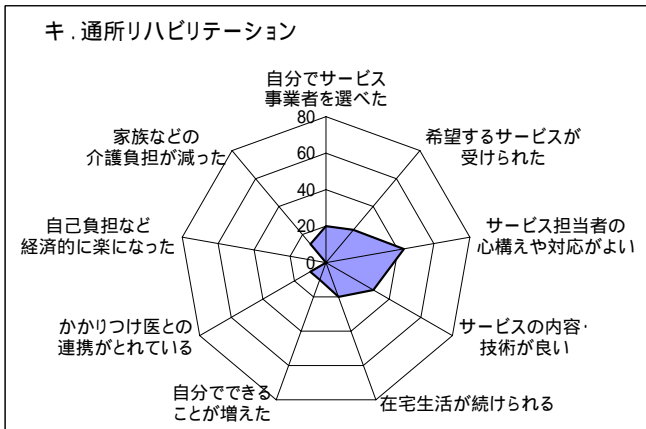
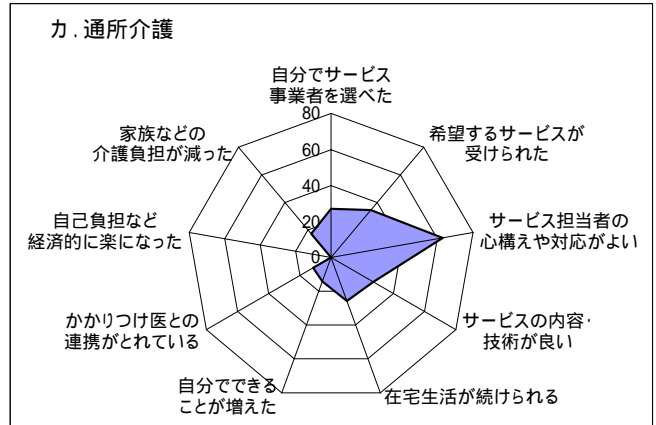
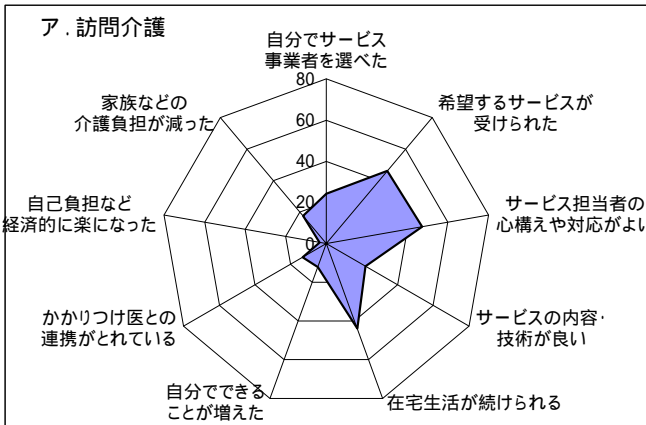
サービスの種類にみる満足の理由

単位：%

サービスの種類	回答者数(人)	自分でサービス事業者を選べた	希望するサービスが受けられた	サービス担当者の心構えや対応がよい	サービスの内容・技術が良い	在宅生活が続けられる	自分のできることで増えた	かかりつけ医との連携がとれている	経済的に楽になった	自己負担など介護負担が減った	家族などの介護負担が減った	その他	無回答
ア．訪問介護	91	24.2	46.2	47.3	22.0	44.0	12.1	13.2	3.3	17.6	3.3	19.8	
イ．訪問入浴介護	4	50.0	75.0	75.0	50.0	75.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	
ウ．訪問リハビリテーション	6	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	
エ．訪問看護	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	
オ．居宅療養管理指導	9	0.0	33.3	11.1	33.3	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	66.7	
カ．通所介護	70	27.1	34.3	62.9	27.1	25.7	14.3	11.4	0.0	17.1	0.0	25.7	
キ．通所リハビリテーション	30	20.0	23.3	43.3	30.0	20.0	10.0	10.0	0.0	13.3	3.3	36.7	
ク．認知症対応型通所介護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	
ケ．短期入所生活介護	2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
コ．短期入所療養介護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
サ．福祉用具の貸与	17	5.9	29.4	29.4	5.9	17.6	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0	47.1	
シ．特定福祉用具販売	10	20.0	10.0	20.0	0.0	30.0	0.0	0.0	20.0	0.0	10.0	30.0	
ス．住宅改修費支給	38	21.1	34.2	13.2	15.8	18.4	5.3	2.6	15.8	2.6	0.0	50.0	
セ．小規模多機能型居宅介護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
ソ．認知症対応型共同生活介護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
タ．特定施設入居者生活介護	4	0.0	25.0	50.0	75.0	50.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	

注：丸数字は順位（回答者数10人以上にのみ）

満足の理由比較（回答者数 10 人以上の項目）



(5) 不満の理由

(問11で「やや不満」「不満」に をつけた人)

問11-3 あなたはどのような点が「不満足」でしたか。利用している介護保険サービスについて、あてはまる番号に をつけてください。(はいくつでも)

問11の各種介護保険サービスについて、『不満』と答えた理由を聞いた。回答者が10人以上は「訪問介護」のみである。

「訪問介護」においては「サービスのレベルが低い」37.5%、「希望する日時にサービスを利用できなかった」及び「希望する回数が利用できなかった」、「担当者の心構えや対応が悪い」いずれも18.8%が上位にあげられている。

サービスの種類にみる不満の理由

単位：%

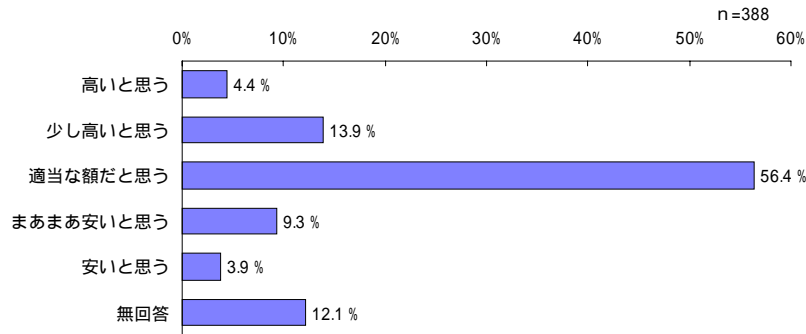
サービスの種類	回答者数(人)	事業者が少ない	希望する日時にサービスを利用できなかった	希望する回数が利用できなかった	担当者の心構えや対応が悪い	サービスのレベルが低い	事業者の説明が不十分	聞いてくれなかった	事業者が要望を	約束どおりサービスを	受けられなかった	担当者が頻繁にかわった	自己負担が重い	その他	無回答
ア．訪問介護	16	12.5	18.8	18.8	18.8	37.5	0.0	6.3	6.3	6.3	12.5	0.0	37.5		
イ．訪問入浴介護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
ウ．訪問リハビリテーション	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	
エ．訪問看護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
オ．居宅療養管理指導	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	
カ．通所介護	7	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	57.1		
キ．通所リハビリテーション	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7		
ク．認知症対応型通所介護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
ケ．短期入所生活介護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
コ．短期入所療養介護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
サ．福祉用具の貸与	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0		
シ．特定福祉用具販売	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0		
ス．住宅改修費支給	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0		
セ．小規模多機能型居宅介護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		
ソ．認知症対応型共同生活介護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		
タ．特定施設入居者生活介護	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7		

注：丸数字は順位（回答者数10人以上にのみ）

(6) 利用者負担分について

問12 介護保険のサービスを利用するにあたって支払う利用者負担分(1割負担)についてどのように感じていますか。(1つに)

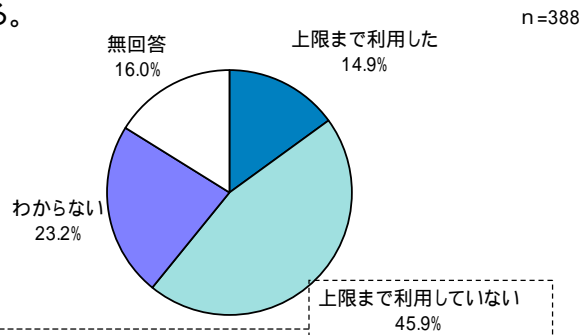
利用者負担分(1割負担)については、「適当な額だと思う」56.4%と半数を超える。以下「少し高いと思う」13.9%、「まあまあ安いと思う」9.3%、「高いと思う」4.4%、「安いと思う」3.9%の順である。



(7) 区分支給限度額の利用

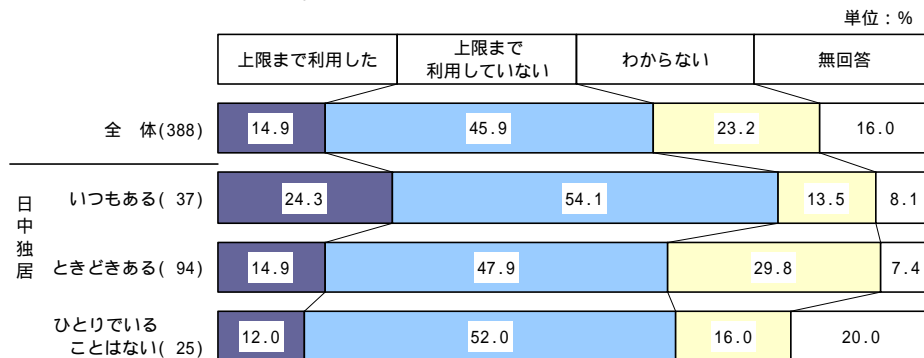
問13 介護保険サービスの利用額について、制度上利用できる上限(区分支給限度額)いっぱいまで利用しましたか。(1つに)

「上限まで利用していない」が45.9%と約半数を占める。次いで「わからない」23.2%、「上限まで利用した」14.9%である。



[日中独居]

日中いつもひとりであることの多い人は、「上限まで利用した」が24.3%と他を上回る。ひとり暮らしは全体結果と変わらない。



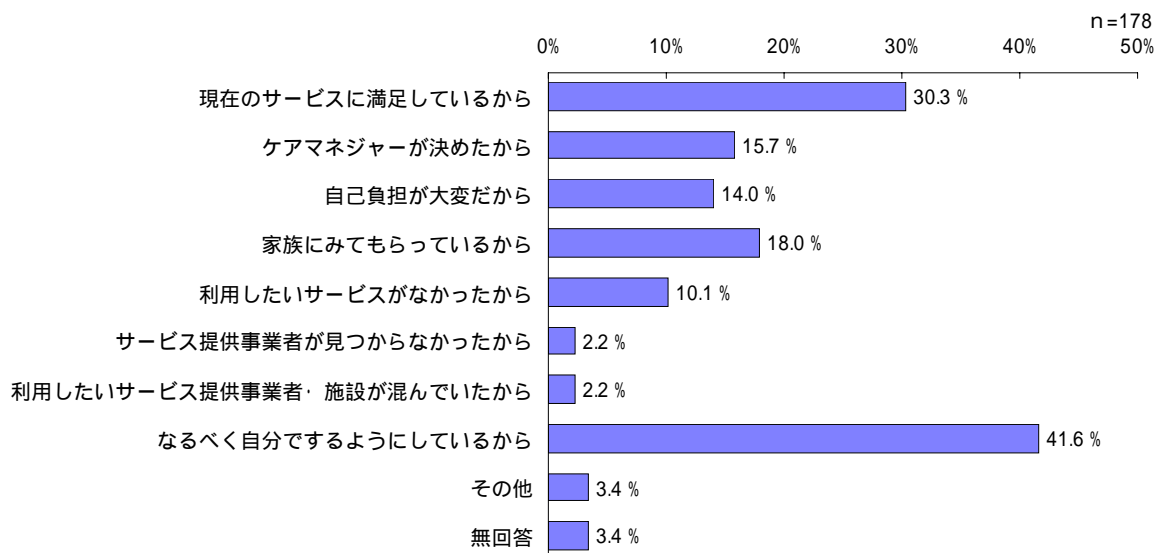
[要介護状態区分]

「上限まで利用していない」は、要支援1が42.7%、要支援2が45.4%である。

(8) 上限まで利用しない理由

問 13- 1 上限まで利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)

問 13 で「上限まで利用していない」と答えた人にその理由を聞いた。最も多いのが、「なるべく自分でするようにしているから」41.6%、次いで「現在のサービスに満足しているから」30.3%、「家族に見てもらっているから」18.0%、「ケアマネジャーが決めたから」15.7%、「自己負担が大変だから」14.0%などである。



[要介護状態区分]

「なるべく自分でするようにしているから」は、要支援2が45.2%と要支援1の36.2%を上回り、「ケアマネジャーが決めたから」は、要支援1の25.5%が要支援2の13.3%を上回る。

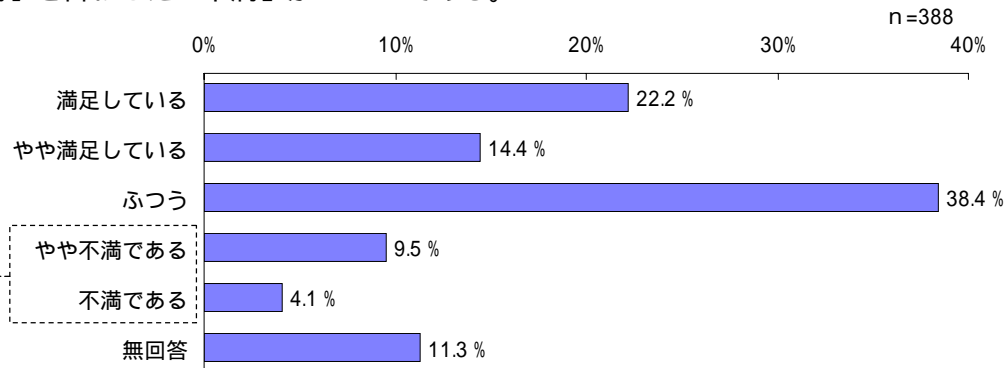
5. ケアプランについて

(1) ケアプランの満足度

問14 あなたは、現在のケアプランに満足していますか。(1つに)

「ふつう」が38.4%と最も多く、「満足している」22.2%、「やや満足している」14.4%、「やや不満である」9.5%、「不満である」4.1%である。

「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足』が36.6%、「やや不満である」と「不満」を合わせた『不満』が13.6%である。

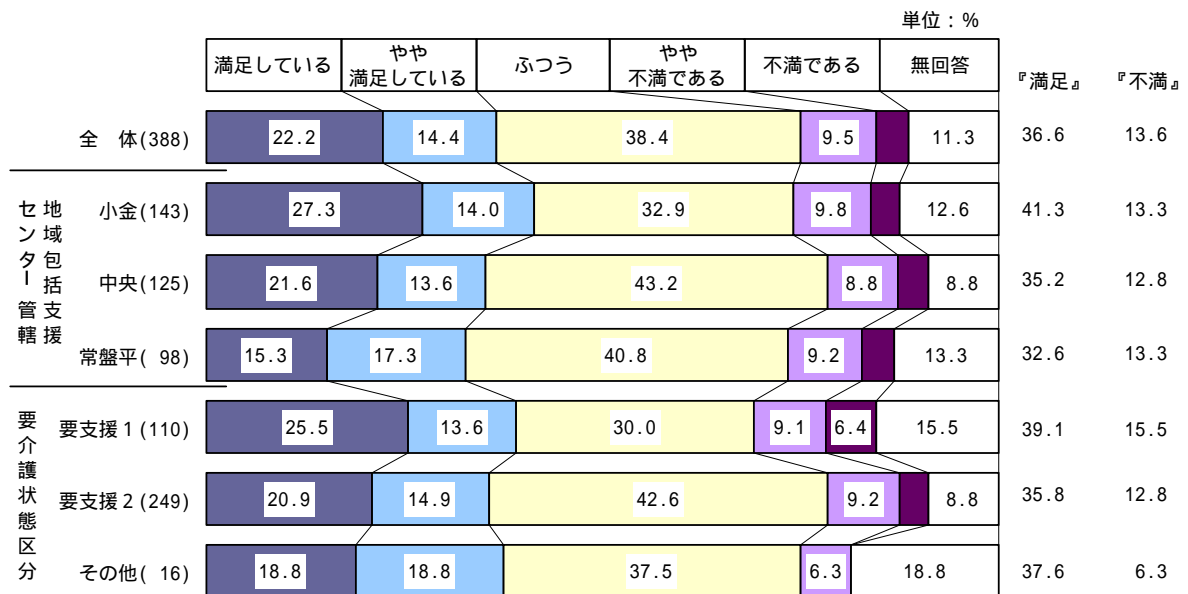


[地域包括支援センター管轄区分]

『満足』は小金41.3%、中央35.2%、常盤平32.6%の順であり、『不満』はほとんど差がない。

[要介護状態区分]

『満足』は要支援1が39.1%、要支援2が35.8%、『不満』は要支援1が15.5%、要支援2が12.8%、『満足』、『不満』とも要支援1が上回る。

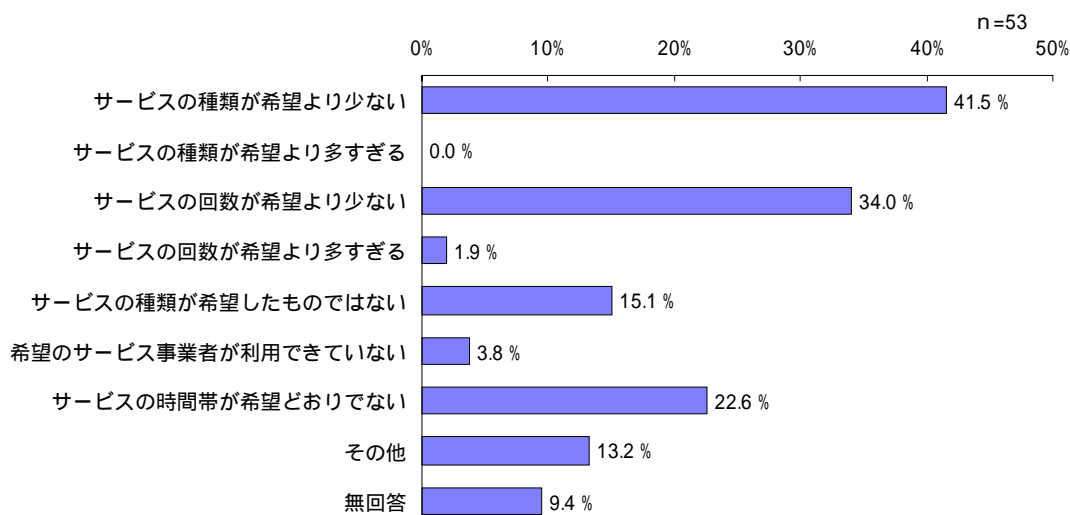


注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

(2) 不満の内容

問 14- 1 ご不満の内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに)

問 14 で『不満』と答えた人にその内容を聞いた。最も多いのが、「サービスの種類が希望より少ない」41.5%、次いで「サービスの回数が希望より少ない」34.0%、「サービスの時間帯が希望どおりでない」22.6%、「サービスの種類が希望したものではない」15.1%などである。



[地域包括支援センター管轄区分]

「サービスの種類が希望より少ない」は小金 42.1%、中央 43.8%、常盤平 30.8%である。小金、中央は「サービスの種類が希望より少ない」を最も多くあげているが、常盤平は「サービスの回数が希望より少ない」38.5%である。また、「サービスの回数が希望より少ない」は中央も37.5%と多い。

[要介護状態区分]

「サービスの種類が希望より少ない」は要支援 1、52.9%、要支援 2、37.5%と最も多いが、要支援 2 では同じく「サービスの回数が希望より少ない」があげられている。また、「サービスの時間帯が希望どおりでない」についても、要支援 2 の 28.1%が要支援 1 の 11.8%を大きく上回る。

単位：%

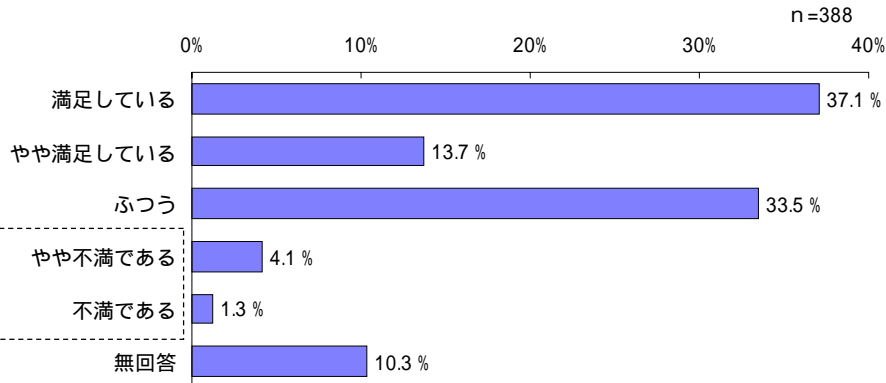
	回答者数 (人)	サービスの種類が希望より少ない	サービスの種類が希望より多すぎる	サービスの回数が希望より少ない	サービスの回数が希望より多すぎる	サービスの種類が希望したものではない	希望のサービス事業者が利用できていない	サービスの時間帯が希望どおりでない	その他	無回答	
全 体	53	41.5	0.0	34.0	1.9	15.1	3.8	22.6	13.2	9.4	
地 域 包 括 支 援 管 轄	小金	19	42.1	0.0	31.6	5.3	15.8	5.3	26.3	10.5	10.5
	中央	16	43.8	0.0	37.5	0.0	12.5	0.0	31.3	12.5	12.5
	常盤平	13	30.8	0.0	38.5	0.0	23.1	7.7	15.4	15.4	0.0
要 介 護 状 態 区 分	要支援 1	17	52.9	0.0	23.5	0.0	5.9	5.9	11.8	17.6	17.6
	要支援 2	32	37.5	0.0	37.5	3.1	18.8	3.1	28.1	9.4	6.3
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

6. ケアマネジャーについて

(1) ケアマネジャーの満足度

問15 あなたは、現在のケアプランを作成してくれる方に満足していますか。(1つに)

「満足している」37.1%、「やや満足している」13.7%であり、合わせた『満足』は50.8%である。これに対し「やや不満である」%と「不満である」を合わせた『不満』は5.4%である。

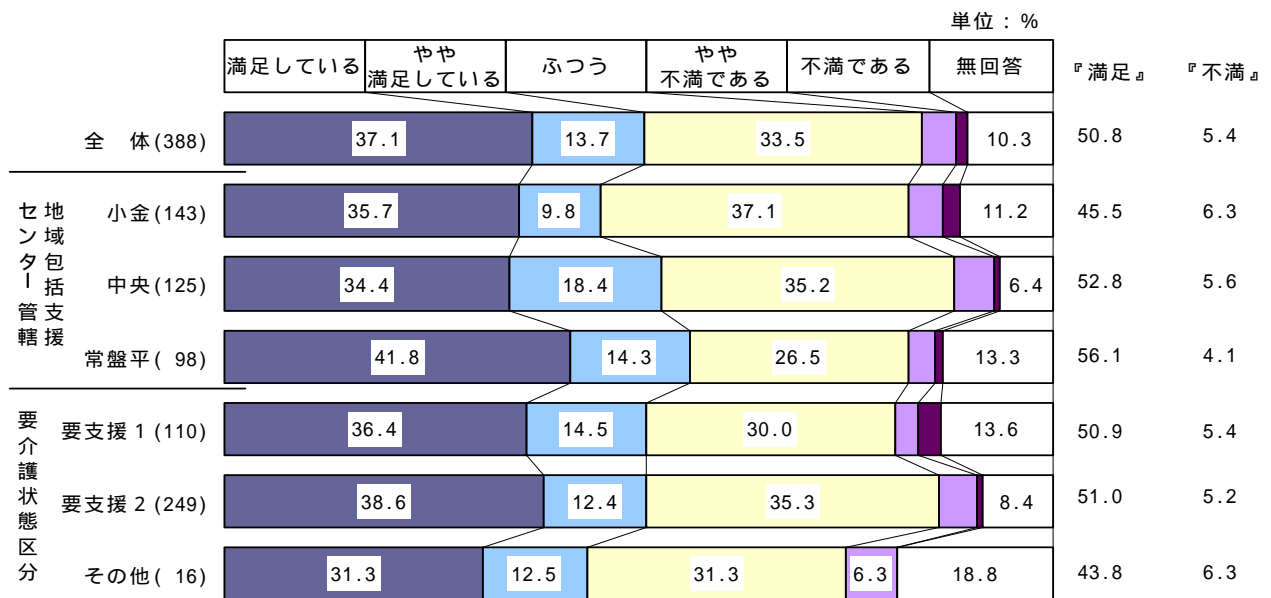


[地域包括支援センター管轄区分]

『満足』は常盤平 56.1%、中央 52.8%、小金 45.5%であり、ケアプランの満足度とは逆である。

[要介護状態区分]

『満足』は要支援1が50.9%、要支援2が51.0%とほぼ同じである。

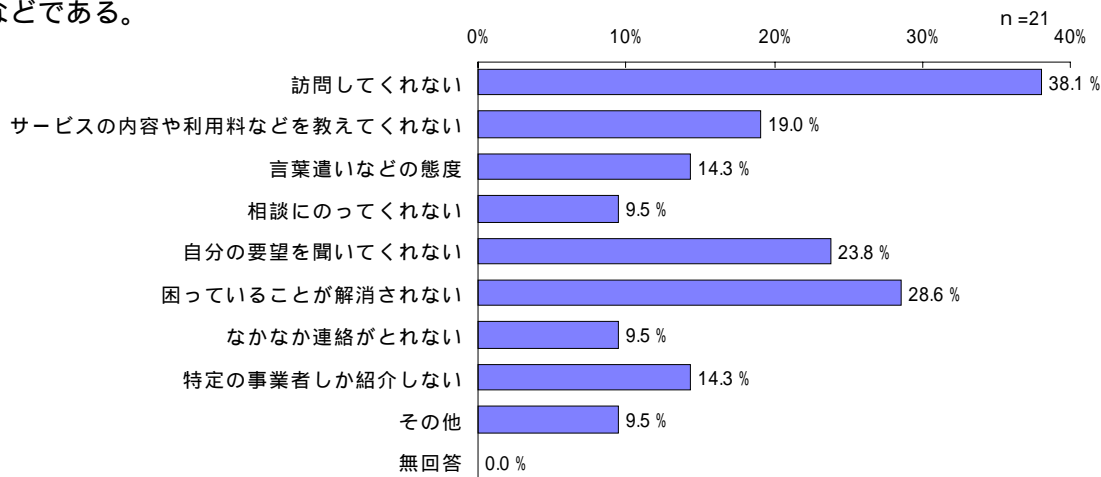


注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

(2) 不満の内容

問 15-1 ご不満の内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに)

問 15 で『不満』と答えた人に不満の内容を聞いたものであるが、回答者数は 21 人と少ない。最も多いのが、「訪問してくれない」38.1%、次いで「困っていることが解消されない」28.6%、「自分の要望を聞いてくれない」23.8%、「サービスの内容や利用料などを教えてくれない」19.0% などである。

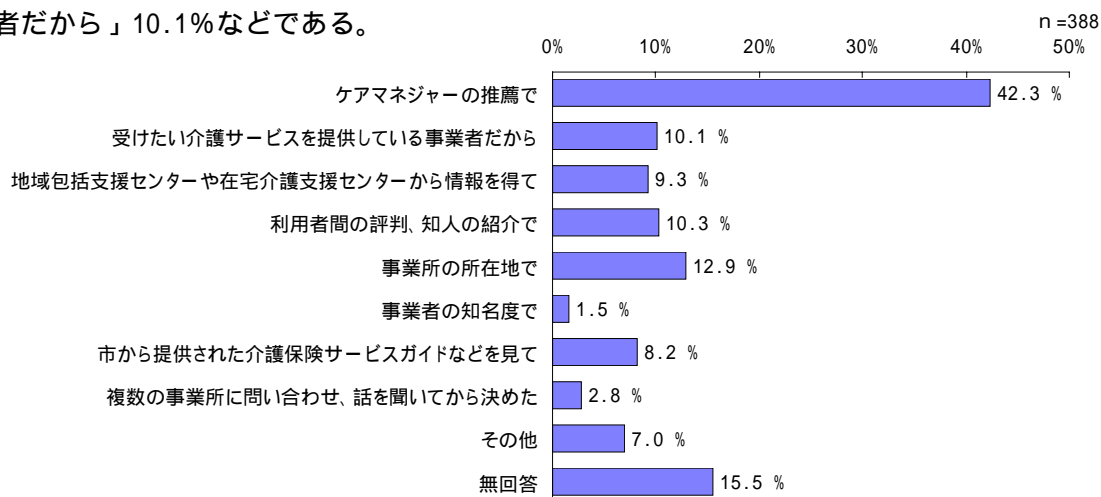


7. サービス事業者について

(1) サービス事業者選定の理由

問 16 サービス事業者はどのような理由で選びましたか。(あてはまるものすべてに)

「ケアマネジャーの推薦で」42.3%が最も多い。以下はやや差があり、「事業所の所在地で」12.9%、「利用者間の評判、知人の紹介で」10.3%、「受けたい介護サービスを提供している事業者だから」10.1%などである。



[地域包括支援センター管轄区分]

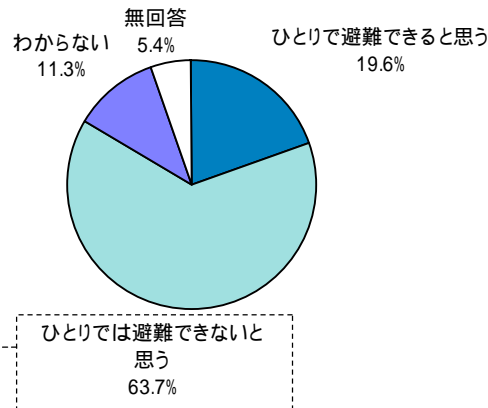
「ケアマネジャーの推薦で」は小金 44.1%、中央 41.6%、常盤平 40.8%とほとんど差がない。「受けたい介護サービスを提供している事業者だから」は中央 13.6%、「地域包括支援センターや在宅介護支援センターから情報を得て」及び「市から提供された介護保険サービスガイドなどを見て」は小金 13.3%、「利用者間の評判、知人の紹介で」は常盤平が 15.3%と多い。

8. 災害など緊急事態の対応について

(1) 緊急時のひとりでの避難

問17 災害などの緊急事態が発生した場合、ひとりで避難場所まで避難できると思いますか。(1つに)

「ひとりでは避難できないと思う」63.7%、「ひとりで避難できると思う」19.6%、「わからない」11.3%である。 n=388

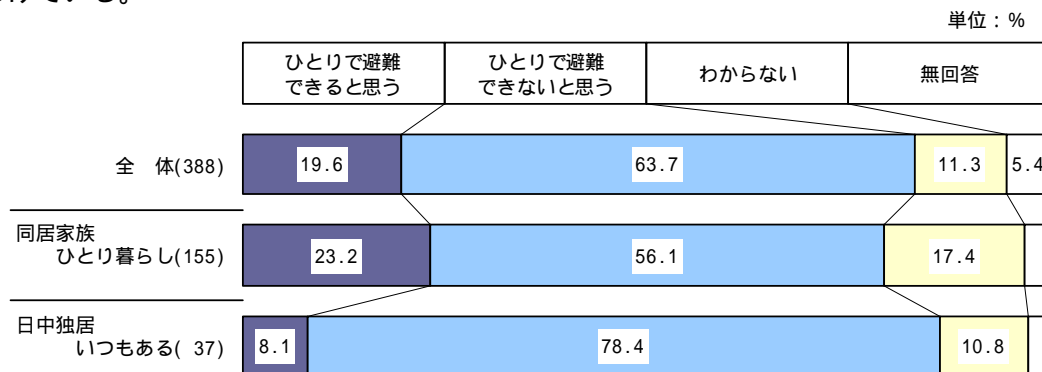


[ひとり暮らし]

「ひとりで避難できると思う」はひとり暮らしは23.2%と、夫婦二人暮らし(二人とも64歳以下)25.0%に次ぐ。逆に「ひとりでは避難できないと思う」は、ひとり暮らしは56.1%と最も少ない。

[日中独居]

日中いつもひとりでいることの多い人は、「ひとりで避難できないと思う」が78.4%と、約8割があげている。



注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

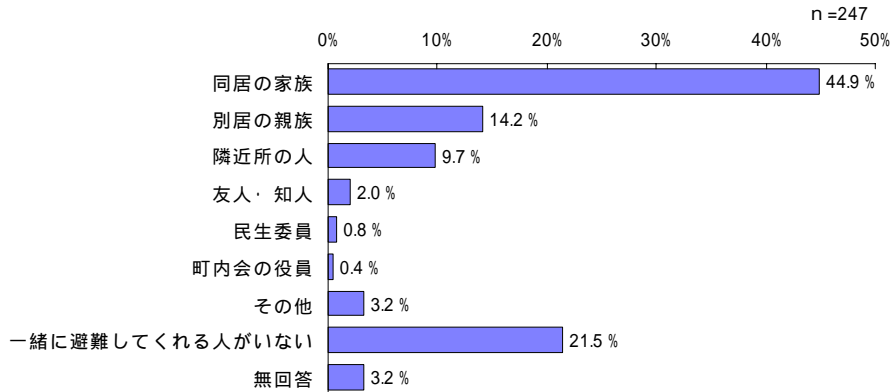
[居住地区]

「ひとりで避難できると思う」は小金地区の44.4%が他を大きく引き離している。「ひとりでは避難できないと思う」は本庁81.3%、馬橋77.4%、新松戸及び明第2西ともに76.2%、東部75.0%、矢切72.2%などの順である。

(2) 一緒に避難してくれる人

問 17- 1 一緒に避難場所まで避難してくれる人がいますか。(1つに)

問 17 で「ひとりでは避難できないと思う」と答えた人に聞いたものである。「同居の家族」が 44.9%、「一緒に避難してくれる人がいない」21.5%、「別居の親族」14.2%などの順である。

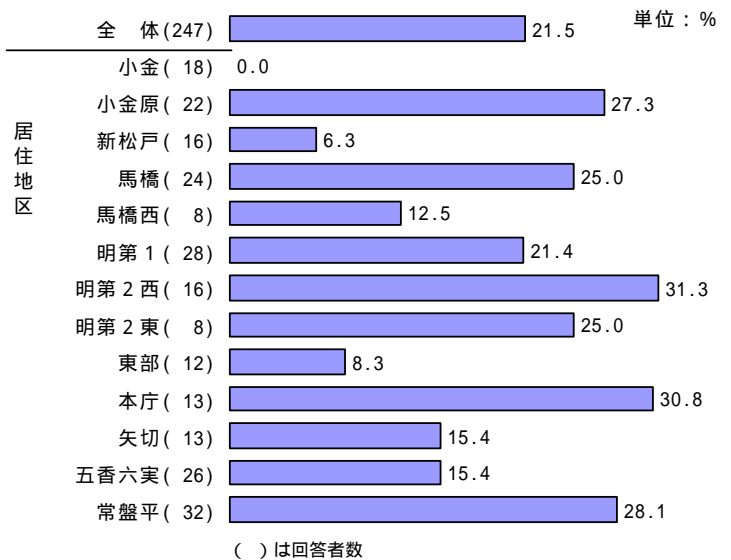


[ひとり暮らし・日中独居]

「一緒に避難してくれる人がいない」は、ひとり暮らしが 37.9%、日中ひとりであることの多い人では 20.7%である。

[居住地区]

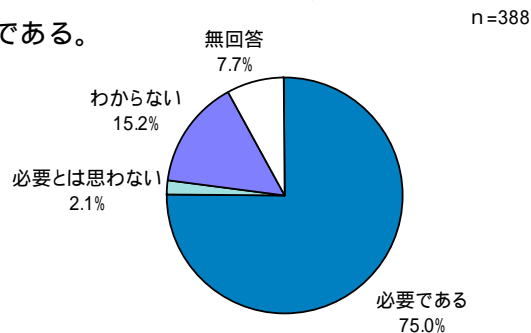
「一緒に避難してくれる人がいない」は、明第 2 西 31.3%、本庁 30.8%、常盤平 28.1%、小金原 27.3%などの順である。



(3) 災害避難での情報の地域共有

問 18 災害時の避難などに手助けが必要な人の情報を地域で共有することについてどう思いますか。(1つに)

手助けが必要な人の情報を地域で共有することについて、「必要である」が 75.0%に対し、「必要とは思わない」がわずか 2.1%である。



[ひとり暮らし・日中独居]

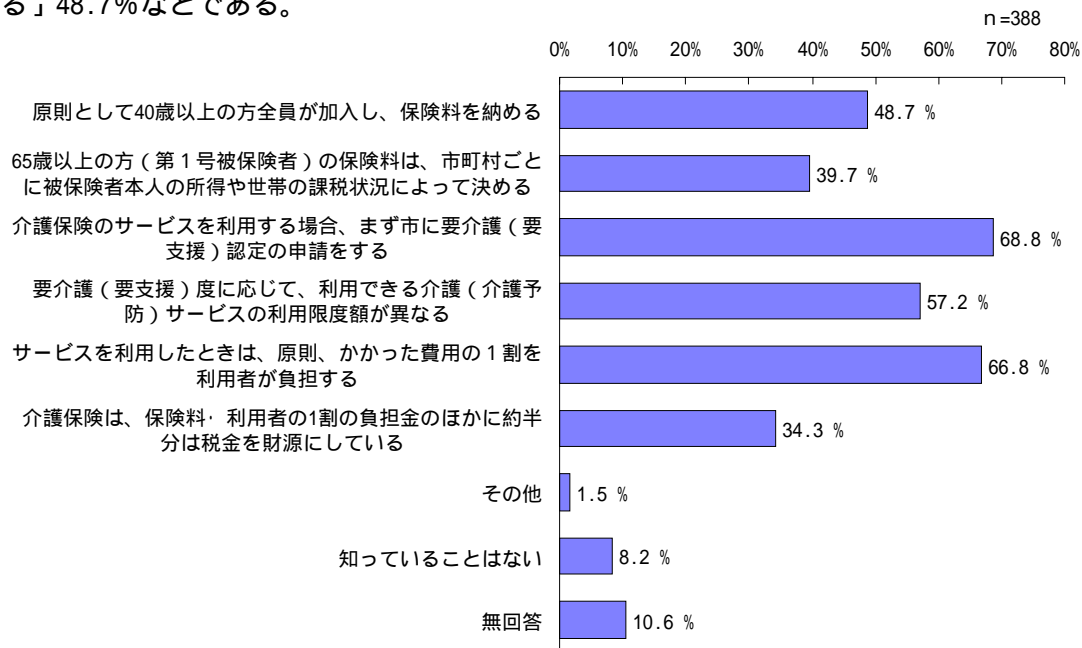
「必要である」は、ひとり暮らしは全体結果と同程度の 74.2%であるが、いつもひとりであることの多い人は 86.5%と多い

9. 介護保険について

(1) 介護保険制度

問 19 あなたは、介護保険制度についてどの程度知っていますか。(あてはまるものすべてに)

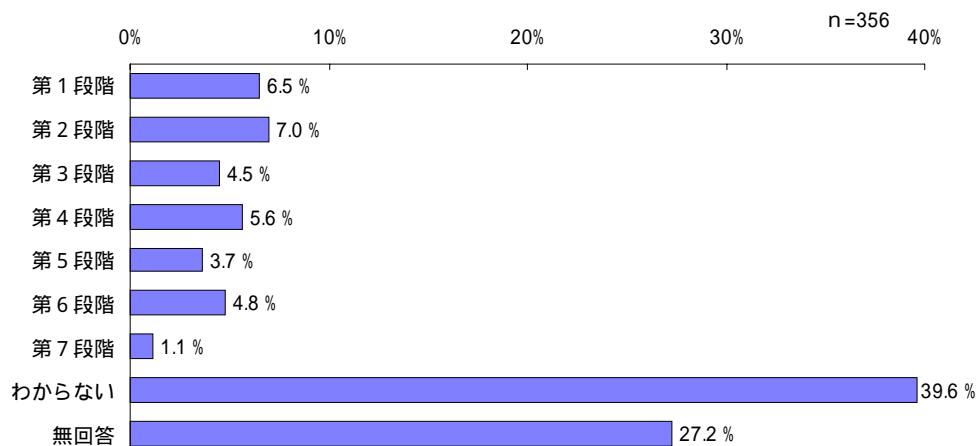
介護保険制度について知っていることとして、「介護保険のサービスを利用する場合、まず市に要介護（要支援）認定の申請をする」68.8%、「サービスを利用したときは、原則、かかった費用の1割を利用者が負担する」66.8%、「要介護（要支援）度に応じて、利用できる介護（介護予防）サービスの利用限度額が異なる」57.2%、「原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める」48.7%などである。



(2) 平成19年度の介護保険料

問 20 あなたの平成19年度の介護保険料の段階は次のうちどれですか(1つに)

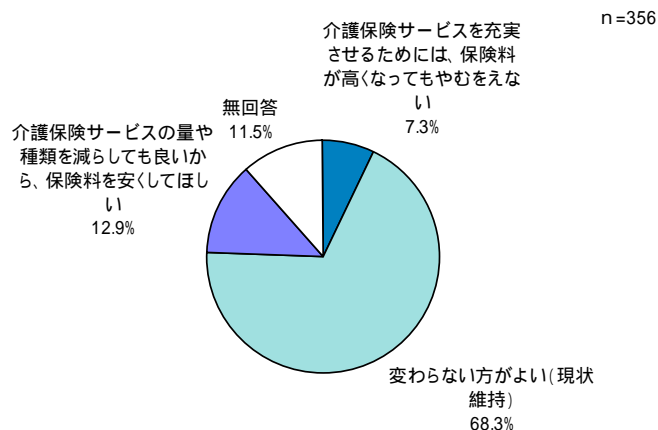
介護保険料の段階は、「第2段階」7.0%、「第1段階」6.5%、「第4段階」5.6%、「第6段階」4.8%などであるが、「わからない」39.6%、「無回答」が27.2%と6割以上の人に記入がない。



(3) 介護保険料の今後

問 21 あなたが納めている介護保険料について、次の3つの方針から、あえて1つ選ぶとしたら、どれを選びますか。(1つに)

「変わらない方がよい(現状維持)」が68.3%、「介護保険サービスの量や種類を減らしても良いから、保険料を安くしてほしい」12.9%、「介護保険サービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない」7.3%である。



[介護保険料の段階]

第7段階は回答者が4人なので参考にとどめる。第1段階から第6段階までいずれも最も多いのは、「変わらない方がよい(現状維持)」であり、第5段階の92.3%、第4段階の85.0%、第3段階の81.3%などの順である。

「介護保険サービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない」は第6段階の23.5%が、これに対し「介護保険サービスの量や種類を減らしても良いから、保険料を安くしてほしい」は第1段階の17.4%がそれぞれ最も多い。

単位：%

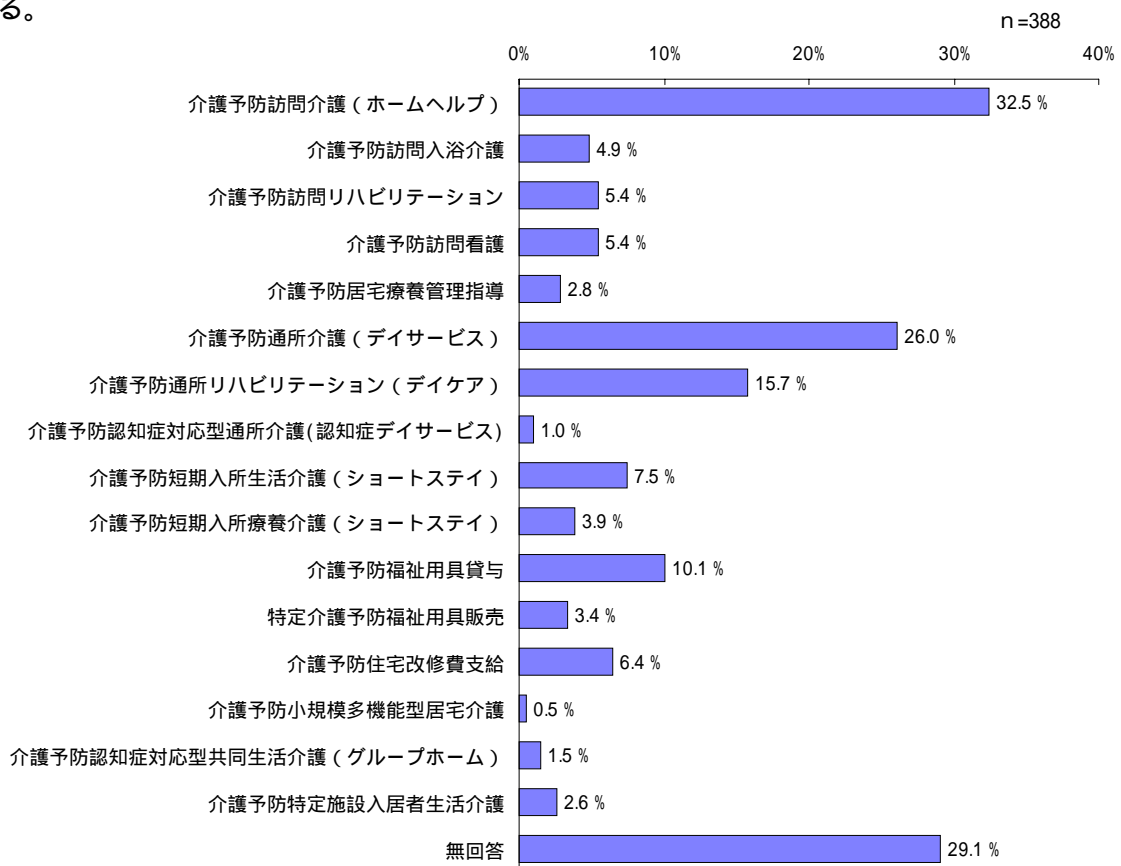
	回答者数 (人)	介護保険サービスを 充実させるために は、保険料が高くなっ てもやむをえない	変わらない方がよい (現状維持)	介護保険サービスの 量や種類を減らして も良いから、保険料 を安くしてほしい	無回答	
合計	356	7.3	68.3	12.9	11.5	
介護 保険 料の 段 階	第1段階	23	8.7	69.6	17.4	4.3
	第2段階	25	4.0	72.0	16.0	8.0
	第3段階	16	12.5	81.3	0.0	6.3
	第4段階	20	10.0	85.0	5.0	0.0
	第5段階	13	0.0	92.3	0.0	7.7
	第6段階	17	23.5	64.7	11.8	0.0
	第7段階	4	0.0	50.0	50.0	0.0
わからない	141	8.5	70.2	17.7	3.5	

10. 介護サービスについて

(1) 今後1年利用したいサービス

問22 あなたは、今後1年間のうちで、以下のサービスを利用したいとお考えですか。(あてはまるものすべてに)

今後1年間のうちで利用したいサービスは、「介護予防訪問介護(ホームヘルプ)」32.5%、「介護予防通所介護(デイサービス)」26.0%、「介護予防通所リハビリテーション(デイケア)」15.7%、「介護予防福祉用具貸与」10.1%、「介護予防短期入所生活介護(ショートステイ)」7.5%などである。



[地域包括支援センター管轄区分]

いずれも上位は「介護予防訪問介護(ホームヘルプ)」、「介護予防通所介護(デイサービス)」、「介護予防通所リハビリテーション(デイケア)」である。なかでも小金は、「介護予防訪問介護(ホームヘルプ)」が37.1%と、中央の29.6%、常盤平の30.6%をやや上回り、「介護予防通所介護(デイサービス)」では中央が30.4%と小金の24.5%、常盤平の25.5%を上回る。また、常盤平の「介護予防福祉用具貸与」は5.1%と小金の10.5%、中央の12.8%とやや差がある。

単位：%

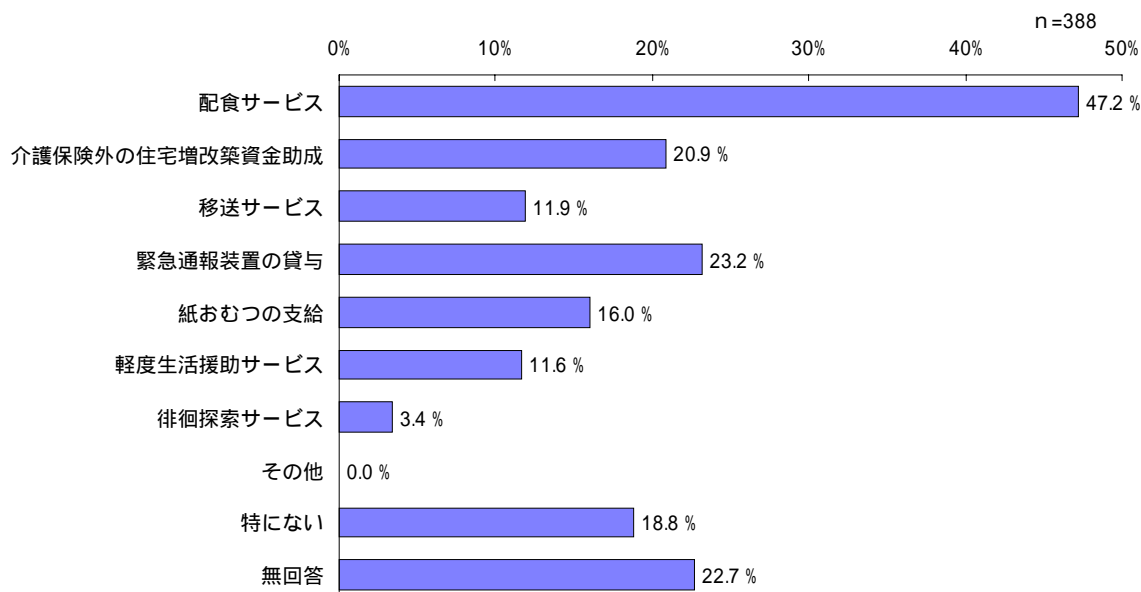
	回答者数 (人)	介護予防 訪問介護 (ホームヘルプ)	介護予防 訪問入浴 介護	介護予防 訪問リハビ リテーション	介護予防 訪問看護	介護予防 居宅療養 管理指導	介護予防 通所介護 (デイサービス)	介護予防 通所リハビ リテーション (デイケア)	介護予防 認知症対応型 通所介護(認 知症デイサー ビス)	介護予防 短期入所 生活介護 (ショートステイ)	
全 体	388	32.5	4.9	5.4	5.4	2.8	26.0	15.7	1.0	7.5	
地域 センター 包括支 援管 轄	小金	143	37.1	5.6	7.0	6.3	2.8	24.5	16.8	2.8	9.1
	中央	125	29.6	7.2	2.4	4.0	4.8	30.4	16.8	0.0	8.0
	常盤平	98	30.6	2.0	5.1	6.1	1.0	25.5	13.3	0.0	6.1

	回答者数 (人)	介護予防 短期入所 療養介護 (ショートステイ)	介護予防 福祉用具 貸与	特定介護 予防福祉 用具販売	介護予防 住宅改修 費支給	介護予防 小規模多 機能型居 宅介護	介護予防 認知症対応型 共同生活 介護(グループ ホーム)	介護予防 特定施設 入居者 生活介護	無回答
全 体	388	3.9	10.1	3.4	6.4	0.5	1.5	2.6	29.1
地域 センター 包括支 援管 轄	小金	143	5.6	10.5	3.5	7.7	0.7	2.1	27.3
	中央	125	2.4	12.8	3.2	5.6	0.8	1.6	27.2
	常盤平	98	4.1	5.1	4.1	5.1	0.0	1.0	31.6

(2) 介護保険以外の福祉サービス

問 23 松戸市では、在宅生活を支援するため、介護保険サービス以外に次の福祉サービスを実施しています。あなたの知っているサービスはありますか。(あてはまるものすべてに)

介護保険サービス以外の知っている福祉サービスは、「配食サービス」47.2%、「緊急通報装置の貸与」23.2%、「介護保険外の住宅増改築資金助成」20.9%などの順である。

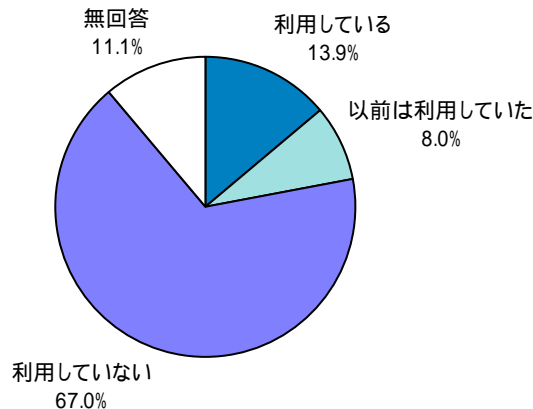


11. 配食サービスについて

(1) 配食サービスの利用

問24 あなたは、配食サービスを利用したことがありますか。(1つに)

配食サービスの利用については、「利用していない」が67.0%、「利用している」13.9%、「以前は利用していた」8.0%である。「利用している」及び「以前は利用していた」を合わせた『利用』は21.9%、約2割である。 n=388



【ひとり暮らし・日中独居】

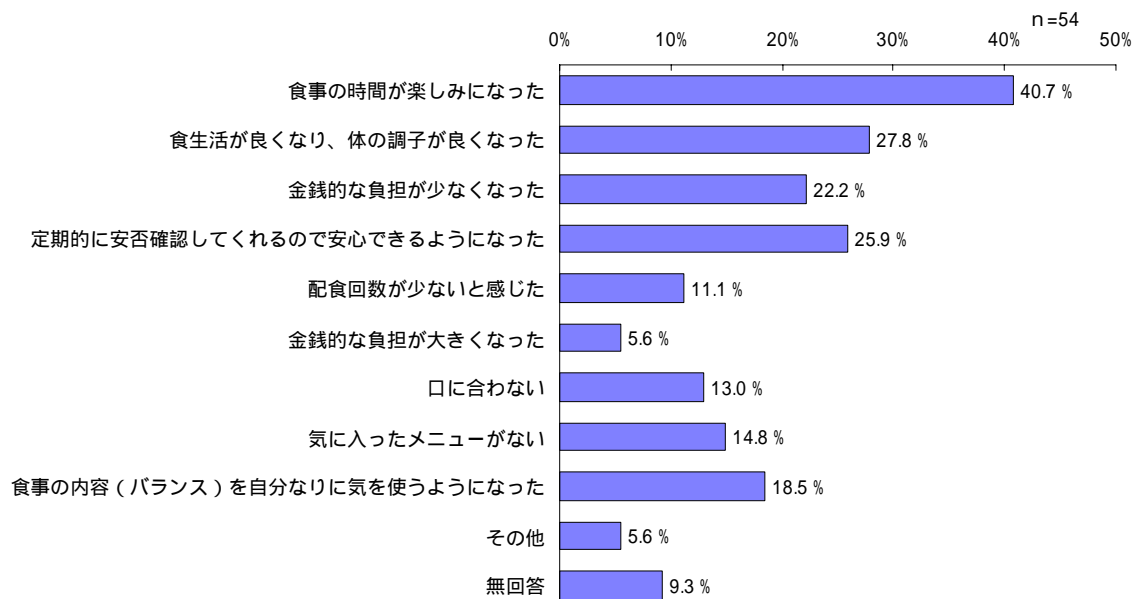
配食サービスの『利用』は、ひとり暮らしで31.0%、日中いつもひとりでいることの多い人で29.7%ともに約3割となっている。

(2) 利用してみた感想

(問24で「利用している」に つけた人)

問24-1 利用してみた感想はいかがですか。(あてはまるものすべてに)

問24で「利用している」と答えた人に感想を聞いた。「食事の時間が楽しになった」40.7%、「食生活が良くなり、体の調子が良くなった」27.8%、「定期的に安否確認してくれるので安心できるようになった」25.9%、「金銭的な負担が少なくなった」22.2%などである。

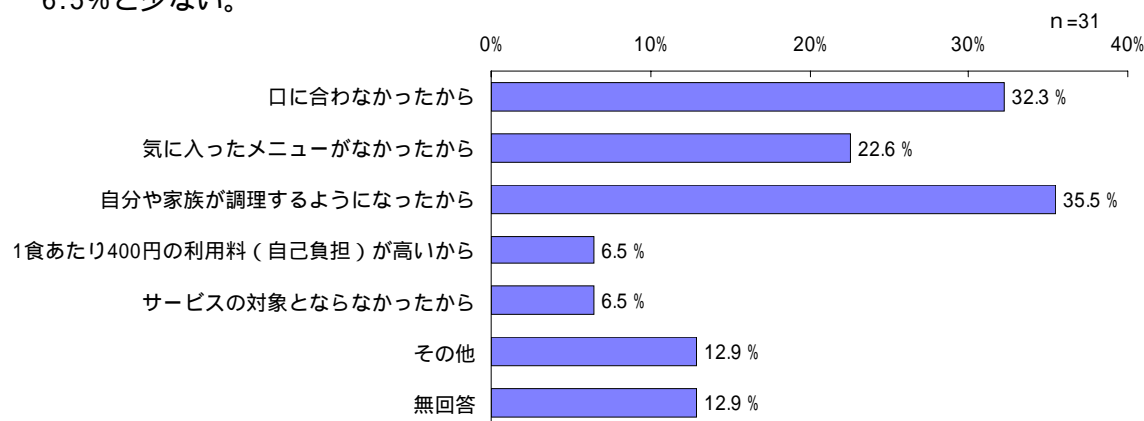


(3) 現在利用していない理由

(問 24 で「以前利用していた」に をつけた人)

問 24- 2 現在、利用していない理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに)

問 24 で「以前は利用していた」と答えた人に、現在利用していない理由を聞いた。「自分や家族が調理するようになったから」35.5%、「口に合わなかったから」32.3%、「気に入ったメニューがなかったから」22.6%、であり、「1食あたり 400 円の利用率(自己負担)が高いから」は6.5%と少ない。

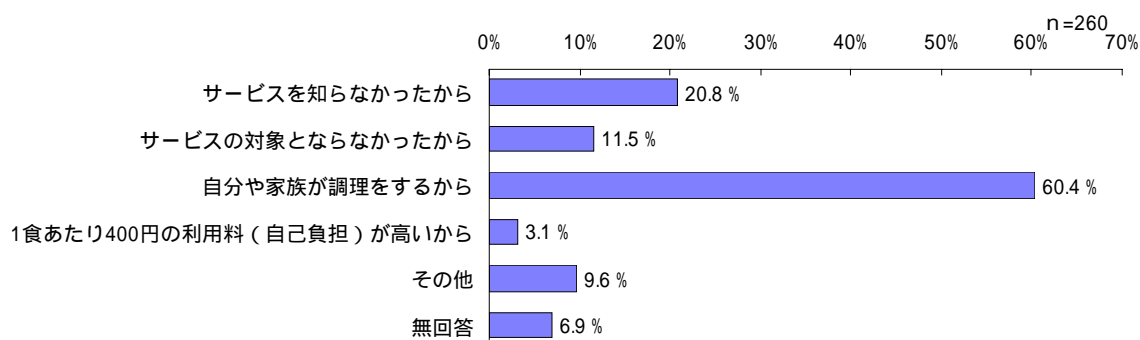


(4) 利用していない理由

(問 24 で「利用していない」に をつけた人)

問 24- 3 現在、利用していない理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに)

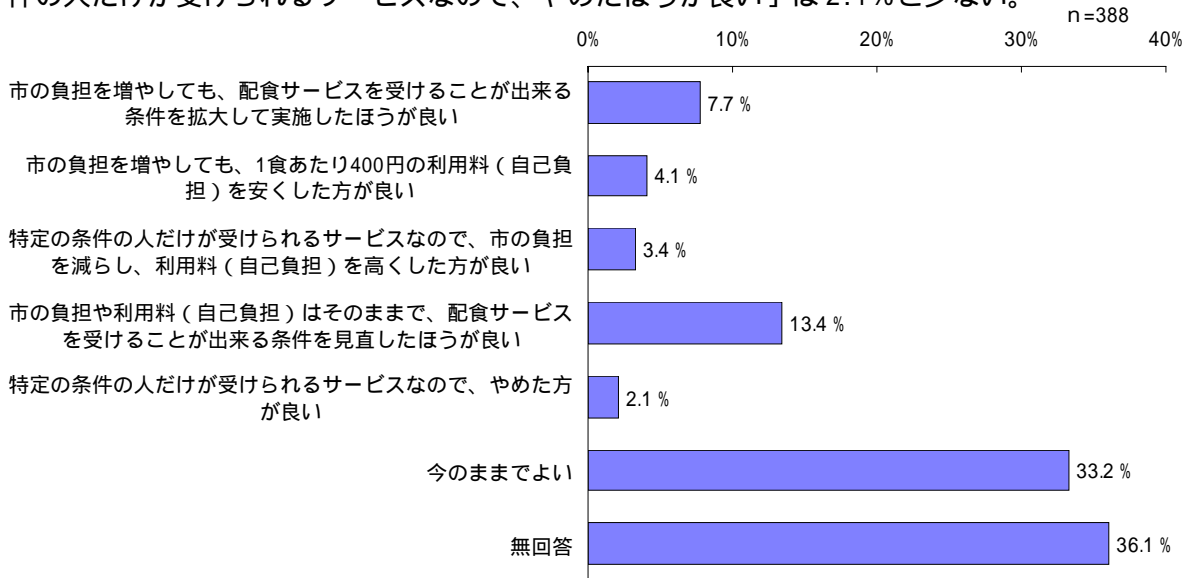
問24で「利用していない」と答えた人に、理由を聞いた。「自分や家族が調理をするから」60.4%、「サービスを知らなかったから」20.8%、「サービスの対象とならなかった」11.5%であり、「1食あたり 400 円の利用率(自己負担)が高いから」は3.1%にとどまる。



(5) 対象者と利用料

問 25 対象者と利用料（自己負担）について、あなたの考えは次のどれに近いですか。（1つに）

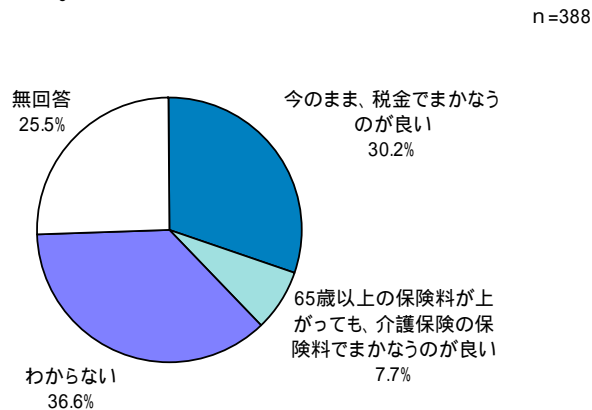
対象者と利用料(自己負担)についての考え方は、「無回答」36.1%、「今のままでよい」33.2%、6割以上が現状維持と考えられる。「市の負担や利用料(自己負担)はそのまま、配食サービスを受けることが出来る条件を見直したほうが良い」は13.4%、「市の負担を増やしても、配食サービスを受けることが出来る条件を拡大して実施したほうが良い」7.7%などである。「特定の条件の人だけが受けられるサービスなので、やめたほうが良い」は2.1%と少ない。



(6) 配食サービスの公費負担

問 26 配食サービスの公費負担について、あなたの考えは次のどれに近いですか。（1つに）

配食サービスの公費負担についての考え方は、「わからない」36.6%と「今のまま、税金でまかなうのが良い」30.2%に分かれる。「65歳以上の保険料が上がっても、介護保険の保険料でまかなうのが良い」は7.7%と少ない。

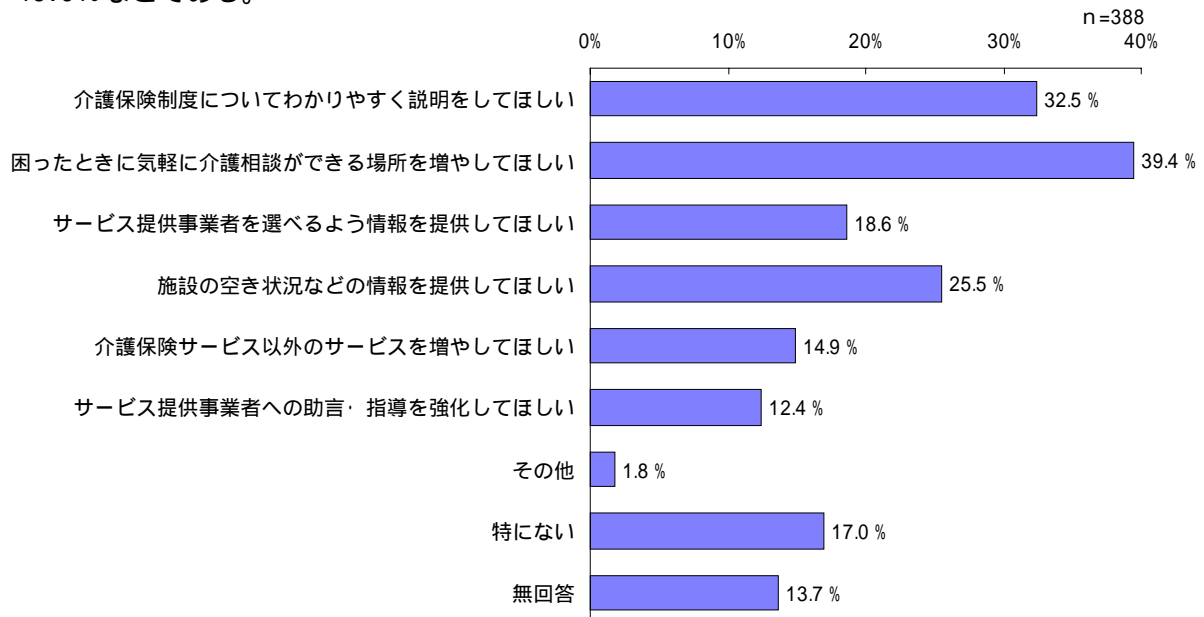


12. 市に期待すること

(1) 介護で市に期待すること

問 27 あなたが今後、介護に関して市に期待することは何ですか。(3つまでに)

介護で市に期待することは、「困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい」39.4%が、「介護保険制度についてわかりやすく説明してほしい」32.5%、「施設の空き状況などの情報を提供してほしい」25.5%、「サービス提供事業者を選べるよう情報を提供してほしい」18.6%などである。



[要介護状態区分]

要支援1及び要支援2の上位は共通であり、ほとんど差はない。

単位：%

	回答者数 (人)	介護保険制度についてわかりやすく説明してほしい	困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい	サービス提供事業者を選べるよう情報を提供してほしい	施設の空き状況などの情報を提供してほしい	介護保険サービス以外のサービスを増やしてほしい	サービス提供事業者への助言・指導を強化してほしい	その他	特にない	無回答
全体	388	32.5	39.4	18.6	25.5	14.9	12.4	1.8	17.0	13.7
状態区分 要支援1	110	29.1	39.1	16.4	27.3	11.8	10.9	3.6	16.4	19.1
要支援2	249	31.7	40.2	20.5	24.9	16.5	13.3	0.8	17.3	12.4

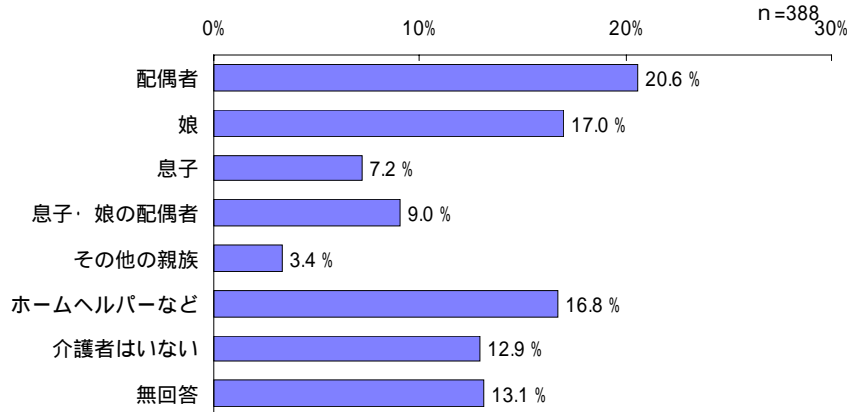
丸数字は順位

13. 主な介護者（お世話をする側）について

(1) 主な介護者

問 28 あなたの介護を主に行っている方はどなたですか。(1つに)

「配偶者」20.6%、「娘」17.0%、「ホームヘルパーなど」16.8%、「介護者はいない」12.9%が主なところである。



[要介護状態区分]

要支援1では、「配偶者」21.8%と「介護者はいない」20.0%が同程度である。「息子・娘の配偶者」は、要支援1は1.8%であるが、要支援2では12.9%となる。

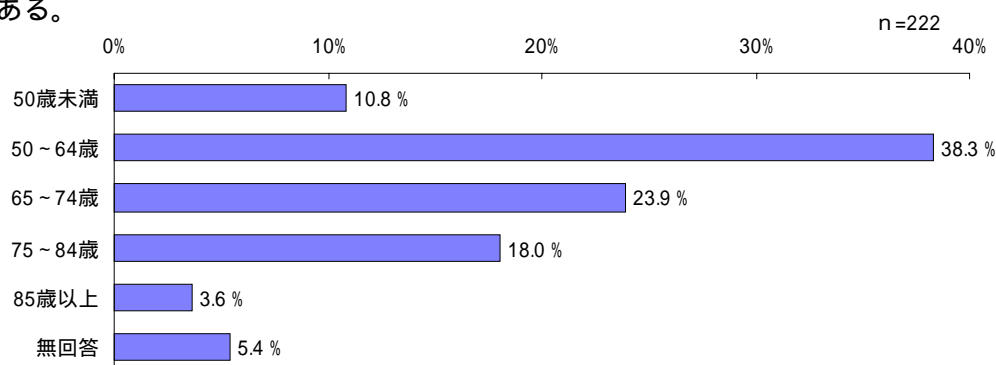
単位：%

	回答者数 (人)	配偶者	娘	息子	息子・娘の 配偶者	その他の 親族	ホームヘル パーなど	介護者はい ない	無回答	
全 体	388	20.6	17.0	7.2	9.0	3.4	16.8	12.9	13.1	
要 介 護 状 態 区 分	要支援1	110	21.8	15.5	6.4	1.8	3.6	15.5	20.0	15.5
	要支援2	249	19.7	17.7	6.4	12.9	3.2	17.7	10.8	11.6
	その他	16	31.3	12.5	18.8	0.0	0.0	18.8	6.3	12.5

(2) 介護者の年齢

問 29 主に介護している方の年齢はおいくつですか。(1つに)

「50～64歳」が38.3%と最も多い。次いで「65～74歳」23.9%、「75～84歳」18.0%、「50歳未満」が10.8%、「85歳以上」3.6%である。65歳以上による、いわゆる老老介護は45.5%、5割弱である。



[性別]

男性は65～74歳の36.1%、女性は50～64歳の44.3%が最も多い。

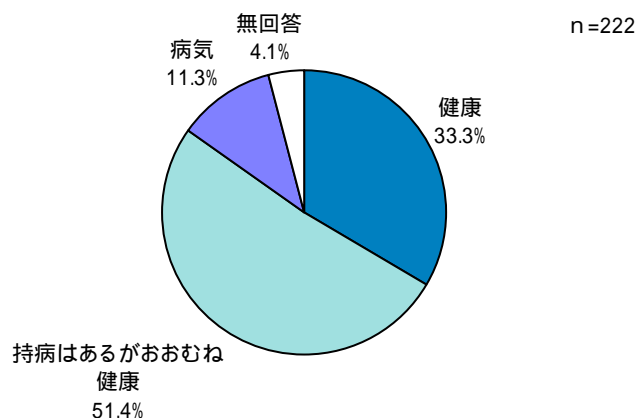
単位：%

		回答者数 (人)	50歳未満	50～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	無回答
全 体		222	10.8	38.3	23.9	18.0	3.6	5.4
性別	男性	61	4.9	24.6	36.1	27.9	3.3	3.3
	女性	149	12.1	44.3	18.8	14.8	4.0	6.0

(3) 介護者の健康状態

問 30 主に介護している方の健康状態はいかがですか。(1つに)

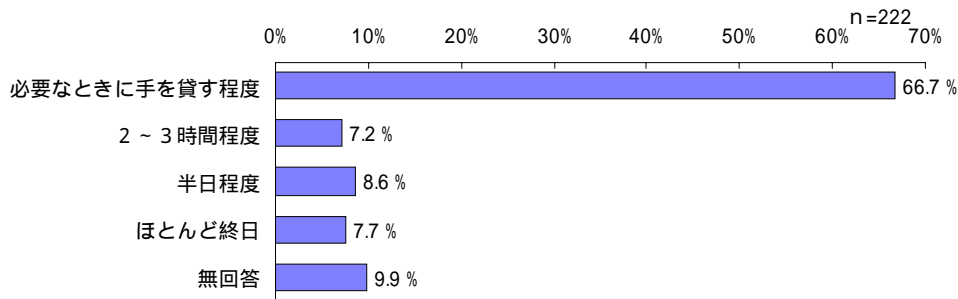
「持病はあるがおおむね健康」51.4%、「健康」33.3%を合わせた『健康』は84.7%と多い。



(4) 介護をしている時間

問31 見守りを含め、介護している時間は、1日のうちのどのくらいですか。(1つに)

「必要なときに手を貸す程度」が66.7%と7割近い。以下、「半日程度」8.6%、「ほとんど終日」7.7%、「2～3時間程度」7.2%である。



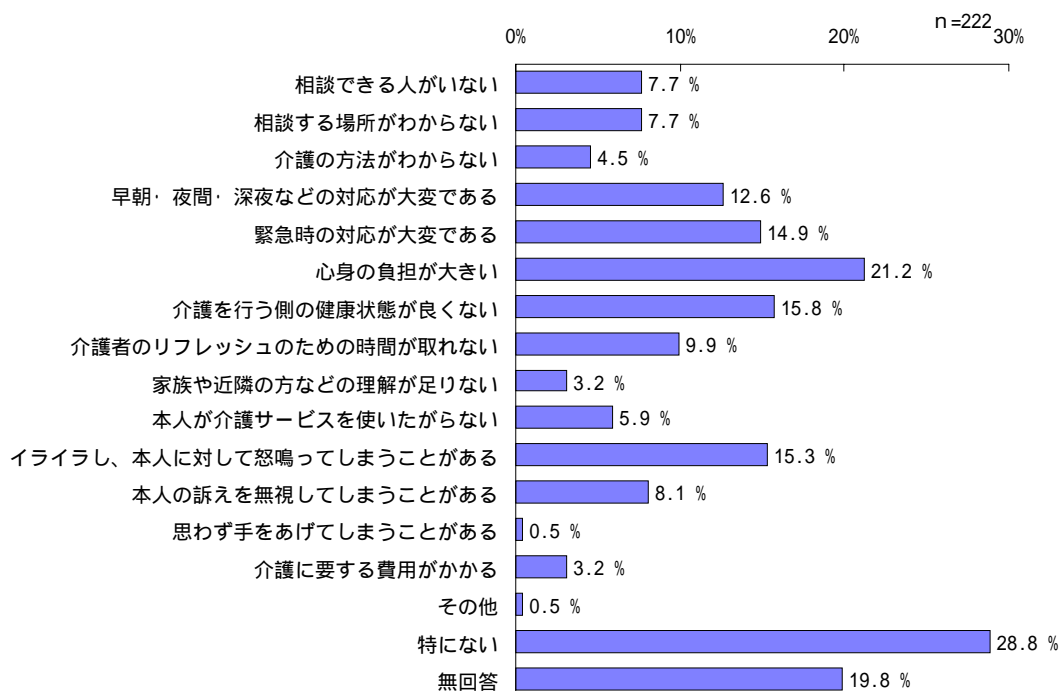
[要介護状態区分]

「必要なときに手を貸す程度」は、要支援1が83.3%、要支援2が61.7%である。要支援2は「2～3時間程度」8.7%、「半日程度」10.1%、「ほとんど終日」5.7%とあまり差がない。

(5) 介護上の困りごと等

問32 主に介護している方が、介護を行う上で、困っていることや悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに)

「特にない」28.8%が最も多いが、「心身の負担が大きい」21.2%、「介護を行う側の健康状態が良くない」15.8%、「イライラし、本人に対して怒鳴ってしまうことがある」15.3%、「早朝・夜間・深夜などの対応が大変である」12.6%などである。



[要介護状態区分]

要支援1の上位は、「心身の負担が大きい」27.8%、「特にない」25.9%、「緊急時の対応が大変である」18.5%などである。これに対し、要支援2の上位は「特にない」30.2%、やや差があり「心身の負担が大きい」18.8%、「介護を行う側の健康状態が良くない」18.1%などである。

単位：%

	回答者数 (人)	相談できる 人がいない	相談する 場所が わからない	介護の 方法が わからない	早朝・夜間・ 深夜などの 対応が大変 である	緊急時の 対応が 大変である	心身の 負担が 大きい	介護を行う 側の健康状 態が良くない	介護者のリフ レッシュのた めの時間が 取れない	家族や近隣 の方などの 理解が足り ない	
全 体	222	7.7	7.7	4.5	12.6	14.9	21.2	15.8	9.9	3.2	
状 要 態 介 護 区 分	要支援1	54	9.3	9.3	5.6	13.0	18.5	27.8	11.1	7.4	1.9
	要支援2	149	8.1	7.4	3.4	11.4	13.4	18.8	18.1	10.1	2.7

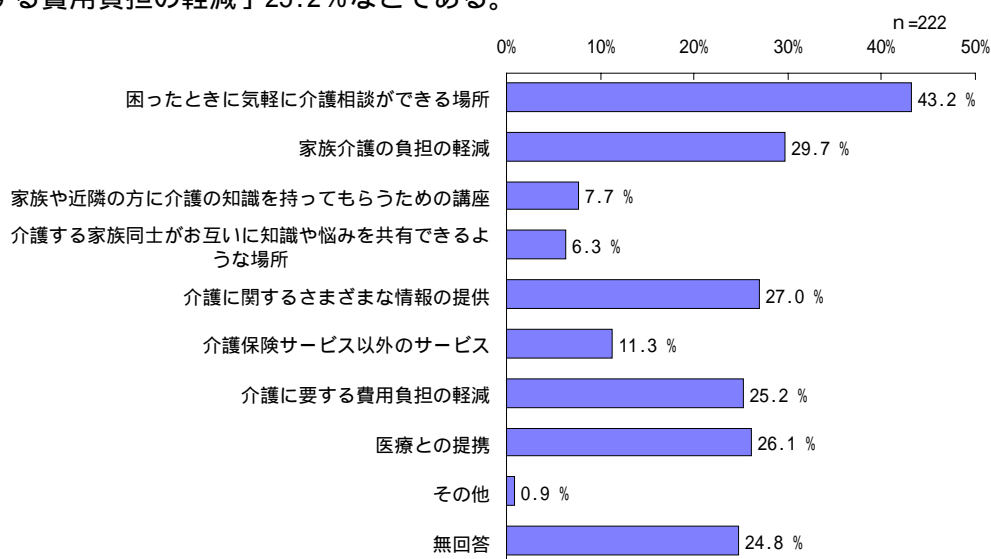
	回答者数 (人)	本人が介護 サービスを使 いたがら ない	イライラし、 本人に対して 怒鳴って しまうこと がある	本人の訴え を無視して しまうこと がある	思わず手を あげてしま うことが ある	介護に要す る費用がか かる	その他	特にない	無回答	
全 体	222	5.9	15.3	8.1	0.5	3.2	0.5	28.8	19.8	
状 要 態 介 護 区 分	要支援1	54	5.6	13.0	7.4	0.0	0.0	1.9	25.9	27.8
	要支援2	149	6.0	15.4	8.7	0.7	4.7	0.0	30.2	16.1

丸数字は順位

(6) 家族介護で市に期待すること

問33 家族が介護を行う上で、市に期待することは何ですか。(3つまでに)

「困ったときに気軽に介護相談ができる場所」43.2%が最も多い。次いで「家族介護の負担の軽減」29.7%、「介護に関するさまざまな情報の提供」27.0%、「医療との連携」26.1%「介護に要する費用負担の軽減」25.2%などである。



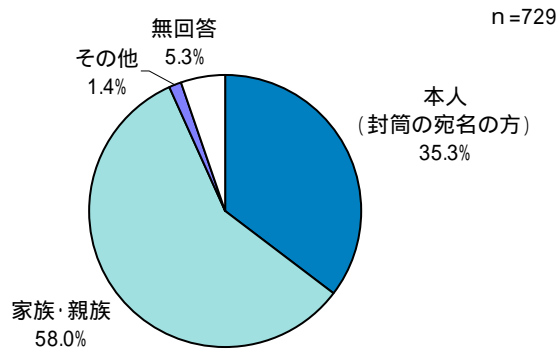
第4章 在宅要介護認定者調査

1. あなたのことについて

(1) 調査記入者

F 1 この調査に回答される方を教えてください。(1つに)

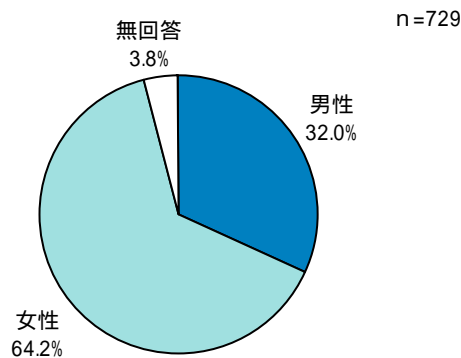
調査票記入者は、「本人」35.3%、「家族・親族」58.0%、「その他」1.4%である。



(2) 性別

F 2 あなたの性別は。(1つに)

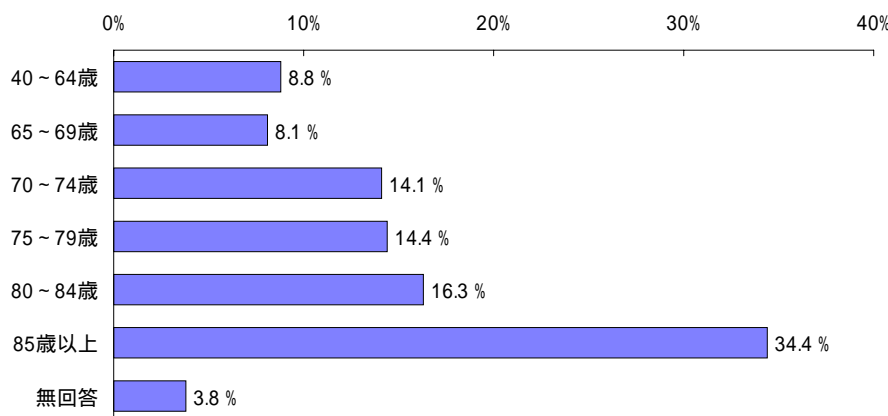
性別は、「女性」64.2%、「男性」32.0%である。



(3) 年齢

F3 あなたの年齢は。(1つに)

年齢は「85歳以上」34.4%、「80～84歳」16.3%、「75～79歳」14.4%、「70～74歳」14.1%などの順である。「65～69歳」及び「70～74歳」の74歳までの高齢者が22.2%、「75～79歳」及び「80～84歳」、「85歳以上」の75歳以上の高齢者が65.1%である。 n=729



[性別]

70歳代までは男性が上回り、80歳以上は女性が上回る。

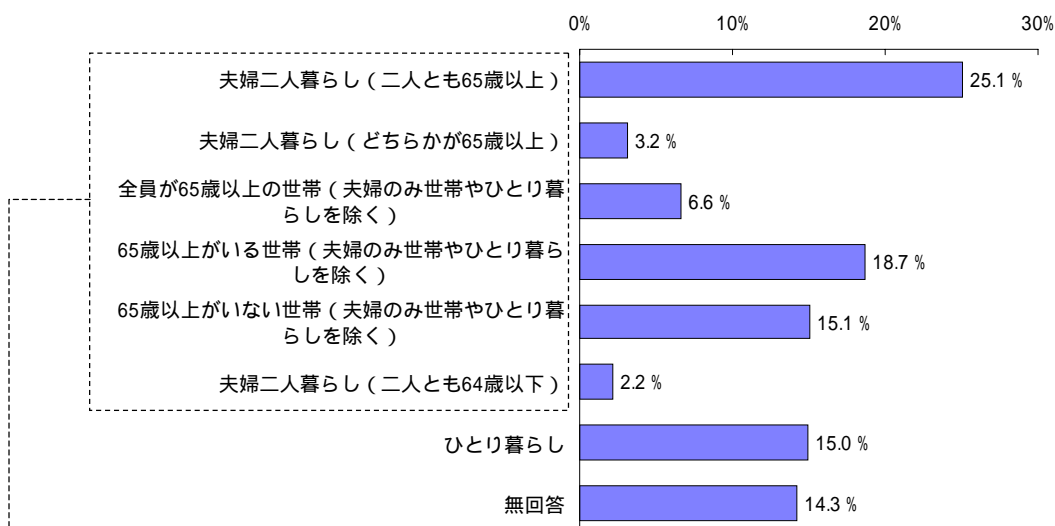
単位：%

		回答者数 (人)	40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
全体		729	8.8	8.1	14.1	14.4	16.3	34.4	3.8
性別	男性	233	11.2	14.6	16.3	21.0	16.7	20.2	0.0
	女性	468	8.1	5.3	13.9	11.5	17.1	43.4	0.6

(4) 同居家族

F4 あなたが同居しているご家族は。(1つに)

同居している家族は、「夫婦二人暮らし(二人とも65歳以上)」25.1%、「65歳以上がいる世帯(夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く)」18.7%、「65歳以上がいない世帯(夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く)」15.1%、「ひとり暮らし」15.0%などである。 n=729



[年齢]

65歳以上84歳までは「夫婦二人暮らし(二人とも65歳以上)」が最も多い。これに対し、「40～64歳」及び「85歳以上」は、「65歳以上がいる世帯(夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く)」が最も多い。

「ひとり暮らし」は「80～84歳」24.4%、「75～79歳」20.0%などの順である。

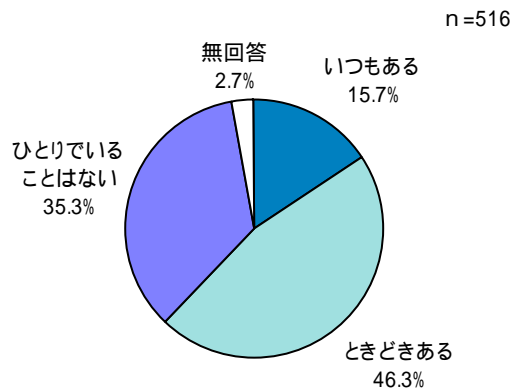
単位：%

	回答者数 (人)	夫婦二人 暮らし (二人とも 65歳以上)	夫婦二人 暮らし (どちらかが 65歳以上)	全員が65歳 以上の世帯 (夫婦のみ世帯 やひとり暮らし を除く)	65歳以上が いる世帯 (夫婦のみ世帯 やひとり暮らし を除く)	65歳以上が いない世帯 (夫婦のみ世帯 やひとり暮らし を除く)	夫婦二人 暮らし (二人とも 64歳以下)	ひとり 暮らし	無回答	
全 体	729	25.1	3.2	6.6	18.7	15.1	2.2	15.0	14.3	
年 齢	40～64歳	64	4.7	9.4	1.6	35.9	26.6	7.8	6.3	7.8
	65～69歳	59	50.8	11.9	1.7	16.9	5.1	0.0	5.1	8.5
	70～74歳	103	46.6	4.9	3.9	15.5	8.7	0.0	13.6	6.8
	75～79歳	105	43.8	2.9	1.0	15.2	6.7	1.0	20.0	9.5
	80～84歳	119	26.9	0.0	2.5	9.2	24.4	1.7	24.4	10.9
	85歳以上	251	9.6	0.8	15.1	23.9	16.7	3.2	15.1	15.5

(5) 日中の独居

F 4 - 1 あなたは、昼間ひとりであることがありますか。(1つに)

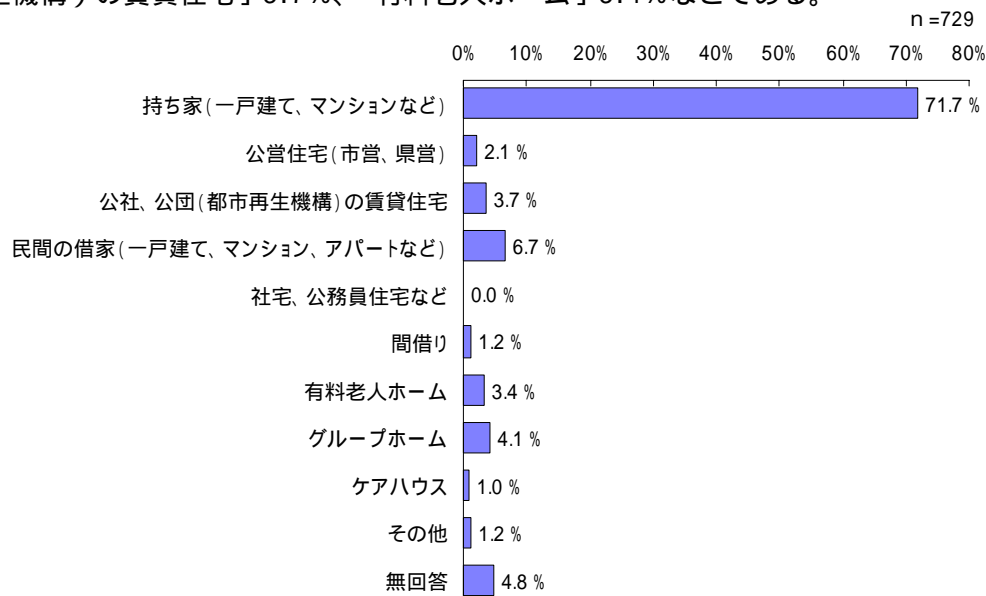
昼間ひとりであることに対し、「ときどきある」46.3%、「ひとりであることはない」35.3%、「いつもある」15.7%である。



(6) 住まい

F 5 お住まいは次のどれですか。(1 つに)

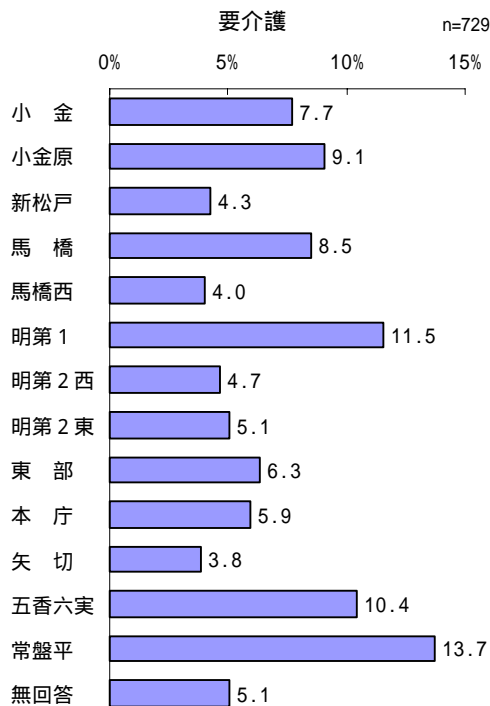
住まいは「持ち家(一戸建て、マンションなど)」が71.7%で7割強を占める。次いで「民間の借家(一戸建て、マンション、アパートなど)」6.7%、「グループホーム」4.1%、「公社、公団(都市再生機構)の賃貸住宅」3.7%、「有料老人ホーム」3.4%などである。



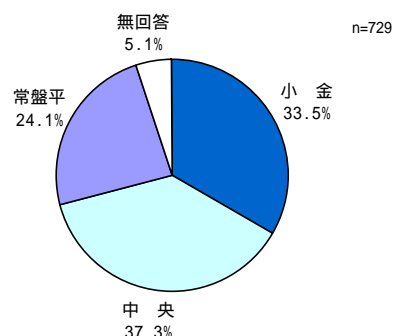
(7) 居住地区

F 6 あなたの住所は、どちらですか。(1 つに)

13の日常生活圏域でみると「常盤平」が最も多く13.7%を占め、次いで「明第1」11.5%、「五香六実」10.4%、「小金原」9.1%、「馬橋」8.5%、「小金」7.7%などである。



3つの地域包括支援センター管轄でみると、「中央」37.3%、「小金」33.5%、「常盤平」24.1%となっている。

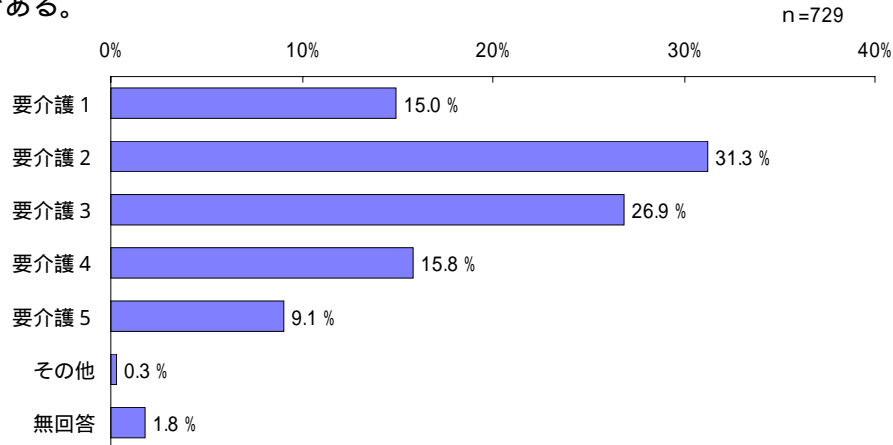


2. 日常の生活状況等について

(1) 要介護状態区分

問1 あなたの要介護状態区分は。(1つに)

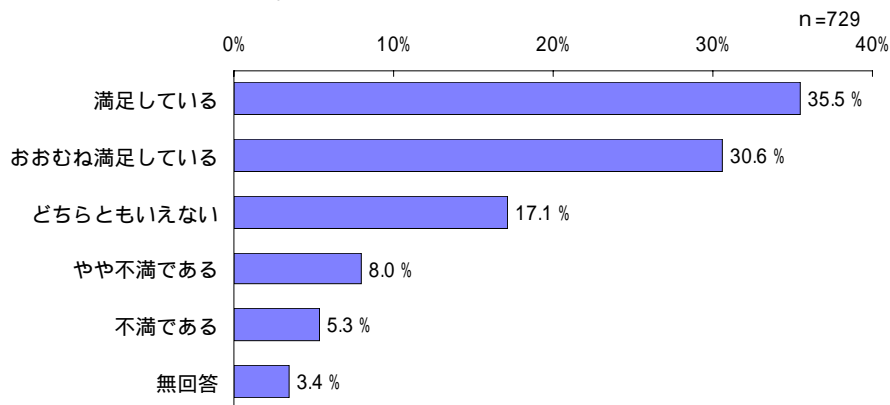
「要介護2」31.3%、「要介護3」26.9%、「要介護4」15.8%、「要介護1」15.0%、「要介護5」9.1%である。



(2) 認定結果の満足度

問2 あなたは、今回の認定結果に満足していますか。(1つに)

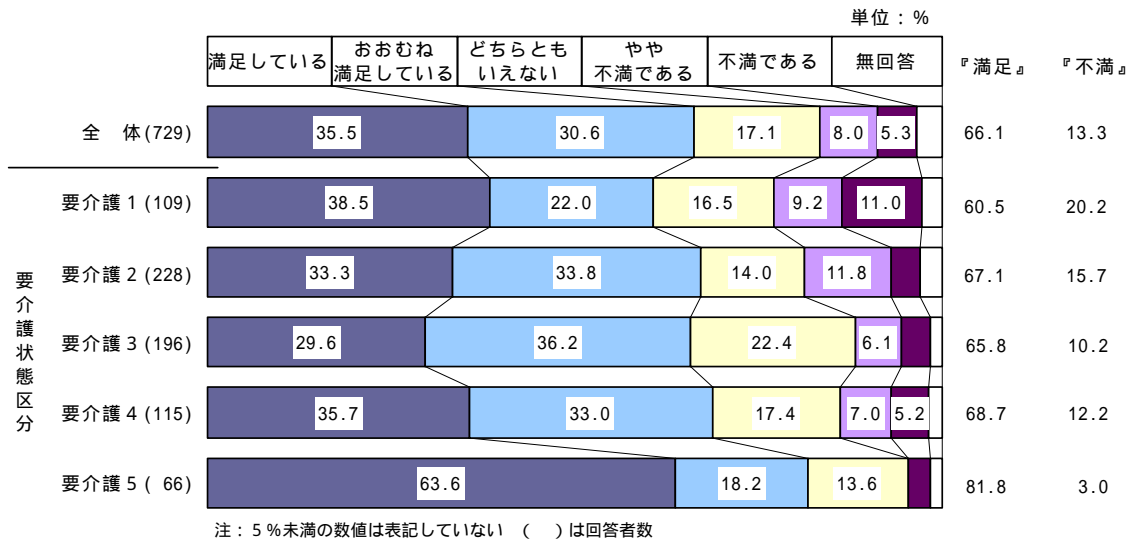
今回の認定結果に「満足している」35.5%、「おおむね満足している」30.6%、これらを合わせた『満足』は66.1%である。これに対し、「やや不満である」8.0%、「不満である」5.3%を合わせた『不満』は13.3%である。



[要介護状態区分]

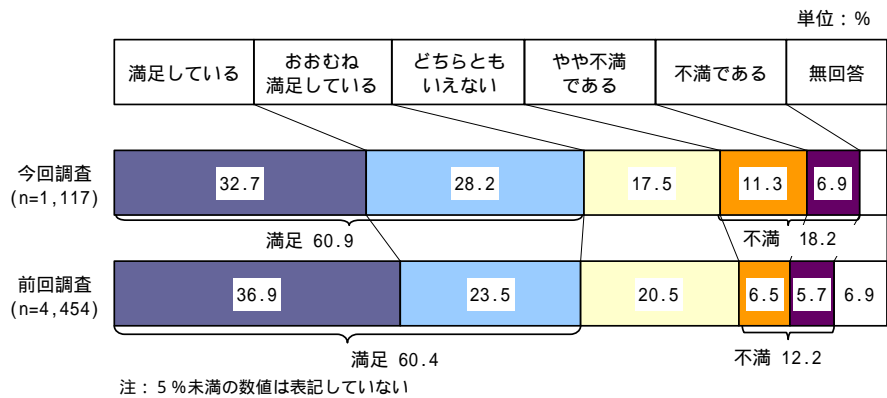
「満足している」は要介護5の63.6%が他を大きく引き離す。『満足』は要介護5の81.8%、要介護4の68.7%、要介護2の67.1%、要介護3の65.8%、要介護1の60.5%の順である。

『不満』は要介護1の20.2%、要介護2の15.7%などの順である。



【 経年比較 】

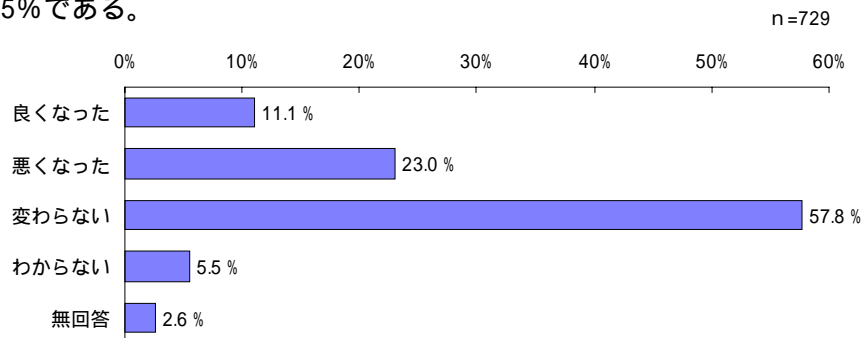
『満足』は、ほとんど変わらないが、『不満』は多くなっている。



(3) 要介護認定以降の状態

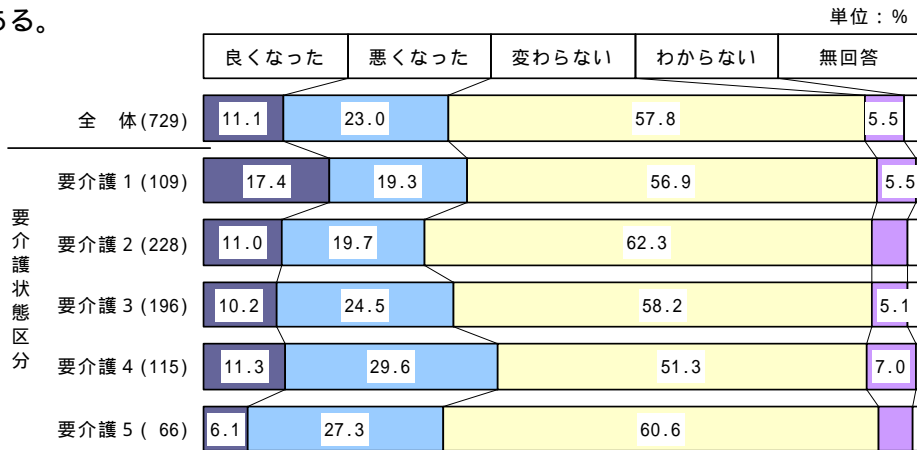
問3 要介護認定を受けた後、あなたのお体の状態はどのように変わりましたか。
(1つに)

「変わらない」が57.8%と6割、「悪くなった」が23.0%、「良くなった」が11.1%、「わからない」が5.5%である。



[要介護状態区分]

「良くなった」は要介護1、17.4%がやや多い。これに対し、「悪くなった」は要介護4、29.6%、要介護5、27.3%、要介護3、24.5%であり、要介護2の19.7%、要介護1の19.3%とはやや差がある。

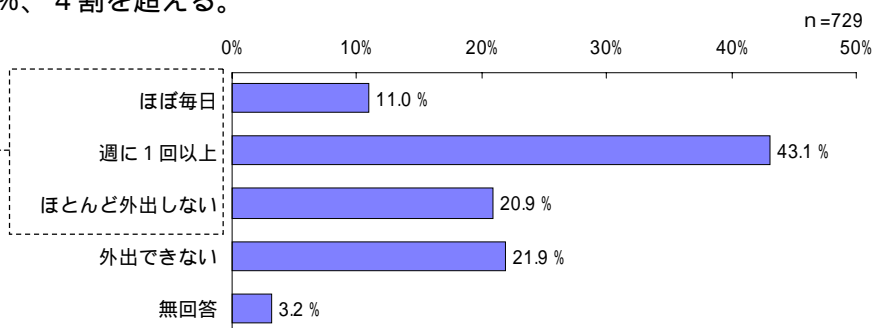


注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

(4) 外出の頻度

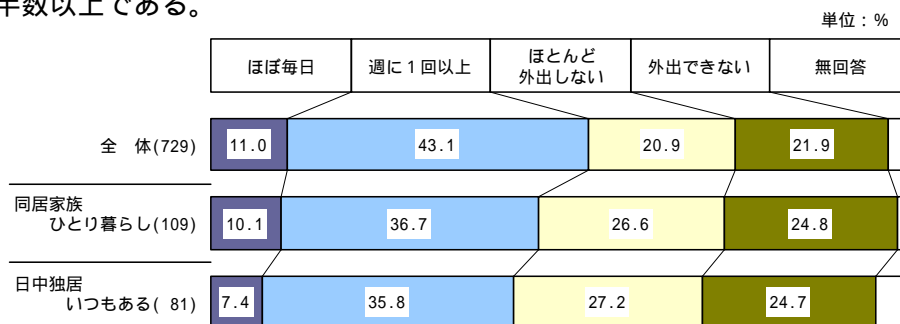
問4 日ごろ、どの程度外出していますか。(1つに)

日ごろの外出は「週に1回以上」43.1%、「外出できない」21.9%、「ほとんど外出しない」20.9%、「ほぼ毎日」11.0%である。「週に1回以上」と「ほぼ毎日」を合わせた『外出する』は、54.1%と5割を超えるが、「外出できない」と「ほとんど外出しない」を合わせた『外出しない・できない』は42.8%、4割を超える。



[ひとり暮らし・日中独居]

『外出しない・できない』はひとり暮らしで51.4%、いつもひとりであることので多い日中独居で51.9%と半数以上である。



注：5%未満の数値は表記していない

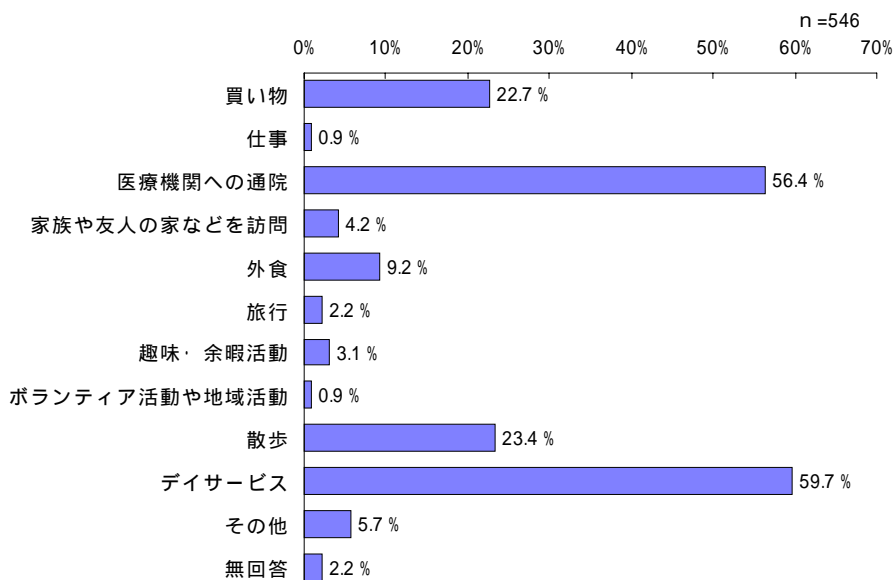
[要介護状態区分]

『外出する』は、要介護1の66.1%、要介護2の59.2%などの順である。

(5) 外出の目的

問4-1 日ごろ、どのような目的で外出していますか。(あてはまるものすべてに)

外出の目的は「デイサービス」59.7%、「医療機関への通院」56.4%が主なものである。次いで「散歩」23.4%、「買い物」22.7%、「外食」9.2%などである。



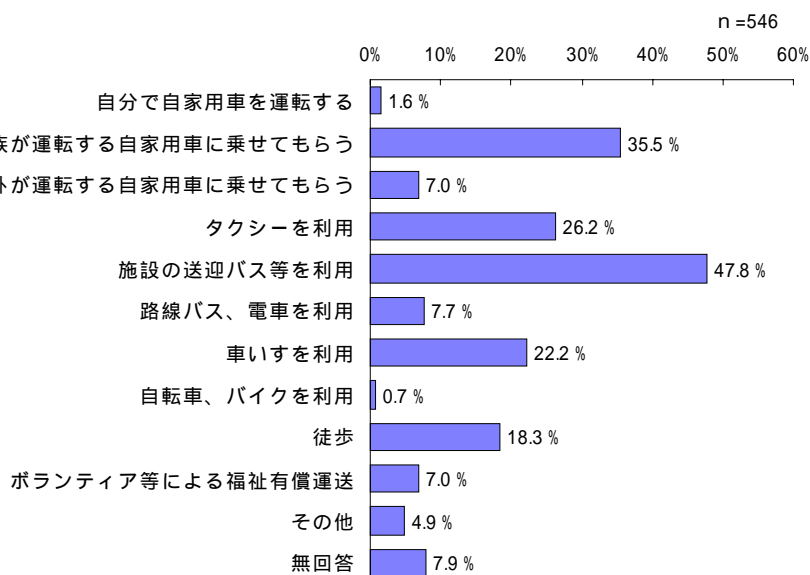
[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らし及び日中いつもひとりであることの多い人とも「医療機関への通院」「デイサービス」が主なものであるが、「買い物」についても各36.3%、29.8%と多いものとなっている。

(6) 外出の方法

問4-2 日ごろ、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに)

外出の方法は「施設の送迎バス等を利用」47.8%、「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」35.5%、「タクシーを利用」26.2%、「車いすを利用」22.2%、「徒歩」18.3%などである。



【同居家族】

65歳以上がいる世帯（夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く）及び夫婦二人暮らし（二人とも64歳以下）は「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」が各51.9%、81.8%と最も多いが、これら以外の家族では「施設の送迎バス等を利用」が多い。

ひとり暮らしは、「施設の送迎バス等を利用」41.3%に次いで「タクシーを利用」35.0%、「徒歩」28.8%などの順である。

【日中独居】

日中独居では、いずれも「施設の送迎バス等を利用」が最も多い。「タクシーを利用」は、ときどきあるとした人が31.5%、いつもあるとした人が22.8%である。

単位：%

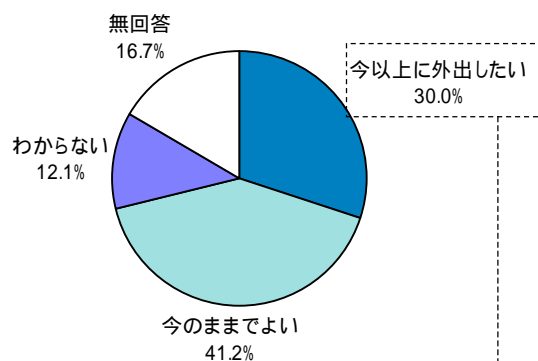
	回答者数 (人)	自分で自 家用車 を 運転する	家族が 運転する 自家用車 に乗せて もらう	家族以外 が運転す る自家用 車に乗せ てもらう	タクシ-を 利用	施設の 送迎バス 等を利用	路線バス、 電車を 利用	車いすを 利用	自転車、 バイクを 利用	徒歩	ボランティ ア等による 福祉有償 運送	その他	無回答	
全 体	546	1.6	35.5	7.0	26.2	47.8	7.7	22.2	0.7	18.3	7.0	4.9	7.9	
同居家族	夫婦二人暮らし (二人とも65歳以上)	141	2.1	29.8	9.2	30.5	49.6	9.2	29.1	0.7	20.6	9.9	6.4	5.0
	夫婦二人暮らし (どちらかが65歳以上)	22	0.0	45.5	4.5	18.2	59.1	0.0	31.8	0.0	13.6	9.1	4.5	13.6
	全員が65歳以上の世帯 (夫婦のみ世帯や ひとり暮らしを除く)	32	0.0	21.9	9.4	28.1	62.5	6.3	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5
	65歳以上がいる世帯 (夫婦のみ世帯や ひとり暮らしを除く)	106	1.9	51.9	4.7	22.6	50.0	7.5	20.8	0.9	15.1	3.8	2.8	6.6
	65歳以上がいない世帯 (夫婦のみ世帯や ひとり暮らしを除く)	84	3.6	41.7	2.4	26.2	50.0	6.0	28.6	1.2	15.5	3.6	1.2	8.3
	夫婦二人暮らし (二人とも64歳以下)	11	0.0	81.8	9.1	9.1	36.4	0.0	9.1	9.1	27.3	0.0	9.1	9.1
	ひとり暮らし	80	0.0	20.0	8.8	35.0	41.3	12.5	8.8	0.0	28.8	8.8	10.0	5.0
日中独居	いつもある	57	3.5	38.6	3.5	22.8	52.6	10.5	12.3	0.0	19.3	1.8	3.5	10.5
	ときどきある	197	1.0	41.6	5.6	31.5	53.3	5.6	27.9	1.0	19.3	6.1	3.0	6.1
	ひとりであることは ない	132	2.3	39.4	7.6	19.7	49.2	6.8	29.5	1.5	12.1	6.1	5.3	7.6

(7) 今以上に外出したいか

問4-3 今以上に外出したいですか。(1つに)

問4で外出が可能な人に、今以上に外出したいかを聞いた。「今のままでよい」が41.2%と多く、「今以上に外出したい」は30.0%にとどまり、「わからない」が12.1%である。

n=546

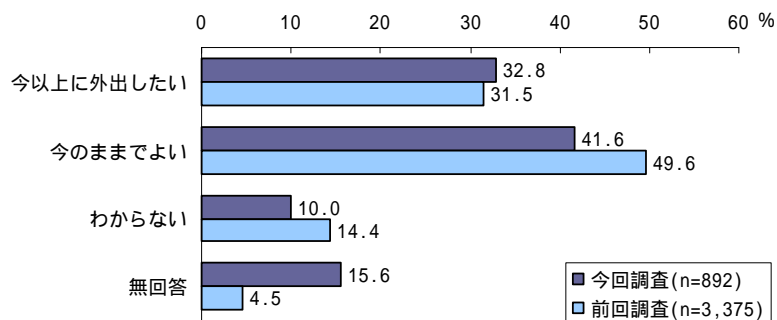


[ひとり暮らし・日中独居]

「今以上に外出したい」は、ひとり暮らしで37.5%と多い。日中いつもにひとりであることので多い人は全体結果とほぼ同じであるが、ときどきひとりである人は35.5%と比較的多い。

【 経年比較 】

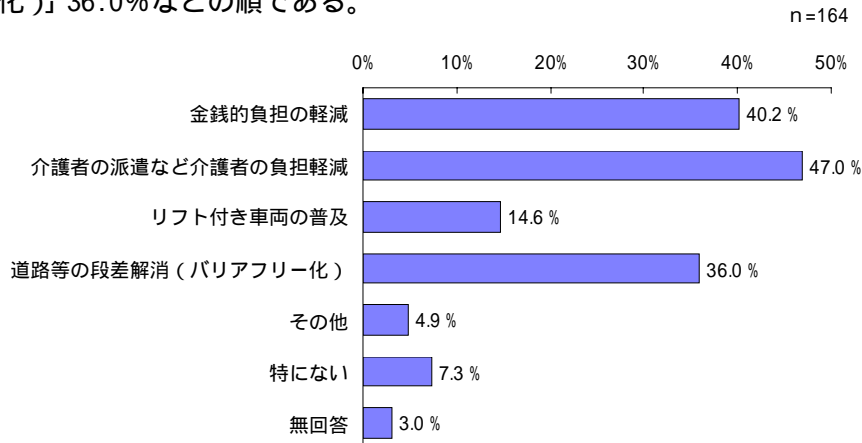
「今のままでよい」が減り、「今以上に外出したい」がやや増えている。



(8) 外出のために必要な援助

問4-4 今以上に外出するためには、どのような援助があればよいですか。(あてはまるものすべてに)

問4-3で「今以上に外出したい」と答えた人に、どのような援助が必要かを聞いた。「介護者の派遣など介護者の負担軽減」47.0%、「金銭的負担の軽減」40.2%、「道路等の段差解消(バリアフリー化)」36.0%などの順である。

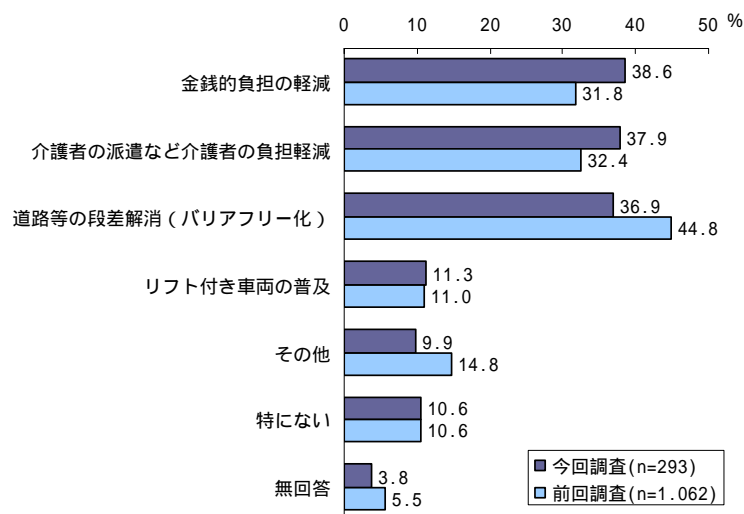


[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らし及び日中いつもひとりであることの多い人では、「介護者の派遣など介護者の負担軽減」「金銭的負担の軽減」が半数以上と多い。「介護者の派遣など介護者の負担軽減」は、日中ひとりであることはない人でも半数以上となっている。

【 経年比較 】

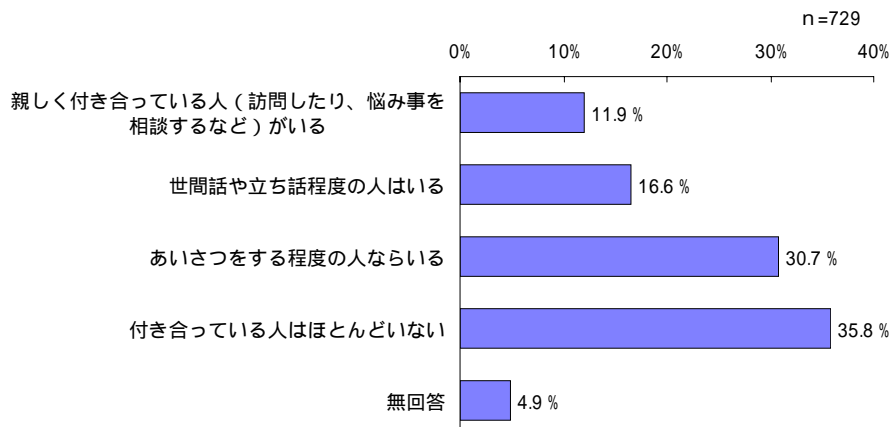
今回調査が上回る主なものは、「金銭的負担の軽減」及び「介護者の派遣など介護者の負担軽減」である。逆に「道路等の段差解消(バリアフリー化)」は今回調査で減っている。



(9) 隣近所との付き合い

問5 あなたは、日ごろ隣近所の方と、どの程度の付き合いをしていますか。(1つに)

隣近所との付き合いは、「付き合っている人はほとんどいない」35.8%、「あいさつをする程度の人ならいる」30.7%、「世間話や立ち話程度の人はいる」16.6%と続き、「親しく付き合っている人(訪問したり、悩み事を相談するなど)がいる」は11.9%にとどまる。

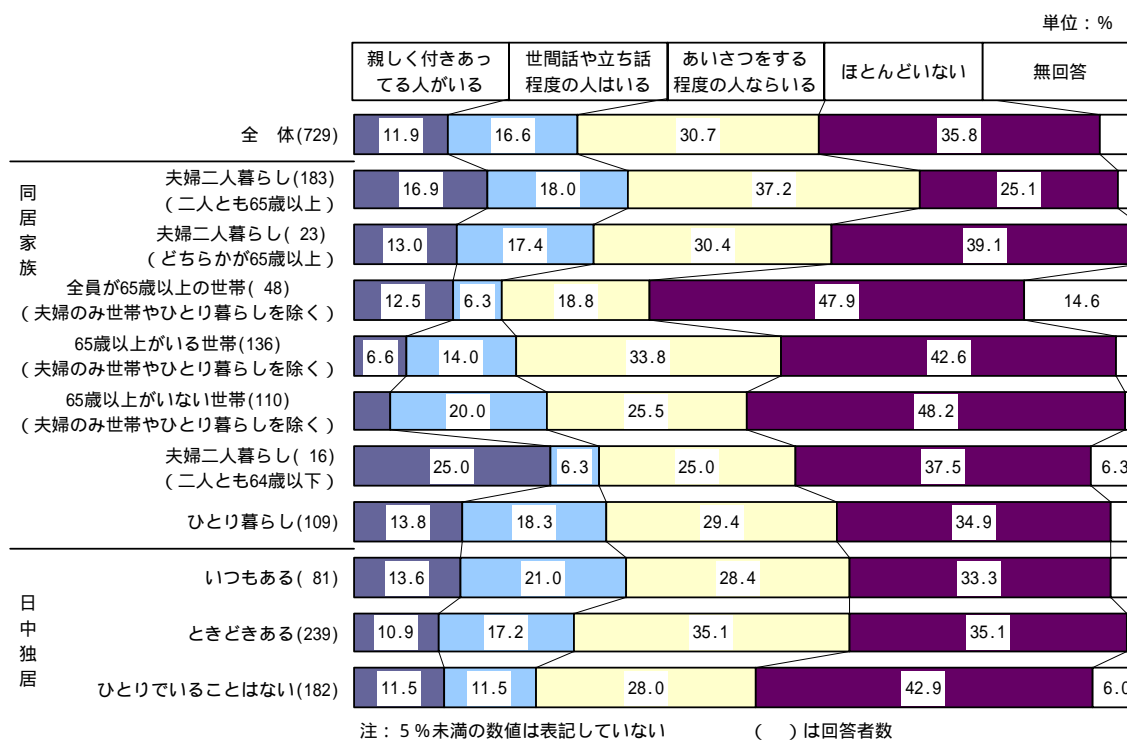


[同居家族]

夫婦二人暮らしやひとり暮らしを除いては、「付き合っている人はほとんどいない」が45%前後と比較的多い。

[日中独居]

「付き合っている人はほとんどいない」は、いつもひとりであることの多い人の33.3%に対し、ひとりであることはない人42.9%である。

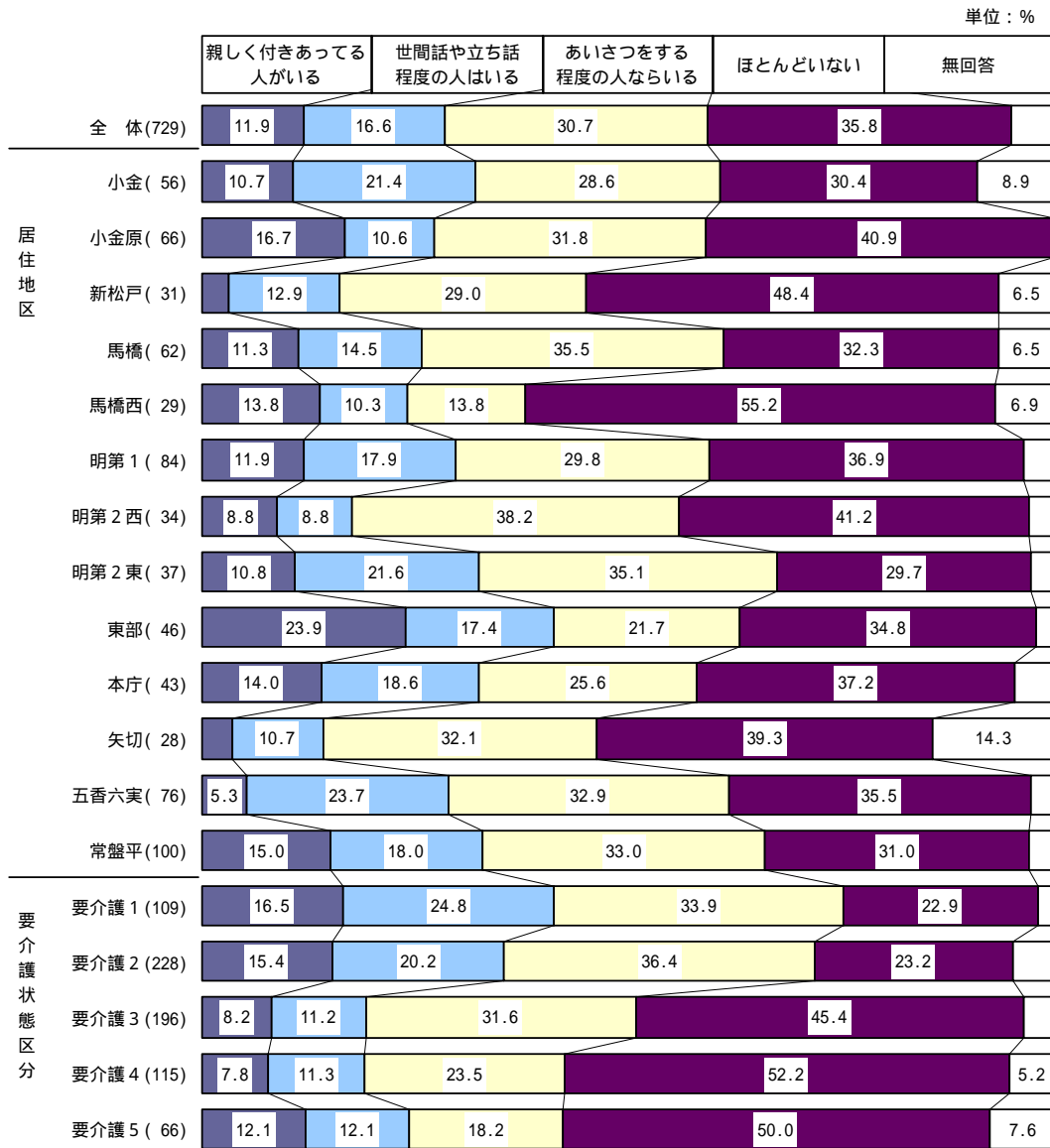


[居住地区]

「付き合っている人はほとんどいない」は、馬橋西 55.2%、新松戸 48.4%、明第2西 41.2%、小金原 40.9%などの順である。

[要介護状態区分]

「付き合っている人はほとんどいない」は、要介護3の45.4%を境に多くなる。ちなみに要介護2は23.2%である。

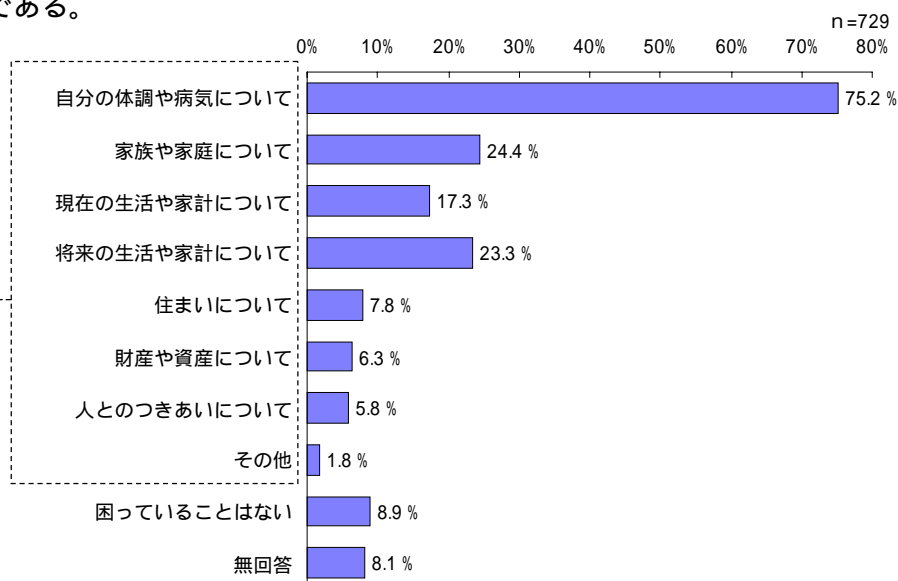


注：5%未満の数値は記入していない ()は回答数

(10) 不安・心配の内容

問6 次にあげた項目のうち、不安になったり心配になったりすることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに)

不安・心配の内容で最も多いのが、「自分の体調や病気について」の75.2%であり、7～8割の人があげている。以下とはやや差があり、「家族や家庭について」24.4%、「将来の生活や家計について」23.3%、「現在の生活や家計について」17.3%などである。1割近い人は「困っていることではない」である。



【ひとり暮らし・日中独居】

「自分の体調や病気について」は、ひとり暮らし82.6%、日中いつもひとりであることの多い人は77.8%といずれも多い。次いでひとり暮らしは「将来の生活や家計について」31.2%、日中いつもひとりであることの多いは「家族や家庭について」37.0%である。

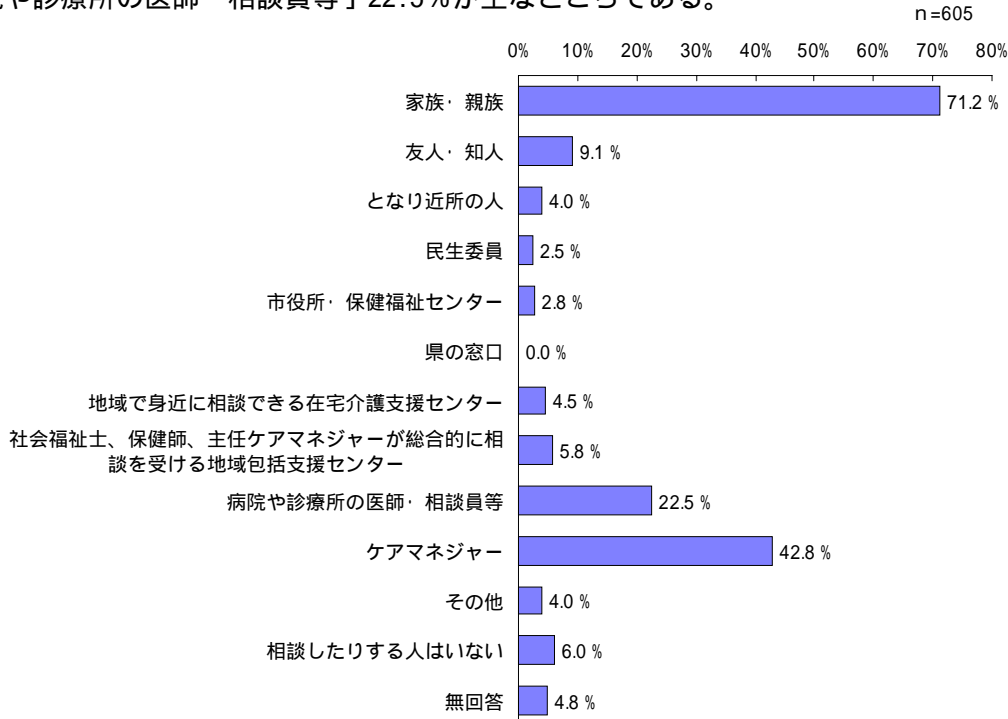
単位：%

	回答者数 (人)	自分の体調や病気について	家族や家庭について	現在の生活や家計について	将来の生活や家計について	住まいについて	財産や資産について	人とのつきあいについて	その他	困っていることではない	無回答
全体	729	75.2	24.4	17.3	23.3	7.8	6.3	5.8	1.8	8.9	8.1
家同族居											
ひとり暮らし	109	82.6	12.8	16.5	31.2	8.3	7.3	9.2	1.8	6.4	3.7
日中独居											
いつもある	81	77.8	37.0	23.5	27.2	12.3	9.9	12.3	3.7	3.7	7.4
ときどきある	239	82.4	29.7	23.0	28.0	10.5	7.9	5.9	0.4	5.9	4.2
ひとりであることはない	182	67.6	22.0	11.5	16.5	3.8	3.8	2.7	2.2	15.4	10.4

(11) 不安・心配の相談相手

問6-1 その心配事や悩みについて、だれかに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(あてはまるものすべてに)

相談相手で最も多いのは「家族・親族」71.2%である。次いで「ケアマネジャー」42.8%、「病院や診療所の医師・相談員等」22.5%が主なところである。



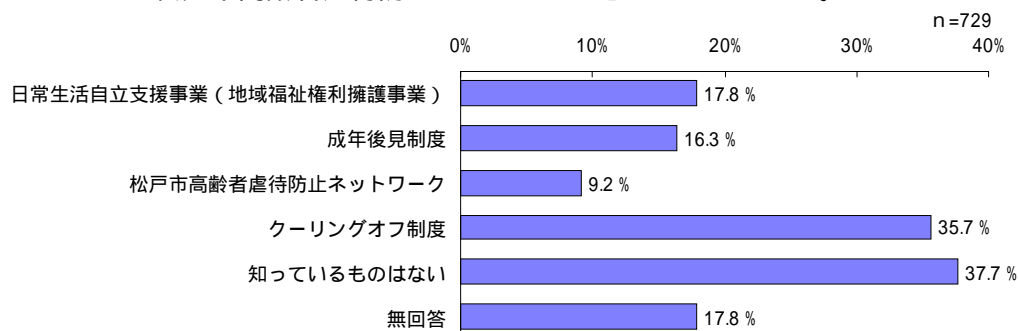
[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らし及び日中いつもひとりであることの多い人、いずれも「家族・親族」「ケアマネジャー」「病院や診療所の医師・相談員等」の順であるが、ひとり暮らしでは「民生委員」の9.2%日中ひとりであることの多い人では「相談したりする人はいない」が12.5%である。

(12) 権利擁護等の制度や仕組み

問7 高齢者が安心して暮らせるための権利擁護等の制度や仕組みを知っていますか。(知っているものすべてに)

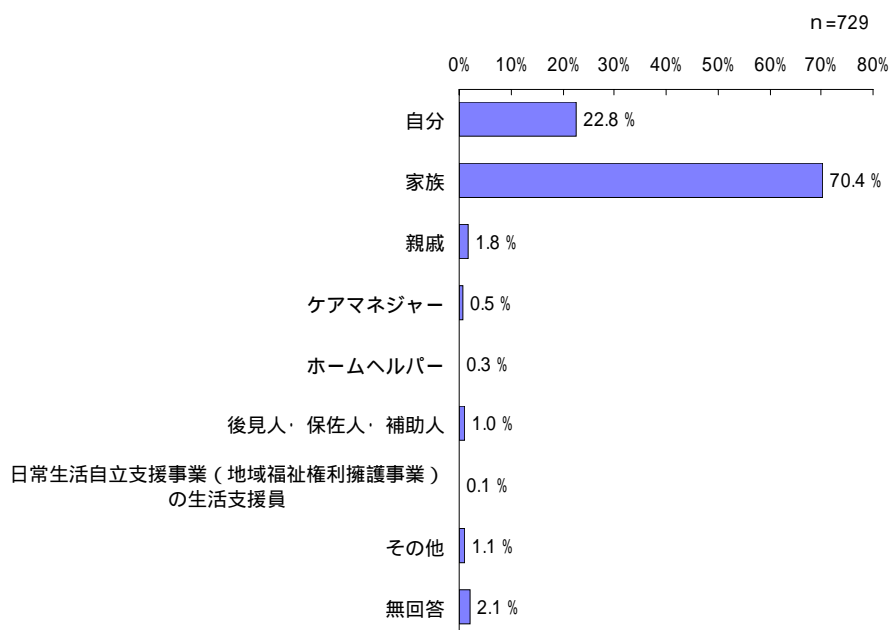
「知っているものはない」37.7%、「クーリングオフ制度」35.7%が同程度である。以下「日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）」17.8%と「成年後見制度」16.3%が同程度であり、最も少ないのは「松戸市高齢者虐待防止ネットワーク」の9.2%である。



(13) 日常の金銭管理

問8 あなたの日常生活に関わる金銭管理は誰が行っていますか。(1つに)

日常生活に関わる金銭管理は、「家族」70.4%、「自分」22.8%で9割を超える。



[要介護状態区分]

「自分」は要介護1、33.0%、要介護2、39.9%、要介護3、14.8%、要介護4、5.2%など、要介護3を境に少なくなる。

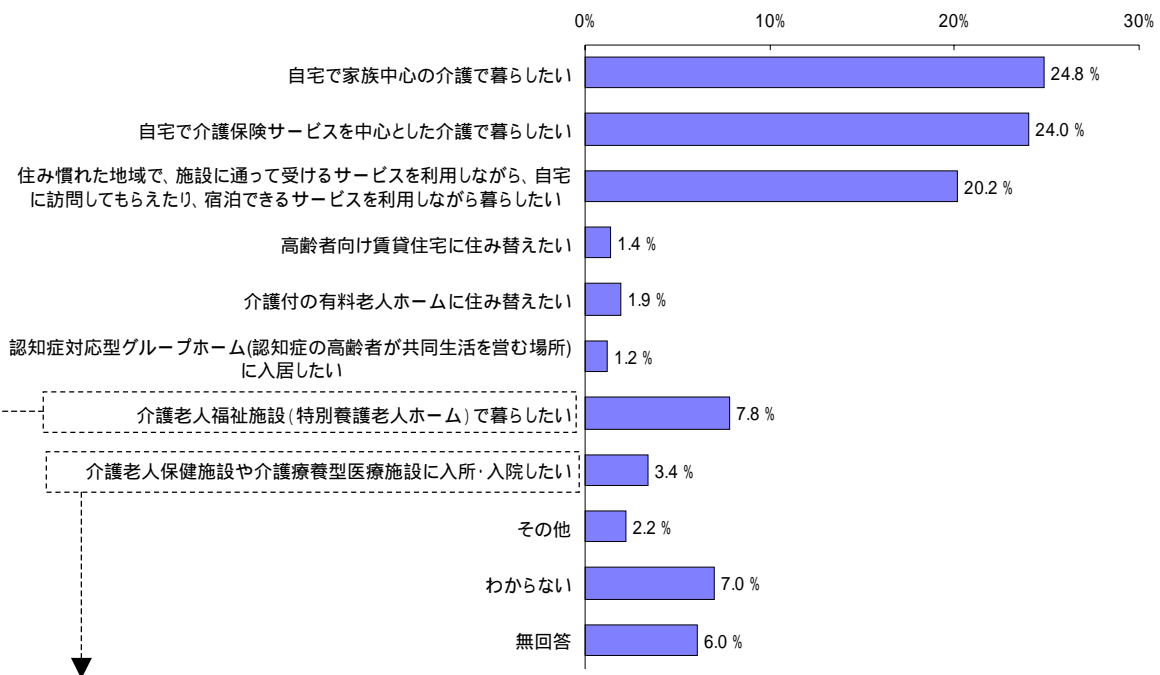
3. 今後の生活について

(1) どのように暮らしたいのか

問9 あなたは今後の生活について、どのようにお考えですか(1つに)

「自宅で家族中心の介護で暮らしたい」24.8%、「自宅で介護保険サービスを中心とした介護で暮らしたい」24.0%、「住み慣れた地域で、施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、宿泊できるサービスを利用しながら暮らしたい」20.2%が主なものであり、これらで約7割である。

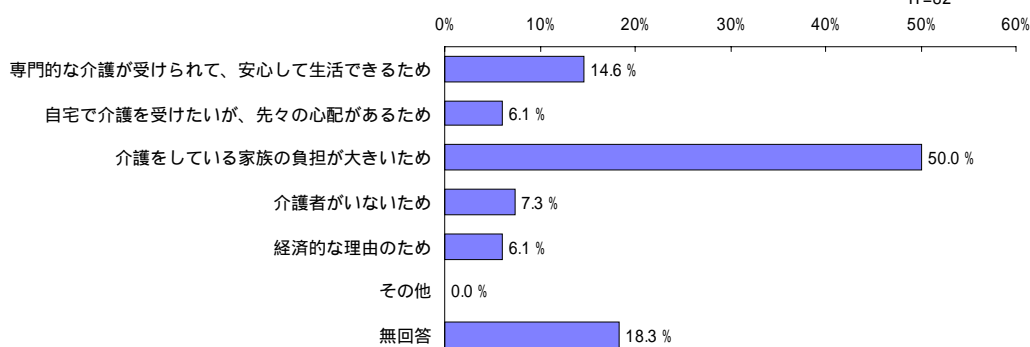
以下、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)で暮らしたい」7.8%、「わからない」7.0%、「介護老人保健施設や介護療養型医療施設に入所・入院したい」3.4%などである。 n=729



(2) 施設希望の理由

問9-1 施設等を希望される(ご自宅での生活を希望しない)最も大きな理由は何ですか。(1つに)

問9で「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)で暮らしたい」及び「介護老人保健施設や介護療養型医療施設に入所・入院したい」と答えた人にその理由を聞いた。最も多いのが、「介護をしている家族の負担が大きいため」50.0%、次いで「専門的な介護が受けられて、安心して生活できるため」14.6%、「介護者がいないため」7.3%などである。 n=82



[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らしは「介護をしている家族の負担が大きい」と及び「介護者がいない」とともに28.6%が最も多い。

日中いつもひとりであることの多い人は「介護をしている家族の負担が大きい」と66.7%がとくに多くなっている。

単位：%

	回答者数 (人)	専門的な介護 が受けられて、 安心して生活 できるため	自宅で介護を 受けたいが、 先々の心配が あるため	介護をしてい る家族の負担 が大きい	介護者が いないため	経済的な 理由のため	その他	無回答
全 体	82	14.6	6.1	50.0	7.3	6.1	0.0	18.3
家 同 族 居	ひとり暮らし	14	21.4	0.0	28.6	28.6	0.0	21.4
独 日 居 中	いつもある	12	16.7	0.0	66.7	0.0	8.3	8.3

[要介護状態区分]

「介護をしている家族の負担が大きい」とは要介護4の69.2%が最も多く、次いで要介護3の58.3%、要介護5の50.0%などである。これに対して「専門的な介護が受けられて安心して生活できるため」は要介護5、25.0%、要介護2、20.8%、要介護3、12.5%などの順である。

単位：%

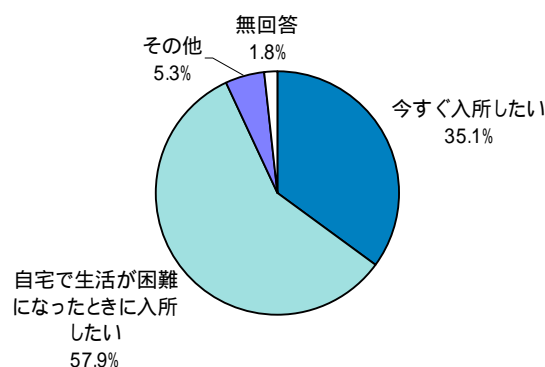
	回答者数 (人)	専門的な介護 が受けられて、 安心して生活 できるため	自宅で介護を 受けたいが、 先々の心配が あるため	介護をしてい る家族の負担 が大きい	介護者が いないため	経済的な 理由のため	その他	無回答	
全 体	82	14.6	6.1	50.0	7.3	6.1	0.0	18.3	
状 態 区 分	要介護1	11	9.1	9.1	36.4	27.3	9.1	0.0	9.1
	要介護2	24	20.8	8.3	41.7	8.3	4.2	0.0	16.7
	要介護3	24	12.5	8.3	58.3	0.0	4.2	0.0	20.8
	要介護4	13	7.7	0.0	69.2	7.7	7.7	0.0	15.4
	要介護5	8	25.0	0.0	50.0	0.0	12.5	0.0	12.5

(3) 施設に入所したい時期

問9-2 いつ介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）に入所したいですか。（1つに）

問9で「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）で暮らしたい」と答えた人に、いつ入所したいかを聞いた。「自宅で生活が困難になったときに入所したい」が57.9%、「今すぐ入所したい」が35.1%である。

n=57



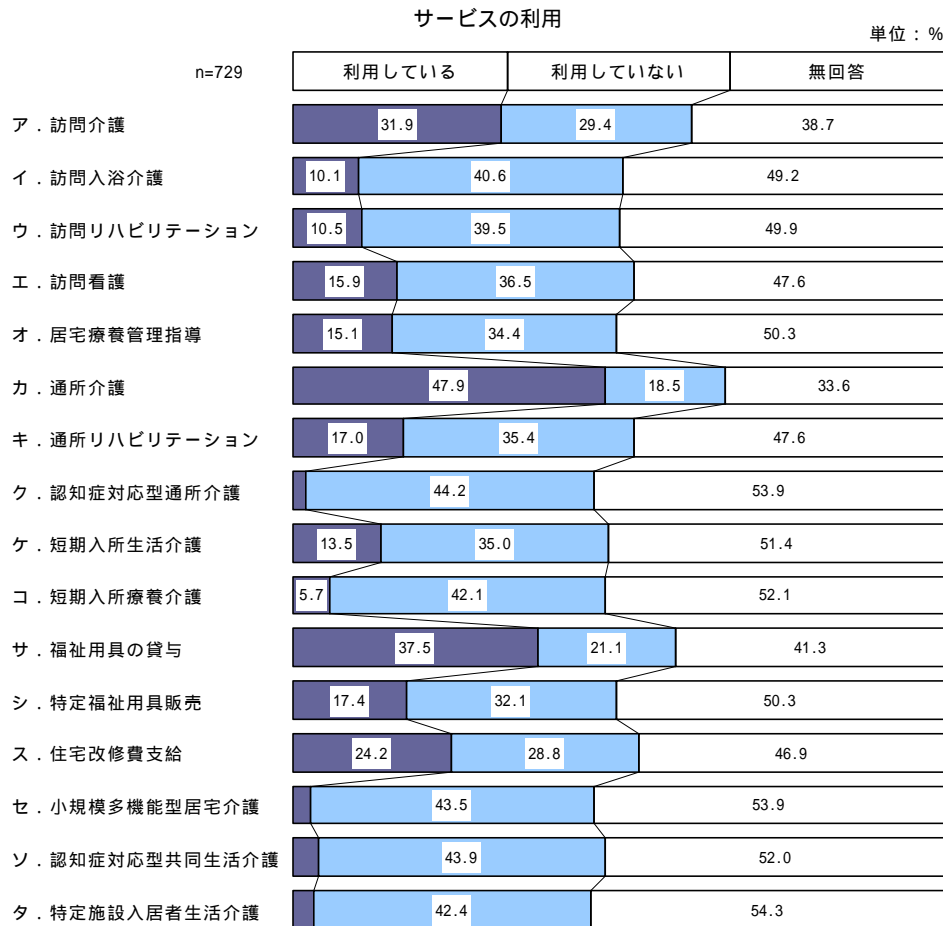
4. 介護保険サービスの利用について

(1) 利用の有無

問10 あなたが利用している介護保険サービスについて、日ごろどのように感じていますか。それぞれの利用状況、また利用していればその感想についてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに)

「利用している」が最も多いのが「通所介護」の47.9%、次いで「福祉用具の貸与」37.5%、「訪問介護」31.9%、「住宅改修費支給」24.2%、「特定福祉用具販売」17.4%、「通所リハビリテーション」17.0%などである。

これに対し「利用していない」は、「認知症対応型通所介護」44.2%。「認知症対応型共同生活介護」43.9%、「小規模多機能型居宅介護」43.5%、「特定施設入居者生活介護」42.4%、「短期入所療養介護」42.1%などである。



注：5%未満の数値は表記していない

[要介護状態区分]

利用が20%を超えるサービスについてみる。

- ・ 訪問介護……………要介護5の48.4%以外は、30%内外である。
- ・ 通所介護……………要介護5の25.8%以外は、50%内外である。
- ・ 福祉用具の貸与……………介護度の重さに比例して多くなる。
- ・ 住宅改修費支給……………要介護3、30.1%、要介護4、27.0%などの順である。

単位：％

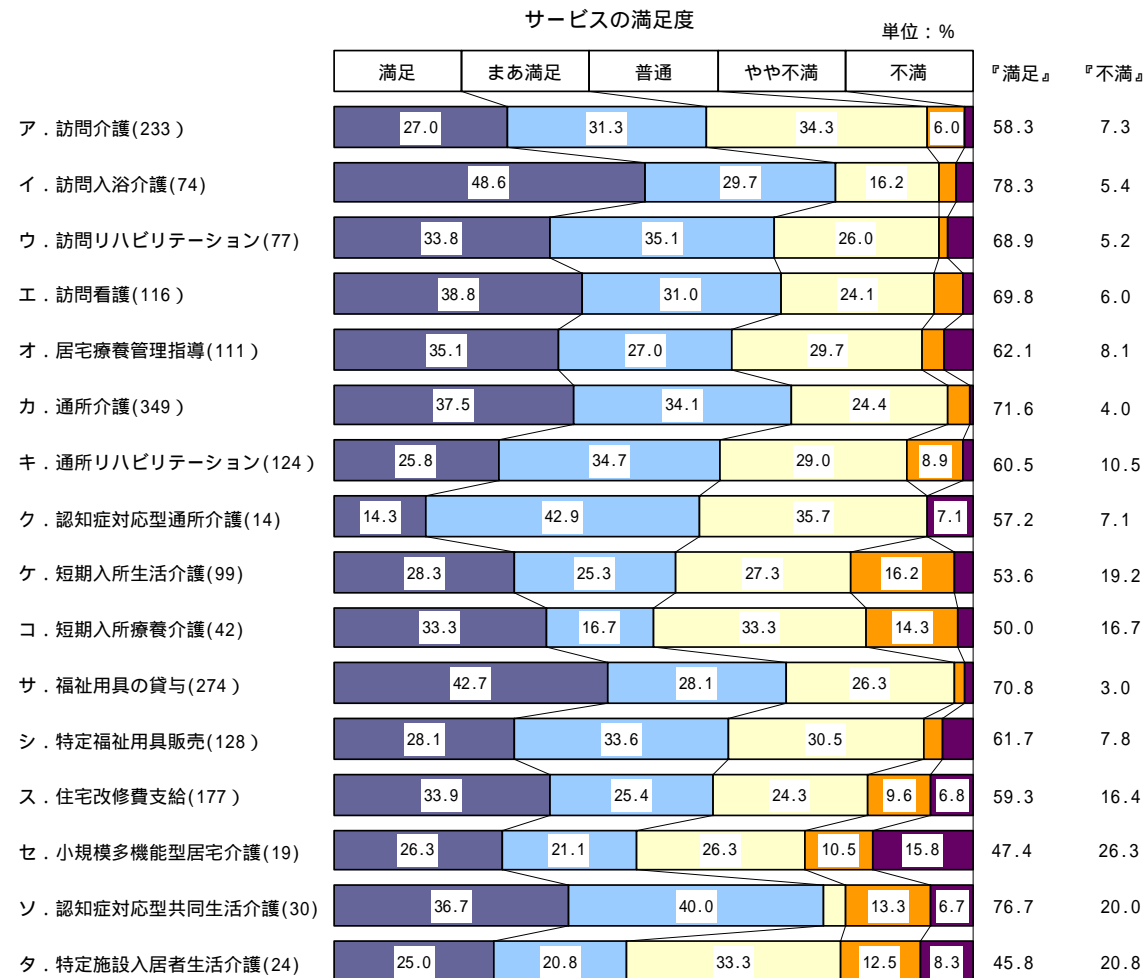
	回答者数 (人)	訪問介護	通所介護	福祉用具 の貸与	住宅改修 費支給
要介護1	109	25.7	51.3	11.9	15.6
要介護2	228	34.2	48.3	33.8	23.7
要介護3	196	29.6	52.6	42.9	30.1
要介護4	115	29.6	51.3	52.2	27.0
要介護5	66	48.4	25.8	57.6	21.2

(2) 満足度

「満足」が最も多いのは「訪問入浴介護」48.6%、次いで「福祉用具の貸与」42.7%、「訪問看護」38.8%、「通所介護」37.5%、「認知症対応型共同生活介護」36.7%、「居宅療養管理指導」35.1%などの順である。

「満足」に「まあ満足」を合わせた『満足』についても、「訪問入浴介護」78.3%、「認知症対応型共同生活介護」76.7%、「通所介護」71.6%、「福祉用具の貸与」70.8%、「訪問看護」69.8%などの順であり、上位項目は変わらない。

これに対し「不満」は少なく、「小規模多機能型居宅介護」15.8%のみ2ケタである。「不満」に「やや不満」を合わせた『不満』は、「小規模多機能型居宅介護」の26.3%、「特定施設入居者生活介護」の20.8%、「認知症対応型共同生活介護」20.0%、「短期入所生活介護」19.2%、「短期入所療養介護」16.7%などの順である。『満足』の上位項目とは「認知症対応型共同生活介護」のみ重なり、評価の分かれるところとなっている。



注：5%未満の数値は表記していない
()は回答者数

丸数字は順位

【 経年比較 】

『満足』の経年比較をみると、前回調査までの『満足』への上昇傾向が今回調査でも引き継がれているサービスは、「福祉用具の貸与」及び「特定福祉用具販売」などである。

「訪問介護」や「訪問看護」、「通所介護」、「通所リハビリテーション」、「短期入所療養介護」、「特定施設入所者生活介護」などでは、いずれも『満足』が減っており、なかでも「訪問介護」は10ポイント以上である。

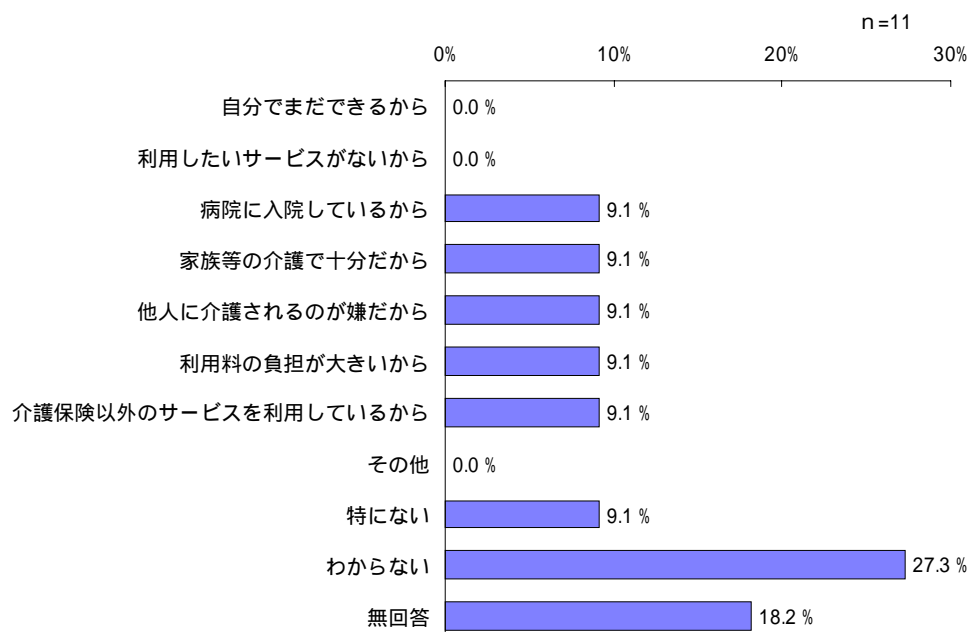
経年比較 利用している介護保険サービスの満足度

サービス名	調査年	件数 (人)	満足 (%)	不満足 (%)
訪問介護（ホームヘルプサービス）	平成20年（今回）	233	58.3	7.3
	平成17年	1,746	73.9	7.0
	平成14年	381	76.9	5.0
	平成11年	376	72.3	7.7
訪問入浴介護	平成20年（今回）	74	78.3	5.4
	平成17年	433	79.0	3.0
	平成14年	162	80.9	3.7
	平成11年	138	77.6	5.8
訪問リハビリテーション	平成20年（今回）	77	68.9	5.2
	平成17年	259	68.0	5.0
	平成14年	53	67.9	3.8
	平成11年	61	67.3	8.2
訪問看護	平成20年（今回）	116	69.8	6.0
	平成17年	465	74.8	3.0
	平成14年	174	81.0	2.9
	平成11年	166	74.1	4.8
居宅療養管理指導	平成20年（今回）	111	62.1	8.1
	平成17年	173	60.7	5.2
	平成14年	32	59.4	6.3
	平成11年	27	66.6	3.7
通所介護（デイサービス）	平成20年（今回）	349	71.6	4.0
	平成17年	1,230	74.0	4.7
	平成14年	325	78.2	3.7
	平成11年	388	76.5	5.1
通所リハビリテーション（デイケア）	平成20年（今回）	124	60.5	10.5
	平成17年	438	66.4	5.1
	平成14年	129	71.3	10.1
	平成11年	128	67.2	10.9
認知症対応型通所介護	平成20年（今回）	14	57.2	7.1
短期入所生活介護（特別養護老人ホーム等が行うショートステイ）	平成20年（今回）	99	53.6	19.2
	平成17年	259	51.7	12.7
	平成14年	170	64.1	14.1
	平成11年	197	54.8	21.3
短期入所療養介護（老人保健施設や医療機関等が行うショートステイ）	平成20年（今回）	50	50.0	16.7
	平成17年	139	56.9	8.6
	平成14年	39	59.0	10.3
	平成11年	53	49.0	15.1
福祉用具の貸与	平成20年（今回）	274	70.8	3.0
	平成17年	1,228	68.3	3.5
特定福祉用具販売	平成20年（今回）	128	61.7	7.8
	平成17年	401	51.6	8.5
住宅改修費支給	平成20年（今回）	177	59.3	16.4
	平成17年	182	59.4	7.7
	平成14年	140	77.1	12.9
	平成11年	54	50.0	20.4
小規模多機能型居宅介護	平成20年（今回）	19	47.4	26.3
認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）	平成20年（今回）	30	76.7	20.0
	平成17年	45	77.7	15.5
	平成14年	5	80.0	20.0
	平成11年	7	57.2	42.9
特定施設入所者生活介護（有料老人ホーム等での介護）	平成20年（今回）	24	45.8	20.8
	平成17年	120	55.0	13.3
	平成14年	18	66.7	11.1
	平成11年	32	71.9	12.5

(3) サービスを利用していない理由 (問 10 で「利用していない」に をつけた人)

問 10- 1 あなたがどのサービスも利用していない理由は何ですか。(1 つに)

問 10 でどのサービスも利用していない理由を聞いているが、回答者が 11 人と少ない。「わからない」が 3 人、27.3%、「病院に入院しているから」及び「家族等の介護で十分だから」、「他人に介護されるのが嫌だから」、「利用料の負担が大きいから」、「介護保険以外のサービスを利用しているから」がそれぞれ 1 人、9.1%である。



(4) 満足の理由 (問 10 で「満足」「まあ満足」に をつけた人)

問 10- 2 あなたはどのような点に「満足」していますか。利用している介護保険サービスについて、あてはまる番号に をつけてください。(はいくつでも)

問 10 の各種介護保険サービスについて『満足』と答えた理由を聞いた。16 あるサービスのうち、「訪問介護」及び「訪問入浴介護」、「訪問リハビリテーション」、「訪問看護」、「通所介護」、「通所リハビリテーション」の 6 つのサービスで、「サービス担当者の心構えや対応がよい」を 1 位としている。次いで「家族などの介護負担が減った」であり、「認知症対応型通所介護」、「短期入所生活介護」、「短期入所療養介護」、「認知症対応型共同生活介護」の 4 つのサービスで 1 位、「希望するサービスが受けられた」は「福祉用具の貸与」、「特定福祉用具販売」、「住宅改修費支給」の 3 つのサービスで 1 位となっている。

また、「自分でサービス事業者を選べた」は「小規模多機能型居宅介護」で、「サービスの内容・技術がよい」は「特定施設入居者生活介護」で、「在宅生活が続けられる」は「居宅療養管理指導」でそれぞれ 1 位である。

上位3位をみてわかるように、「サービス担当者の心構えや対応がよい」や「希望するサービスが受けられた」、「在宅生活が続けられる」、「家族などの介護負担が減った」は、満足の大きな理由となっている。しかし一方で、「リハビリテーション」では「サービスの内容・技術がよい」、「訪問看護」や「居宅療養管理指導」では「かかりつけ医との連携」などもあげられ、サービスの性格によって満足理由は違ってくる。

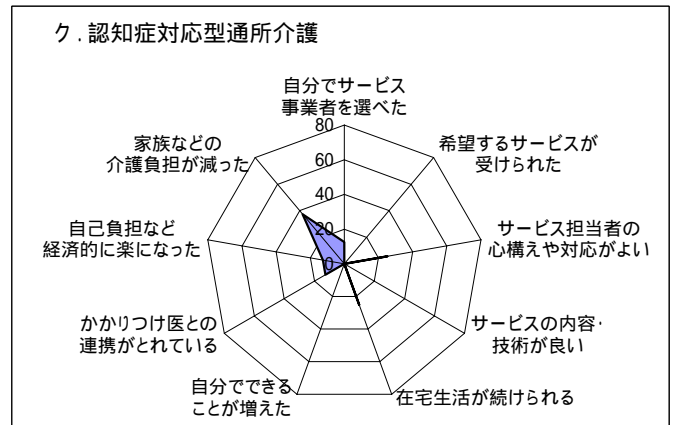
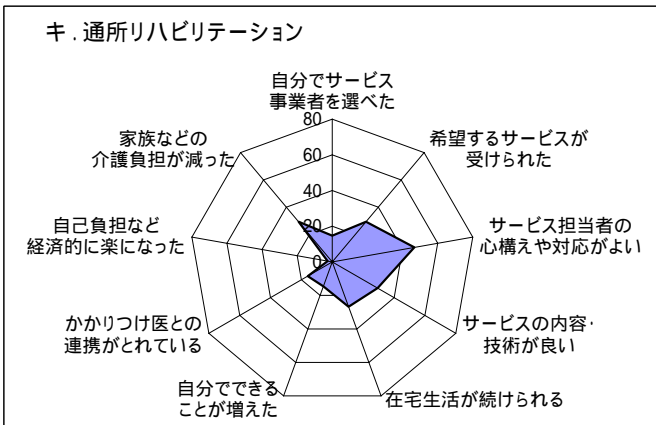
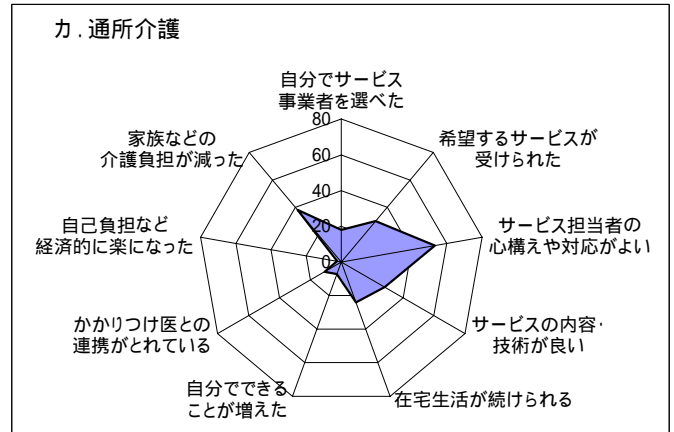
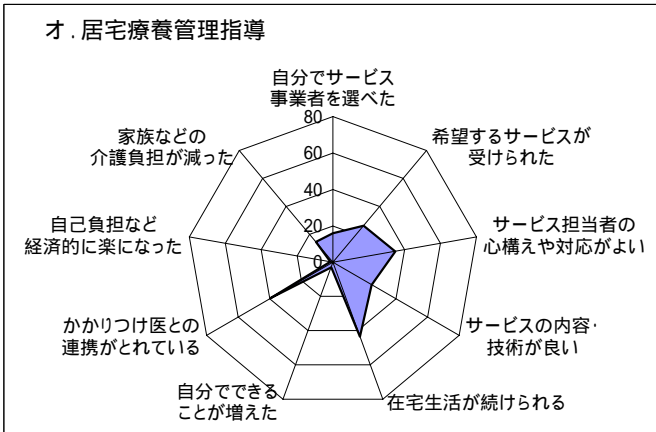
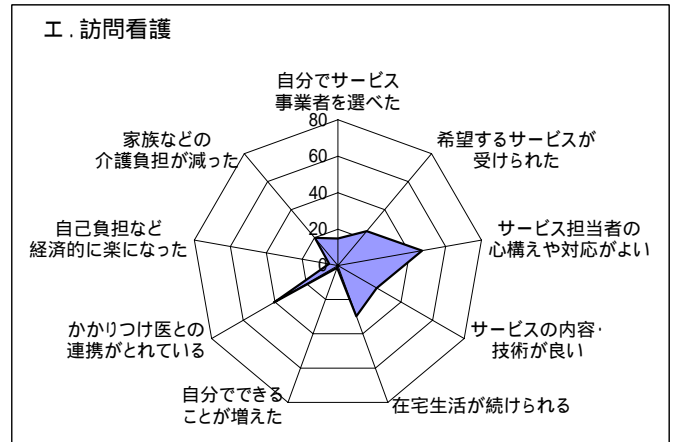
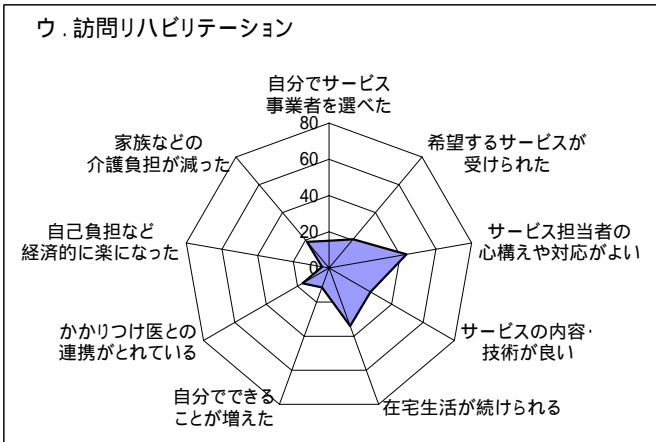
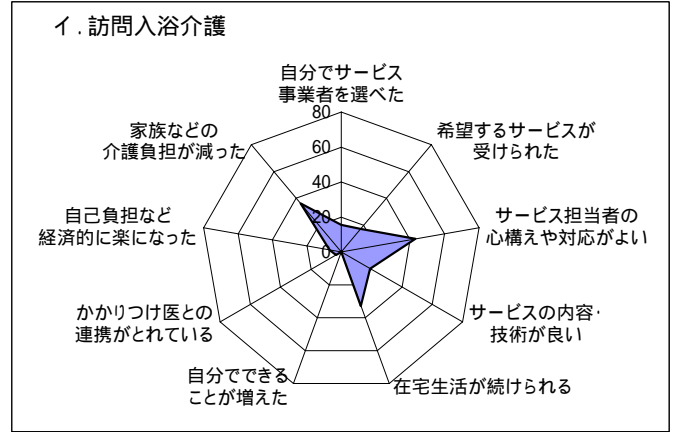
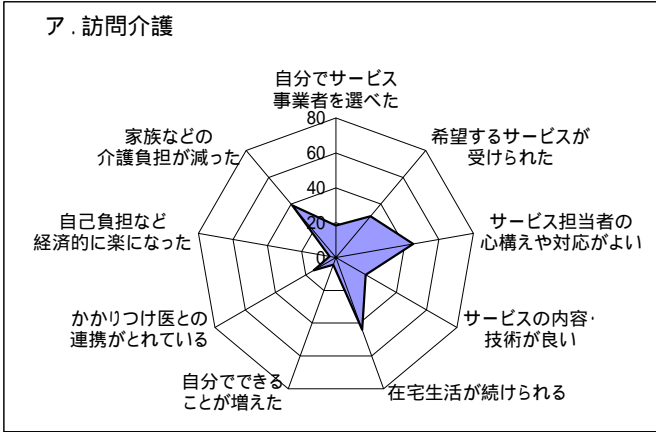
サービスの種類にみる満足の理由

単位：%

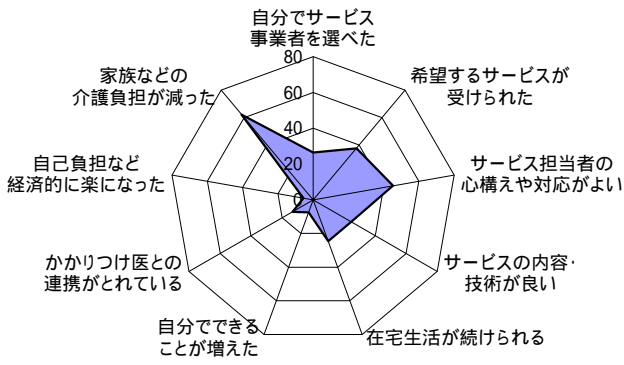
サービスの種類	回答者数(人)	自分でサービスを選べた	希望するサービスが受けられた	サービス担当者への心構えや対応がよい	サービスの内容・技術がよい	在宅生活が続けられる	自分のできるが増えた	かかりつけ医との連携がとれている	経済的に楽になった	自己負担など減った	家族などの介護負担が減った	その他	無回答
ア．訪問介護	136	18.4	30.9	44.9	19.9	44.1	4.4	14.7	3.7	39.0	1.5	16.9	
イ．訪問入浴介護	58	15.5	17.2	43.1	19.0	32.8	0.0	3.4	6.9	36.2	0.0	22.4	
ウ．訪問リハビリテーション	53	15.1	20.8	43.4	26.4	34.0	11.3	17.0	3.8	18.9	1.9	15.1	
エ．訪問看護	81	14.8	24.7	46.9	24.7	29.6	1.2	40.7	4.9	19.8	0.0	21.0	
オ．居宅療養管理指導	69	15.9	26.1	34.8	24.6	43.5	2.9	39.1	1.4	14.5	1.4	27.5	
カ．通所介護	250	18.0	30.0	53.2	28.0	24.0	7.2	10.8	2.4	38.0	1.6	21.2	
キ．通所リハビリテーション	75	14.7	29.3	46.7	29.3	26.7	14.7	16.0	2.7	29.3	1.3	30.7	
ク．認知症対応型通所介護	8	12.5	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	12.5	12.5	37.5	0.0	25.0	
ケ．短期入所生活介護	53	26.4	37.7	45.3	24.5	24.5	7.5	13.2	5.7	62.3	0.0	18.9	
コ．短期入所療養介護	21	14.3	23.8	28.6	9.5	19.0	14.3	19.0	0.0	47.6	4.8	42.9	
サ．福祉用具の貸与	194	8.8	41.2	23.7	8.2	31.4	10.8	1.5	10.3	19.6	2.1	26.3	
シ．特定福祉用具販売	79	8.9	31.6	12.7	5.1	26.6	10.1	1.3	8.9	11.4	2.5	35.4	
ス．住宅改修費支給	105	8.6	39.0	12.4	9.5	31.4	18.1	1.0	15.2	16.2	1.0	33.3	
セ．小規模多機能型居宅介護	9	33.3	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	44.4	
ソ．認知症対応型共同生活介護	23	21.7	43.5	65.2	52.2	13.0	26.1	56.5	4.3	69.6	0.0	8.7	
タ．特定施設入居者生活介護	11	27.3	18.2	36.4	45.5	0.0	0.0	18.2	0.0	27.3	9.1	27.3	

注：丸数字は順位

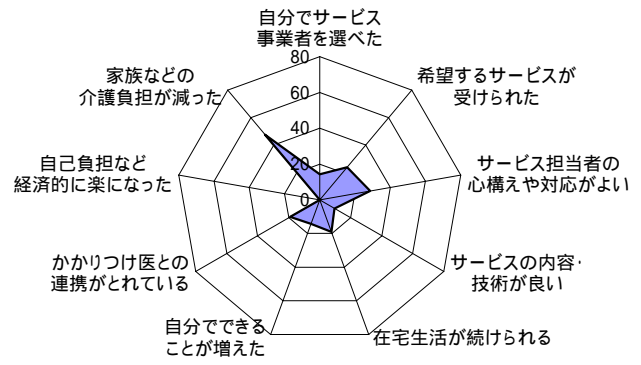
満足の理由比較



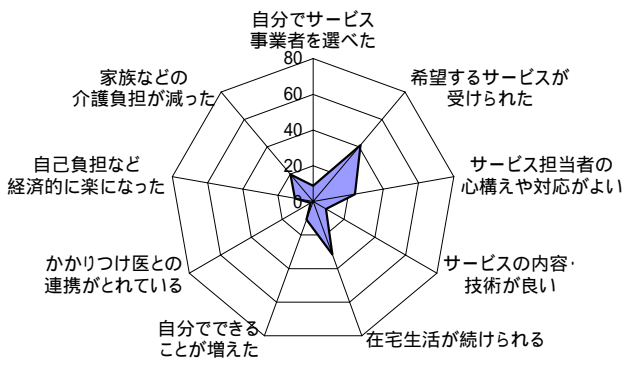
ケ. 短期入所生活介護



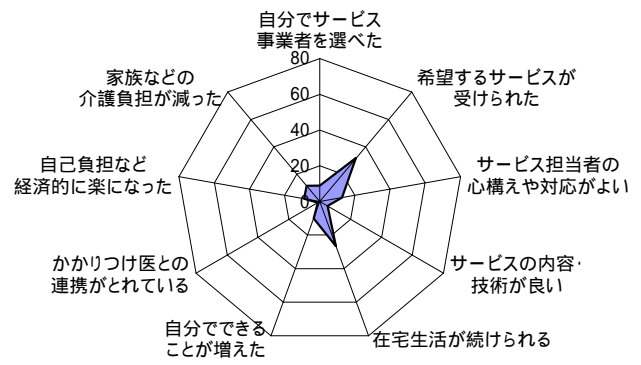
コ. 短期入所療養介護



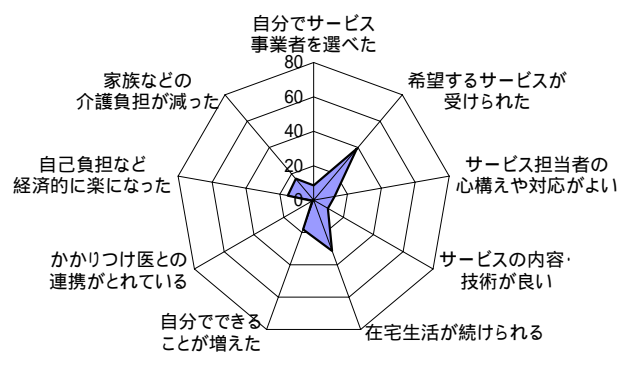
サ. 福祉用具の貸与



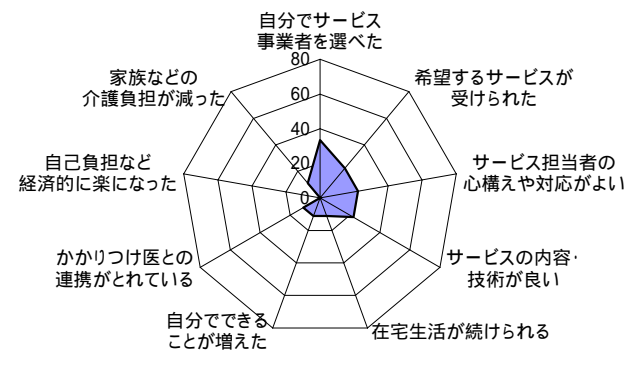
シ. 特定福祉用具販売



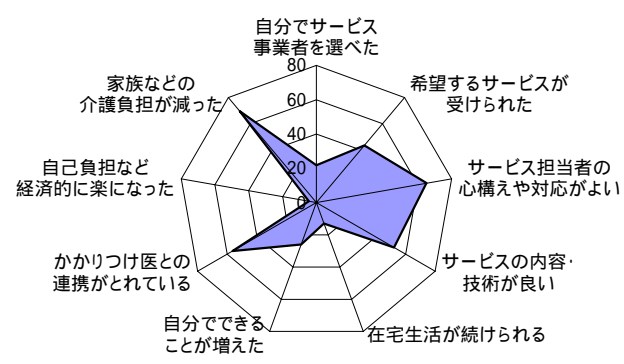
ス. 住宅改修費支給



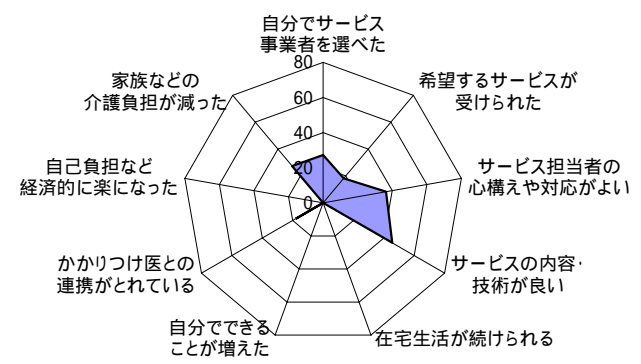
セ. 小規模多機能型居宅介護



ソ. 認知症対応型共同生活介護



タ. 特定施設入居者生活介護



(5) 不満の理由

(問10で「やや不満」「不満」につけた人)

問10-3 あなたはどのような点が「不満足」でしたか。利用している介護保険サービスについて、あてはまる番号に をつけてください。(はいくつでも)

問10で各種介護保険サービスについての『不満』と答えた理由を聞いた。全般的に回答者が少なかったが、『不満』の主な理由として、「サービスのレベルが低い」や「自己負担が重い」、「希望する日時にサービスを利用できなかった」があげられている。また、「訪問看護」などサービスによっては、「担当者の心構えや対応が悪い」、「担当者が頻繁にかわった」などもあげられている。

サービスの種類にみる不満の理由

単位：%

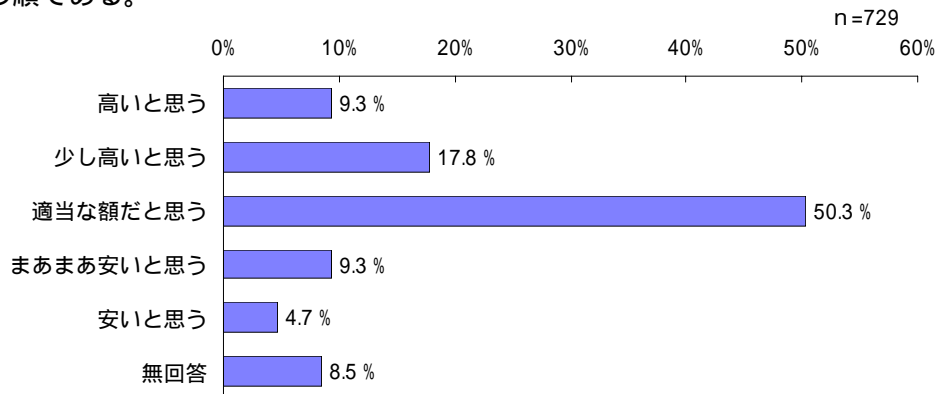
サービスの種類	回答者数(人)	事業者が少ない	希望する日時にサービスを利用できなかった	希望する回数があった	担当者の心構えや対応が悪い	サービスのレベルが低い	事業者の説明が不十分	事業者が要望を聞いてくれなかった	約束どおりサービスを受けられなかった	担当者が頻繁にかわった	自己負担が重い	その他	無回答
ア．訪問介護	17	11.8	29.4	11.8	35.3	47.1	5.9	11.8	11.8	41.2	17.6	5.9	17.6
イ．訪問入浴介護	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	50.0	0.0	0.0
ウ．訪問リハビリテーション	4	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	50.0	0.0	50.0
エ．訪問看護	7	0.0	14.3	14.3	57.1	42.9	14.3	0.0	28.6	28.6	28.6	0.0	28.6
オ．居宅療養管理指導	9	11.1	11.1	22.2	44.4	55.6	33.3	0.0	0.0	22.2	44.4	0.0	11.1
カ．通所介護	14	7.1	14.3	7.1	14.3	21.4	7.1	0.0	7.1	21.4	14.3	7.1	50.0
キ．通所リハビリテーション	13	0.0	7.7	15.4	15.4	46.2	15.4	7.7	0.0	15.4	7.7	15.4	23.1
ク．認知症対応型通所介護	1	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
ケ．短期入所生活介護	19	15.8	52.6	15.8	10.5	15.8	5.3	0.0	5.3	15.8	26.3	5.3	31.6
コ．短期入所療養介護	7	0.0	42.9	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
サ．福祉用具の貸与	8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	25.0	37.5
シ．特定福祉用具販売	10	20.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0	10.0	40.0	10.0	40.0
ス．住宅改修費支給	29	10.3	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0	3.4	3.4	0.0	37.9	6.9	44.8
セ．小規模多機能型居宅介護	5	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	60.0	20.0	40.0
ソ．認知症対応型共同生活介護	6	0.0	16.7	16.7	33.3	50.0	16.7	16.7	0.0	50.0	50.0	16.7	16.7
タ．特定施設入居者生活介護	5	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0	40.0

注：丸数字は順位

(6) 利用者負担分について

問 11 介護保険のサービスを利用するにあたって支払う利用者負担分（1割負担）についてどのように感じていますか。（1つに ）

利用者負担分（1割負担）については、「適当な額だと思う」が50.3%、半数である。以下「少し高いと思う」17.8%、「高いと思う」及び「まあまあ安いと思う」ともに9.3%、「安いと思う」4.7%の順である。

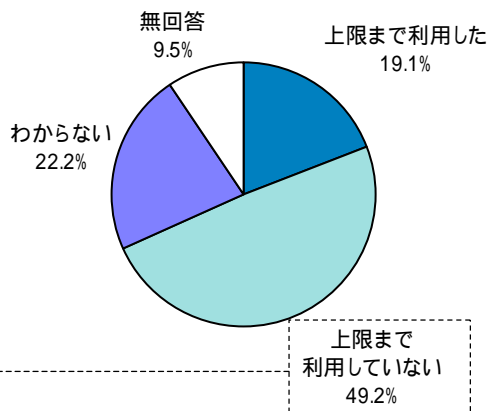


(7) 区分支給限度額の利用

問 12 介護保険サービスの利用額について、制度上利用できる上限（区分支給限度額）いっぱいまで利用しましたか。（1つに ）

「上限まで利用していない」が 49.2%と約半数を占める。次いで「わからない」22.2%、「上限まで利用した」19.1%である。

n=729

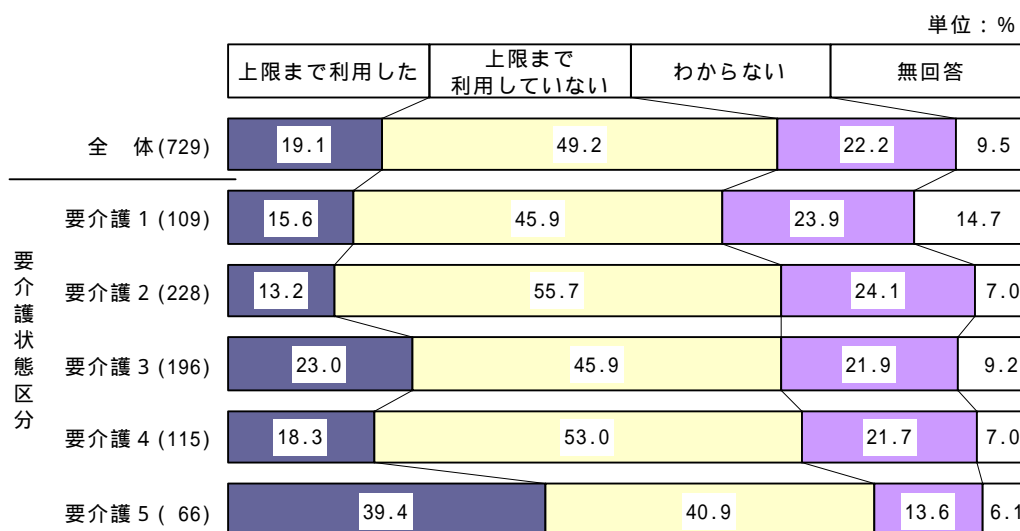


[ひとり暮らし・日中独居]

「上限まで利用した」は、ひとり暮らし 20.2%、日中独居 21.0%と同程度である。要支援よりは、いずれも少ない。

[要介護状態区分]

「上限まで利用した」は、要介護 5 が 39.4%と、「上限まで利用していない」の 40.9%とほぼ同じである。ほかは、要介護 1 から要介護 4 までは、「上限まで利用していない」が多い。



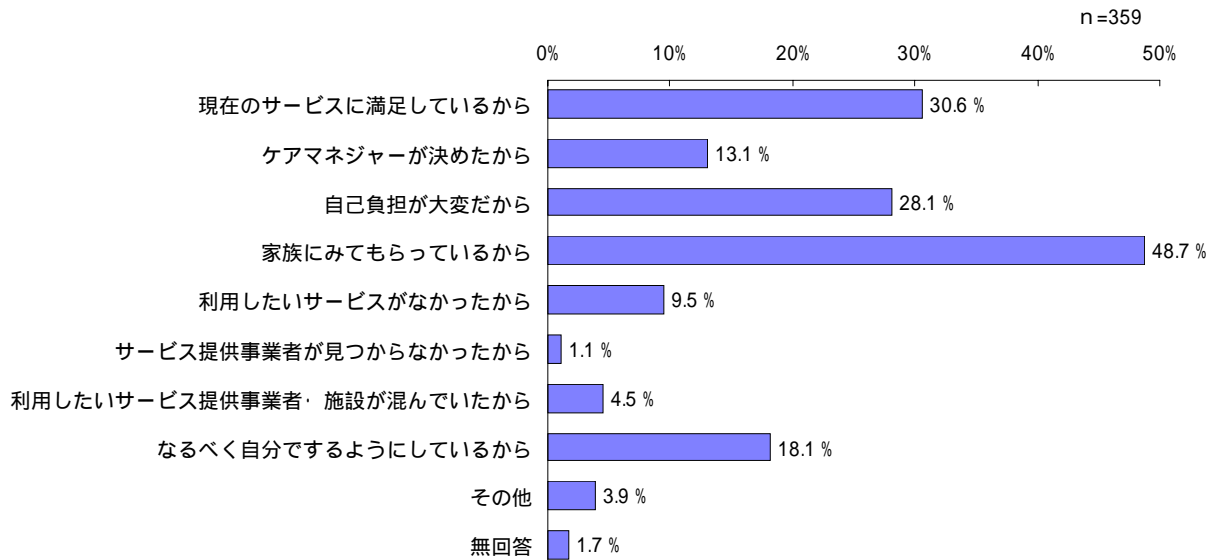
注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

(8) 上限まで利用しない理由

問 12- 1 上限まで利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)

問 12 で「上限まで利用していない」と答えた人にその理由を聞いた。最も多いのが、「家族にみてもらっているから」48.7%、次いで「現在のサービスに満足しているから」30.6%、「自己負担が大変だから」28.1%、「なるべく自分でするようにしているから」18.1%などである。

また、「利用したいサービスがなかったから」9.5%、「利用したいサービス提供事業者・施設が混んでいたから」4.5%、「サービス提供事業者が見つからなかったから」1.1%のように、供給側の理由も 15.1%あげられている。



[要介護状態区分]

「家族にみてもらっているから」は、要介護度が重くなるほど多くなるのに対し、「現在のサービスに満足しているから」は、要介護度が軽いほど多い。

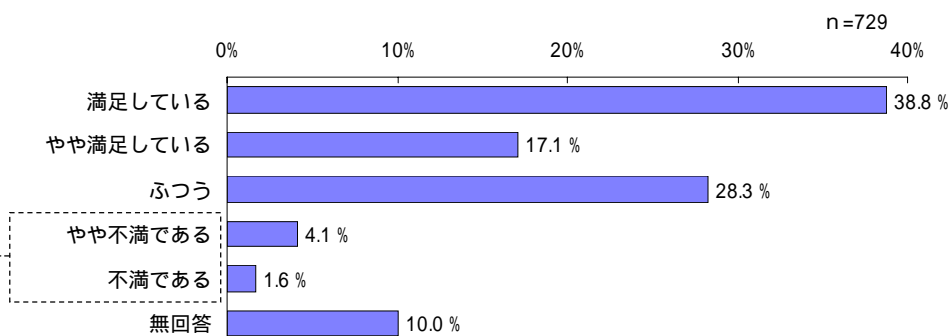
5 . ケアプランについて

(1) ケアプランの満足度

問 13 ケアマネジャーが作成した介護保険サービスの内容(ケアプラン)について、あなたは、現在のケアプランに満足していますか。(1 つに)

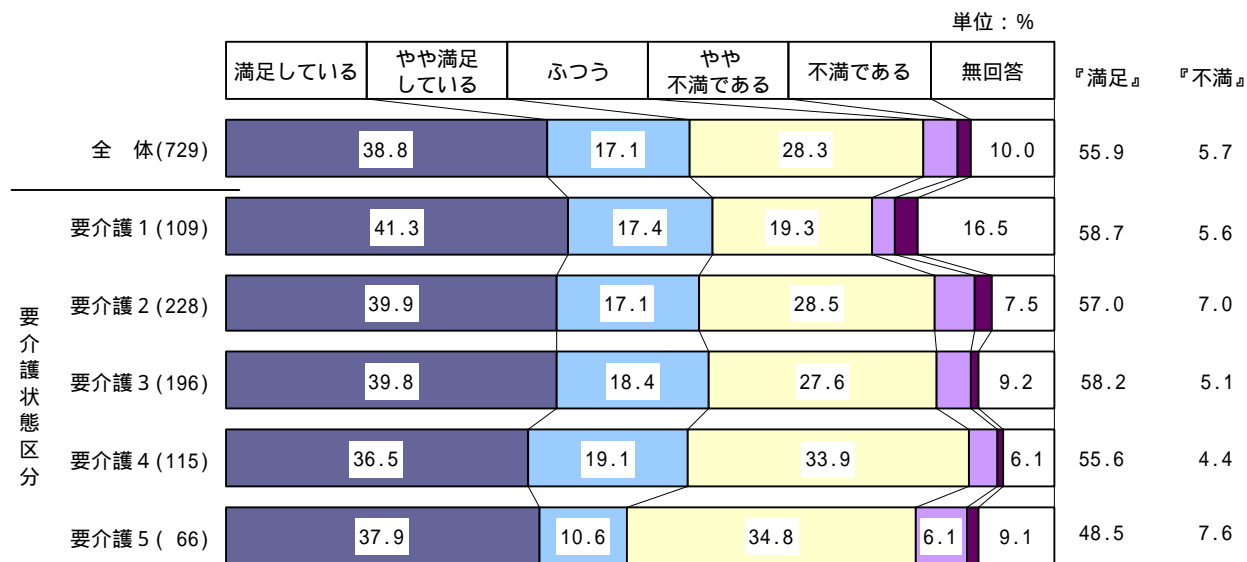
「満足している」が 38.8%と最も多く、次いで「ふつう」28.3%、「やや満足している」17.1%、「やや不満である」4.1%、「不満である」1.6%である。

「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足』が 55.9%と半数を超え、「やや不満である」と「不満」を合わせた『不満』は 5.7%と少ない。



[要介護状態区分]

『満足』は要介護 1、58.7%、要介護 3、58.2%、要介護 2、57.0%、要介護 4、55.6%、要介護 5、48.5%の順であり、要介護 5 でやや少ない。

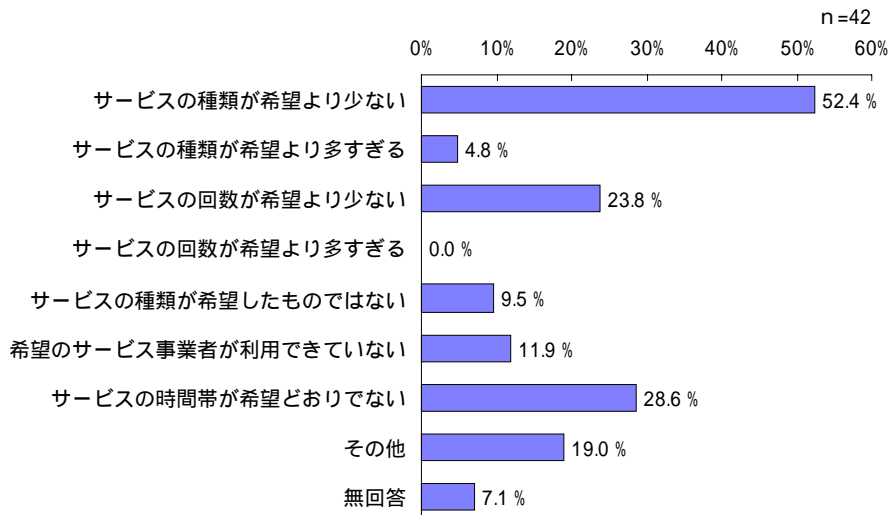


注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

(2) 不満の内容

問 13- 1 ご不満の内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに)

問 13 で『不満』と答えた人にその内容を聞いた。最も多いのが、「サービスの種類が希望より少ない」52.4%、次いで「サービスの時間帯が希望どおりでない」28.6%、「サービスの回数が希望より少ない」23.8%などである。



[要介護状態区分]

要介護1から要介護3までは「サービスの種類が希望より少ない」が最も多い。ただし、要介護1については「サービスの時間帯が希望どおりでない」もあげられている。これに対し、要介護4及び要介護5は「サービスの時間帯が希望どおりでない」である。

単位：%

	回答者数 (人)	サービスの種類が希望より少ない	サービスの種類が希望より多すぎる	サービスの回数が希望より少ない	サービスの回数が希望より多すぎる	サービスの種類が希望したものではない	希望のサービス事業者が利用できていない	サービスの時間帯が希望どおりでない	その他	無回答	
全 体	42	52.4	4.8	23.8	0.0	9.5	11.9	28.6	19.0	7.1	
要介護状態区分	要介護1	6	33.3	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7	33.3	50.0	0.0
	要介護2	16	56.3	12.5	12.5	0.0	12.5	6.3	6.3	31.3	0.0
	要介護3	10	80.0	0.0	30.0	0.0	10.0	20.0	30.0	0.0	10.0
	要介護4	5	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0
	要介護5	5	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0	20.0

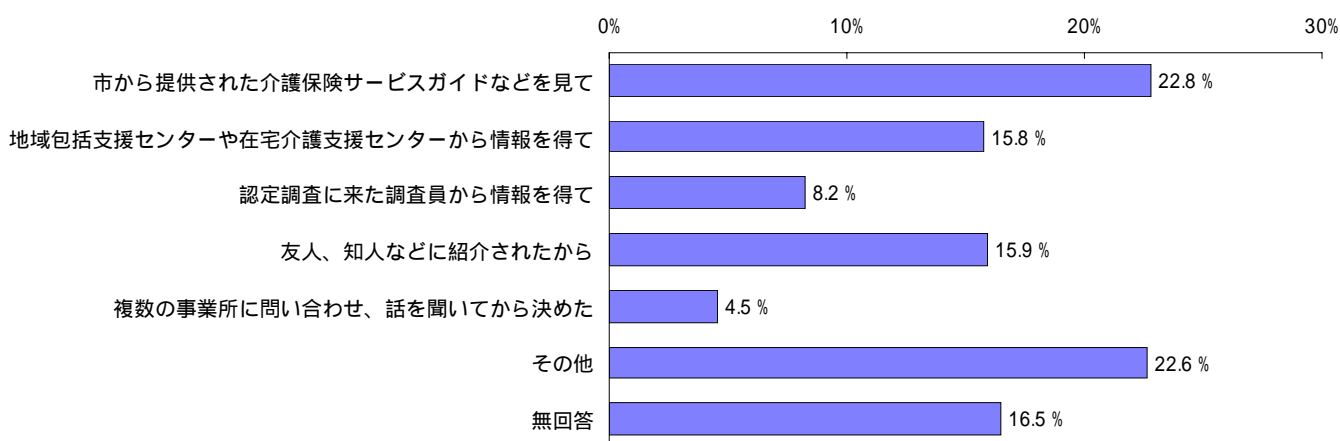
6 . ケアマネジャーについて

(1) ケアマネジャー選定の理由

問 14 ケアプランを作成するケアマネジャーは、どのような理由で選びましたか。
(あてはまるものすべてに)

「市から提供された介護保険サービスガイドなどを見て」22.8%が最も多いが、「その他」も同率である。次いで「友人、知人などに紹介されたから」15.9%、「地域包括支援センターや在宅介護支援センターから情報を得て」15.8%、「認定調査に来た調査員から情報を得て」8.2%などである。

n=729



[要介護状態区分]

要介護1は「友人、知人などに紹介されたから」21.1%が、「市から提供された介護保険サービスガイドなどを見て」19.3%を上回る。要介護2から要介護4までは、「市から提供された介護保険サービスガイドなどを見て」の各27.6%、22.4%、25.2%と、「その他」の各21.9%、21.9%、27.0%が多く、要介護5は「その他」37.9%が最も多い。

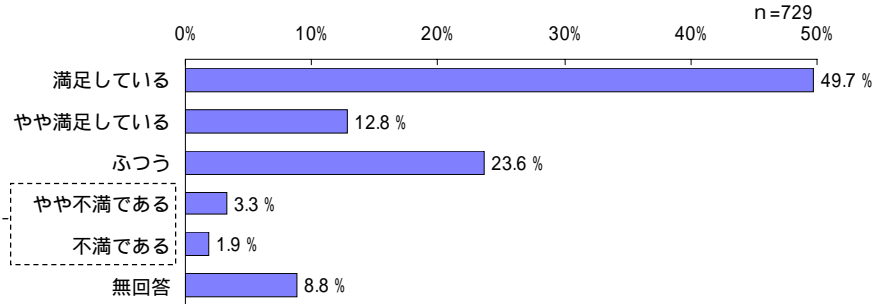
単位：%

	回答者数 (人)	市から提供された介護保険サービスガイドなどを見て	地域包括支援センターや在宅介護支援センターから情報を得て	認定調査に来た調査員から情報を得て	友人、知人などに紹介されたから	複数の事業所に問い合わせ、話を聞いてから決めた	その他	無回答	
全 体	729	22.8	15.8	8.2	15.9	4.5	22.6	16.5	
要介護状態区分	要介護1	109	19.3	16.5	8.3	21.1	3.7	13.8	24.8
	要介護2	228	27.6	14.0	11.0	13.2	6.6	21.9	12.3
	要介護3	196	22.4	19.9	8.7	17.3	4.6	21.9	13.8
	要介護4	115	25.2	14.8	6.1	12.2	2.6	27.0	13.9
	要介護5	66	10.6	13.6	3.0	19.7	3.0	37.9	16.7
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(2) ケアマネジャーの満足度

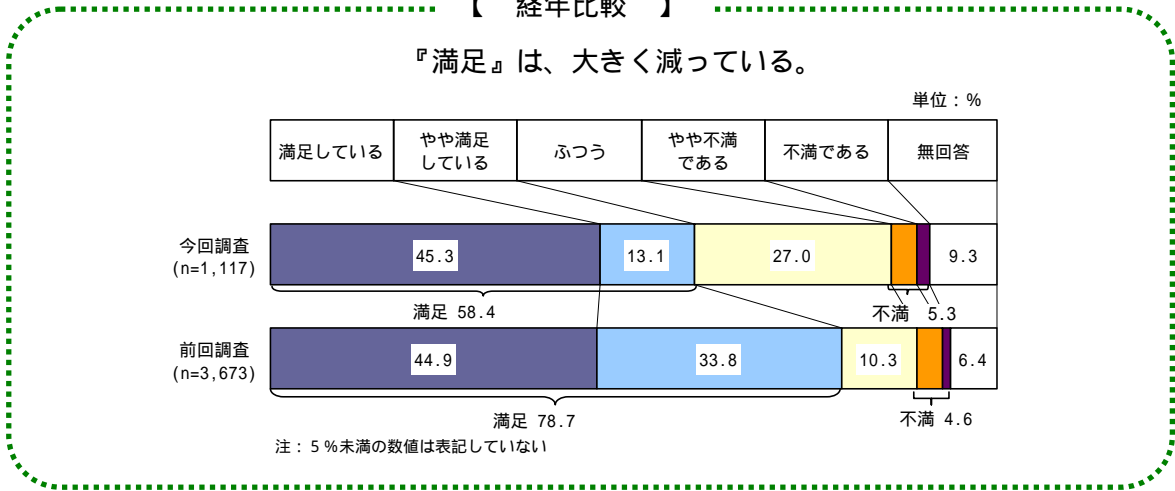
問 15 あなたは、現在のケアマネジャーに満足していますか。(1つに)

「満足している」49.7%、「やや満足している」12.8%であり、合わせた『満足』は62.5%である。これに対し「やや不満である」3.3%と「不満である」1.9%を合わせた『不満』は5.2%である。



【 経年比較 】

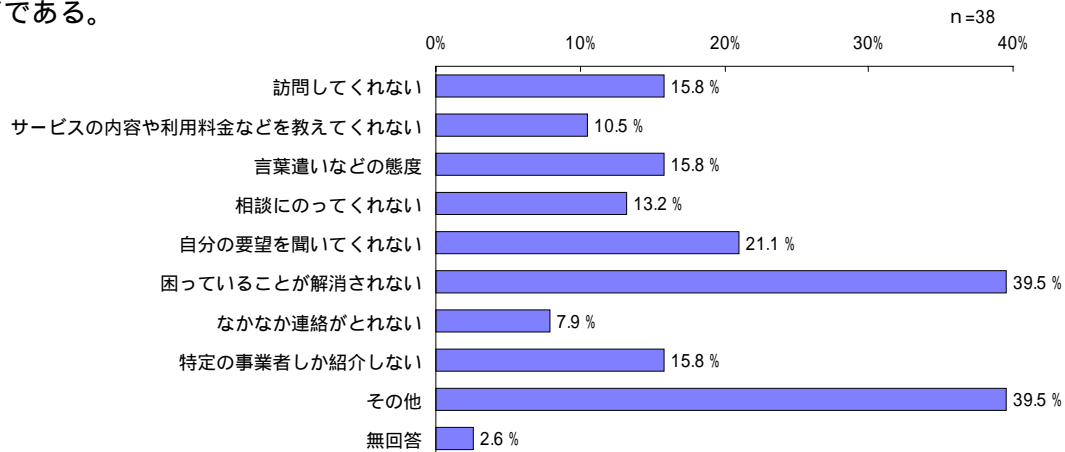
『満足』は、大きく減っている。



(3) 不満の内容

問 15- 1 ご不満の内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに)

問 15 で『不満』と答えた人に不満の内容を聞いた。「困っていることが解消されない」39.5%が最も多く、「その他」も同率である。次いで「自分の要望を聞いてくれない」21.1%、「訪問してくれない」及び「言葉づかいなどの態度」、「特定の事業者しか紹介しない」いずれも15.8%などである。

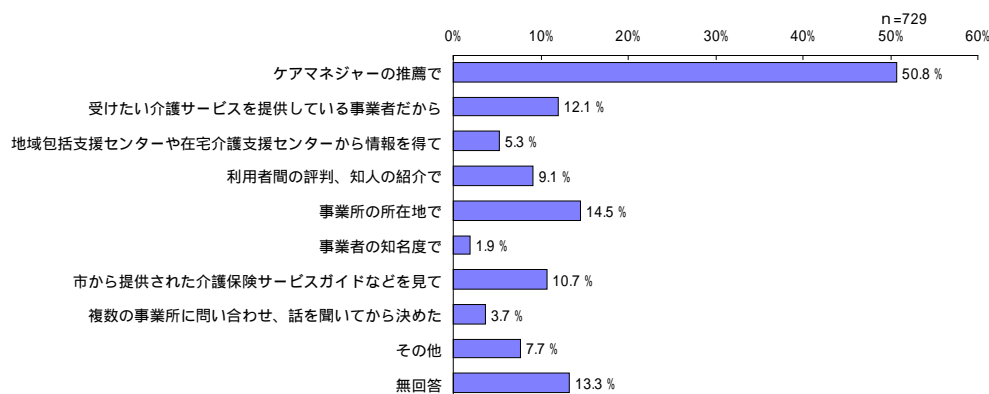


7. サービス事業者について

(1) サービス事業者選定の理由

問 16 サービス事業者はどのような理由で選びましたか。(あてはまるものすべてに)

「ケアマネジャーの推薦で」50.8%が最も多い。次はやや差があり、「事業所の所在地で」14.5%、「受きたい介護サービスを提供している事業者だから」12.1%、「市から提供された介護保険サービスガイドなどを見て」10.7%、「利用者間の評判、知人の紹介で」9.1%などである。

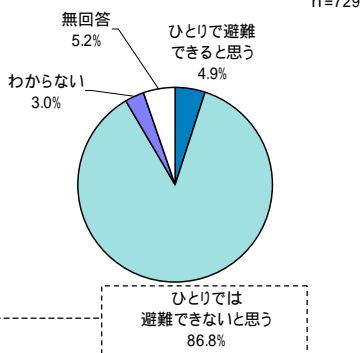


8. 災害など緊急事態の対応について

(1) 緊急時のひとりでの避難

問 17 災害などの緊急事態が発生した場合、ひとりで避難場所まで避難できると思いますか。(1つに)

「ひとりでは避難できないと思う」86.8%である。「ひとりで避難できると思う」はわずか4.9%である。



[ひとり暮らし・日中独居]

要介護認定者においては、ひとり暮らしや日中独居にかかわらず「ひとりでは避難できないと思う」が多い。

[居住地区]

「ひとりでは避難できないと思う」は最も少ない五香六実で78.9%、最も多い本庁は95.3%である。

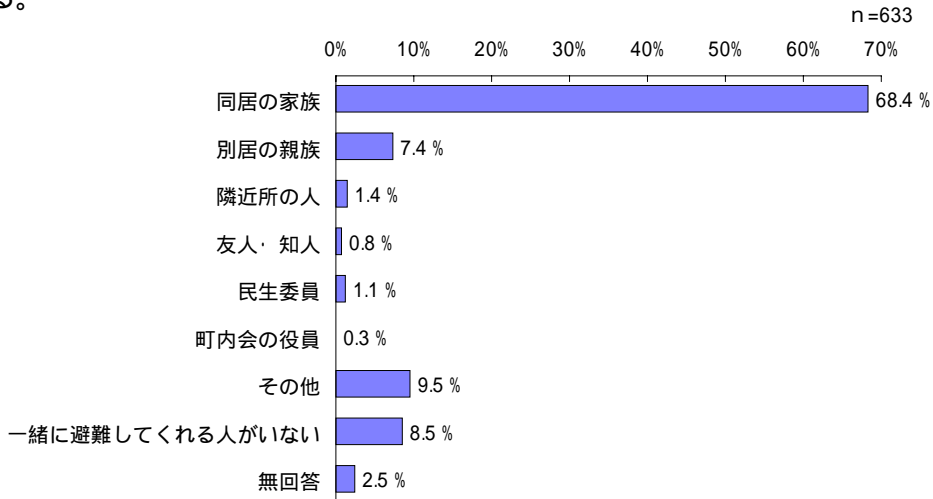
[要介護状態区分]

「ひとりでは避難できないと思う」は要介護1、69.7%、要介護2、87.7%、要介護3、94.4%、要介護4、86.1%、要介護5、97.0%である。

(2) 一緒に避難してくれる人

問 17- 1 一緒に避難場所まで避難してくれる人がいますか。(1つに)

問 17 で「ひとりでは避難できないと思う」と答えた人に聞いたものである。「同居の家族」が 68.4%、「別居の親族」7.4%などであるが、「一緒に避難してくれる人がいない」は約1割、8.5%である。

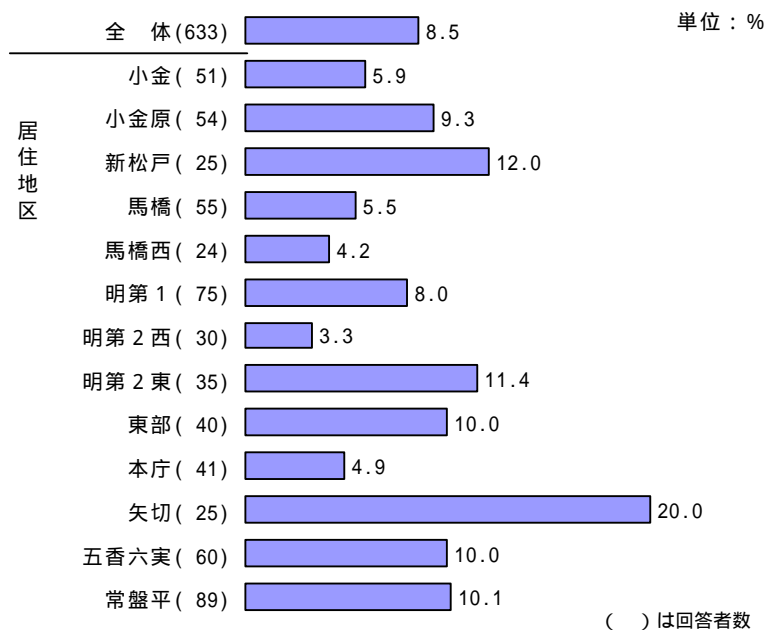


[ひとり暮らし・日中独居]

「一緒に避難してくれる人がいない」は、ひとり暮らし 24.7%、日中独居では 11.3%である。

[居住地区]

「一緒に避難してくれる人がいない」は、矢切で 20.0%、次いで新松戸 12.0%、明第 2 東 11.4%などの順である。

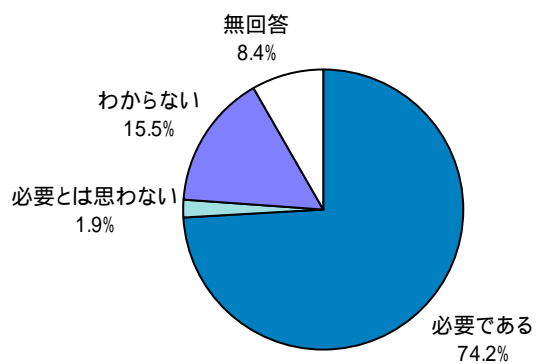


(3) 災害避難での情報の地域共有

問 18 災害時の避難などに手助けが必要な人の情報を地域で共有することについて
どう思いますか。(1つに)

手助けが必要な人の情報を地域で共有することについて、「必要である」が74.2%、「必要とは思わない」がわずかに1.9%である。

n=729



[ひとり暮らし・日中独居]

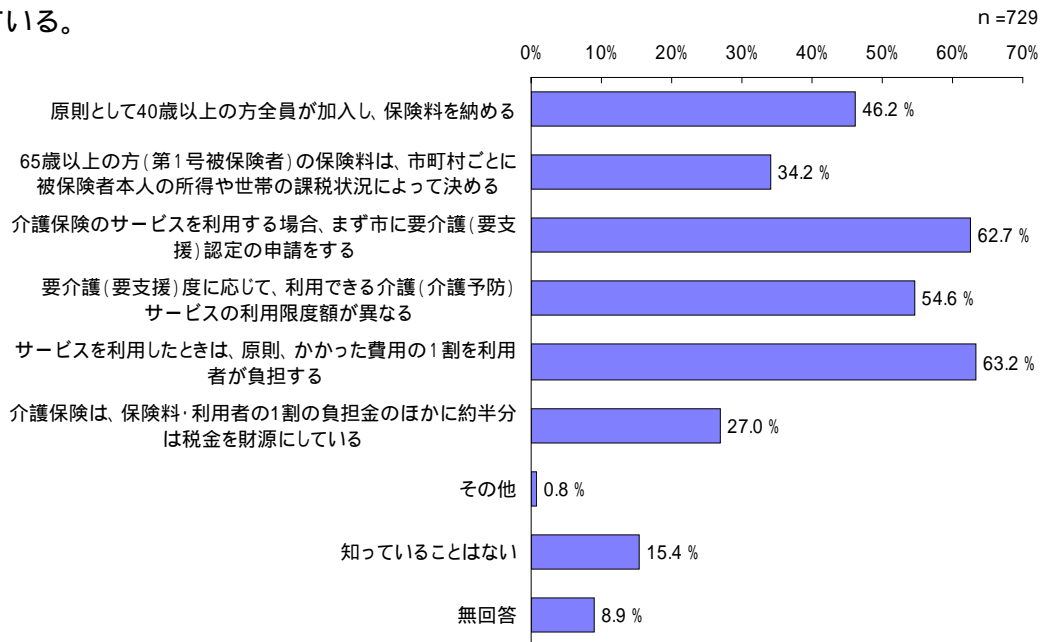
「必要である」は、ひとり暮らし及び日中ひとりであること多い人、各76.1%、71.6%である。

9 . 介護保険について

(1) 介護保険制度

問 19 あなたは、介護保険制度についてどの程度知っていますか。(あてはまるものすべてに)

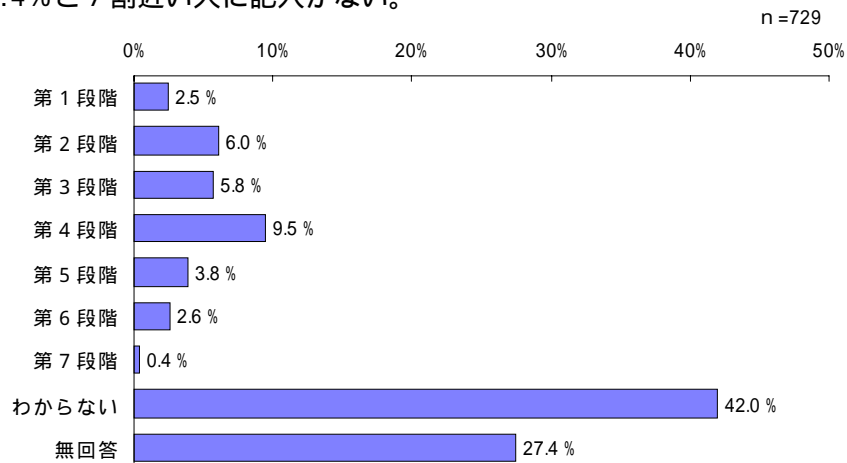
介護保険制度について知っていることとして、「サービスを利用したときは、原則、かかった費用の1割を利用者が負担する」63.2%、「介護保険のサービスを利用する場合、まず市に要介護(要支援)認定の申請をする」62.7%、ほとんど差がない。次いで「要介護(要支援)度に応じて、利用できる介護(介護予防)サービスの利用限度額が異なる」54.6%、「原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める」46.2%などである。「知っていることはない」が15.4%となっている。



(2) 平成 19 年度の介護保険料

問 20 あなたの平成 19 年度の介護保険料の段階は次のうちどれですか(1 つに)

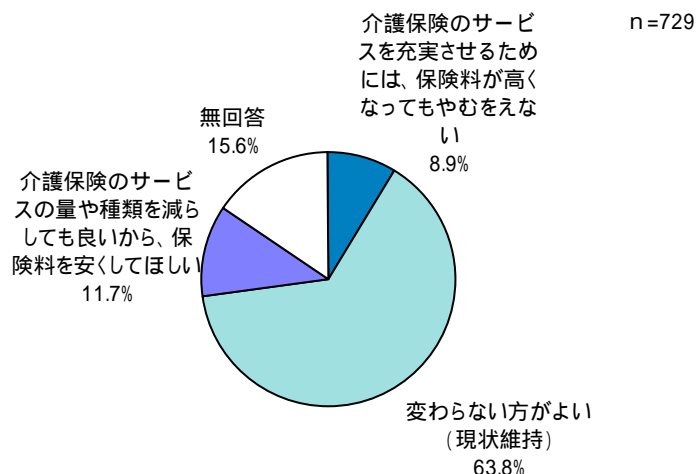
介護保険料の段階は、「第4段階」9.5%、「第2段階」6.0%、「第3段階」5.8%、「第5段階」3.8%、「第6段階」2.6%、「第1段階」2.5%、「第7段階」0.4%であるが、「わからない」42.0%、「無回答」が27.4%と7割近い人に記入がない。



(3) 介護保険料の今後

問21 あなたが納めている介護保険料について、次の3つの方針から、あえて1つ選ぶとしたら、どれを選びますか。(1つに)

「変わらない方がよい(現状維持)」が63.8%、「介護保険のサービスの量や種類を減らしても良いから、保険料を安くしてほしい」11.7%、「介護保険のサービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない」8.9%である。



[介護保険料の段階]

第7段階は回答者が3人なので参考にとどめる。第1段階から第6段階までいずれも最も多いのは「変わらない方がよい(現状維持)」であるが、中でも第5段階 92.9%と他を大きく引き離している。

「介護保険のサービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない」は第1段階の22.2%が、これに対し「介護保険サービスの量や種類を減らしても良いから、保険料を安くしてほしい」は第6段階の26.3%がそれぞれ最も多い。

単位：%

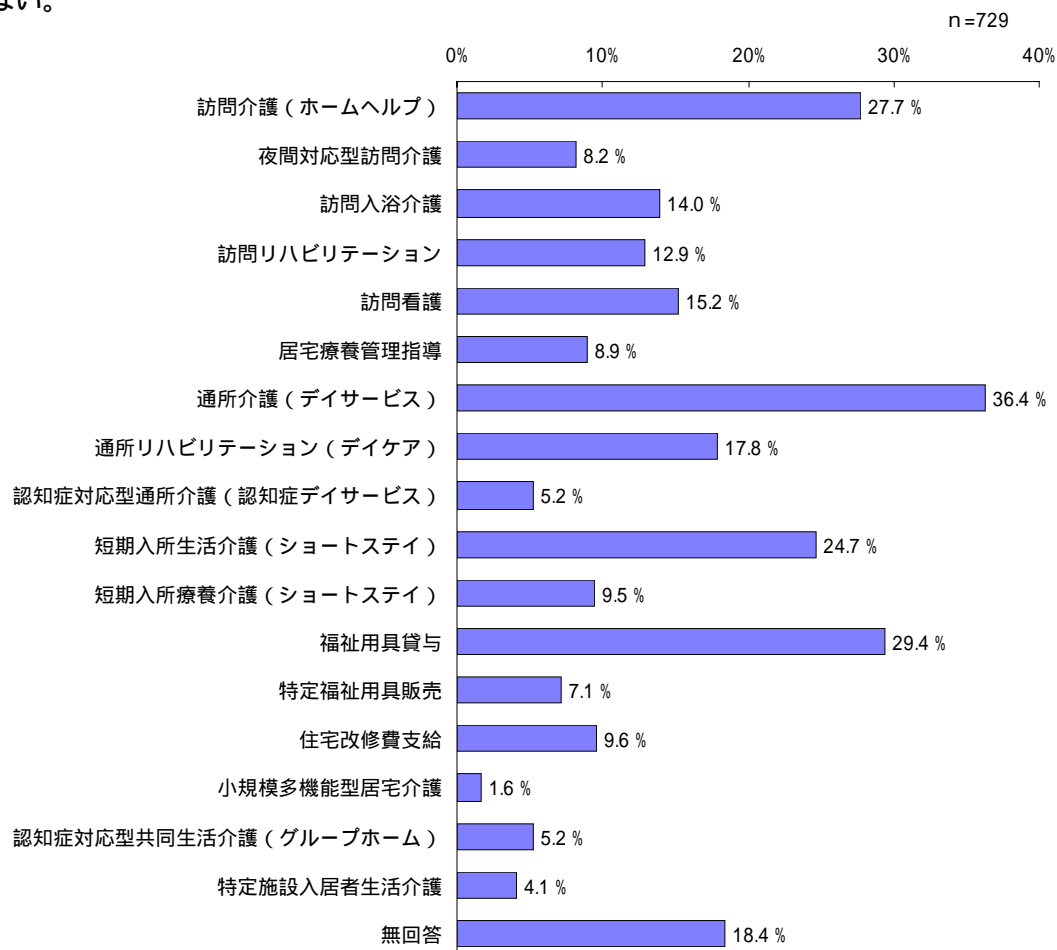
	回答者数(人)	介護保険サービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない	変わらない方がよい(現状維持)	介護保険サービスの量や種類を減らしても良いから、保険料を安くしてほしい	無回答	
合計	729	8.9	63.8	11.7	15.6	
介護保険料の段階	第1段階	18	22.2	55.6	11.1	11.1
	第2段階	44	13.6	75.0	9.1	2.3
	第3段階	42	9.5	78.6	9.5	2.4
	第4段階	69	7.2	73.9	17.4	1.4
	第5段階	28	7.1	92.9	0.0	0.0
	第6段階	19	5.3	68.4	26.3	0.0
	第7段階	3	33.3	0.0	33.3	33.3
わからない	306	10.5	71.2	14.4	3.9	

10. 介護サービスについて

(1) 今後1年間のうちに利用したいサービス

問22 あなたは、今後1年間のうちで、以下のサービスを利用したいとお考えですか。(あてはまるものすべてに)

今後1年間のうちで利用したいサービスは、「通所介護(デイサービス)」36.4%、「福祉用具貸与」29.4%、「訪問介護(ホームヘルプ)」27.7%、「短期入所生活介護(ショートステイ)」24.7%、「通所リハビリテーション(デイケア)」17.8%などである。地域密着型サービス利用への希望は少ない。



[要介護状態区分]

最も多いのは、要介護1から要介護3までは、「通所介護(デイサービス)」各38.5%、39.9%、37.2%であり、要介護4及び要介護5は、「福祉用具貸与」各40.9%、47.0%である。「訪問介護(ホームヘルプ)」は、要介護5が42.4%と最も多い。また、「訪問入浴介護」や「訪問リハビリテーション」、「訪問看護」は、要介護4以上で多くなる。

単位：%

	回答者数 (人)	訪問介護 (ホームヘルプ)	夜間対応型 訪問介護	訪問入浴 介護	訪問リハビリ テーション	訪問看護	居宅療養 管理指導	通所介護 (デイサービス)	通所リハビリ テーション (デイケア)	認知症対応 型通所介護 (認知症デイ サービス)	
全 体	729	27.7	8.2	14.0	12.9	15.2	8.9	36.4	17.8	5.2	
要介護状態区分	要介護1	109	24.8	1.8	4.6	3.7	8.3	6.4	38.5	13.8	5.5
	要介護2	228	27.6	6.6	7.5	8.3	7.0	4.8	39.9	20.2	3.5
	要介護3	196	25.0	9.7	11.7	12.2	14.8	7.7	37.2	22.4	6.6
	要介護4	115	26.1	9.6	24.3	20.0	22.6	13.9	36.5	12.2	7.8
	要介護5	66	42.4	19.7	42.4	34.8	43.9	22.7	19.7	13.6	3.0

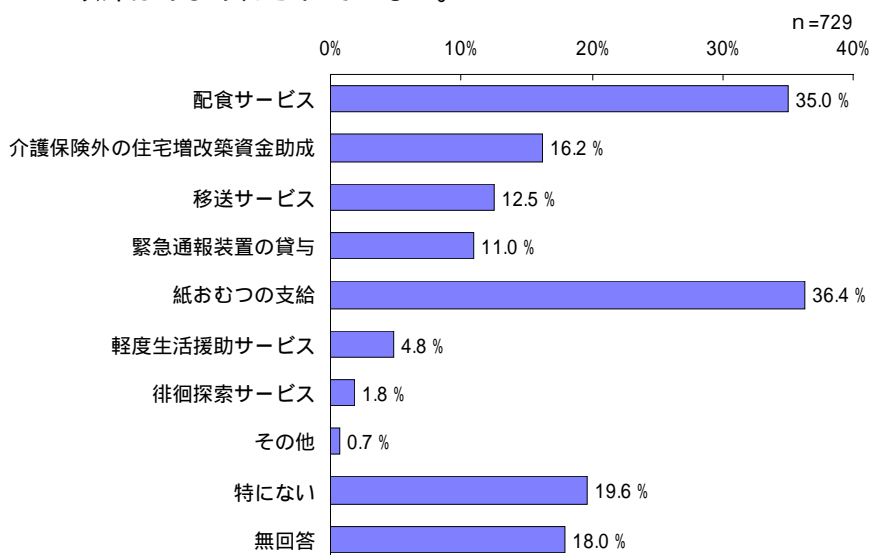
	回答者数 (人)	短期入所 生活介護 (ショートステイ)	短期入所 療養介護 (ショートステイ)	福祉用具 貸与	特定福祉 用具販売	住宅改修費 支給	小規模 多機能型 居宅介護	認知症対応 型共同生活 介護(グループ ホーム)	特定施設 入居者 生活介護	無回答
全 体	729	24.7	9.5	29.4	7.1	9.6	1.6	5.2	4.1	18.4
要介護状態区分	要介護1	109	20.2	5.5	9.2	3.7	6.4	0.0	4.6	23.9
	要介護2	228	17.1	2.6	25.9	7.0	10.1	0.4	1.3	19.7
	要介護3	196	31.1	12.8	33.2	8.2	9.2	1.5	8.2	12.2
	要介護4	115	37.4	17.4	40.9	10.4	9.6	4.3	9.6	19.1
	要介護5	66	21.2	18.2	47.0	6.1	15.2	4.5	4.5	15.2

丸数字は順位

(2) 介護保険以外の福祉サービス

問 23 松戸市では、在宅生活を支援するため、介護保険サービス以外に次の福祉サービスを実施しています。あなたの知っているサービスはありますか。(あてはまるものすべてに)

介護保険サービス以外の知っている福祉サービスは、「紙おむつの支給」36.4%と「配食サービス」35.0%以外はあまり知られていない。



[要介護状態区分]

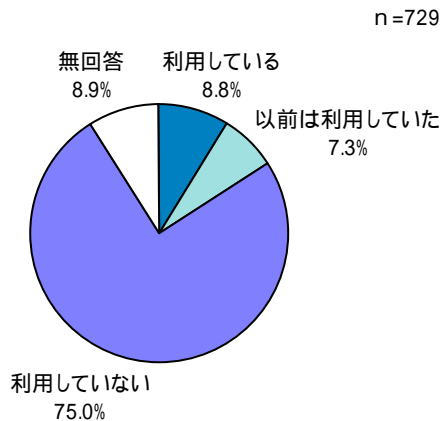
要介護状態区分によって知っているサービスについて大きな違いがあるのは、「紙おむつの支給」である。「紙おむつの支給」は要介護1、13.8%、要介護2、15.4%であるが、要介護3になると48.0%、要介護4は61.7%、要介護5は72.7%と、要介護度に比例する。

11. 配食サービスについて

(1) 配食サービスの利用

問 24 あなたは、配食サービスを利用したことがありますか。(1つに)

配食サービスの利用については、「利用していない」が75.0%、「利用している」8.8%、「以前は利用していた」7.3%であり、『利用』は2割弱である。



[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らしは、「利用している」及び「以前は利用していた」を合わせた『利用』が38.5%と4割近いが、日中ひとりであることの多い人は、わずか7.4%である。

[要介護状態区分]

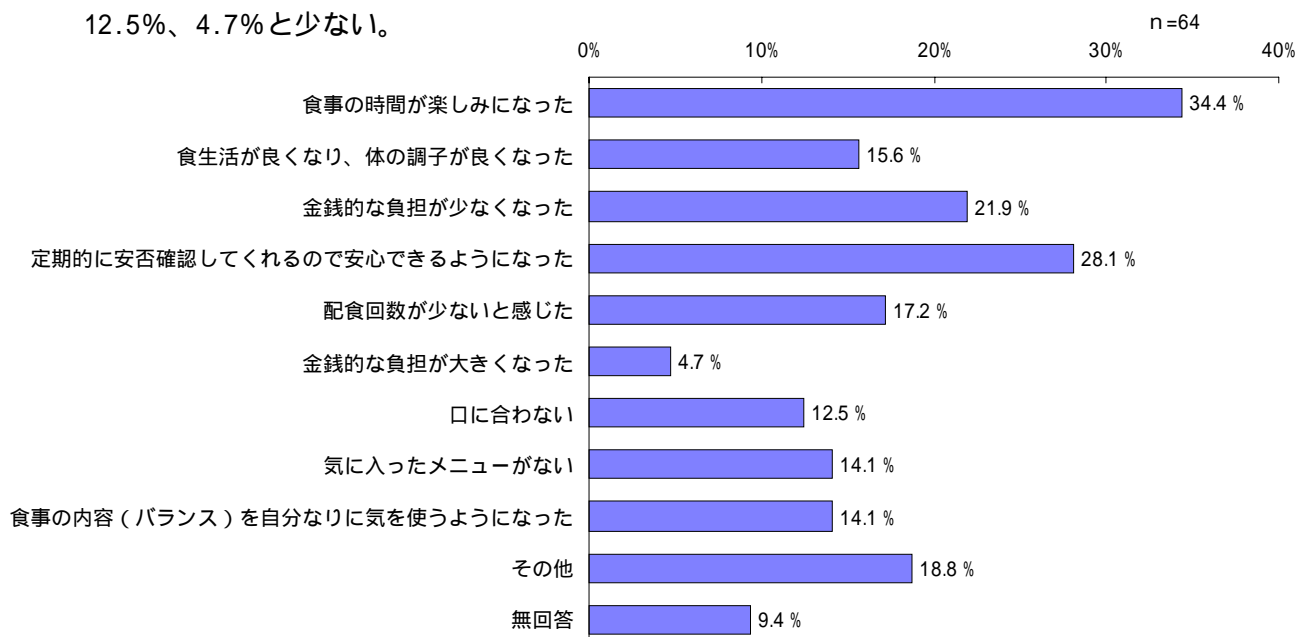
「利用している」は要介護1が17.4%と最も多く、次いで要介護2の9.6%である。逆に「利用していない」は要介護5、84.8%、要介護4、80.0%など、介護度に比例する。

(2) 利用してみたの感想

(問 24 で「利用している」に をつけた人)

問 24- 1 利用してみたの感想はいかがですか。(あてはまるものすべてに)

問 24 で「利用している」と答えた人に感想を聞いた。「食事の時間が楽しみになった」34.4%、「定期的に安否確認してくれるので安心できるようになった」28.1%、「金銭的な負担が少なくなった」21.9%、「配食回数が少ないと感じた」17.2%、「食生活が良くなり、体の調子が良くなった」15.6%など「配食回数」を除いては、肯定的な回答が多い。これに対し、「気に入ったメニューがない」14.1%、「口に合わない」12.5%、「金銭的な負担が大きくなった」といった否定的な回答は各 14.1%、12.5%、4.7%と少ない。

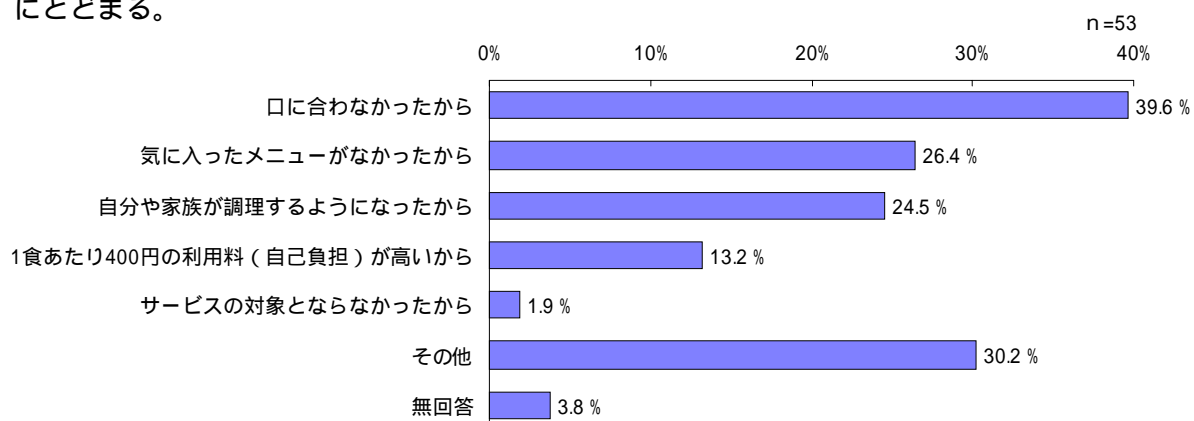


(3) 現在利用していない理由

(問 24 で「以前利用していた」に をつけた人)

問 24- 2 現在、利用していない理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに)

問 24 で「以前は利用していた」と答えた人に、現在利用していない理由を聞いた。「口に合わなかったから」39.6%、「気に入ったメニューがなかったから」26.4%、「自分や家族が調理するようになったから」24.5%であり、「1食あたり400円の利用料(自己負担)が高いから」は13.2%にとどまる。

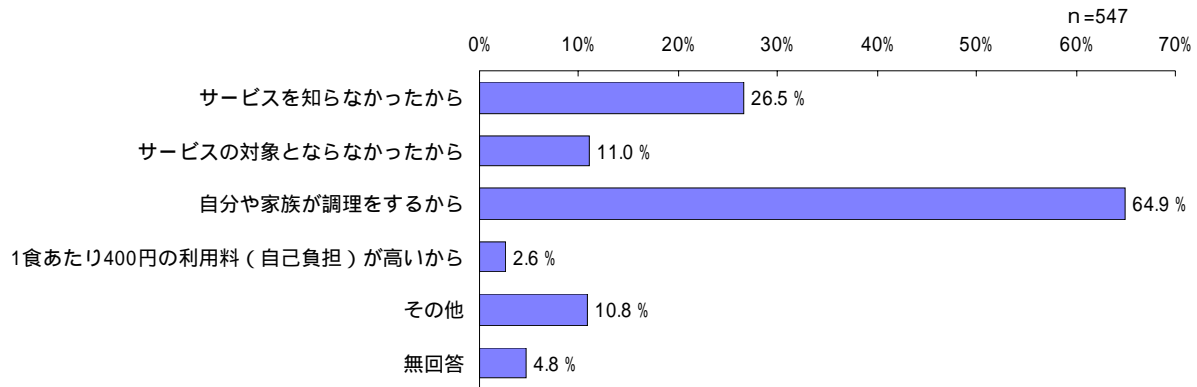


(4) 利用していない理由

(問24で「利用していない」に をつけた人)

問24-3 現在、利用していない理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに)

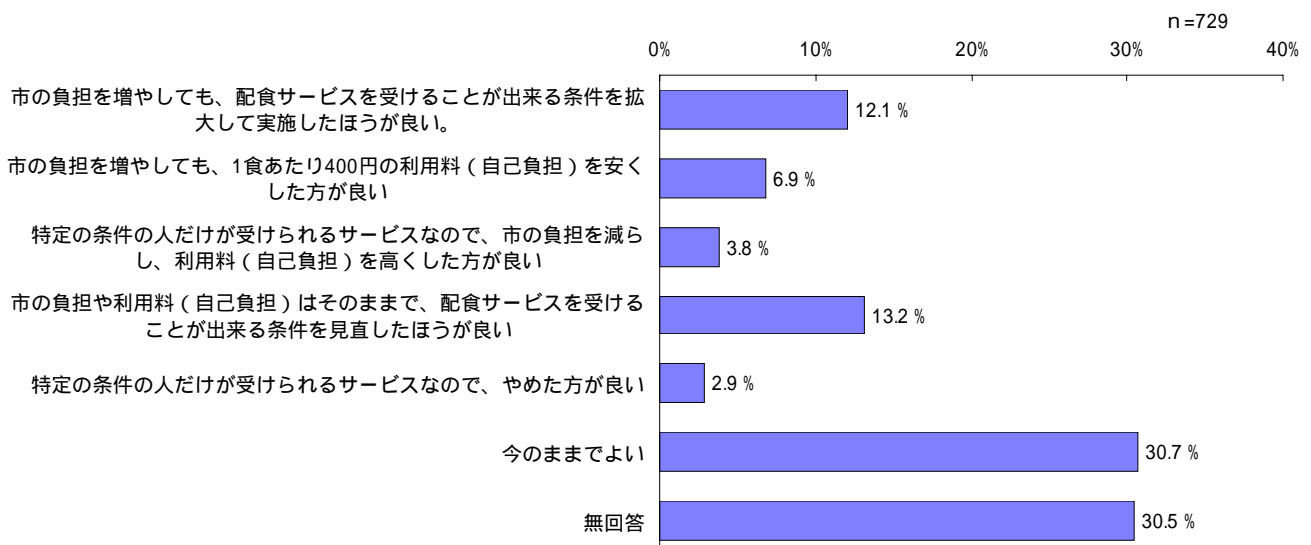
問24で「利用していない」と答えた人に、理由を聞いた。「自分や家族が調理をするから」64.9%、「サービスを知らなかったから」26.5%、「サービスの対象とならなかった」11.0%であり、「1食あたり400円の利用率(自己負担)が高いから」はわずか2.6%である。



(5) 対象者と利用料

問25 対象者と利用料(自己負担)について、あなたの考えは次のどれに近いですか。(1つに)

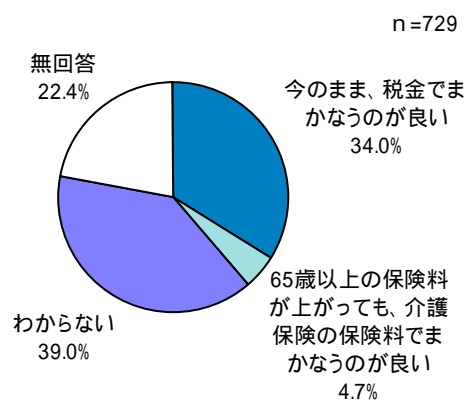
対象者と利用料(自己負担)についての考え方は、「今のままでよい」30.7%、「市の負担や利用率(自己負担)はそのまま、配食サービスを受けることが出来る条件を見直したほうが良い」は13.2%、「市の負担を増やしても、配食サービスを受けることが出来る条件を拡大して実施したほうが良い」12.1%、「市の負担を増やしても、1食あたり400円の利用率(自己負担)を安くしたほうが良い」6.9%などである。「特定の条件の人だけが受けられるサービスなので、やめたほうが良い」は2.9%とごく少数であり、現状維持か条件の見直しかに分かれる。



(6) 配食サービスの公費負担

問 26 配食サービスの公費負担について、あなたの考えは次のどれに近いですか。
(1つに)

配食サービスの公費負担についての考え方は、「わからない」39.0%と「今のまま、税金でまかなうのが良い」34.0%に分かれ、「65歳以上の保険料が上がっても、介護保険の保険料でまかなうのが良い」は4.7%と少ない。

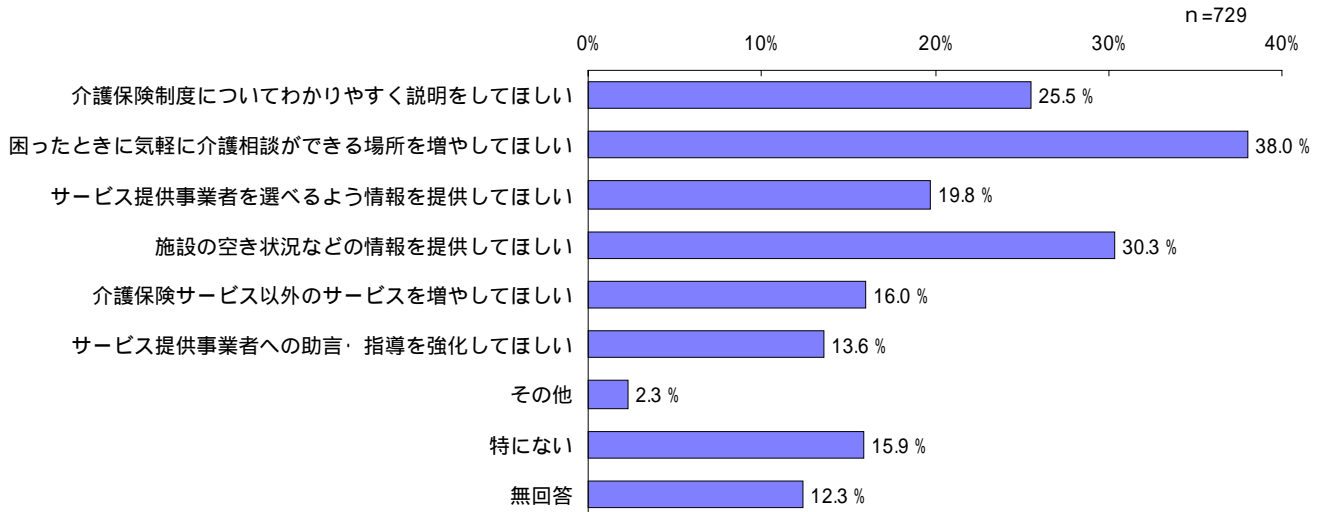


12. 市に期待すること

(1) 介護で市に期待すること

問 27 あなたが今後、介護に関して市に期待することは何ですか。(3つまでに)

介護で市に期待することは、「困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい」38.0%が1位であり、次いで「施設の空き状況などの情報を提供してほしい」30.3%、「介護保険制度についてわかりやすく説明してほしい」25.5%、「サービス提供事業者を選べるよう情報を提供してほしい」19.8%などである。



[要介護状態区分]

要介護1から要介護4までの1位は、「困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい」であるが、要介護5では「施設の空き状況などの情報を提供してほしい」である。

単位：%

	回答者数 (人)	介護保険制度についてわかりやすく説明してほしい	困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい	サービス提供事業者を選べるよう情報を提供してほしい	施設の空き状況などの情報を提供してほしい	介護保険サービス以外のサービスを増やしてほしい	サービス提供事業者への助言・指導を強化してほしい	その他	特にない	無回答	
全 体	729	25.5	38.0	19.8	30.3	16.0	13.6	2.3	15.9	12.3	
要介護状態区分	要介護1	109	22.9	33.9	21.1	26.6	11.9	14.7	3.7	13.8	19.3
	要介護2	228	22.4	39.0	20.2	23.7	19.3	14.0	2.6	19.3	10.1
	要介護3	196	34.2	40.8	20.9	36.7	13.8	12.2	1.5	11.7	9.7
	要介護4	115	19.1	40.9	15.7	33.0	18.3	13.9	0.9	18.3	12.2
	要介護5	66	24.2	31.8	22.7	34.8	15.2	16.7	4.5	18.2	10.6

丸数字は順位

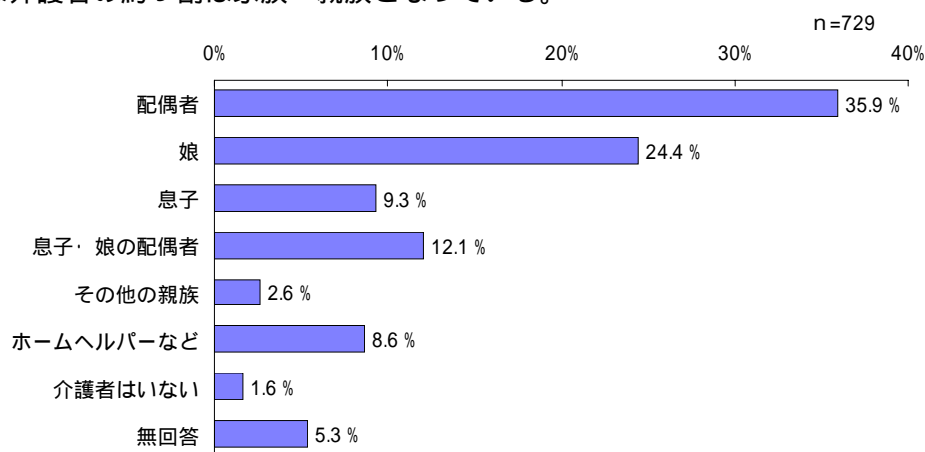
13. 主な介護者（お世話をする側）について

(1) 主な介護者

問 28 あなたの介護を主に行っている方はどなたですか。(1つに)

「配偶者」35.9%、「娘」24.4%、「息子・娘の配偶者」12.1%、「息子」9.3%、「ホームヘルパーなど」8.6%などである。「介護者はいない」は1.6%である。

主な介護者の約9割は家族・親族となっている。



[要介護状態区分]

いずれも「配偶者」が最も多いが、なかでも要介護3の41.3%が他を上回る。「息子・娘の配偶者」は、要介護1から要介護4までは、12~13%内外であるが、要介護5になると4.5%になり、代わりに「娘」が31.8%と多くなる。

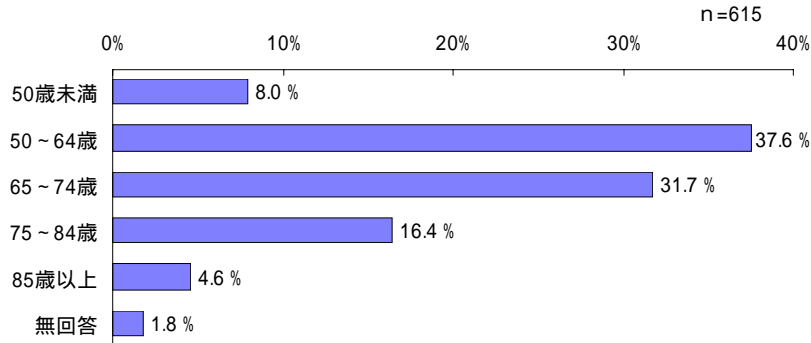
単位：%

	回答者数 (人)	配偶者	娘	息子	息子・娘の 配偶者	その他の 親族	ホームヘル パーなど	介護者はい ない	無回答	
全 体	729	35.9	24.4	9.3	12.1	2.6	8.6	1.6	5.3	
要 介 護 状 態 区 分	要介護1	109	33.9	19.3	9.2	12.8	2.8	10.1	3.7	8.3
	要介護2	228	34.2	27.2	7.9	12.3	1.3	11.0	1.8	4.4
	要介護3	196	41.3	25.0	9.7	12.8	2.6	5.1	0.5	3.1
	要介護4	115	36.5	20.0	11.3	13.9	2.6	7.8	1.7	6.1
	要介護5	66	34.8	31.8	10.6	4.5	4.5	9.1	1.5	3.0

(2) 介護者の年齢

問29 主に介護している方の年齢はおいくつですか。(1つに)

「50～64歳」が37.6%、「65～74歳」が31.7%、「75～84歳」が16.4%、「50歳未満」が8.0%、「85歳以上」4.6%である。65歳以上の高齢者、いわゆる老老介護が5割強となっている。



[性別]

最も多いのは、男性が「65～74歳」41.8%、女性が「50～64歳」43.6%である。

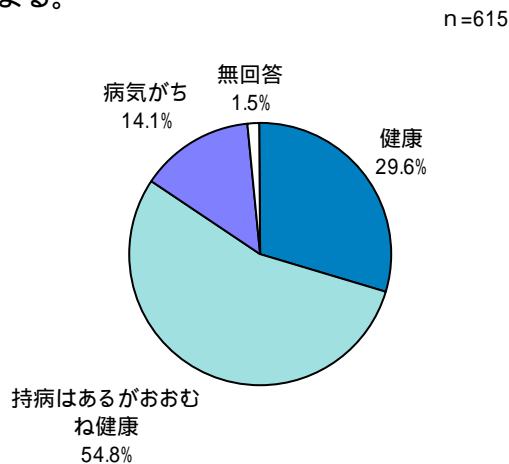
単位：%

		回答者数 (人)	50歳未満	50～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	無回答
全 体		615	8.0	37.6	31.7	16.4	4.6	1.8
性別	男性	208	3.8	28.4	41.8	21.2	4.8	0.0
	女性	388	10.3	43.6	26.0	13.4	4.4	2.3

(3) 介護者の健康状態

問30 主に介護している方の健康状態はいかがですか。(1つに)

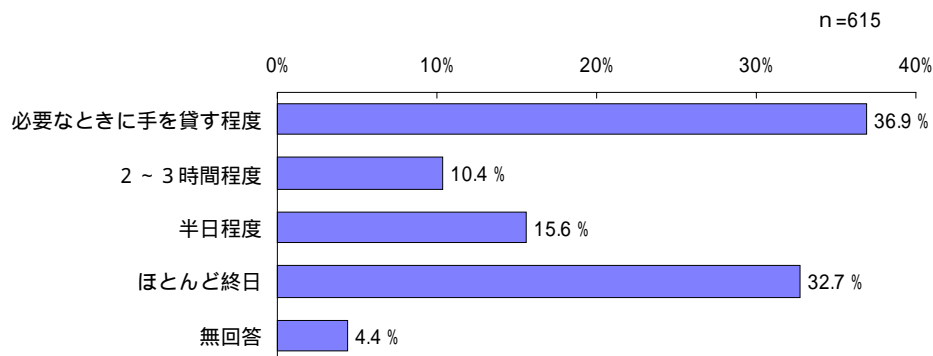
「持病はあるがおおむね健康」54.8%、「健康」29.6%を合わせた『健康』は84.4%と多く、「病気がち」は14.1%にとどまる。



(4) 介護をしている時間

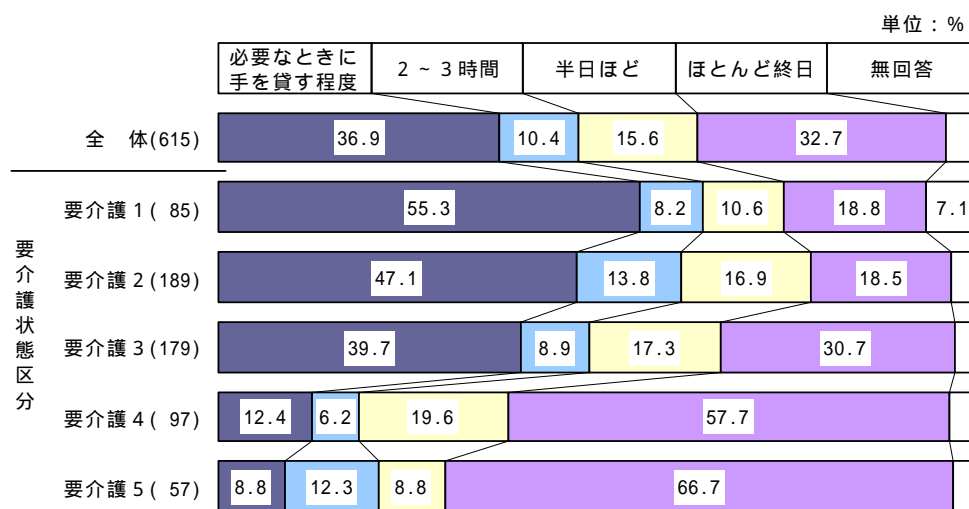
問 31 見守りを含め、介護している時間は、1日のうちのどのくらいですか。(1つに)

「必要なときに手を貸す程度」36.9%、「ほとんど終日」32.7%、「半日程度」15.6%、「2～3時間程度」10.4%である。



[要介護状態区分]

最も多いのは、要介護1から要介護3までは「必要なときに手を貸す程度」各55.3%、47.1%、39.7%に対し、要介護4及び要介護5では「ほとんど終日」が各57.7%、66.7%である。要介護3では、「必要なときに手を貸す程度」が39.7%、「ほとんど終日」が30.7%、両方に比重がある。

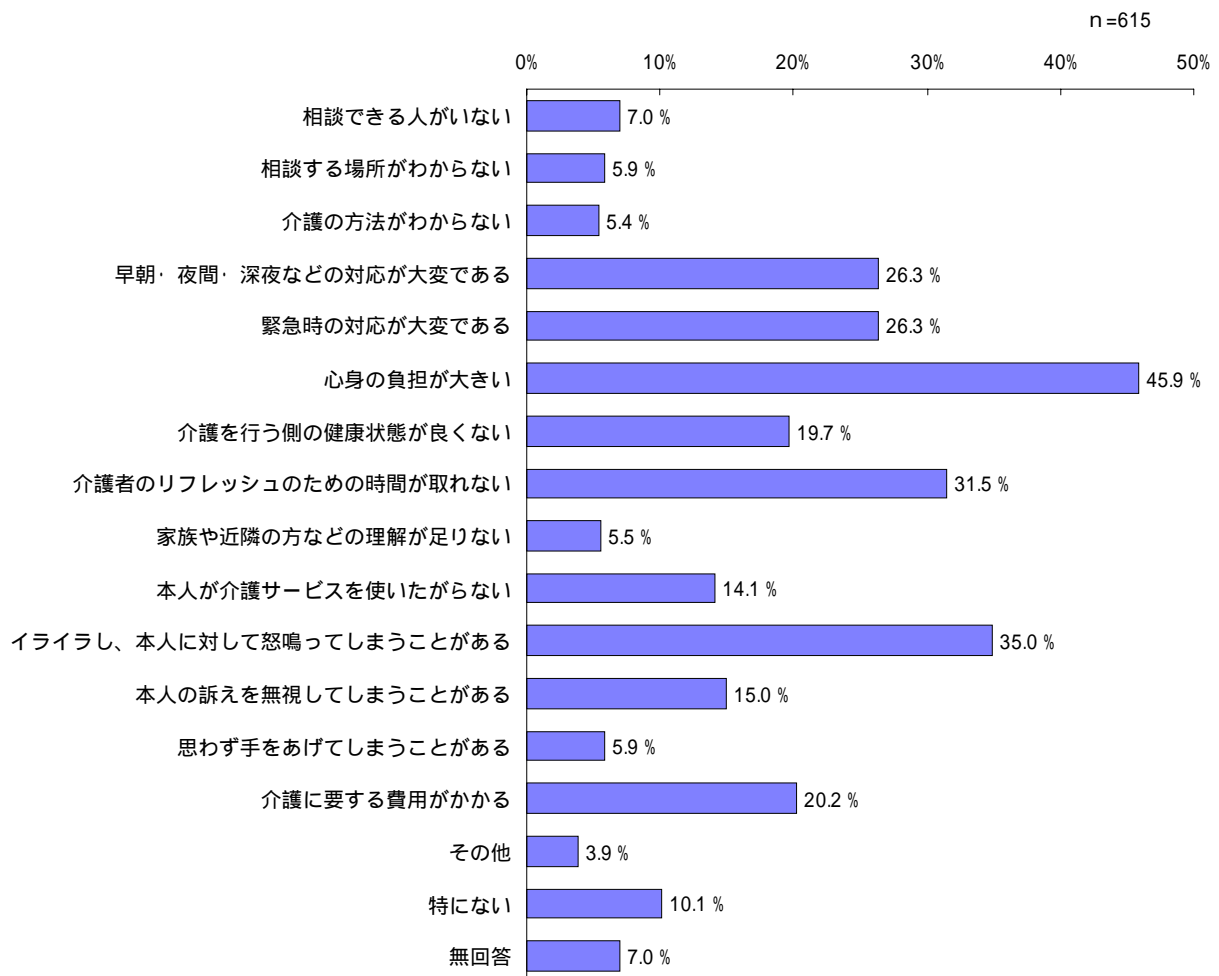


注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

(5) 介護上の困りごと等

問 32 主に介護している方が、介護を行う上で、困っていることや悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに)

「心身の負担が大きい」45.9%が最も多く、2人に1人があげている。次いで「イライラし、本人に対して怒鳴ってしまうことがある」35.0%、「介護者のリフレッシュのための時間が取れない」31.5%、「早朝・夜間・深夜などの対応が大変である」及び「緊急時の対応が大変である」ともに26.3%、「介護に要する費用がかかる」20.2%などである。



[要介護状態区分]

「心身の負担が大きい」はいずれも1位としており、要介護度に比例して多くなる。「イライラし、本人に対して怒鳴ってしまうことがある」は要介護1では同率1位にあげられ、要介護2及び要介護3では2位である。要介護4及び要介護5の2位は、「早朝・夜間・深夜などの対応が大変である」である。また、要介護2を除いては、「介護者のリフレッシュのための時間が取れない」が3位となっている。

単位：%

	回答者数 (人)	相談できる 人がいない	相談する 場所が わからない	介護の 方法が わからない	早期・夜間・ 深夜などの 対応が大変 である	緊急時の 対応が 大変である	心身の 負担が 大きい	介護を行う 側の健康状 態が良くない	介護者のリフ レッシュのた めの時間が 取れない	家族や近隣 の方などの 理解が足り ない	
全 体	615	7.0	5.9	5.4	26.3	26.3	45.9	19.7	31.5	5.5	
要 介 護 状 態 区 分	要介護1	85	11.8	4.7	1.2	15.3	14.1	34.1	12.9	25.9	7.1
	要介護2	189	3.2	2.6	3.2	15.9	25.4	37.6	20.6	19.6	4.2
	要介護3	179	10.1	7.3	9.5	29.6	25.7	48.0	20.7	36.9	5.0
	要介護4	97	5.2	8.2	5.2	43.3	40.2	59.8	26.8	42.3	8.2
	要介護5	57	5.3	8.8	7.0	40.4	26.3	64.9	14.0	43.9	5.3

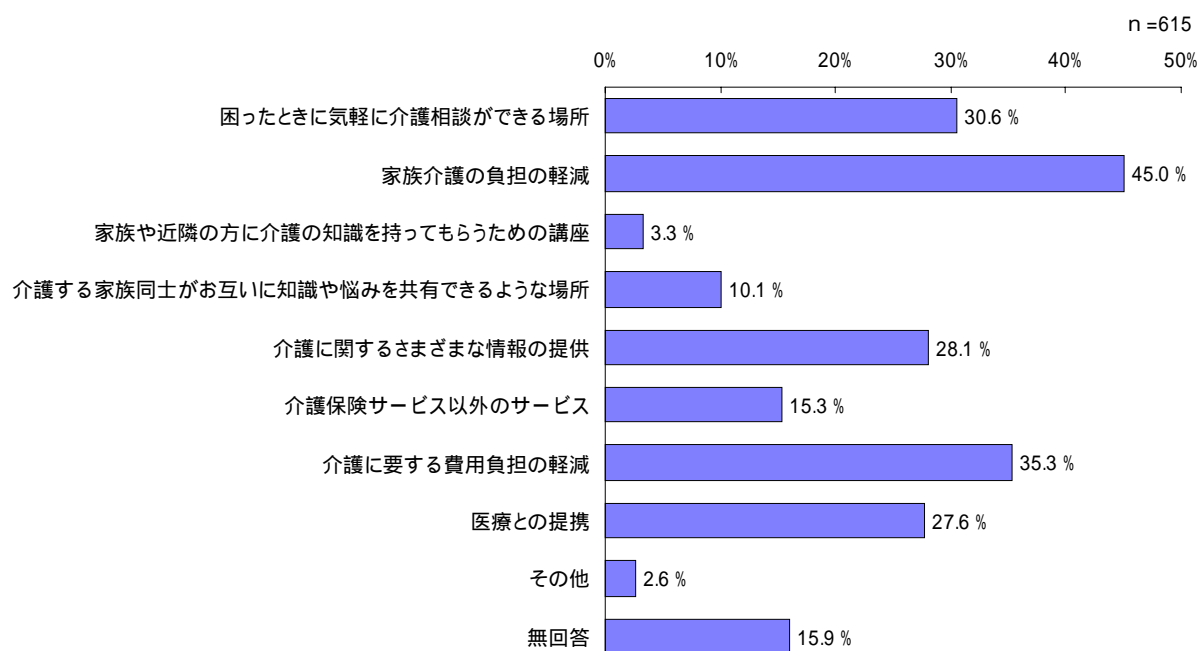
	回答者数 (人)	本人が介護 サービスを使 いたがら ない	イライラし、 本人に対して 怒鳴って しまうこと がある	本人の訴え を無視して しまうこと がある	思わず手を あげてしま うことが ある	介護に要す る費用がか かる	その他	特にな い	無回 答	
全 体	615	14.1	35.0	15.0	5.9	20.2	3.9	10.1	7.0	
要 介 護 状 態 区 分	要介護1	85	17.6	34.1	11.8	4.7	15.3	4.7	10.6	16.5
	要介護2	189	14.8	31.2	18.5	3.2	14.3	4.2	15.9	9.0
	要介護3	179	12.3	38.5	12.8	8.4	23.5	3.9	7.8	2.8
	要介護4	97	16.5	37.1	14.4	7.2	24.7	4.1	5.2	4.1
	要介護5	57	8.8	36.8	17.5	7.0	29.8	1.8	5.3	1.8

丸数字は順位

(6) 家族介護で市に期待すること

問33 家族が介護を行う上で、市に期待することは何ですか。(3つまでに)

「家族介護の負担の軽減」45.0%、「介護に要する費用負担の軽減」35.3%、「困ったときに気軽に介護相談ができる場所」30.6%、「介護に関するさまざまな情報の提供」28.1%、「医療との連携」27.6%などである。



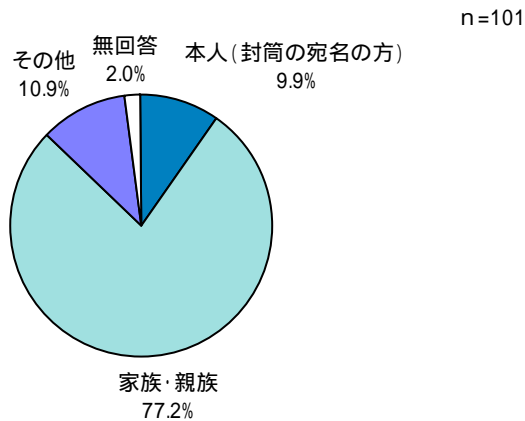
第5章 施設サービス利用者調査

1. あなたのことについて

(1) 調査記入者

F 1 この調査に回答される方を教えてください。(1つに)

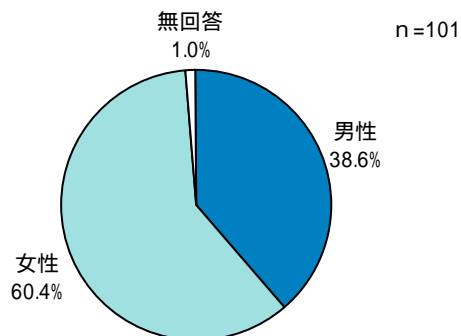
調査票記入者は、「家族・親族」が77.2%と約8割を占め、「本人」は9.9%、約1割にとどまる。



(2) 性別

F 2 あなたの性別は。(1つに)

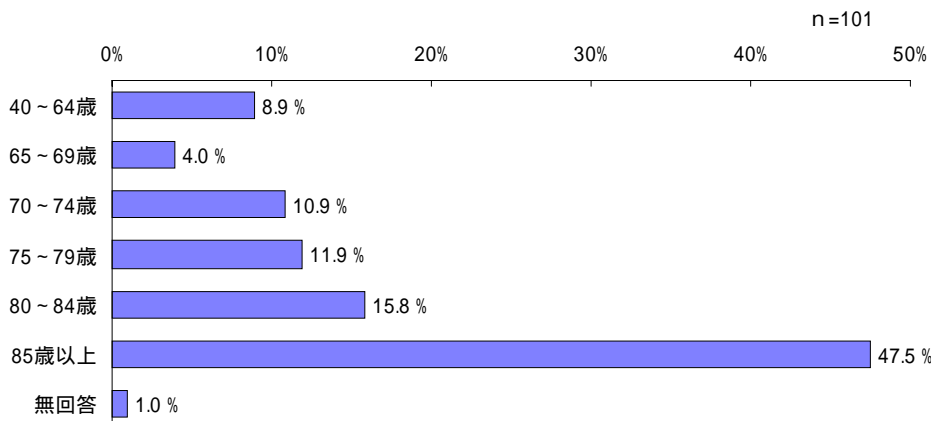
性別は、「女性」60.4%、「男性」38.6%である。



(3) 年齢

F 3 あなたの年齢は。(1 つに)

年齢は「85歳以上」が47.5%と約半数を占め、以下「80～84歳」15.8%、「75～79歳」11.9%、「70～74歳」10.9%、「40～64歳」8.9%、「65～69歳」4.0%である。



[性別]

40～84歳までは男性が上回るが、85歳以上は女性が多くを占める。

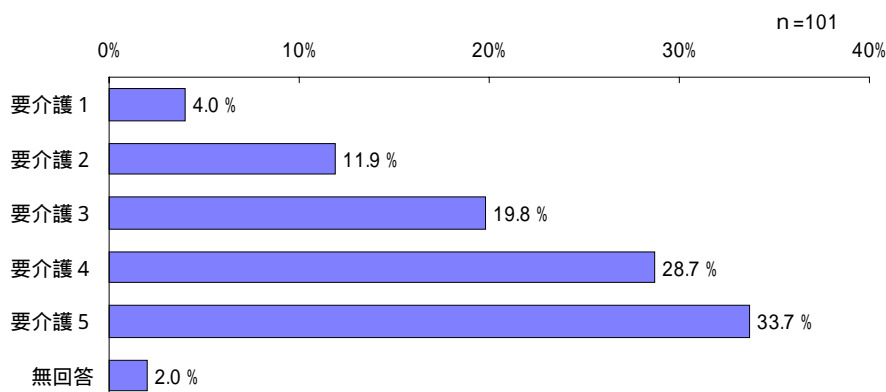
単位：%

	回答者数 (人)	40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答	
全 体	101	8.9	4.0	10.9	11.9	15.8	47.5	1.0	
性別	男性	39	15.4	5.1	17.9	12.8	25.6	23.1	0.0
	女性	61	4.9	3.3	6.6	11.5	9.8	63.9	0.0

(4) 要介護状態区分

F 4 あなたの要介護状態区分は。(1 つに)

「要介護5」33.7%、「要介護4」28.7%、「要介護3」19.8%、「要介護2」11.9%、「要介護1」4.0%であり、要介護度に比例して多い。

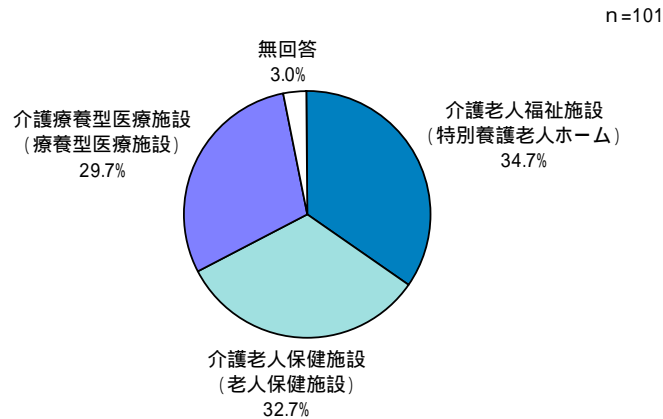


2. 介護保険サービスの利用について

(1) 入所していた施設

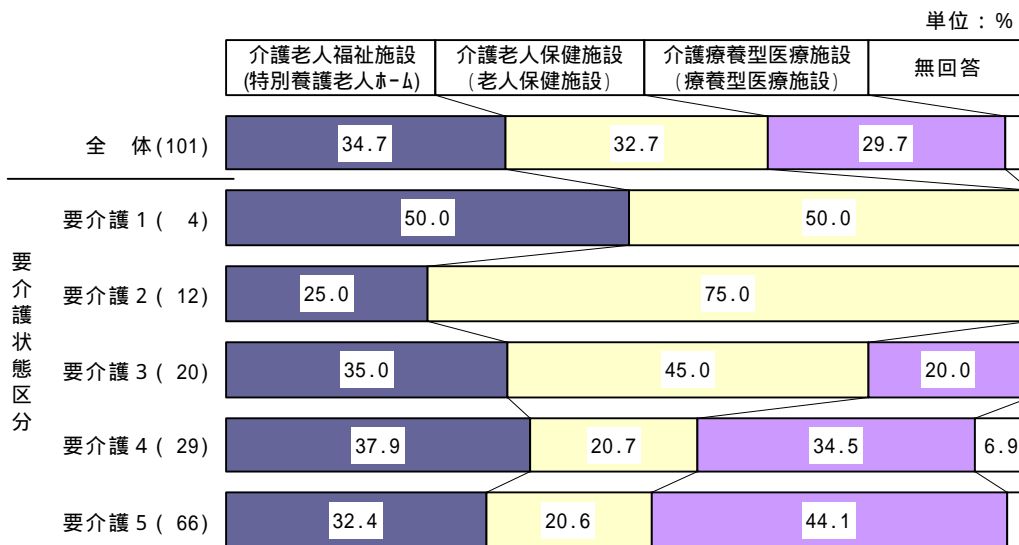
問1 12月現在で、あなたが入所していた施設はどれですか。(1つに)

入所していた施設は、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」34.7%、「介護老人保健施設(老人保健施設)」32.7%、「介護療養型医療施設(療養型医療施設)」29.7%、各施設それぞれの差はない。



[要介護状態区分]

入所施設で最も多いのは、要介護1は「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」及び「介護老人保健施設(老人保健施設)」でともに50.0%、要介護2及び要介護3は「介護老人保健施設(老人保健施設)」の各75.0%、45.0%、要介護4は「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」の37.9%、要介護5は「介護療養型医療施設(療養型医療施設)」の44.1%である。



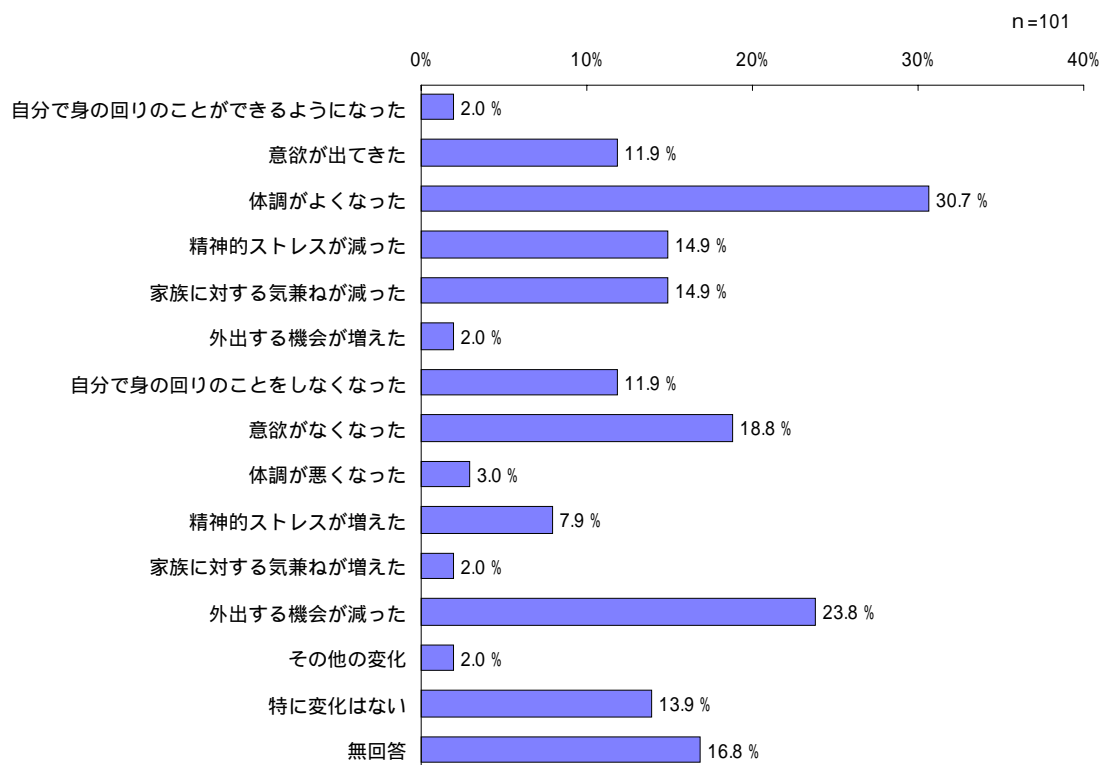
注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

(2) 入所後の生活の変化

問2 施設に入所したことにより、あなたの生活に具体的にどのような変化がありましたか。(あてはまるものすべてに)

入所後の生活の変化は、「体調がよくなった」が30.7%と最も多い。次いで「外出する機会が減った」23.8%、「意欲がなくなった」18.8%、「精神的ストレスが減った」及び「家族に対する気兼ねが減った」ともに14.9%、「特に変化はない」13.9%、「意欲が出てきた」及び「自分で身の回りのことをしなくなった」ともに11.9%などである。

プラス面、マイナス面いずれもあげられている。



[要介護状態区分]

要介護1は「体調がよくなった」「外出する機会が減った」ともに50.0%で最も多く、要介護2及び要介護4は「体調がよくなった」が最も多く、各58.3%、41.4%である。要介護3は「意欲がなくなった」40.0%、「精神的ストレスが減った」35.0%など回答はやや分散している。また、要介護5は「特に変化はない」23.5%が最も多い。

第5章 施設サービス利用者調査

単位：％

	回答者数 (人)	自分で身の 回りのこと ができるよう になった	意欲が 出てきた	体調が よくなった	精神的 ストレスが 減った	家族に 対する 気兼ねが 減った	外出する 機会が 増えた	自分で 身の回りの ことをしなく なった	意欲が なくなった	
全 体	101	2.0	11.9	30.7	14.9	14.9	2.0	11.9	18.8	
要 介 護 状 態 区 分	要介護1	4	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0
	要介護2	12	8.3	16.7	58.3	16.7	25.0	0.0	16.7	0.0
	要介護3	20	5.0	20.0	30.0	35.0	30.0	5.0	15.0	40.0
	要介護4	29	0.0	17.2	41.4	13.8	3.4	3.4	6.9	20.7
	要介護5	34	0.0	2.9	11.8	5.9	11.8	0.0	11.8	11.8

	回答者数 (人)	体調が 悪くなった	精神的 ストレスが 増えた	家族に 対する 気兼ねが 増えた	外出する 機会が 減った	その他 の変化	特に変化は ない	無回答	
全 体	101	3.0	7.9	2.0	23.8	2.0	13.9	16.8	
要 介 護 状 態 区 分	要介護1	4	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0
	要介護2	12	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	8.3	0.0
	要介護3	20	10.0	20.0	0.0	30.0	0.0	5.0	0.0
	要介護4	29	0.0	3.4	0.0	17.2	0.0	10.3	17.2
	要介護5	34	2.9	8.8	5.9	20.6	5.9	23.5	26.5

【入所施設】

入所していた施設では、いずれも「体調がよくなった」が最も多くあげられている。介護老人保健施設（老人保健施設）42.4%、介護療養型医療施設（療養型医療施設）26.7%、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）25.7%の順である。

単位：％

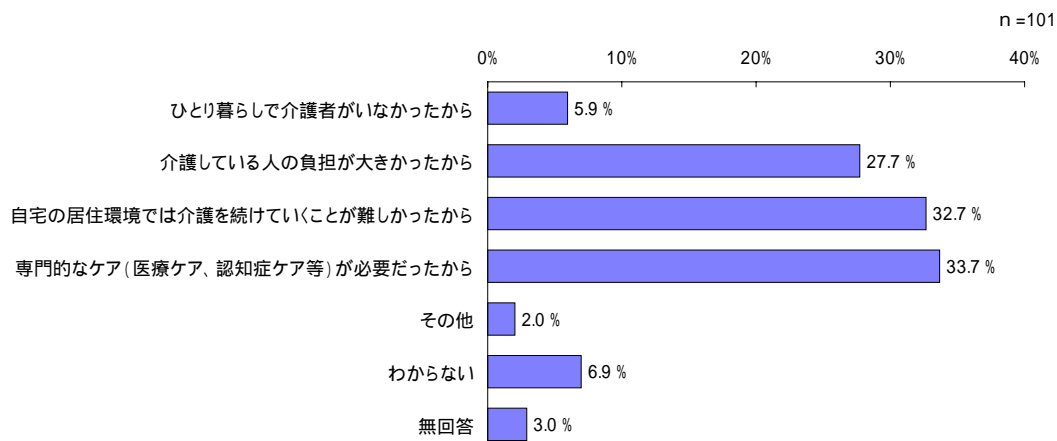
	回答者数 (人)	自分で身の 回りのこと ができるよう になった	意欲が 出てきた	体調が よくなった	精神的 ストレスが 減った	家族に 対する 気兼ねが 減った	外出する 機会が 増えた	自分で 身の回りの ことをしなく なった	意欲が なくなった	
全 体	101	2.0	11.9	30.7	14.9	14.9	2.0	11.9	18.8	
入 所 施 設	介護老人福祉施設	35	0.0	14.3	25.7	17.1	17.1	5.7	8.6	5.7
	介護老人保健施設	33	3.0	15.2	42.4	18.2	21.2	0.0	21.2	30.3
	介護療養型医療施設	30	3.3	6.7	26.7	10.0	6.7	0.0	6.7	23.3

	回答者数 (人)	体調が 悪くなった	精神的 ストレスが 増えた	家族に 対する 気兼ねが 増えた	外出する 機会が 減った	その他 の変化	特に変化は ない	無回答	
全 体	101	3.0	7.9	2.0	23.8	2.0	13.9	16.8	
入 所 施 設	介護老人福祉施設	35	0.0	2.9	0.0	20.0	0.0	5.7	31.4
	介護老人保健施設	33	6.1	9.1	3.0	30.3	0.0	12.1	6.1
	介護療養型医療施設	30	3.3	13.3	3.3	23.3	6.7	20.0	10.0

(3) 施設での生活を選んだ理由

問3 施設での生活を選んだ主な理由は何ですか。(1つに)

施設での生活を選んだ理由は、「専門的なケア(医療ケア、認知症ケア等)が必要だったから」33.7%と「自宅の居住環境では介護を続けていくことが難しかったから」32.7%があまり差がなくあげられ、加えて「介護している人の負担が大きかったから」27.7%が主な理由である。



[要介護状態区分]

要介護1及び要介護2では「介護している人の負担が大きかったから」ともに50.0%が最も多く、要介護3では「自宅の居住環境では介護を続けていくことが難しかったから」55.0%、また要介護4及び要介護5では、「専門的なケアが必要だったから」各34.5%、44.1%である。

単位：%

	回答者数(人)	ひとり暮らしで介護者がいなかったから	介護している人の負担が大きかったから	自宅の居住環境では介護を続けていくことが難しかったから	専門的なケア(医療ケア、認知症ケア等)が必要だったから	その他	わからない	無回答
全 体	101	5.9	27.7	32.7	33.7	2.0	6.9	3.0
要介護状態区分	要介護1	4	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	要介護2	12	0.0	50.0	41.7	16.7	0.0	8.3
	要介護3	20	0.0	35.0	55.0	25.0	0.0	5.0
	要介護4	29	13.8	24.1	24.1	34.5	3.4	6.9
	要介護5	34	0.0	17.6	26.5	44.1	2.9	11.8

[入所施設]

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)は「自宅の居住環境では介護を続けていくことが難しかったから」31.4%が最も多く、介護老人保健施設(老人保健施設)では「介護している人の負担が大きかったから」及び「自宅の居住環境では介護を続けていくことが難しかったから」ともに42.4%、介護療養型医療施設(療養型医療施設)では「専門的なケアが必要だったから」63.3%である。

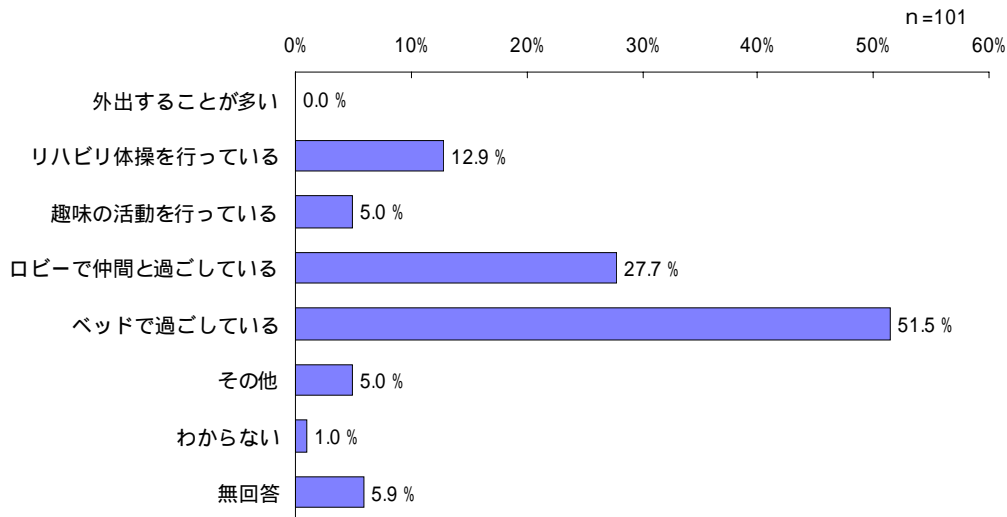
単位：%

	回答者数(人)	ひとり暮らしで介護者がいなかったから	介護している人の負担が大きかったから	自宅の居住環境では介護を続けていくことが難しかったから	専門的なケア(医療ケア、認知症ケア等)が必要だったから	その他	わからない	無回答
全 体	101	5.9	27.7	32.7	33.7	2.0	6.9	3.0
入所施設	介護老人福祉施設	35	8.6	25.7	31.4	17.1	0.0	20.0
	介護老人保健施設	33	3.0	42.4	42.4	24.2	6.1	0.0
	介護療養型医療施設	30	6.7	13.3	26.7	63.3	0.0	0.0

(4) 施設での過ごし方

問4 主に施設でどのように過ごしていますか。(1つに)

「ベッドで過ごしている」51.5%、約半数があげている。次いで「ロビーで仲間と過ごしている」27.7%、「リハビリ体操を行っている」12.9%、「趣味の活動を行っている」5.0%であり、外出することが多い」はゼロである。



[入所施設]

いずれの施設も「ベッドで過ごしている」が最も多く、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）45.7%、介護老人保健施設（老人保健施設）45.5%、介護療養型医療施設（療養型医療施設）63.3%である。

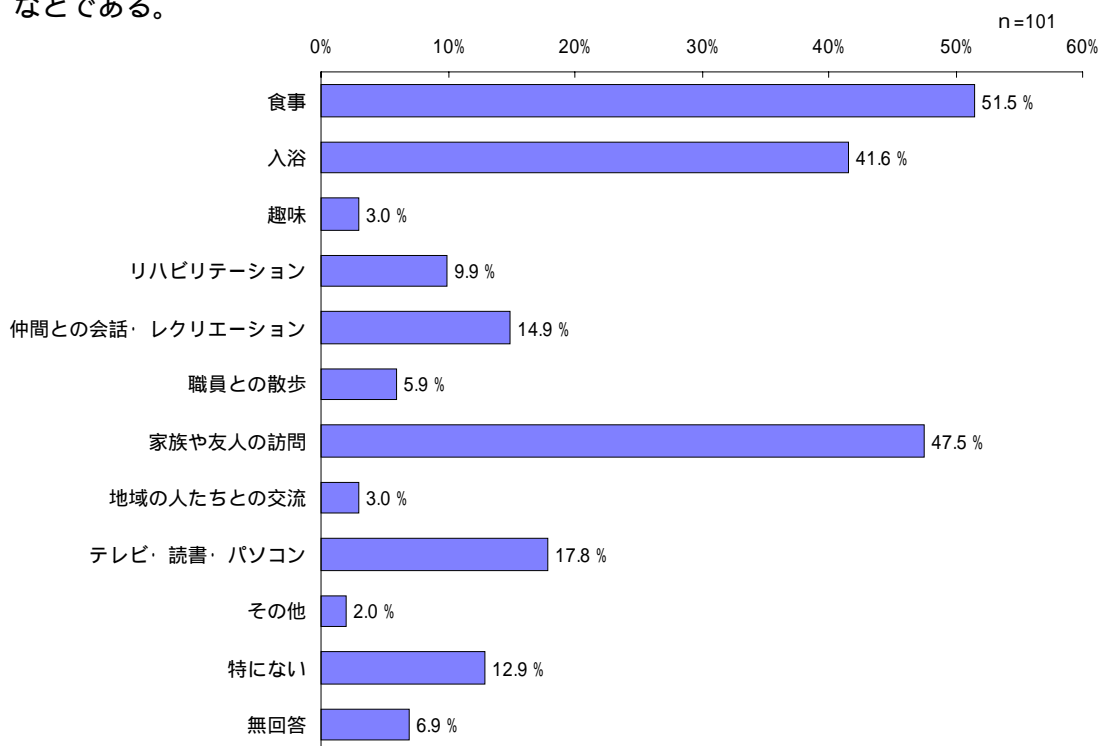
単位：%

	回答者数 (人)	外出する ことが多い	リハビリ 体操を 行っている	趣味の 活動を 行っている	ロビーで 仲間と過 ごしている	ベッドで 過ごして いる	その他	わか らな い	無回 答	
全 体	101	0.0	12.9	5.0	27.7	51.5	5.0	1.0	5.9	
入 所 施 設	介護老人福祉施設	35	0.0	5.7	5.7	37.1	45.7	5.7	2.9	8.6
	介護老人保健施設	33	0.0	18.2	9.1	36.4	45.5	6.1	0.0	0.0
	介護療養型医療施設	30	0.0	16.7	0.0	10.0	63.3	3.3	0.0	6.7

(5) 施設での楽しみ

問5 施設での楽しみは何ですか。(あてはまるものすべてに)

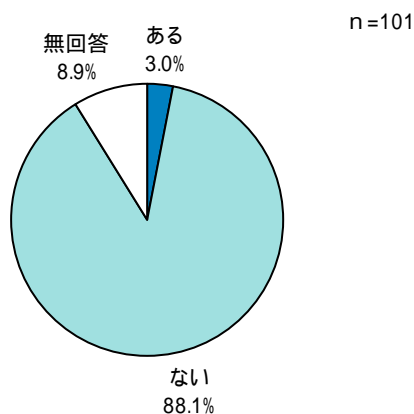
「食事」51.5%、「家族と友人の訪問」47.5%、「入浴」41.6%が主な楽しみである。以下「テレビ・読書・パソコン」17.8%、「仲間との会話・レクリエーション」14.9%、「特にない」12.9%などである。



(6) 地域活動に参加する機会

問6 地域活動に参加する機会がありますか。(1つに)

地域活動への参加機会は「ない」88.1%、「ある」3.0%と、「ない」が大半である。



[入所施設]

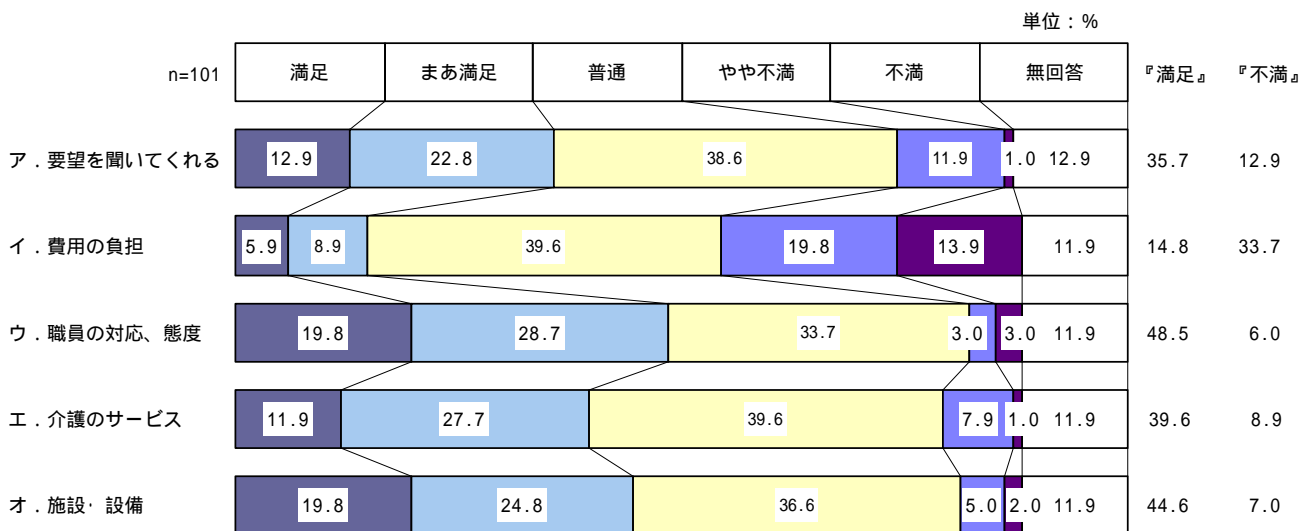
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）のみ「ある」が8.6%となっている。

(7) 施設での生活

問7 施設での生活についてどのように感じますか。ア～オについて満足度をお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに)

施設での生活で「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が最も多いのは、「職員の対応、態度」で48.5%、約5割の人があげている。次いで「施設・設備」44.6%、「介護のサービス」39.6%、「要望を聞いてくれる」35.7%、「費用の負担」14.8%である。

これに対し、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は『満足』が最も少ない「費用の負担」33.7%である。以下、「要望を聞いてくれる」12.9%、「介護のサービス」8.9%、「施設・設備」7.0%、「職員の対応、態度」6.0%である。



注：5%未満の数値は表記していない

[入所施設]

『満足』が最も多いのは介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)では「施設・設備」の45.7%、介護老人保健施設(老人保健施設)及び介護療養型医療施設(療養型医療施設)では「職員の対応、態度」各57.6%、43.3%である。

これに対し、『不満』は「費用の負担」で介護療養型医療施設(療養型医療施設)は60.0%、介護老人保健施設(老人保健施設)で33.3%である。

単位：%

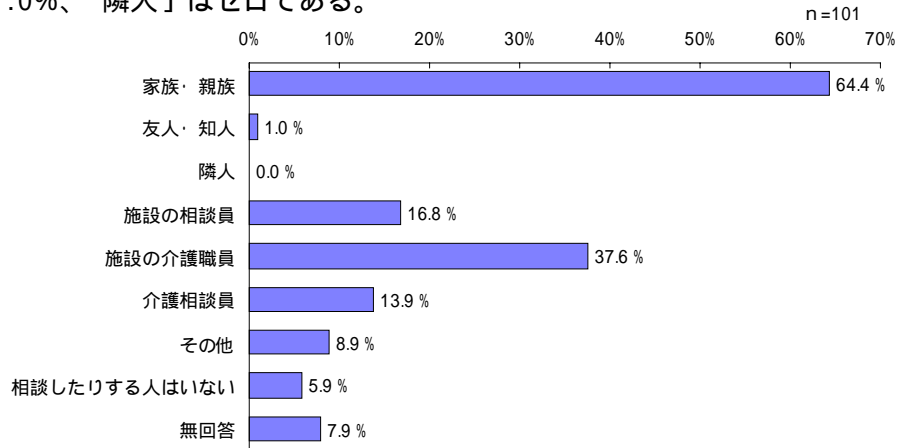
	介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設	
	『満足』	『不満』	『満足』	『不満』	『満足』	『不満』
要望を聞いてくれる	40.0	8.6	33.3	9.1	30.0	23.3
費用の負担	22.9	14.3	12.1	33.3	6.6	60.0
職員の対応、態度	42.9	0.0	57.6	3.0	43.3	16.7
介護のサービス	34.3	0.0	42.4	9.1	40.0	20.0
施設・設備	45.7	2.9	51.5	3.0	33.3	16.7

3 . 日常の生活状況等について

(1) 心配事等の相談相手

問 8 あなたは心配事や悩み事ができた場合、だれに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(あてはまるものすべてに)

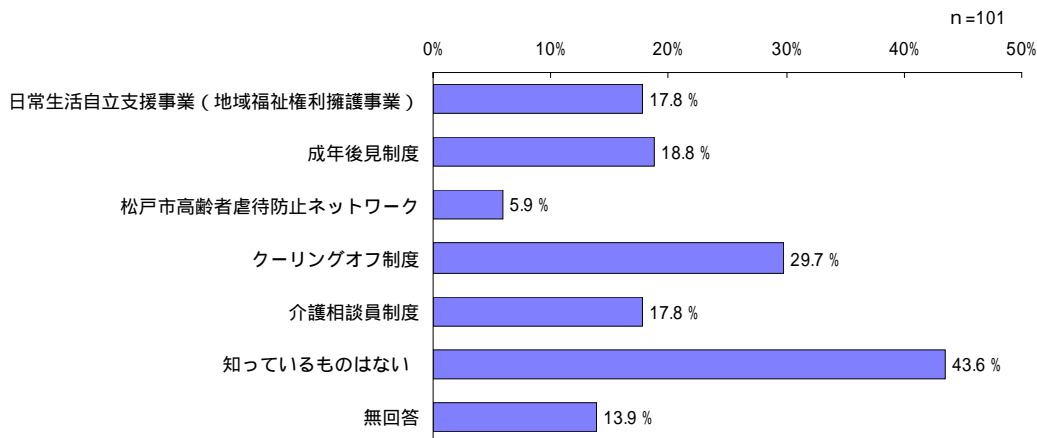
心配事や悩み事の相談相手で最も多いのは、「家族・親族」の64.4%である。次いで「施設の介護職員」37.6%、「施設の相談員」16.8%、「介護相談員」13.9%であり、「友人・知人」はわずか1人、1.0%、「隣人」はゼロである。



(2) 権利擁護制度や仕組み

問 9 あなたは下記のような高齢者が安心して暮らせる権利擁護制度やしくみを知っていますか。(あてはまるものすべてに)

「知っているものはない」43.6%が最も多い。次いで「クーリングオフ制度」29.7%、「成年後見制度」18.8%、「日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)」及び「介護相談員制度」ともに17.8%であり、「松戸市高齢者虐待防止ネットワーク」は5.9%と最も少ない。



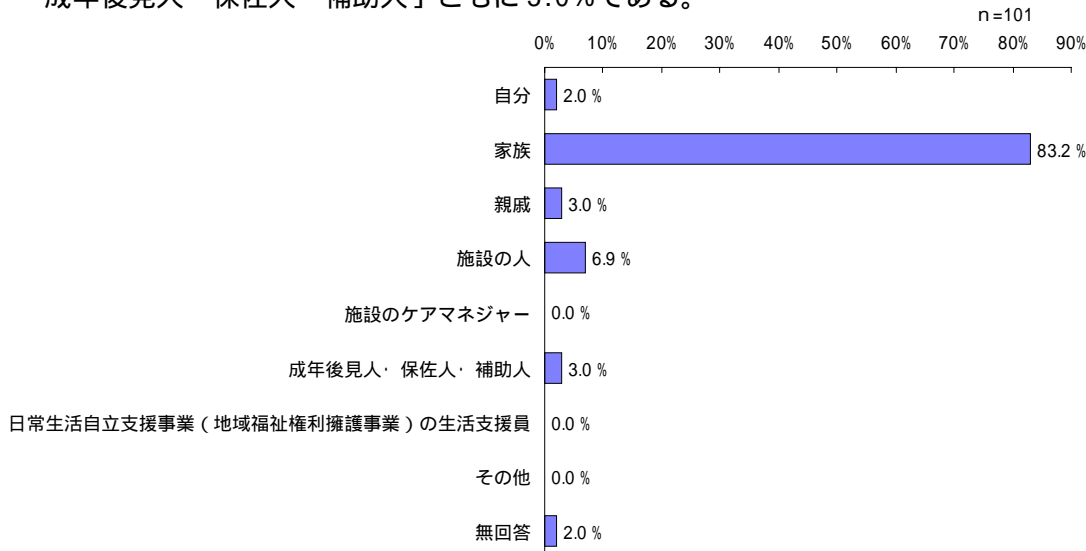
[入所施設]

「知っているものはない」は「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」62.9%、「介護老人保健施設(老人保健施設)」42.4%、「介護療養型医療施設(療養型医療施設)」26.7%である。

(3) 日常の金銭管理

問10 あなたの日常生活に関わる金銭管理は誰が行っていますか。(1つに)

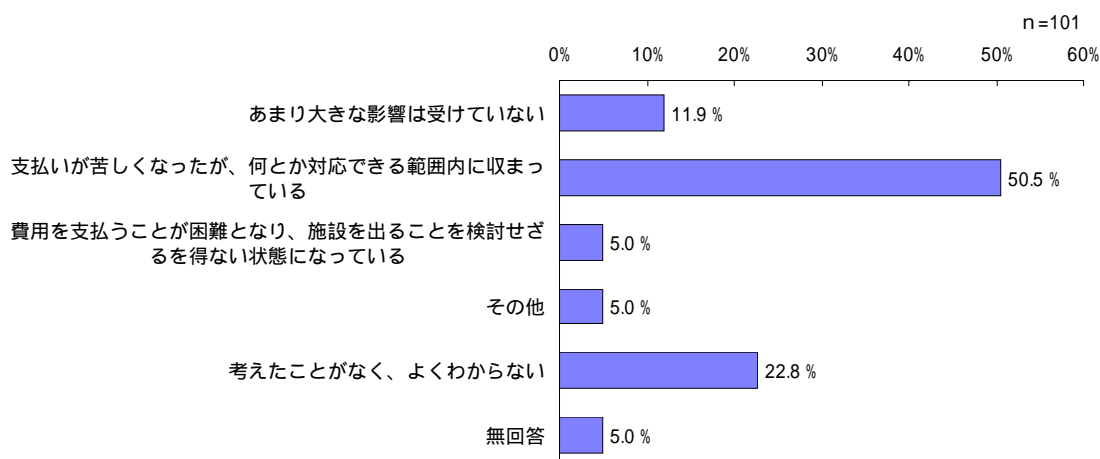
日常生活に関わる金銭管理は、「家族」83.2%が大半である。「施設の人」6.9%、「親戚」及び「成年後見人・保佐人・補助人」ともに3.0%である。



(4) 制度変更の影響

問11 平成17年10月から、居住費・食費が給付対象外になるという制度変更が行われました。この変更は、あなたの生活にどのような影響を与えましたか。(1つに)

居住費・食費が給付対象外になるという制度変更の影響については、「支払いが苦しくなったが、何とか対応できる範囲内に収まっている」が50.5%と最も多い。「あまり大きな影響は受けていない」11.9%と合わせ、6割強の人がそれほどの影響はないとしている。「費用を支払うことが困難となり、施設を出ることを検討せざるを得ない状態になっている」は5.0%にとどまる。



[入所施設]

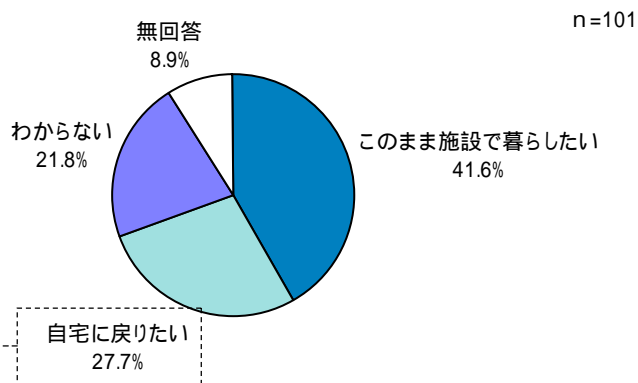
「支払いが苦しくなったが、何とか対応できる範囲内に収まっている」は、介護老人保健施設(老人保健施設)60.6%、介護療養型医療施設(療養型医療施設)56.7%、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)37.1%の順である。介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)は「考えたことがなく、よくわからない」が40.0%と最も多い。

4 . 今後の生活について

(1) 今後の生活

問 12 あなたは今後の生活についてどのようにお考えですか。(1 つに)

「このまま施設で暮らしたい」41.6%、「自宅に戻りたい」27.7%、「わからない」21.8%である。



[入所施設]

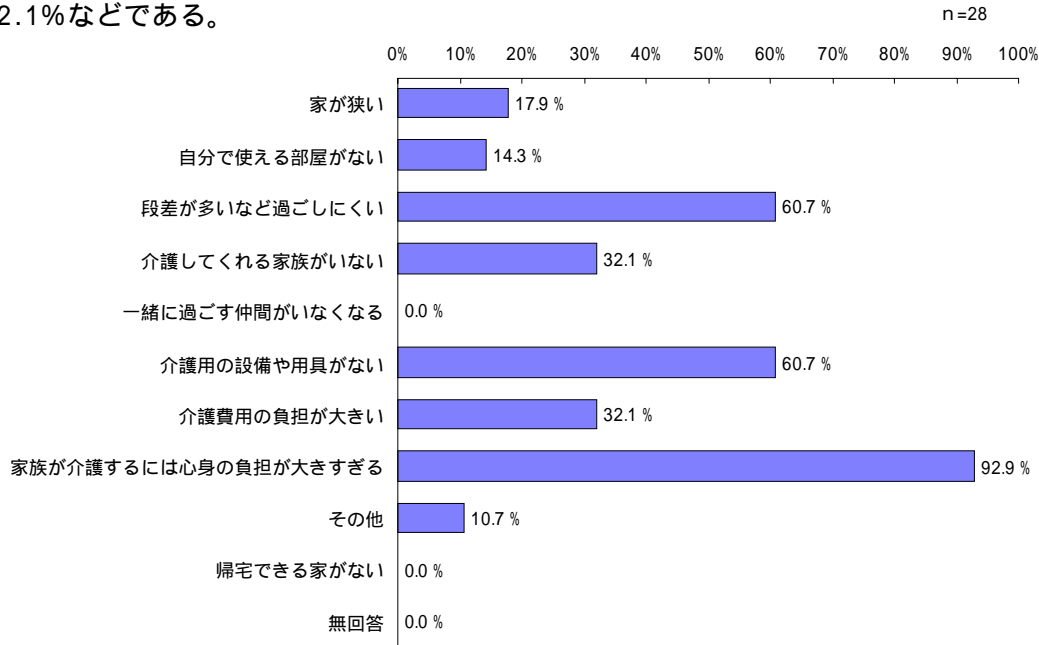
「このまま施設で暮らしたい」は介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）45.4%、介護老人保健施設（老人保健施設）42.4%、介護療養型医療施設（療養型医療施設）36.7%の順である。

これに対し「自宅に戻りたい」は逆に介護療養型医療施設（療養型医療施設）43.3%、介護老人保健施設（老人保健施設）30.3%、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）11.4%の順である。

(2) 帰宅での問題

問 12-1 帰宅にあたり、問題になることがあるとしたら何ですか。(あてはまるものすべてに)

帰宅にあたり、問題になることは「家族が介護するには心身の負担が大きすぎる」は92.9%、9割以上の方があげている。次いで「段差が多いなど過ごしにくい」及び「介護用の設備や用具がない」ともに60.7%、「介護してくれる家族がいない」及び「介護費用の負担が大きいい」ともに32.1%などである。



[入所施設]

「家族が介護するには心身の負担が大きすぎる」は介護老人保健施設（老人保健施設）では100.0%、以下、介護療養型医療施設（療養型医療施設）92.3%、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）75.0%である。介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）では、「介護してくれる家族がいない」も75.0%である。

また、介護老人保健施設（老人保健施設）では、「段差が多いなど過ごしにくい」80.0%、介護療養型医療施設（療養型医療施設）では「介護用の設備や用具がない」76.9%も多い。

単位：%

	回答者数 (人)	家が狭い	自分で使える部屋がない	段差が多いなど過ごしにくい	介護してくれる家族がいない	一緒に過ごす仲間がいなくなる	介護用の設備や用具がない
全 体	28	17.9	14.3	60.7	32.1	0.0	60.7
入所施設							
介護老人福祉施設	4	0.0	0.0	50.0	75.0	0.0	50.0
介護老人保健施設	10	40.0	30.0	80.0	40.0	0.0	50.0
介護療養型医療施設	13	7.7	7.7	53.8	15.4	0.0	76.9

	回答者数 (人)	介護費用の負担が大きいい	家族が介護するには心身の負担が大きすぎる	その他	帰宅できる家がない	無回答
全 体	28	32.1	92.9	10.7	0.0	0.0
入所施設						
介護老人福祉施設	4	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0
介護老人保健施設	10	20.0	100.0	0.0	0.0	0.0
介護療養型医療施設	13	38.5	92.3	23.1	0.0	0.0

第 6 章 自由回答

5種類のアンケート調査において多数の貴重なご意見を頂戴致しました。その概要を以下に掲載します。なお、()は、件数を示します。

一般高齢者

1 高齢者施策全般について

- ・ 高齢者が安心して暮らせるまちにしてほしい。(6)
- ・ ひとり暮らしが多いので、防犯に力を入れてほしい。
- ・ 松戸は全般的に少し「優しさ」がかけられているような気がする。
- ・ 道路、交通手段、病院、防犯など安全で安心して暮らせるまちづくりを進めてほしい。
- ・ 75歳以上の高齢者で介護を受けていない人たちが、健康を維持できるような支援を充実させてほしい。
- ・ 多大な費用がかかるお祝い制度を廃止して出生の方へ回すようにする。記念すべき100歳になられた方のみ祝う。
- ・ 物価が高い。
- ・ 江戸川区の対応を聞くにつけ、羨ましいと思う点が多い。
- ・ きめの細かい優しさのあふれた施策を。
- ・ 身体が自由が利かない人でも、手続き、申し込み等、自宅でできるようにしてほしい。
- ・ 市内循環バス、市の厚生施設の高齢者特待制度の導入などを。
- ・ 困った人であれば、誰でも使えるサービスを。
- ・ 情報をわかりやすく提供してほしい。松戸駅のエスカレーター・エレベーターの下り設置。特に西口。
- ・ 介護保険よりも健康維持支援に重点を置く方が、市の財政は黒字に転換されると思う。
- ・ 高齢社会に対する市の施策が伝わってこない。高齢者、子ども、困窮者などに積極的方策を実施してほしい。
- ・ 高齢者のことを心から思う、真の高齢者福祉政策を期待する。
- ・ 公平で効率的な事業運営を行ってほしい。特に「福祉器具」については、業者が多大な利益を得ているように思えるが。コムスンのような医療福祉機関がでないよう行政の指導、監視を強めてほしい。
- ・ 老いが来た時には、市、周囲(家族を含めて)の協力をお願いしたい。
- ・ 今後、一人暮らし、老人夫妻で収入が目に見えて少ない人など行き詰まる高齢者が多くなると思う。
- ・ 在宅介護支援センター、地域包括支援センターの具体的な住所、電話番号を入れたパンフレットを町内回覧で配布してほしい。
- ・ 道路の段差、歩道の幅、高齢者には危険性あり。
- ・ 対象サービスが増えるのは良いが、保険料負担は感心しない。
- ・ 多額の費用を費やすのは無駄。もっと知恵を出すべき。
- ・ 高齢者への諸施策対応は「心をいやす人材育成」が肝要。
- ・ 若年者が高齢者の世話をせず、介護保険や医療設備に任せっきりで、それが高齢者の心の障害、医療・保険費の高騰になっている。
- ・ 共同霊園をつくってほしい。
- ・ 難聴(高度)でも緊急通報装置が使えるのかどうか周知してほしい。
- ・ 緊急通報電話を全戸に設置してほしい。
- ・ 民生委員が勝手に訪問してきて困るという話を聞く。
- ・ ごみが重くて指定された場所まで持っていけないので、各家庭の門に出せないか。

- ・ 安心感をもって協力し合い、年齢を重ねていける画期的な松戸プランをつくってほしい。
- ・ 市民税を充分に使ってほしい。
- ・ 無駄な税金の使い方と、使いこみのない安心安全な松戸市をきずいてほしい。
- ・ 我が国は、戦後、日本の復興に尽力してきた高齢者に対して冷たい。松戸百年の大計で立法行政をやってほしい。
- ・ 松戸市に住む事に不安を感じる。
- ・ 人の痛みのわかる行政であってほしい。

2 健康・医療について

- ・ 今後健康診断（人間ドック等）を定期的に受けられるようにしてほしい。
- ・ ストレッチ、トレーニング施設を作り、シャトルバスを配備してほしい。
- ・ 医療、予防の充実を。
- ・ 日頃の体操や養生について市で指導してほしい。
- ・ 高齢者が健康で介護を受けなくても生活できるよう、食事、運動、その他生活に取り入れていけばよいことを、町会などを通してアドバイスしてほしい。
- ・ 地域の方々と楽しく参加できる健康サークルが身近にほしい。
- ・ 各地域の老人クラブの援助を増大し、介護を必要とする人を少なくする。
- ・ 老人クラブでの健康づくり、生きがい活動には期待していない。市として政策を進めてほしい。
- ・ 五香地区でラジオ体操をやっていただく場所と企画はないか。
- ・ 介護予防・健康維持を重要施策として進めてほしい。(3)
- ・ 緊急入院した際、大部屋に空きがないとあって、個室に入ることがあったが本当に個室でなくてはならなかったのか。
- ・ 安心して病院に入れるようにしてほしい。
- ・ 高齢者の医療制度により在宅医療を行う仕組みが整備されてほしい。
- ・ 市立病院の早期建てかえを。
- ・ 施設（介護・医療入院）経営の方向が贅沢に向かっているように感じる。ジェネリック薬品使用の極力推進。
- ・ 緊急医療を要する場合、タクシーでも一定の補助制度を設けてほしい。
- ・ 3か月で他の病院、施設に移らなくてはいけないことは何とかならないか。不安や心配事をいつでも親身に相談できる場所が身近にほしい。
- ・ 身よりもお金もない高齢者のための入院施設を作してほしい。
- ・ 「後期高齢者」の名前、あまりにも馬鹿にした言葉ではないか。せめて、「寿」とかでもつけてほしい。

3 介護保険サービスについて

- ・ サービスを利用しなかった人への対応を。(6)
- (介護サービスを利用しなくて亡くなった場合/サービスを利用しないで自力で生活している人/介護保険をかけても何もしてもらえなかった)
- ・ 介護保険サービスを緊急に利用したい場合、すぐ利用できるようにしてほしい。(2)
- ・ 介護保険料はずっと払っていたが、特殊ベッドを貸し出してもらえなかった。
- ・ 風邪などで熱が出たとき1日でもいいから食事その他を手伝ってほしい。
- ・ 在宅の24時間介護体制や、老人ホーム、老健施設、グループホームなどサポート体制をできるだけ整えてほしい。
- ・ 70歳以上で介護を必要としない人に対するサービスが悪いように思う。
- ・ 住宅が団地の3階で車いすを持ち運びできないため、近くの事業所で借りられるとよい。

- ・安心して介護サービスが受けられるようにしてほしい。
- ・認知症だと介護保険の段階が低く公的援助（介護）を受けられない。
- ・高齢者と息子（日中仕事をしている）で生活している場合、給食サービスを受けられないのが困る。
- ・簡単な手続きで利用できる施設があるとよい。
- ・特養、グループホーム等を利用したくなった時、どの程度の確率で利用できるのか不安が大きい。
- ・特別養護老人ホームを増やしてほしい。(2)
- ・介護認定結果についての十分な説明をしてほしい。
- ・介護認定は、軽症者には厳しく、重症者には手厚くサービスしてほしい。
- ・介護保険は強制的に取られているが、介護認定値が非常に個々により大差があり、信用性が低い。
- ・介護認定を適正にし、介護サービスは必要なところに必要なだけ、そして保険料を正しく有効に使ってほしい。
- ・介護保険を受けている人の見直しも必要ではないか。
- ・事業所の職員が不足しているので、市が資格取得を後援するなど支援してほしい。
- ・サービス事業者への助言・指導の強化とともに、サービス内容の検討もお願いしたい。
- ・経営面・サービス面で介護保険サービス事業者へ、介入・指導してほしい。介護保険サービスの内容の情報をインターネットで入手できるようにしてほしい。
- ・介護ボランティアをした人にポイント制度を作り、後に介護される立場になった時、利用できるようにする。(3)

4 介護者について

- ・ショートステイをお願いして私自身のリフレッシュをしているが、腰痛になったときが不安。
- ・認知症の受け入れ先が少なく、介護に疲れている。
- ・できる限り介護に対する支援に力を入れてほしい。

5 経済的負担について

- ・各種税金が高い、国民年金が少ないなど。(15)
- ・介護保険料、サービス費用が高い。(13)
- ・医療費負担が大きい。負担は1～2割までにしてほしい。(6)
- ・バスなど交通費への助成をしてほしい。(6)
- ・医療費など、何でも無料にする必要はないと思う。(2)
- ・福祉の充実が望むが保険料の値上げは無理なので、ほどほどの充実でやるしかないのでは。
- ・上を見ればきりはないし、下を見ればきりはない。ほどほどで良い。
- ・働ける場があるとよい。
- ・市内施設等が、70歳以上有料になった事により、市財政にどのような有益があるのか疑問。
- ・介護を受けている人、介護をしている人への支援を厚くしてほしい。一部の人しか利用できない老人クラブ、生涯大学等は原則自己負担にしてほしい。介護保険料、医療費がこの先、上昇し続けるのかと不安。
- ・身体の不自由な人が市の紹介でマンションに入居したことについて、家賃などは市が助成しているのか。

6 住まいについて

- ・ 市営住宅を増やしてほしい。
- ・ 健康な 70 才以上の独身者の住居を確保してほしい。
- ・ 家賃が高い。安心して暮らせる場所で夫婦で暮らしたい。
- ・ 低額で入れる老人ホームなどの施設を整備してほしい。(6)
- ・ 希望する者に応えられる施設を増やしてほしい。
- ・ 低料金の老人ホーム、公立高齢者住宅を増やしてほしい。

7 情報提供・相談について

- ・ 介護保険、保健、医療、福祉サービス等の情報提供を充実してほしい。(11)
- ・ 介護保険等についての説明会があるとよい。(2)
- ・ 高齢者が利用できる施設の地図などがあるとよい。(2)
- ・ 広報等に情報を数多く載せてほしい。(2)
- ・ 介護施設、事業者等の情報、民生委員の活動情報を公開してほしい。公共性の高い特別養護老人ホーム等の増設、拡充を。
- ・ 高齢者だけで住んでいると何も情報が伝わらないので、75 歳以上の人に訪問調査をするなどわかりやすく情報を伝えてほしい。
- ・ ひとり暮らしの高齢者に対し、高齢者施設情報を適宜知らせしてほしい。
- ・ 誰にでもわかるように書いてほしい。松戸市は後期高齢の言葉は使わないでほしい。
- ・ わかりやすい説明書を配布してほしい。
- ・ 年間の税金でも本人に関わることは連絡してほしい。
- ・ 自治会等の情報提供がほしい(当自治会に入会している家庭は約半分。東京 23 区を見習ってほしい)。
- ・ 保険証の交付等制度に関わるものは、もう少しわかりやすく無駄がないようにしてほしい。
- ・ 気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい。
- ・ 地域の中で、ここに行ったら第一歩の相談ができるという場所があるとよい。
- ・ 福祉課担当の方の訪問があり、相談しやすい。
- ・ 地域の老人クラブを通して、医療介護の相談を受けやすくなるとよい。
- ・ 万一の時、相談できる所や人等が身近にあると心強い。
- ・ 相続に関するノウハウを相談できる窓口を設けてほしい。
- ・ 市役所の相談窓口と受け入れ施設の充実をお願いしたい。
- ・ 高齢者福祉課へ電話しても混線することがあるので、多発傾向の時には臨時的に電話口を増やすなど対応してほしい。

8 将来について

- ・ 現在は健康で、将来のことはわからない。できるだけ頑張っていきたい。勉強していきたい。(13)
- ・ 現在は元気だが、将来のことが不安である。(7)
- ・ 将来ひとり暮らしになるようになった時、安心して生活できる施設、相談できる場所が身近にあったらよい。
- ・ 成人に今から老後の事を考え計画的な設計をするように願いたい。

9 生きがい等について

- ・ 図書館、パソコン教室の充実を。
- ・ 放送大学の認証資格取得類似の学習項目が行政指導のもと行われているが、今少しハイレベルでアカデミックな内容にしてはどうか。

- ・ 図書館内でゆっくり読書できるスペース（机・休憩室）がある充実した図書館の設置を望む。
- ・ 好きな趣味（新舞踊）にのめり込んでいる。
- ・ 友達とカラオケするのが楽しみ。
- ・ 市民サービスの向上、楽しいイベントの提案を。
- ・ 同世代の人などが気楽に集まれる場所がほしい。
- ・ だんだん遠出はできなくなったので、近くの方々の集まり（共の会）などに出るようにしている。
- ・ マンション住まいになり、サークルに加入したり、人と交流して楽しく暮らしている。
- ・ 50 歳になったら老後の対策を考えておく指導を行う（できれば中、高校くらいから）。高齢者が気軽に出入りできる集会所のような施設を作り引きこもらないようにする。声かけ運動をする。
- ・ 高齢化している環境の中で、町内会を発展させたサークル設立が有効だと思う。
- ・ 市の仕事の大部分は、「再雇用組」が現役時の半分くらいの給与でできると思う。
- ・ 現在は健康で、仕事をがんばっている。
- ・ プライドを捨て、仕事も趣味の一つと考え楽しく働く（健康の証）ことが長く勤められる秘訣。50 歳を過ぎたら、第二の人生の準備をすることが大切なのではないか。
- ・ 高齢者が元気であるうちは努めて就労する機会を与える
- ・ 60 歳代だが、まだまだ社会に貢献したり（ボランティア等）働いたりしたいのだが、情報が少ない。
- ・ 市が働く場を提供すべき。
- ・ 本人の意思に基づく活動を活発にすべき。またそういう自発的団体にこそ助成をすべき。
- ・ ボランティア活動に参加する以前に学習が必要な場合があるので、事前学習の機会を作りたい。
- ・ 町会役員は農家の方が仕切っており、心の優しさがまったくない。明るく楽しく住みやすい場所にしてほしい。
- ・ 介護サービスの仕事などは、地域で助け合っていくべきだと思う。

10 まちづくりについて

- ・ 選挙の時、高齢者が市バスを利用できるようになれば投票率も上がるのではないかと。
- ・ 市内細部にバスを走らせてほしい。
- ・ 夜の自動車の無灯をなくしてほしい。
- ・ 道から歩道に車が入るところは、スロープが急なところがある。
- ・ 道路舗装工事の際、人の歩く場所が車道より斜めに下がっていて危ない。
- ・ 歩道が狭い（特に馬橋駅付近は歩道が全くないところもある）。狭い歩道を商売のため占領しているところもある。
- ・ 歩道と車道の段差が気になる。
- ・ 鉄道駅、公共施設等へのエレベーター、エスカレーター、多目的トイレ等の設置など施設整備を充実してほしい（松戸駅、北小金駅、六実駅、新八柱駅、病院、図書館、森のホールなど）
(9)
- ・ 馬橋駅東口にバスが停車しているため土地を確保してほしい。
- ・ 歩道の適当な場所に一時的に腰かけられる施設がほしい。
- ・ 常磐線松戸駅前に水飲み水道や、体を休めるための椅子を設置してほしい。

11 アンケート調査について

- ・ このアンケートは、どのような生活をしているか 制度、行政の具体的なことを知っているか あなたは何を行政に望むか の3つに絞った方がよかったと思う。

- ・ 質問がわからないところがあった。
- ・ 転居してからまだ日も浅く、市に関する詳細な事は不明の点多いのでアンケートの内容も把握していない。
- ・ 介護について（保険サービス）その他の回答になる事が多かった。
- ・ 問 29 について、国の機関でやっているサービスなのか、県や市が主体で運営されているのか、具体的なことがわからない。
- ・ このアンケートは家族に対してがほとんどで、一人暮らしの我が身にはあまり関係がないようだ。
- ・ 実際に利用できるようになったら、もっと詳しい意見が言えると思う。
- ・ 今回のアンケート調査で、市の施策等知らないことが多いことに気がついた、勉強になったなど。(9)
- ・ アンケート結果が活かされ、実際に行われているのかどうか。
- ・ 書きたいこと、言いたいことはたくさんあるが、書いてもどうなることでもない。

12 その他

- ・ 介護サービス従事者、施設、市等への感謝の念。(7)
- ・ 実感がない、よくわからない。(3)
- ・ 形式にとらわれすぎず、社会でのびのびと生きさせてほしい。

若年者

1 高齢者施策全般について

- ・ 高齢者が安心して生活できる市になってほしい。
- ・ 年金で生活している高齢者が、金銭的にも精神的にもゆとりある生活ができるシステムにしてほしい。
- ・ 高齢になっても尊厳をもって暮らしていけるシステムやボランティアの活用など工夫してほしい。
- ・ アンケート結果が公表されていない(前回)、『いきいき安心プラン』が十分に説明されていない。地域の自治会との連携がとれていない。
- ・ 健康な人もそうでない人にも平等に色々なサービスを考えるのが、市としての役目ではないかと思う。
- ・ 税金の無駄遣いをせず福祉サービスを充実してほしい。歩道の整備の充実。高齢社会を充実させるためには、子どもたちへの福祉の充実が必要。八柱霊園のような大規模な市営霊園が必要。高齢社会に対し、市が対応している内容が分かりづらい。
- ・ 互いに助け合うという意識を根付かせることと、それを実現するためのリーダーシップを行政に期待したい。
- ・ ケア施設等、本当に困っている人のためにも、福祉の補助金等の不正受給へのチェックを厳しくしてほしい。
- ・ 病気等で困っている人のためになる市に期待する。
- ・ 高齢者に優しい街づくりを目指すなら、まず公共設備と道路(歩道)の整備、街中の汚れた場所、不良が集まりやすい環境を排除し、オープンで明るいスッキリした街づくりをしてみてもどうか。
- ・ 村八分のようなものをなくす活動をしてほしい。
- ・ 高齢社会の現状もわかっているが、子育て世代のサービスの検討もお願いしたい。
- ・ 全国的に少子高齢化が進んでいるが、結婚しない男女、結婚できない男女の救済策、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを希望する。
- ・ 窓口は心のこもった対応をしてほしい。

2 健康・医療について

- ・ 新松戸にも健康施設を増やしてほしい。
- ・ 認知症患者がこれだけ増えているにも関わらず、適切な治療のできる医者や医療機関が少ない。

3 介護保険サービスについて

- ・ 施設や高齢者住宅が増え、利用する人が増えていることが、本来の介護保険導入の目的とのずれが生じている。在宅介護者に対する支援を増やしてほしい。医療と介護の線引きがはっきりしていない。自立支援に力を入れてほしい。要支援に対してのサービスが増えた事により、介護度の重い人に対してのサービスが困難になっているように感じる。
- ・ 介護制度を利用させてもらう時が来た時、わかりやすく気軽に相談できて、高齢者すべてに公平に受けられるようにしてほしい。広報などにも常時、色々なお知らせを載せてほしい。
- ・ 目や足が不自由な老人が病院に行く場合でも介護保険が使えず、少ない国民年金の中からタクシー代を支払わなければならないと困っています。介護保険料を支払うのみで、上手に利用している人にばかり流れているのはどうしてか。
- ・ 何年か前までは要介護1でも補助金が出ていたそうだが、できれば復活してほしい。
- ・ サービス利用の申し込みを簡単にできるようにしてほしい。

4 経済的負担について

- ・介護保険料が健康保険料に含まれているので、自分がいくら払っているかわからない。
- ・年金生活者に対して税金、社会保険料が高すぎる。
- ・高額所得者からの税収を高くしてほしい。

5 住まいについて

- ・宿泊できる施設をつくってほしい。
- ・特別養護老人ホーム、軽費老人ホームなどが不足している。介護保険料制度などを利用するためには、内容がとても難しい。

6 情報提供・相談について

- ・介護に関して知らないことが多いので、もっと情報がほしい。もっと安く利用できる施設を増やしてほしい。歩道の改善を。
- ・松戸市における福祉サービスは何が行われているのか、どこへ行けばわかるのかわからない。
- ・松戸市の病院などに、介護等についてのパンフレット等を置いてほしい。
- ・情報をわかりやすく伝えてほしい。

7 将来について

- ・いずれ介護が必要になるかもしれないので、勉強していきたい。(4)
- ・介護が必要になったら相談したい、そのときに検討したい。(2)
- ・松戸市は病院、施設等のベッド数も少なく、これから色々な施設を利用でき安心してできる人生を過ごすことが希望である。
- ・子どもには自分の人生を大切にしてほしいので、自分は老後、一人で生活していても充実したサービスが受けられればと思う。

8 生きがい等について

- ・ウォーキングなどができる歩道、街路樹、市民プール(温水) 水中歩行できるレーンを増やしてほしい。図書館の本を充実してほしい。老後に向けてためになる講座、生涯学習を充実してほしい。介護予防、認知症についての情報を知りたい。
- ・高齢者と子どもたちがふれあえる場所、機会を増やしてほしい。
- ・高齢になると家に閉じこもりがちになるので、おしゃべりしたり楽しく過ごせる場所があるといい。
- ・高齢の方でも仕事をしたいと思っている人も多いので、活躍できる場を考えるとよい。
- ・シルバー人材センターの活動を市の広報などで知らせてほしい。シルバーで女性がボランティアでできることを増やしてほしいです。
- ・実際に介護を受けるのはまだ先だが、積極的に地域の支援活動に参加できればと思う。

9 まちづくりについて

- ・高塚新田は施設がほとんどなく不便。バスの路線を変えてほしい。
- ・未だに側溝が塞がれていなかったり、歩道が狭かったり、段差があったり、車椅子の移動が困難と思われる箇所が多々ある。バス便もない。
- ・車椅子で誰もが自宅から郵便局に年金をおろしに行けるような街づくりをしてほしい。乳母車のお母さんの生活も楽になる。
- ・六実駅の高架化など考えてほしい。
- ・駅周辺の放置自転車は、係員が見ている時間帯の平日午前中以外は多く通行の邪魔になってい

るので、車椅子や杖を使用しながらは通ることができない。

- ・ 色々な場所にベンチなどを置いて、高齢者が外へ出やすい環境づくりをしてほしい。歩道を改善してほしい。
- ・ 馬橋駅とバス停が遠く不便。駅前の買い物など、生活も不便。

10 アンケート調査について

- ・ アンケートのボリュームが多すぎる。回答協力した人への反対給付が必要（せめてアンケート結果の分析を返送するなど）。
- ・ 丸を付けただけでは十分に答えられない質問もあった。というのは、自分の希望だけではないことと、介護保険サービスの内容をあまり知らないので、その費用の負担の増減もサービスの内容によるからである。
- ・ アンケートが届いたことがきっかけで、ちょっとは考えるようになると思う。

在宅要支援認定者

1 高齢者施策全般について

- ・ 昔の世の中は、お互いに助けあっていた。
- ・ 近所の在宅の方へ、近所に住む者として、会う度に声をかけたり、立ち話でもするように心がけている。
- ・ 歩くことのできる道路環境など、健康管理にも部署を越えた知恵を働かしてほしい。
- ・ 歩道のでこぼこが多く、照明が暗くて歩きにくい。
- ・ 生きがい事業団に掃除、庭などやってもらい、介護保険でできないところをお願いしてやっていきたい。
- ・ 目の見えない人に対するサービスを作ってほしい。
- ・ 松戸市立病院の早期再建、松戸駅（とくにトイレ）構内の清浄を。

2 介護保険サービスについて

- ・ すべての病院で介護保険を適用できるようにしてほしい。
- ・ 福祉の精神にのっとり、軌道修正・改善等されるべき点は改良を加えられつつ、本介護制度の今後ますますの充実・発展に期待する。
- ・ 介護保険制度について、一般市民にもっと根本的に内容を説明する必要があると思う。
- ・ デイサービスの食事がおいしくない。
- ・ ホームヘルプの時間延長、買い物するサービス、配食の味等の向上、話し相手など。
- ・ 紙おむつを支給してほしい。
- ・ 1ヶ月に1回来ていただいて、相談をしたり、お手伝いをしてほしい。
- ・ 介護者が病気・ケガ等、緊急に介護ができなくなった時、安心できる場がほしい。
- ・ 急病の時、介護所やシルバーの方でもお願いできる所（私費でも）を作ってほしい。
- ・ 家族のストレスも溜まり、トラブルもあり、このまま母の症状が進むと自宅介護がいつまでできるか不安の毎日なので、週3回くらいの通所を希望する。
- ・ 要支援者へのサービスの制限が多い（福祉用具、送迎、リハビリ、通所介護など）。(5)
- ・ 飲む薬でなくともヘルパーが買ってきてくれないのは、自由のきかない者には非常に困る。
- ・ 特別養護老人ホームを増やしてほしい、入所できるようにしてほしい。(3)
- ・ 安く面倒を見てもらえるような場所ができるとよい。
- ・ 入所施設をつくってほしい。
- ・ 脳梗塞、心筋梗塞のある人は認定が軽いように見える。
- ・ 要支援2以上になれないので、痛くても我慢して生活している。
- ・ ホームヘルパーの質の向上を望む。(2)
- ・ 介護職の報酬が低すぎる。
- ・ デイサービスへの指導を強化してほしい
- ・ タクシー、介護タクシー利用への援助をしてほしい(4)
- ・ 歩行が困難になったとき、通院を介助してほしい。
- ・ 色々な申請を出しても処置が早くなった。
- ・ 今後も介護保険サービスを継続したい。
- ・ 経験しながら理解を深めていきたい。

3 介護者について

- ・ 介護について相談できる場、介護者同士が交流できる場がほしい。(2)

- ・ 介護している家族の負担が大きい。(2)
- ・ 家で介護している者がもっと報われる社会ができるとうい。

4 経済的負担について

- ・ 年金からいろいろな費用を差し引くのはやめてほしい。
- ・ もう少し弱者の身になって介護保険料を少なくしてほしい。
- ・ 院内介護のため時間を要するため、費用が相当かかっている。

5 住まいについて

- ・ 民間の借家なので料金高額のため、公共的な住宅（市営・公営）に入りたい。
- ・ 低額介護有料老人ホームの提供を。

6 将来について

- ・ 週2回ヘルパーに助けていただいてなんとか主人の介護をしている。
- ・ 今のところ自分の事はできているが、今後体調を悪くした時の事が心配。

7 アンケート調査について

- ・ 調査内容が難しい、多い、大変。(2)
- ・ 全員でもっと疑いをもたれないアンケートの出し方について検討してほしい。
- ・ アンケート結果を自分たちの都合のよいように利用しないでほしい。

8 その他

- ・ 介護サービス従事者、施設、市等への感謝の念。(5)
- ・ もう十分生きた。尊厳死に賛成。

在宅要介護認定者

1 高齢者施策全般について

- ・ 老老介護の中、市の支出を増やしてほしい。
- ・ 他の施策に優先して高福祉を充実してほしい。
- ・ 地域の中で、顔見知りの年寄りたちが集まり、泊まり、通える場所、また、子どもたちとふれあえる施設を作りたい。
- ・ 一人暮らしの場合の安全確認する方法の早急なる確立。

2 介護保険サービスについて

- ・ 無駄な出費をおさえて充実した介護保険が持続するように望む。
- ・ 保険料を納めれば介護が受けられる、充実した制度を望む。
- ・ 介護保険制度の改正に伴いよくなったことがない（デイサービスの食事の実費負担など）。
- ・ 訪問介護など利用時間を増やそうと思うと、税金の無駄遣いになってしまう。介護保険制度に一考を要する。
- ・ 介護のことは言っても通らない。
- ・ 介護保険の申請から利用まで3か月以上かかった。
- ・ 急用の時にショートステイを利用したい。(4)
- ・ ホームヘルプなどサービスの適用範囲がどこまでかわからない・ 広げてほしい。(3)
- ・ 同居家族がいても利用できるサービスの制限を緩和してほしい（配食サービス、ホームヘルプサービスなど）。(3)
- ・ 今まで利用できたサービスが利用できなくなり、介護者に負担がかかる。(2)
- ・ 介護保険サービスの利用にあたり制約が多い・ 緩和してほしい。(2)
- ・ 本人の食事（給食センターの条件等）を拡大してほしい。
- ・ 些細なことをお願いする場所があると嬉しい。
- ・ 年齢が若い認知症の人たちが通所できる場所がない。
- ・ 予防中心のサービスが多く、介護が必要な時はサービスが受けられない。
- ・ デイケアでのリハビリをしっかりと指導してほしい（お客様扱いでなく）。
- ・ ショートステイの施設と自宅が近いと安心感がある。
- ・ デイサービスの時間を延長してほしい。
- ・ おむつの補助の引き替え薬局を増やしてほしい。
- ・ ホームヘルプの時間が短い（利用時間の中に日報を書く時間が含まれている）。
- ・ 病気（骨粗鬆症など）によって散歩を認めてほしい。
- ・ 目が見えない人にも楽しく暮らせるようにしてほしい（デイサービスなど）。
- ・ 1日10時間位までデイサービスを利用できるようにしてほしい。
- ・ 吸引用器具が一般レンタルか自費購入であることや、検査用入（退）院時の移送費に介護保険が利用できないなど、制度のあり方がおかしい。
- ・ リハビリ施設、リハビリのみの通所施設の充実を希望する。
- ・ デイサービスからそのままショートステイができるようなところを望む。
- ・ 紙オムツの支援があるといい。
- ・ 介護が必要になったときなど、老人ホームなどがあるとよい。(6)
- ・ 特別養護老人ホームを増やしてほしい。(3)

- ・寝たきりなので老人ホームでは受け入れてもらえず、病院ももう少し長くみてほしい。
- ・老人ホームから出ることになった時、他の施設や病院へスムーズに移れるのかどうか、また、在宅での生活がかなうかどうか。
- ・2～3世帯がある程度のプライバシーを守れる120平方メートルの住居をスタンダードとしてほしい。
- ・自宅介護が無理になった時に、安くてサービスが行き届く所（施設等）がほしい。
- ・介護認定の不公平、他市との格差を是正してほしい。
- ・認知症などの介護認定が適切でない（軽い）。
- ・認知症に比べ、体が動かしにくい人などの認定を重く考えてほしい。
- ・介護認定結果について十分な説明をしてほしい。
- ・ホームヘルパーの育成、質の向上に力を入れてほしい。(4)
- ・施設の衛生面がよくない、スタッフも知識不足、人材不足。
- ・介護認定調査員の教育、指導を徹底してほしい。
- ・グループホーム職員の知識不足に対し、市からの講座を設けるなどの対応をしてほしい。
- ・介護担当職員は経験がある方が一番よい。
- ・事業所で介護職員の不足、ケアマネの不足、募集しても人が集まらないとの話をよく聞く。
- ・利用する人の立場に立った窓口対応などすべての面で考えてほしい。
- ・市立病院の医師で、認知症の患者や家族の気持ちを理解できてない人がいる。
- ・職員の態度、その言葉が幼児に対するもので嫌だった。
- ・介護に従事している人の賃金の上昇、待遇の向上が必要である。(5)
- ・介護支援事業所が、サービス利用の限度額までサービスを使わせるようなプランを立てている感じがする。
- ・サービス利用者の個人情報漏れないようにしてほしい。
- ・介護タクシーを利用しているが、病院の送迎だけでなく他の外出も保険サービスが受けられたいと思う。
- ・ふれあい22へ行く介護タクシーの利用料金を少し安くしてほしい。
- ・歩行困難の人にはタクシー券を配布してほしい。
- ・散歩等、ヘルパーに付き添ってもらいたい。
- ・ひとり暮らしのため、外出への支援など、もう少し町内の人々の理解がほしい。
- ・通所リハビリをしたいので送迎を頼みたい。
- ・人工透析の通院時の交通費が大きな負担となっている。
- ・通院等だけでなく、リハビリのためにプールへいくときにも送迎をしてほしい。

3 介護者について

- ・介護者のストレス解消、リフレッシュ、精神的ケア、心身の負担軽減、経済的負担の軽減ができることよい。(14)
- ・本人により適したサービス内容の希望など、老老介護だと介護者自身が考えるのは難しい。
- ・介護者が相談できたり、悩みを共有できる場があるとよい。
- ・介護をしてあげても受けている本人は少しもすまないという態度を見せず、辛く悲しい。
- ・自分の体を休ませているつもりだが、今は頑張るしかない。私が倒れたら主人が悲しむと思う。

4 経済的負担について

- ・費用が段階制的になる施設がほしい。
- ・おむつの支給を、本人に対して非課税の者にもう少し多く支給が受けられたら助かる。
- ・実費分（食費）の負担が大きい。利用時間を選べるようになると便利と思う。
- ・家族の介護について、介護保険上の手当、税制上の優遇など、利用者の立場に立った工夫が必要である。
- ・電動車いすの利用料、ケアマネジャーへの支払いが高い。
- ・自己負担を少なくして、良いサービスが受けられるようになることを望む。
- ・借家生活のため本当に困っている人などは、優先して公営や市営の住宅に住めるようお願いしたい。
- ・介護保険料を安く見直してほしい。
- ・各人が介護保険料を支払う方法にすれば誰も保険料など支払いしないと思う。介護保険制度を根本から見直すべきと思う。
- ・老人ホームなど高い。税金を支払っている人たちがもう少し全員、平等にサービスを利用できるようにしてほしい。
- ・介護保険にかかる金額が高い。
- ・松戸市紙オムツ支給券では足りなく、オムツ代が大変である。
- ・ベッドが必要だが高く買えないため、介護の方で年金から天引きで援助できるとよい。

5 住まいについて

- ・公団の3階への昇り降りが大変なので外出はあまりできない。
- ・団地のため、1、5、7階しかエレベーターが止まらず移動が難しい。

6 情報提供について

- ・最近の介護保険制度は複雑でよくわからない。
- ・紙おむつの支給、通院のためのタクシー等々、情報が不足している。
- ・認知症についての知識を知りたい。
- ・安心して預けられるショートステイ等の指導、施設の情報がほしい。
- ・費用総額の負担割合がわからない。
- ・介護タクシーの内容、利用料金がよくわからない。
- ・アルツハイマー病の要介護者への対応方法がわからない。
- ・アンケートにより、介護を受けながら内容を承知していないことがわかった。
- ・送られてくる様々な資料について、家族のいない高齢者だけの家庭では理解できないのではないか。

7 将来について

- ・現在は介護できているが、将来のことが不安である。(9)
- ・介護人も要支援2なので、老老介護になり急変された時にはとても大変である。
- ・一人でケアハウスに入居しているが、膝の手術など心細い。
- ・老人にとって不都合なことの多い方へ進んでいるようで不安。

8 アンケート調査について

- ・ 調査内容が難しい、入居者等の状況にあっていない。
- ・ 本人が認知症のため、代理で回答した。(2)
- ・ 本調査に不記載の点多々あるが、色々ご配慮いただきありがたい。
- ・ 介護を受ける本人、介護をする人、介護間近な一般の人、これらを混同したアンケートのように思える。計画を立案し、事業計画をたてるのみでなく、困った人にいつでも職員を派遣できる体制があればそれでよい。
- ・ 遅くなり申し訳ございません。

9 その他

- ・ 介護サービス従事者、施設、市等への感謝の念。(11)
- ・ 家では子ども孫まで一丸となって一緒にできるだけ話して暮らしており、今まで大変な人生を送ってきた人だからと思えば平気だし、これが子ども・家族の役目だと思っている。
- ・ 人工膝、要介護2、身体障害者4級第2種、慢性関節リウマチによる機能障害で現在に至る。

施設サービス利用者

1 高齢者施策全般について

- ・誰もが簡単に安心して生活、利用できる介護福祉を。
- ・家族の承諾なしで、治らない患者を延命治療していくことは家族に大きな負担となり、精神的にも困難がある。

2 介護保険サービスについて

- ・介護保険を有効に使ってほしい。
- ・市民が老後を安心して生きていくためであれば、何回も見直してもらっていいと思います。
- ・3か月毎に他の施設に移らなければならない仕組みがよくわからない。
- ・療養型病院での介護（入浴、声かけなど）を改善してほしい。
- ・入浴を週2～3回にしてほしい。
- ・特別養護老人ホームなど、認知症とそうでない人との区別をした部屋にして、食事なども別にしてほしい。
- ・施設のクオリティのチェックは市の方でやっているのか。
- ・もっと身近に、短期間ごとに状況・不安等を聞いてほしい。介護に関して役所から届く書類内容に難しい言葉が多くてわかりにくい。
- ・特別養護老人ホームに入所でき、施設の方々が教育されていて、介護のプロであると同時に人間として愛情深いのが何よりである。
- ・特別養護老人ホームに入るまでに時間がかかりすぎる。(3)
- ・松戸に介護保険施設が6ヶ所しかないので増やしてほしい。
- ・松戸には介護療養型施設が3病院しかないのもっと多くの病院の門が開くことを希望する。
- ・認知症と成人病をかかえた高齢者が住みやすい施設に入所できたら嬉しい。
- ・手足の不自由な人より、認知症の人の方が介護度が低いように感じる。
- ・施設で働いている人の人数が少ない。
- ・介護士さんに明るい仕事状態が与えられるようにしてほしい。それが介護される者も親切にされることだと思う。

3 経済的負担について

- ・住宅事情により、要介護度によって金銭面で非常に難しい。
- ・病院へのタクシー代が大変。
- ・居住費や食費が他の施設より高い。
- ・胃ロウのため介護老人保健施設の個室になるため費用がかかり、特別養護老人ホームにも入れないので支援してほしい。

4 将来について

- ・今後のことを心配せずに暮らしたい。
- ・身体が不自由、脳に障害があり、施設でないと生活できない。

5 アンケート調査について

- ・（本人でないと）答えられない質問がある。(2)
- ・本人が認知症のため、家族の者がわかる範囲で書いた。

資料 アンケート調査票

問4 今後、健康を維持するためにどのようなサービスを使ってみたいと思っていますか。(3つまでに)

- 1. 定期的な健康診断
- 2. がん検診
- 3. 歯の健康に関する相談
- 4. 食事や栄養バランス等に関する相談
- 5. 運動ができる場や機会等に関する情報提供
- 6. 禁煙に関する相談
- 7. 地域での自主的な健康づくり活動への支援
- 8. 健康づくりについて学ぶ場の提供
- 9. 使ってみたいサービスはない

問5 健康維持や介護サービスに関する情報はどこから得ていますか。(3つまでに)

- 1. テレビ、ラジオの番組
- 2. 新聞、雑誌
- 3. インターネット
- 4. 市の広報紙、パンフレット等
- 5. 市の相談窓口
- 6. 病院・診療所
- 7. 自宅に訪問してくれる保健師・看護師等
- 8. ケアマネジャー
- 9. 民生委員
- 10. 家族
- 11. 友人・知人
- 12. その他 (具体的に:)

問5-1 今後どんな情報を必要としていますか。(3つまでに)

- 1. 健康づくり
- 2. 介護保険
- 3. 福祉サービス
- 4. 医療
- 5. 住まい
- 6. ボランティア・地域活動
- 7. 趣味・娯楽・生涯学習
- 8. 仕事
- 9. 年金
- 10. 税金・資産運用・相続
- 11. その他 (具体的に:)

問6 日常生活の中で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに)

- 1. 外出の際の移動手段
- 2. 日々の買い物
- 3. 日々の料理
- 4. 日々のゴミだし
- 5. 日々の掃除、洗濯
- 6. 日々の入浴
- 7. 庭の手入れ
- 8. 医療機関が近くにない
- 9. 財産やお金の管理
- 10. 新聞や雑誌の文字の読み取り
- 11. 電化製品の扱い方
- 12. 衣類の出し入れ
- 13. ペットの世話
- 14. 自分の欲しい情報が得られない
- 15. 特に困っていない
- 16. その他 (具体的に:)

問7 現在、生活の中で不安になったり、心配になったりすることはありますか。(1つに)

- 1. ほとんどない
- 2. あまりない
- 3. ときどきある
- 4. よくある

〔問7で「3」または「4」と答えた方にお聞きします。〕

問7-1 次にあげた項目のうち不安になったり、心配になったりするのはどんなことですか。(あてはまるものすべてに)

- 1. 自分の体調や病気について
- 2. 家族の病気について
- 3. 自分や身近な人が寝たきりや認知症になったときの介護について
- 4. 現在の生活や家計について
- 5. 将来の自分の暮らしの先行き(生活設計など)について
- 6. 家庭や家族について
- 7. 子育てについて
- 8. 住居や住まいについて
- 9. 財産や資産について
- 10. 仕事について
- 11. 人とのつきあいについて
- 12. ところのハリや生きがいについて
- 13. その他 (具体的に:)

〔問7で「3」または「4」と答えた方にお聞きします。〕

問7-2 不安になったり、心配になったりしたとき、だれかに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(あてはまるものすべてに)

- 1. 家族・親族
- 2. 友人・知人
- 3. とり近所の人
- 4. 民生委員
- 5. 市役所・保健福祉センター
- 6. 県の窓口(保健所など)
- 7. 在宅介護支援センター
- 8. 地域包括支援センター (市内に3ヶ所あり、保健師や社会福祉士などの専門職がいる保健・福祉・医療等の総合相談窓口)
- 9. 病院や診療所等の医師等
- 10. その他 (具体的に:)
- 11. 相談したりする人はいない (市内に11ヶ所ある身近な地域での高齢者に関する総合相談窓口)

問8 あなたは、日頃、隣近所の方との程度の付き合いをしていますか。(1つに)

- 1. 訪問し合ったり、悩み事を相談したりする人はいる
- 2. 世間話や立ち話をする程度の人はいる
- 3. 顔を合わせれば、あいさつをする程度の人ならいる
- 4. ほとんど付き合いはしていない

問9 日ごろ、どのような目的で外出していますか。(あてはまるものすべてに)

- 1. 買い物
- 2. 仕事
- 3. 医療機関への通院
- 4. 家族や友人の家などを訪問
- 5. 外食
- 6. 旅行
- 7. 趣味・余暇活動
- 8. ボランティア活動や地域活動
- 9. 散歩
- 10. 預貯金の引き出し等(金融機関)
- 11. その他(具体的に:)
- 12. 外出できない 問10へ (理由を具体的に:)

〔問9で「1~11」と答えた方にお聞きします。〕

問9-1 日ごろ、どの程度外出していますか。(1つに)

- 1. ほぼ毎日
- 2. 週に1回以上
- 3. ほとんど外出しない

〔問9で「1~11」と答えた方にお聞きします。〕

問9-2 あなたは日ごろ、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに)

- 1. 自分で自家用車を運転する
- 2. 家族が運転する自家用車に乗せてもらう
- 3. 家族以外が運転する自家用車(タクシーを除く)に乗せてもらう
- 4. タクシーを利用
- 5. 施設の送迎バス等を利用
- 6. 路線バス、電車を利用
- 7. 車いすを利用
- 8. 自転車、バイクを利用
- 9. 徒歩
- 10. ボランティア等による福祉有償輸送サービス
- 11. その他 (具体的に:)

〔問9で「1~11」と答えた方にお聞きします。〕

問9-3 今以上に外出したいですか。(1つに)

- 1. 今以上に外出したい
- 2. 今のままでよい
- 3. わからない

〔問9-3で「1」と答えた方にお聞きします。〕

問9-4 今以上に外出するためには、どのような援助があればよいですか。(あてはまるものすべてに)

- 1. 金銭的負担の軽減
- 2. 介護者の派遣など介護者の負担軽減
- 3. リフト付き車両の普及
- 4. 道路等の段差解消(バリアフリー化)
- 5. その他 (具体的に:)
- 6. 特にない

暮らし向きや各種活動への参加についておたずねします。

問10 あなたは、自分自身のふだんの生活の中でどの程度ゆとりがあると感じていますか。時間的なゆとりと経済的なゆとりをわけてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに)

	かなりある	まあまあある	あまりない
(1) 時間的なゆとりはありますか。	1	2	3
(2) 経済的なゆとりはありますか。	1	2	3

問11 あなたは、現在、以下のような活動に参加していますか。(3つまでに)

- 1. 自分の趣味や教養をみたくための活動
- 2. スポーツ・レクリエーション活動
- 3. ボランティア(社会奉仕)活動
- 4. 地域の自治会活動
- 5. PTA活動
- 6. 老人クラブ活動
- 7. 子ども会活動
- 8. 婦人会活動
- 9. 商店会などの活動
- 10. その他(具体的に:)
- 11. 特にしていません

〔問11で「11」と答えた方にお聞きします。〕

問11-1 特にしていないのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに)

- 1. 仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから
- 2. 時間をとれないことはないが、時間があれば体費などにあてたいから
- 3. 参加したいと思う活動がないから
- 4. 団体活動はわずらわしいから、一人でできる趣味などがあるから
- 5. どんな団体やサークル活動があるのかわからないから
- 6. 職場などでサークル活動などに参加しているから
- 7. 健康や体力に自信がないから
- 8. 地域の活動には関心がないから
- 9. その他()

問12 問11のこうした活動の中で、今後参加したいことは何ですか。(あてはまるものすべてに)

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. 自分の趣味や教養をみたくための活動 | 7. 子ども会活動 |
| 2. スポーツ・レクリエーション活動 | 8. 婦人会活動 |
| 3. ボランティア(社会奉仕)活動 | 9. 商店会などの活動 |
| 4. 地域の自治会活動 | 10. その他 |
| 5. P T A 活動 | (具体的に:) |
| 6. 老人クラブ活動 | 11. 特になし |

問13 あなたは、以下のようなボランティア活動に参加してみたいと思いますか。(それぞれあてはまる番号1つに)

	積極的に参加したい	参加したい	参加したらい	あまり参加したいと思わない	参加したくない	わからない
ア 保育、子育て支援など子どもの福祉に関すること	1	2	3	4	5	
イ 障害者の福祉に関すること	1	2	3	4	5	
ウ 保健・健康づくり	1	2	3	4	5	
エ 高齢者の福祉(介護保険を含む)に関すること	1	2	3	4	5	

問14 誰もが地域で安心して暮らしていけるまちづくりという観点から見て、あなたは、市内の状況をどう評価されますか。(それぞれあてはまる番号1つに)

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	わからない
ア 公衆トイレや公共施設内のトイレの使いやすさ	1	2	3	4	5	6
イ 信号機や交通標識の見やすさ	1	2	3	4	5	6
ウ 道路の段差	1	2	3	4	5	6
エ 歩道の幅	1	2	3	4	5	6
オ 公共施設の出入口や階段	1	2	3	4	5	6
カ 駅の出入口や構内	1	2	3	4	5	6
キ まちや施設内の表示(案内)板	1	2	3	4	5	6
ク 公共交通機関の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	6

介護予防についておたずねします。

問15 松戸市では、健診受診後に、介護保険の要支援・要介護状態になるおそれがあると判定された方を対象に介護予防事業を実施していますが、あなたは、下記の事業を知っていますか。(あてはまるものすべてに)

- 運動器の機能向上(ストレッチや有酸素運動、簡易な器具等を使って、運動を行う)
- 栄養の改善(個別での栄養相談や集団での栄養教育を行う)
- 口腔機能の向上(口の中のお手入れや、食べる・飲み込む機能の体操等を行う)
- 閉じこもり予防(家に閉じこもりがちな方に対して、訪問により、生活全般の活性化につながる支援を行う)
- うつ予防(人との交流を図ったり、訪問による心の健康相談を行う)
- 物忘れ予防(全身運動や手先を使った趣味活動、栄養の改善や仲間づくりを通し、身体と心を活発にすることで、脳を活性化させ、物忘れや認知症を予防する)
- いずれも知らない

問16 もし、あなたが介護予防事業に参加するとしたら、必要な条件は何ですか。(あてはまるものすべてに)

- 身近な地域で行われること
- 料金が無料または安いこと
- 一緒に参加する仲間がいること
- 参加した効果が実感できること
- 送迎などのサービスがあること
- 内容について事前にわかりやすい説明がなされていること
- その他(具体的に:)
- どのような条件でも参加したいと思わない
- わからない

問17 認知症は、多くの人がかかる可能性のある病気で、認知症の方やご家族を支える地域づくりが重要な課題となっていますが、あなたは、認知症に関する以下の内容を知っていますか。(それぞれあてはまる番号1つに)

内 容	知っていた	知らなかった
ア 脳の障害によって、記憶力・判断力・理解力が低下する病気で、多くの人がかかる可能性がある。	1	2
イ 原因や状態によっては、早期に発見し適切な治療を受けることによって、症状を軽くしたり、進行を遅らせることができる。	1	2
ウ 何もわからなくなってしまうわけではなく、感情やプライドは保たれるため、本人は多くの不安や混乱を抱えている。	1	2
エ 環境の変化への適応が難しくなるため、住み慣れた家庭や地域の暮らしの中で、生活することが大切である。	1	2
オ 徘徊などの行動には原因があり、無理に抑え込むのではなく、接し方を工夫したり、周りの環境を整えることが大切である。	1	2

問18 認知症の予防には、運動や食事など、生活習慣の改善をはじめとした予防法が考えられていますが、その予防法に効果があるとしたら、あなたは試してみたいと思いますか。(1つに)

- ぜひ試したい
- 内容によっては試したい
- 試したくない
- 特に考えていない

問19 高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度やしくみを知っていますか。(あてはまるものすべてに)

- 福祉サービス利用援助事業(地域福祉権利擁護事業)(認知症等があり必要なサービスを利用するための判断等に支障や不安がある方が社会福祉協議会との契約で、「福祉サービス利用援助」「財産管理サービス」「財産保全サービス」について支援を受ける事業)
- 成年後見制度(判断能力が不十分な方に対し家庭裁判所に申し立てを行い、財産管理やサービス利用の契約などを本人に代わって行う成年後見人等を選任し、支援を受ける制度)
- 松戸市高齢者虐待防止ネットワーク(高齢者虐待の予防と早期発見・早期対応・再発防止を図るために、地域包括支援センターや在宅介護支援センターなどの関係機関が連携して予防のための研修会を開催したり、虐待の相談を受け対応する等の活動を行うネットワーク)
- クーリングオフ制度(訪問販売や電話勧誘販売などで交わした不用品契約を一定の期間内であれば契約解除ができる制度)
- 知っているものはない

介護保険についておたずねします。

問20 介護保険制度についてどの程度知っていますか。(あてはまるものすべてに)

- 原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める
- 65歳以上の方(第1号被保険者)の保険料は、市町村ごとに被保険者本人の所得や世帯の課税状況によって決める
- 介護保険のサービスを利用する場合、まず市に要介護認定の申請をする
- 要介護(要支援)度に応じて、利用できる介護(介護予防)サービスの利用限度額が異なる
- サービスを利用したときは、かかった費用の1割を利用者が負担する
- 利用が必要とするサービスを利用することができる(ただし、要支援の方は「介護予防サービス」のみを利用することができる)
- 介護保険は保険料・利用者の1割の負担金のほかに約半分は税金を財源としている
- 知っていることはない

問21 あなたは、かりに、身の回りのことを自分でできなくなったとき、どこで生活したいと思いますか。(1つに)

- 自宅で在宅介護サービスを受けながら暮らしたい
- 一時的に施設に入っても、最期は自宅で暮らしたい
- 住み慣れた地域で、施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、宿泊できるサービスを利用しながら暮らしたい
- 介護保険等の在宅サービスを利用しながら高齢者向け賃貸住宅に住み替えたい
- 介護付きの有料老人ホームに住み替えたい
- 認知症対応型グループホーム(認知症の高齢者が共同生活を営む住居)に入居したい
- 特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの介護施設に入所したい
- その他(具体的に:)
- わからない

問22 かりに自分の住まいで介護サービスを受ける場合、主にどのような種類のサービスを利用したいですか。(1つに)

- 主に自分の住まいに訪問してもらえるサービスを利用したい
- 主に施設などに通って受けるサービスを利用したい
- 主に施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、緊急時等に宿泊できるサービスを利用したい
- その他(具体的に:)
- わからない

問23 現在または将来、主にあなたが老後の世話をしなければならないと思っている家族などはいますか。(1つに)

1. いる
2. 家族などはいるが、自分が主に世話をしなければならないかどうかはわからない
3. 自分が主に世話をしなければならない家族はいない
4. その他 ()

問24 あなたは、かりに、家族が高齢などのために身の回りのことを自分で十分にできなくなったとき、どこで生活をさせたいですか。(1つに)

1. 自宅で在宅介護サービスを受けながら生活させたい
2. 一時的に施設に入っても、最期は自宅で生活させたい
3. 住み慣れた地域で、施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、宿泊できるサービスを利用しながら生活させたい
4. 介護保険等の在宅サービスを利用しながら高齢者向け賃貸住宅に住み替えたい
5. 介護付きの有料老人ホームに住み替えたい
6. 認知症対応型グループホーム(認知症の高齢者が共同生活を営む住居)に入居させたい
7. 特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの介護施設に入所させたい
8. その他(具体的に:)
9. わからない

問25 かりに、自分の住まいで家族のために介護サービスを利用する場合、主にどのような種類のサービスを利用したいですか。(1つに)

1. 主に自分の住まいに訪問してもらえるサービスを利用したい
2. 主に施設などに通って受けるサービスを利用したい
3. 主に施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、緊急時等に宿泊できるサービスを利用したい
4. その他(具体的に:)
5. わからない

12

問26 あなたの平成19年度の介護保険料の段階は次のうちどれですか(1つに)

- | | |
|---------|----------|
| 1. 第1段階 | 5. 第5段階 |
| 2. 第2段階 | 6. 第6段階 |
| 3. 第3段階 | 7. 第7段階 |
| 4. 第4段階 | 8. わからない |

保険料の段階については、松戸市からお送りしている「介護保険料納入通知書(2ページ目)」または、「介護保険料額決定通知書(4ページ目)」の所得段階区分をご覧ください。生活保護を受けている方は、第1段階です。

問27 あなたが納めている介護保険料について、次の3つの方針から、あえて1つ選ぶとしたら、どれを選びますか。(1つに)

1. 介護保険サービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない
2. 変わらない方がよい(現状維持)
3. 介護保険サービスを減らしても良いから、保険料を安くしてほしい

問28 介護保険制度では、保険給付の対象となるサービスの種類が定められていますが、各市町村ごとに新たなサービスの種類を増やすことができます。この場合、皆さんの保険料負担が増えることとなりますが、このことについてどう思いますか。(1つに)

1. 保険料負担が増えてもサービスの種類を増やしてほしい
2. 今のサービスの種類でよい
3. わからない

13

問29 あなたは次のような保健・医療・福祉サービスを知っていますか。(あてはまるものすべてに)

1. 老人福祉センターなどで行う文化活動やレクリエーション活動など
2. 要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上の方に対して行う介護予防事業(運動器の機能向上教室・低栄養予防教室・口腔ケア教室・物忘れ予防教室)
3. 閉じこもり予防のための移送サービス
4. 食事等の日常生活上の便宜を受けられて、低額の料金で入所できる老人ホーム(ケアハウス)
5. 在宅介護支援センターで行っている、認知症や寝たきりの相談を含めた高齢者の総合的な相談
6. 地域包括支援センターで行っている、認知症や寝たきりの相談を含めた保健・医療・福祉・介護の総合的な相談
7. 寝たきり高齢者などの家庭を訪問し、排泄等の介護や食事などの手伝いをするホームヘルプサービス
8. 配食サービス(食事の用意が困難な高齢者に食事を届けるサービス)
9. 寝たきり高齢者などの家庭を訪問し、浴槽の提供と入浴の介助をする訪問入浴サービス
10. 医師や看護師などによる在宅医療サービス
11. 歯科医師による訪問歯科診療
12. 薬剤師による訪問薬剤管理指導
13. 心身の機能回復のため、家庭に訪問してもらったり、施設に通って受けるリハビリテーション
14. 介護が必要な高齢者に、日帰りで入浴や食事、リハビリなどを提供するサービス(デイサービス)
15. 寝たきり高齢者などを短期間(1週間くらい)あずかって世話をするサービス(ショートステイ)
16. 自宅で療養するために必要な福祉用具(特殊ベッド、車いすなど)の貸し出し
17. 高齢者などが自宅で生活しやすいように、居宅に手すりやスロープ等を設置する住宅改修サービス(介護保険サービス)
18. おおむね65歳以上の日常生活に介助を要する高齢者の生活や介護が便利になるようトイレや浴室等を改造する場合、資金の一部を助成する制度(介護保険外)
19. 夜間を含め、24時間対応してもらえる訪問介護サービス
20. 主に施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、緊急時等に宿泊できるサービス(小規模多機能)
21. 認知症で介護が必要な高齢者に、共同生活をしながら世話をするグループホーム
22. 特別養護老人ホームや老人保健施設などにおける施設介護サービス
23. 在宅介護者への支援サービス(紙おむつの支給や介護慰労金の支給)
24. 徘徊高齢者が所在不明になったとき、居所を発見してくれる徘徊探索サービス
25. 急病等の緊急事態に対応するための緊急通報装置の貸与
26. 75歳以上の単身世帯・高齢者世帯や要支援・要介護認定を受けた単身世帯の方に対しての家の軽微な修理、窓ふきなどのサービス(軽度生活援助)
27. いずれも知らない

介護慰労金:介護保険による介護の認定を受けたが、そのサービスを利用しない人を介護している人に支給する慰労金

14

問30 今後の介護保険サービスについて、市に期待することは何ですか。(3つまでに)

1. 介護保険制度についてわかりやすく説明してほしい
2. 介護保険サービス事業者を選ぶよう情報を提供してほしい
3. 施設の空き状況などの情報を提供してほしい
4. 介護サービス以外のサービスも取り入れてほしい
5. 介護保険サービス事業者への助言・指導を強化してほしい
6. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい
7. その他(具体的に:)
8. 特になし

問31 あなたは、今後介護保険以外の施策で、どのような高齢者施策を充実すべきだと思いますか。(3つまでに)

1. いつまでも健康な状態が維持できるように、老人クラブやスポーツ活動で健康増進、生きがい活動に努めている人を支援する施策
2. 生涯大学や各種教養講座などの学習機会提供の場を設ける施策
3. 健康相談や認知症予防教室など要支援・要介護にならないための施策
4. 配食サービス、移送サービスなど、日常生活を支援する施策
5. オムツ等の支給や介護者が介護疲れから休息できるサービスなど、介護者を支援する施策
6. シルバー人材センターや高齢者無料職業紹介所事業など、就労促進に関する施策
7. 緊急通報装置の設置や訪問電話など、ひとり暮らしの高齢者が安心して生活するための施策
8. 認知症の高齢者を支援する施策
9. 敬老祝金や町会等での敬老事業への支援などの施策
10. 医療費の自己負担分や介護保険の利用料・保険料などを助成する施策
11. 高齢者向けの住宅や家賃補助事業などの住宅施策
12. その他(具体的に:)
13. わからない

高齢社会に対するご意見を松戸市の現状に即してご自由にお書きください。

アンケートは以上です。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

15

市民アンケート・若年者調査

調査ご協力をお願い

市民の皆様におかれましては、日頃より市政へのご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、松戸市では、平成20年度に「松戸市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(いきいき安心プラン)」の見直しを予定しており、現在この作業を進めています。

そこで、この計画に皆様のご意見を反映させるため、このたび、平成20年2月26日現在で20歳以上65歳未満の市民1,000名の方を無作為に選び、「市民アンケート・若年者調査」を実施することにいたしました。

調査は無記名で行い、結果は、統計的に処理し、計画策定ための基礎資料として活用してまいりますので、皆様にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨を充分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成20年3月

松戸市長 川井 敏久

ご記入にあたってのお願い
(調査票・返信用封筒には氏名を記入しないでください)

- 質問へのお答えは、平成20年2月1日現在の状況についてお答えください。
- 宛名のご本人がお答えください。ご本人がお答えにならない場合には、ご家族の方などがご本人の意を汲んでご記入いただいてもかまいません。
- お答えは、あなた(宛名のご本人)のお考えに最も近いと思われる回答の番号をで囲んでください。

ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、

3月28日(金)までに、郵便ポストに投函してください。(切手は不要です)

この調査に関してのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

松戸市役所 高齢者福祉課
TEL:047-366-7346(直通) FAX:047-366-0991
E-mail:mckoureisha@city.matsudo.chiba.jp

あなた(あて名のご本人)のことをおたずねします。

ここでいう「あなた」とは、調査票をお送りしている方のことです。
お間違えのないようお答えください。

- F1 あなたの性別は。(1つに)
- 男性
 - 女性
- F2 あなたの年齢は。(1つに)
- 20~29歳
 - 30~39歳
 - 40~44歳
 - 45~49歳
 - 50~54歳
 - 55~59歳
 - 60~64歳
- F3 あなたが同居されているご家族は。(1つに)
- 夫婦二人暮らし(二人とも64歳以下)
 - 夫婦二人暮らし(どちらかが65歳以上)
 - 世帯全員が64歳以下(夫婦のみ世帯、ひとり暮らしを除く)
 - ひとり暮らし
 - 上記(1~4)以外の世帯
- F4 お住まいは次のどれですか。(1つに)
- 持ち家(一戸建て、マンションなど)
 - 公営住宅(市営、県営)
 - 公社、公団(都市再生機構)の賃貸住宅
 - 民間の借家(一戸建て、マンション、アパートなど)
 - 社宅、公務員住宅など
 - 間借り
 - その他(具体的に:)

F5 あなたの住所はどちらですか。(1つに)

ア行	サ行	ナ行	マ行
1 秋山	36 栄町	60 仲井町	93 牧の原
2 旭町	37 栄町西	61 中金杉	94 松戸
3 岩瀬	38 七右衛門新田	62 中根	95 松戸新田
4 大金平	39 下矢切	63 中根長津町	96 松飛台
5 大橋(矢切支所管轄地域:旧有料道路以北)	40 新作	64 中矢切	97 馬橋(馬橋支所管轄地域:新坂川以东)
6 大橋(東部支所管轄地域:旧有料道路以南)	41 新松戸	65 中和倉	98 馬橋(新松戸支所管轄地域:新坂川以西)
7 大谷口	42 新松戸北	66 西馬橋	99 三ヶ月
8 大谷口新田	43 新松戸東	67 西馬橋相川町	100 緑ヶ丘
	44 新松戸南	68 西馬橋蔵元町	101 南花島
	45 千駄堀	69 西馬橋幸町	102 南花島中町
	46 外河原	70 西馬橋広手町	103 南花島向町
		71 二十世紀が丘柿の木町	104 稔台
		72 二十世紀が丘戸山町	105 三矢小台
カ行	タ行	73 二十世紀が丘中松町	106 六実
9 上埜内	47 高塚新田	74 二十世紀が丘梨元町	107 圭水新田
10 金ヶ作	48 高柳	75 二十世紀が丘萩町	
11 紙敷	49 高柳新田	76 二十世紀が丘丸山町	
12 上本郷	50 竹ヶ花	77 二十世紀が丘美野里町	
13 上矢切	51 竹ヶ花西町	78 根本内(小金支所管轄地域:国道6号以西)	
14 河原塚	52 田中新田	79 根本内(小金原支所管轄地域:国道6号線以东)	
15 北松戸	53 常盤平	80 根本	
16 串崎新田	54 常盤平陣屋前	81 野菊野	
17 串崎南町	55 常盤平西窪町		
18 久保平賀	56 常盤平双葉町		
19 粟ヶ沢	57 常盤平松葉町		
20 粟山	58 常盤平柳町		
21 幸田	59 殿平賀		
22 幸谷		ハ行	
23 古ヶ崎		82 ハヶ崎(小金原支所管轄地域)	
24 小金		83 ハヶ崎(馬橋支所管轄地域)	
25 小金上総町		84 ハヶ崎崎町	
26 小金きよヶ丘		85 初富飛地	
27 小金清志町		86 東平賀	
28 小金原		87 日暮	
29 小根本		88 榎野口	
30 小山		89 平賀	
31 胡録台		90 ニツ木	
32 五香		91 ニツ木二葉町	
33 五香西		92 本町	
34 五香南			
35 五香六実			

健康や日常生活状況についておたずねします。

問1 現在のあなたの健康状態をお聞かせください。(1つに)

- 非常に健康だと思う
- 健康な方だと思う
- あまり健康ではないと思う
- 健康ではないと思う

(問1で「3」または「4」と答えた方にお聞きします。)

問1-1 その理由は何ですか。具体的にお答えください。

問2 日常生活を送る中で「こころのハリ」や「生きがい」を感じていますか。(1つに)

- よく感じている
- ときどき感じている
- あまり感じていない
- ほとんど感じていない

(問2で「1」または「2」と答えた方にお聞きします。)

問2-1 あなたが、現在こころのハリや生きがいを感じていることは、どんなことですか。(3つまでに)

- 働くこと(自営・家事等を含む)
- 家族の世話や介護
- ご近所や友達とのつきあい
- スポーツ・レクリエーション
- 学習や教養を高めること・趣味の活動
- 町会・自治会の活動
- 老人クラブの活動
- ボランティア活動
- その他
- 特になし

問3 普段健康づくりについて意識していますか。(1つに)

- 意識している
- 意識していない

〔問3で「1」と答えた方にお聞きします。〕

問3-1 健康づくりのために実行していることは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 毎日規則正しい生活を送る | 7. たばこを吸わない |
| 2. 食生活や栄養に気をつける | 8. 睡眠や休養を十分にとる |
| 3. 食後に歯を磨く | 9. ストレスをためないよう気をつける |
| 4. 体を動かすように心がける | 10. その他 |
| 5. 健康診査を定期的に受ける | (具体的に:) |
| 6. 酒を控える | 11. 特に実行していることはない |

問4 今後、健康を維持するためにどのようなサービスを使ってみたいと思っていますか。(3つまでに)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 定期的な健康診断 | 6. 禁煙に関する相談 |
| 2. がん検診 | 7. 地域での自主的な健康づくり活動への支援 |
| 3. 歯の健康に関する相談 | 8. 健康づくりについて学ぶ場の提供 |
| 4. 食事や栄養バランス等に関する相談 | 9. 使ってみたいサービスはない |
| 5. 運動ができる場や機会等に関する情報提供 | |

問5 健康維持や介護サービスに関する情報はどこから得ていますか。(3つまでに)

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. テレビ、ラジオの番組 | 8. ケアマネジャー |
| 2. 新聞、雑誌 | 9. 民生委員 |
| 3. インターネット | 10. 家族 |
| 4. 市の広報紙、パンフレット等 | 11. 友人・知人 |
| 5. 市の相談窓口 | 12. その他 |
| 6. 病院・診療所 | (具体的に:) |
| 7. 自宅に訪問してくれる保健師・看護師等 | |

問6 今後どんな情報を必要としていますか。(3つまでに)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 健康づくり | 7. 趣味・娯楽・生涯学習 |
| 2. 介護保険 | 8. 仕事 |
| 3. 福祉サービス | 9. 年金 |
| 4. 医療 | 10. 税金・資産運用・相続 |
| 5. 住まい | 11. その他 |
| 6. ボランティア・地域活動 | (具体的に:) |

問7 現在、生活の中で不安になったり、心配になったりすることはありますか。(1つに)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. ほとんどない | 3. ときどきある |
| 2. あまりない | 4. よくある |

〔問7で「3」または「4」と答えた方にお聞きします。〕

問7-1 次にあげた項目のうち不安になったり、心配になったりするのはどんなことですか。(あてはまるものすべてに)

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| 1. 自分の体調や病気について | 7. 子育てについて |
| 2. 家族の病気について | 8. 住居や住まいについて |
| 3. 自分や身近な人が寝たきりや認知症になったときの介護について | 9. 財産や資産について |
| 4. 現在の生活や家計について | 10. 仕事について |
| 5. 将来の自分の暮らしの先行き(生活設計など)について | 11. 人とのつきあひについて |
| 6. 家庭や家族について | 12. こころのハリや生きがいに |
| | 13. その他 |
| | (具体的に:) |

〔問7で「3」または「4」と答えた方にお聞きします。〕

問7-2 不安になったり、心配になったりしたとき、だれかに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(あてはまるものすべてに)

- | | |
|-----------------|---|
| 1. 家族・親族 | 8. 地域包括支援センター |
| 2. 友人・知人 | (市内に3ヶ所あり、保健師や社会福祉士などの専門職がいる保健・福祉・医療等の総合相談窓口) |
| 3. とり近所の人 | 9. 病院や診療所等の医師等 |
| 4. 民生委員 | 10. その他 |
| 5. 市役所・保健福祉センター | (具体的に:) |
| 6. 県の窓口(保健所など) | 11. 相談したりする人はいない |
| 7. 在宅介護支援センター | (市内に11ヶ所ある身近な地域での高齢者に関する総合相談窓口) |

問8 あなたは、日頃、隣近所の方との程度の付き合いをしていますか。(1つに)

- | |
|----------------------------|
| 1. 訪問し合ったり、悩み事を相談したりする人はいる |
| 2. 世間話や立ち話をする程度の人はいる |
| 3. 顔を合わせれば、あいさつをする程度の人ならいる |
| 4. ほとんど付き合いはしていない |

問9 日ごろ、どの程度外出していますか。(1つに)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 外出できない |
| 2. 週に1回以上 | (理由を具体的に:) |
| 3. ほとんど外出しない | |

暮らし向きや各種活動への参加についておたずねします。

問10 あなたは、自分自身のふだんの生活の中でどの程度ゆとりがあると感じていますか。時間的なゆとりと経済的なゆとりをわけてお答えください。(あてはまる番号1つにそれぞれ)

	かなりある	まあまあある	あまりない
(1) 時間的なゆとりはありますか。	1	2	3
(2) 経済的なゆとりはありますか。	1	2	3

問11 あなたは、現在、以下のような活動に参加していますか。(は3つまで)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 自分の趣味や教養をみがかつための活動 | 7. 子ども会活動 |
| 2. スポーツ・レクリエーション活動 | 8. 婦人会活動 |
| 3. ボランティア(社会奉仕)活動 | 9. 商店会などの活動 |
| 4. 地域の自治会活動 | 10. その他(具体的に:) |
| 5. PTA活動 | 11. 特にしていない |
| 6. 老人クラブ活動 | |

〔問11で「11」と答えた方にお聞きします。〕

問11-1 特にしていないのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから |
| 2. 時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから |
| 3. 参加したいと思う活動がないから |
| 4. 団体活動はわずらわしいから、一人でできる趣味などがあるから |
| 5. どんな団体やサークル活動があるのかわからないから |
| 6. 職場などでサークル活動などに参加しているから |
| 7. 健康や体力に自信がないから |
| 8. 地域の活動には関心がないから |
| 9. その他() |

問12 問11のこうした活動の中で、今後参加したいことは何ですか。(あてはまるものすべてに)

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 自分の趣味や教養をみがかつための活動 | 7. 子ども会活動 |
| 2. スポーツ・レクリエーション活動 | 8. 婦人会活動 |
| 3. ボランティア(社会奉仕)活動 | 9. 商店会などの活動 |
| 4. 地域の自治会活動 | 10. その他 |
| 5. PTA活動 | (具体的に:) |
| 6. 老人クラブ活動 | 11. 特にない |

問13 あなたは、以下のようなボランティア活動に参加してみたいと思いますか。(それぞれあてはまる番号1つに)

	積極的に参加したい	誘われたら参加したい	思わないうちと	あまり参加したい	ない	参加したくない	わからない
ア 保育、子育て支援など子どもの福祉に関すること	1	2	3	4	5		
イ 障害者の福祉に関すること	1	2	3	4	5		
ウ 保健・健康づくり	1	2	3	4	5		
エ 高齢者の福祉(介護保険を含む)に関すること	1	2	3	4	5		

問14 誰もが地域で安心して暮らしていけるまちづくりという観点から見て、あなたは、市内の状況をどう評価されますか。(それぞれあてはまる番号1つに)

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	わからない
ア 公衆トイレや公共施設内のトイレの使いやすさ	1	2	3	4	5	6
イ 信号機や交通標識の見やすさ	1	2	3	4	5	6
ウ 道路の段差	1	2	3	4	5	6
エ 歩道の幅	1	2	3	4	5	6
オ 公共施設の出入口や階段	1	2	3	4	5	6
カ 駅の出入口や構内	1	2	3	4	5	6
キ まちや施設内の表示(案内)板	1	2	3	4	5	6
ク 公共交通機関の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	6

介護予防についておたずねします。

問15 「介護予防」には、足などの筋力をつけること、栄養の改善をすること、口腔機能を向上させること、認知症の予防などがあります。このことについて、あなたは知っていますか。(1つに)

- 1. よく知っている
- 2. 少しなら知っている
- 3. 聞いたことはある
- 4. まったく知らない

問16 認知症は、多くの人がかかる可能性のある病気で、認知症の方やご家族を支える地域づくりが重要な課題となっていますが、あなたは、認知症に関する以下の内容を知っていますか。(それぞれあてはまる番号1つに)

内 容	知っていた	知らなかった
ア 脳の障害によって、記憶力・判断力・理解力が低下する病気で、多くの人がかかる可能性がある。	1	2
イ 原因や状態によっては、早期に発見し適切な治療を受けることによって、症状を軽くしたり、進行を遅らせることができる。	1	2
ウ 何もわからなくなってしまうわけではなく、感情やプライドは保たれるため、本人は多くの不安や混乱を抱えている。	1	2
エ 環境の変化への適応が難しくなるため、住み慣れた家庭や地域の暮らしの中で、生活することが大切である。	1	2
オ 徘徊などの行動には原因があり、無理に抑え込むのではなく、接し方を工夫したり、周りの環境を整えることが大切である。	1	2

問17 認知症の予防には、運動や食事など、生活習慣の改善をはじめとした予防法が考えられていますが、その予防法に効果があるとしたら、あなたは試してみたいと思いますか。(1つに)

- 1. ぜひ試したい
- 2. 内容によっては試したい
- 3. 試したくない
- 4. 特に考えていない

問18 高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度やしくみを知っていますか。(あてはまるものすべてに)

1. 福祉サービス利用援助事業(地域福祉権利擁護事業)
(認知症等があり必要なサービスを利用するための判断等に支障や不安がある方が社会福祉協議会との契約で、「福祉サービス利用援助」「財産管理サービス」「財産保全サービス」について支援を受ける事業)
2. 成年後見制度
(判断能力が不十分な方に対し家庭裁判所に申し立てを行い、財産管理やサービス利用の契約などを本人に代わって行う成年後見人等を選任し、支援を受ける制度)
3. 松戸市高齢者虐待防止ネットワーク
(高齢者虐待の予防と早期発見・早期対応・再発防止を図るために、地域包括支援センターや在宅介護支援センターなどの関係機関が連携して予防のための研修会を開催したり、虐待の相談を受け対応する等の活動を行うネットワーク)
4. クーリングオフ制度
(訪問販売や電話勧誘販売などで交わした不用品の契約を一定の期間内であれば契約解除ができる制度)
5. 知っているものはない

介護をする立場になったときのことをおたずねします。

問19 現在または将来、主にあなたが老後の世話をしなければならぬと思っている家族などはいますか。(1つに)

- 1. いる
- 2. 家族などはいいるが、自分が主に世話をしなければならぬかどうかはわからない
- 3. 自分が主に世話をしなければならぬ家族はいない
- 4. その他()

問20 あなたは、かりに、家族が高齢などのために身の回りのことを自分で十分にできなくなったとき、どこで生活をさせたいですか。(1つに)

1. 自宅で在宅介護サービスを受けながら生活させたい
2. 一時的に施設に入っても、最期は自宅で生活させたい
3. 住み慣れた地域で、施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、宿泊できるサービスを利用しながら生活させたい
4. 介護保険等の在宅サービスを利用しながら高齢者向け賃貸住宅に住み替えたい
5. 介護付きの有料老人ホームに住み替えたい
6. 認知症対応型グループホーム(認知症の高齢者が共同生活を営む住居)に入居させたい
7. 特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの介護施設に入居させたい
8. その他(具体的に:)
9. わからない

問21 かりに、自分の住まいで家族のために介護サービスを利用する場合、主にどのような種類のサービスを利用したいですか。(1つに)

- 1. 主に自分の住まいに訪問してもらえるサービスを利用したい
- 2. 主に施設などに通って受けるサービスを利用したい
- 3. 主に施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、緊急時等に宿泊できるサービスを利用したい
- 4. その他(具体的に:)
- 5. わからない

介護を受ける立場になったときのことをおたずねします。

問22 あなたは、かりに、身の回りのことを自分でできなくなったとき、どこで生活したいと思いますか。(1つに)

- 1. 自宅で在宅介護サービスを受けながら暮らしたい
- 2. 一時的に施設に入っても、最期は自宅で暮らしたい
- 3. 住み慣れた地域で、施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、宿泊できるサービスを利用しながら暮らしたい
- 4. 介護保険等の在宅サービスを利用しながら高齢者向け賃貸住宅に住み替えたい
- 5. 介護付きの有料老人ホームに住み替えたい
- 6. 認知症対応型グループホーム(認知症の高齢者が共同生活を営む住居)に入居したい
- 7. 特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの介護施設に入所したい
- 8. その他(具体的に:)
- 9. わからない

問23 かりに、自分の住まいで介護サービスを受ける場合、主にどのような種類のサービスを利用したいですか。(1つに)

- 1. 主に自分の住まいに訪問してもらえるサービスを利用したい
- 2. 主に施設などに通って受けるサービスを利用したい
- 3. 主に施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、緊急時等に宿泊できるサービスを利用したい
- 4. その他(具体的に:)
- 5. わからない

介護保険についておたずねします。

問24 介護保険制度についてどの程度知っていますか。(あてはまるものすべてに)

1. 原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める
2. 65歳以上の方(第1号被保険者)の保険料は、市町村ごとに被保険者本人の所得や世帯の課税状況によって決める
3. 介護保険のサービスを利用する場合、まず市に要介護認定の申請をする
4. 要介護(要支援)度に応じて、利用できる介護(介護予防)サービスの利用限度額が異なる
5. サービスを利用したときは、かかった費用の1割を利用者が負担する
6. 利用が必要とするサービスを利用することができる(ただし、要支援の方は「介護予防サービス」のみを利用することができる)
7. 介護保険は保険料・利用者の1割の負担金のほかに約半分は税金を財源としている
8. 知っていることはない

問25 あなたは、介護保険サービスと介護保険料の負担について、次の3つの方針から、あえて1つ選ぶとしたら、どれを選びますか。(1つに)

- 1. 介護保険サービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない
- 2. 変わらない方がよい(現状維持)
- 3. 介護保険サービスを減らしても良いから、保険料を安くしてほしい

問26 介護保険制度では、保険給付の対象となるサービスの種類が定められていますが、各市町村ごとに新たなサービスの種類を増やすことができます。この場合、65歳以上の方の保険料負担が増えることとなりますが、このことについてどう思いますか。(1つに)

- 1. 保険料負担が増えてもサービスの種類を増やしたほうがよい
- 2. 今のサービスの種類でよい
- 3. わからない

問27 あなたは次のような保健・医療・福祉サービスを知っていますか。（あてはまるものすべてに）

1. 老人福祉センターなどで行う文化活動やレクリエーション活動など
2. 要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上の方に対して行う介護予防事業（運動器の機能向上教室・低栄養予防教室・口腔ケア教室・物忘れ予防教室）
3. 閉じこもり予防のための移送サービス
4. 食事等の日常生活上の便宜を受けられて、低額の料金で入所できる老人ホーム（ケアハウス）
5. 在宅介護支援センターで行っている、認知症や寝たきりの相談を含めた高齢者の総合的な相談
6. 地域包括支援センターで行っている、認知症や寝たきりの相談を含めた保健・医療・福祉・介護の総合的な相談
7. 寝たきり高齢者などの家庭を訪問し、排泄等の介護や食事などの手伝いをするホームヘルプサービス
8. 配食サービス（食事の用意が困難な高齢者に食事を届けるサービス）
9. 寝たきり高齢者などの家庭を訪問し、浴槽の提供と入浴の介助をする訪問入浴サービス
10. 医師や看護師などによる在宅医療サービス
11. 歯科医師による訪問歯科診療
12. 薬剤師による訪問薬剤管理指導
13. 心身の機能回復のため、家庭に訪問してもらったり、施設に通って受けるリハビリテーション
14. 介護が必要な高齢者に、日帰り入浴や食事、リハビリなどを提供するサービス（デイサービス）
15. 寝たきり高齢者などを短期間（1週間くらい）あずかって世話をするサービス（ショートステイ）
16. 自宅で療養するために必要な福祉用具（特殊ベッド、車いすなど）の貸し出し
17. 高齢者などが自宅で生活しやすいように、居宅に手すりやスロープ等を設置する住宅改修サービス（介護保険サービス）
18. おおむね65歳以上の日常生活に介助を要する高齢者の生活や介護が便利になるようトイレや浴室等を改造する場合、資金の一部を助成する制度（介護保険外）
19. 夜間を含め、24時間対応してもらえる訪問介護サービス
20. 主に施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、緊急時等に宿泊できるサービス（小規模多機能）
21. 認知症で介護が必要な高齢者に、共同生活をしながら世話をするグループホーム
22. 特別養護老人ホームや老人保健施設などにおける施設介護サービス
23. 在宅介護者への支援サービス（紙おむつの支給や介護慰労金の支給）
24. 徘徊高齢者が所在不明になったとき、居所を発見してくれる徘徊探索サービス
25. 急病等の緊急事態に対応するための緊急通報装置の貸与
26. 75歳以上の単身世帯・高齢者世帯や要支援・要介護認定を受けた単身世帯の方に対しての家屋の軽微な修理、窓ふきなどのサービス（軽度生活援助）
27. いずれも知らない

介護慰労金：介護保険による要介護の認定を受けたが、そのサービスを利用しない人を介護している人に支給する慰労金

問28 今後の介護保険サービスについて、市に期待することは何ですか。（3つまでに）

1. 介護保険制度についてわかりやすく説明してほしい
2. 介護保険サービス事業者を選べるよう情報を提供してほしい
3. 施設の空き状況などの情報を提供してほしい
4. 介護サービス以外のサービスも取り入れてほしい
5. 介護保険サービス事業者への助言・指導を強化してほしい
6. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい
7. その他（具体的に）
8. 特になし

問29 あなたは、今後介護保険以外の施策で、どのような高齢者施策を充実すべきだと思いますか。（3つまでに）

1. いつまでも健康な状態が維持できるように、老人クラブやスポーツ活動で健康増進、生きがい活動に努めている人を支援する施策
2. 生涯大学や各種教養講座などの学習機会提供の場を設ける施策
3. 健康相談や認知症予防教室など要支援・要介護にならないための施策
4. 配食サービス、移送サービスなど、日常生活を支援する施策
5. オムツ等の支給や介護者が介護疲れから休息できるサービスなど、介護者を支援する施策
6. シルバー人材センターや高齢者無料職業紹介所事業など、就労促進に関する施策
7. 緊急通報装置の設置や訪問電話など、ひとり暮らしの高齢者が安心して生活するための施策
8. 認知症の高齢者を支援する施策
9. 敬老祝金や町会等での敬老事業への支援などの施策
10. 医療費の自己負担分や介護保険の利用料・保険料などを助成する施策
11. 高齢者向けの住宅や家賃補助事業などの住宅施策
12. その他（具体的に）
13. わからない

高齢社会に対するご意見を松戸市の現状に即してご自由にお書きください。

アンケートは以上です。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

介護保険在宅要支援認定者調査

調査ご協力をお願い

市民の皆様におかれましては、日頃より市政へのご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、松戸市では、平成20年度に「松戸市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(いきいき安心プラン)」の見直しを予定しており、現在この作業を進めています。

そこで、その見直しにしまして、皆様からの率直なご意見をいただきたいと考え、平成20年2月26日現在で、**要支援の認定を受けている600名の方を無作為に選び「介護保険在宅要支援認定者調査」を実施**することにいたしました。調査は無記名で行い、皆様から頂いた結果は統計的に処理し、高齢者の福祉や介護サービスの充実のための基礎資料として活用してまいりますので、皆様にご迷惑をおかけすることはございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨を充分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成20年3月

松戸市長 川井 敏久

ご記入にあたってのお願い
(調査票・返信用封筒には氏名を記入しないでください)

- 質問へのお答えは、平成20年2月1日現在の状況についてお答えください。
- 宛名のご本人がお答えください。ご本人がお答えにならない場合には、ご家族の方などがご本人の意を汲んでご記入いただいてもかまいません。
- お答えは、あなた(宛名のご本人)のお考えに最も近いと思われる回答の番号で囲んでください。

ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、**3月28日(金)までに** 郵便ポストに投函してください。(切手は不要です)

この調査に関してのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

松戸市役所 介護支援課
TEL:047-366-7370(直通) FAX:047-363-4008(直通)
E-MAIL:mckaigo@city.matsudo.chiba.jp

あなた(あて名のご本人)のことをおたずねします。

ここでいう「あなた」とは、調査票をお送りしている方のことです。お間違えのないようお答えください。

- F 1 この調査に回答される方を教えてください。(1つに)
- 本人(封筒の宛名の方)
 - 家族・親族
 - その他
 - (具体的に:)
- F 2 あなたの性別は。(1つに)
- 男性
 - 女性
- F 3 あなたの年齢は。(1つに)
- 40~64歳
 - 65~69歳
 - 70~74歳
 - 75~79歳
 - 80~84歳
 - 85歳以上

- F 4 あなたが同居しているご家族は。(1つに)
- 夫婦二人暮らし(二人とも65歳以上)
 - 夫婦二人暮らし(どちらかが65歳以上)
 - 全員が65歳以上の世帯(夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く)
 - 65歳以上がいる世帯(夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く)
 - 65歳以上がいない世帯(夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く)
 - 夫婦二人暮らし(二人とも64歳以下)
 - ひとり暮らし

[F 4で「1~6」と答えられた方にお聞きします。]

- F 4-1 あなたは、昼間ひとりであることがありますか。(1つに)
- いつもある
 - ときどきある
 - ひとりであることはない
- F 5 お住まいは次のどれですか。(1つに)
- 持ち家(一戸建て、マンションなど)
 - 公営住宅(市営、県営)
 - 公社、公団(都市再生機構)の賃貸住宅
 - 民間の借家
 - 社宅、公務員住宅など
 - 間借り
 - 有料老人ホーム
 - グループホーム
 - ケアハウス
 - その他
 - (具体的に:)

1

F 6 あなたの住所はどちらですか。(1つに)

ア行	セ行	ト行	マ行
1 秋山	36 柴町	60 仲井町	93 牧の原
2 旭町	37 柴町西	61 中金杉	94 松戸
3 岩瀬	38 七右衛門新田	62 中根	95 松戸新田
4 大金平	39 下矢切	63 中根長津町	96 松蔭台
5 大橋(矢切支所管轄地域:旧有料道路以北)	40 新作	64 中矢切	97 馬橋(馬橋支所管轄地域:新坂川以东)
6 大橋(東部支所管轄地域:旧有料道路以南)	41 新松戸	65 中和倉	98 馬橋(新松戸支所管轄地域:新坂川以西)
7 大谷口	42 新松戸北	66 西馬橋	99 三ヶ月
8 大谷口新田	43 新松戸東	67 西馬橋相川町	100 緑ヶ丘
	44 新松戸南	68 西馬橋蔵元町	101 南花島
	45 千駄堀	69 西馬橋幸町	102 南花島中町
	46 外河原	70 西馬橋広手町	103 南花島向町
		71 二十世紀が丘柿の木町	104 総台
		72 二十世紀が丘山町	105 三尖小台
カ行	タ行	73 二十世紀が丘中松町	106 六実
9 上総内	47 高塚新田	74 二十世紀が丘梨元町	107 主水新田
10 金ヶ作	48 高柳	75 二十世紀が丘萩町	
11 紙敷	49 高柳新田	76 二十世紀が丘丸山町	ヤ行
12 上本郷	50 竹ヶ花	77 二十世紀が丘美野里町	108 横須賀
13 上矢切	51 竹ヶ花西町	78 根本内(小金支所管轄地域:国道6号線以西)	109 吉井町
14 河原塚	52 田中新田	79 根本内(小金原支所管轄地域:国道6号線以东)	
15 北松戸	53 常盤平	80 根本	チ行
16 串崎新田	54 常盤平陣屋前	81 野菊野	110 六高台
17 串崎南町	55 常盤平西窪町		
18 久保平賀	56 常盤平双葉町		リ行
19 栗ヶ沢	57 常盤平松葉町		111 和名ヶ谷
20 栗山	58 常盤平柳町		
21 幸田	59 殿平賀		
22 幸谷			
23 古ヶ崎		ハ行	
24 小金		82 八ヶ崎(小金原支所管轄地域)	
25 小金上総町		83 八ヶ崎(馬橋支所管轄地域)	
26 小金きよしヶ丘		84 八ヶ崎緑町	
27 小金清志町		85 初富飛地	
28 小金原		86 東平賀	
29 小根本		87 日暮	
30 小山		88 樋野口	
31 胡録台		89 平賀	
32 五香		90 二ツ木	
33 五香西		91 二ツ木二葉町	
34 五香南		92 本町	
35 五香六実			

日常生活状況等についておたずねします。

- 問 1 あなたの要介護状態区分は。(1つに)
- 要支援 1
 - 要支援 2
 - その他
- 問 2 前回の要介護・要支援認定の状態はどうでしたか。(1つに)
- 前は認定を受けていなかった
 - 要支援だった
 - 要介護だった
 - わからない
- 問 3 あなたは、今回の認定結果に満足していますか。(1つに)
- 満足している
 - おおむね満足している
 - どちらともいえない
 - やや不満である
 - 不満である
- 問 4 あなたは、ここ1年くらいの心身や日常生活の変化はありますか。(あてはまるものすべてに)
- 心身とも元気になってきた
 - どちらかというと元気になってきた
 - あまり変わらない
 - 外出することがおっくうになってきた
 - 足腰が弱くなってきた
 - 1日に三食、食べないことがよくある
 - 物をうまく飲み込めないことがある
 - 歯や入れ歯の調子がよくない
 - 物忘れが多くなってきた
 - ひとりであることが不安になることがある
 - 人と話す機会が少なくなってきた
 - その他(具体的に:)

- 問 5 日ごろ、どの程度外出していますか。(1つに)
- ほぼ毎日
 - 週に1回以上
 - ほとんど外出しない
 - 外出できない

〔問5で「1～3」と答えた方にお聞きします。〕
 問5-1 日ごろ、どのような目的で外出していますか。(あてはまるものすべてに)

1. 買い物	7. 趣味・余暇活動
2. 仕事	8. ボランティア活動や地域活動
3. 医療機関への通院	9. 散歩
4. 家族や友人の家などを訪問	10. デイサービス
5. 外食	11. その他
6. 旅行	(具体的に:)

〔問5で「1～3」と答えた方にお聞きします。〕
 問5-2 日ごろ、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに)

1. 自分で自家用車を運転する	6. 路線バス、電車を利用
2. 家族が運転する自家用車に乗せてもらう	7. 車いすを利用
3. 家族以外が運転する自家用車に乗せてもらう	8. 自転車、バイクを利用
4. タクシーを利用	9. 徒歩
5. 施設の送迎バス等を利用	10. ボランティア等による福祉有償運送
	11. その他
	(具体的に:)

〔問5で「1～3」と答えた方にお聞きします。〕
 問5-3 今以上に外出したいですか。(1つに)

1. 今以上に外出したい	2. 今のままでよい	} 問6へ
	3. わからない	

〔問5-3で「1」と答えた方にお聞きします。〕
 問5-4 今以上に外出するためには、どのような援助があればよいですか。(あてはまるものすべてに)

1. 金銭的負担の軽減	4. 道路等の段差解消(バリアフリー化)
2. 介護者の派遣など介護者の負担軽減	5. その他
	(具体的に:)
3. リフト付き車両の普及	6. 特になし

問6 あなたは、日ごろ隣近所の方と、どの程度の付き合いをしていますか。(1つに)

1. 親しく付き合っている人(訪問したり、悩み事を相談するなど)がいる
2. 世間話や立ち話程度の人はいる
3. あいさつをする程度の人はいない
4. 付き合いしている人はほとんどいない

問7 次にあげた項目のうち、不安になったり心配になったりすることは、どんなことですか。(あてはまるものすべてに)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 自分の体調や病気について | 6. 財産や資産について |
| 2. 家族や家庭について | 7. 人とのつきあいについて |
| 3. 現在の生活や家計について | 8. その他(具体的に:) |
| 4. 将来の生活や家計について | 9. 困っていることはない |
| 5. 住まいについて | |
- 問8へお進みください

〔問7で「1～8」と答えた方にお聞きします。〕
 問7-1 その心配事や悩みについて、だれかに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(あてはまるものすべてに)

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 家族・親族 | 8. 社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャーが総合的に相談を受ける地域包括支援センター |
| 2. 友人・知人 | 9. 病院や診療所の医師・相談員等 |
| 3. とおり近所の人 | 10. ケアマネジャー |
| 4. 民生委員 | 11. その他(具体的に:) |
| 5. 市役所・保健福祉センター | 12. 相談したりする人はいない |
| 6. 県の窓口 | |
| 7. 地域で身近に相談できる在宅介護支援センター | |
- 地域包括支援センターなどに勤務する主任ケアマネジャーは、対応困難な事例を抱える地域のケアマネジャーの支援をする指導的な役割を持つケアマネジャーです。

問8 高齢者が安心して暮らせるための権利擁護等の制度や仕組みを知っていますか。(知っているものすべてに)

1. 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)
(認知症等が必要となるサービスを利用するための判断等に支障や不安がある方が社会福祉協議会との契約で、「福祉サービス利用援助」「財産管理サービス」「財産保全サービス」について支援を受ける事業)
2. 成年後見制度
(判断能力が不十分な方について家庭裁判所に申し立てを行い、財産管理やサービス利用の契約などを本人に代わって行う成年後見人等を選任し、支援を受ける制度)
3. 松戸市高齢者虐待防止ネットワーク
(高齢者虐待の予防と早期発見・早期対応・再発防止を図るために、地域包括支援センターや在宅介護支援センターなどの関係機関が連携して予防のための研修会を開催したり虐待の相談を受け対応する等の活動を行うネットワーク)
4. クーリングオフ制度
(訪問販売や電話勧誘販売などで交わした不用品を一定の期間内であれば契約解除ができる制度)
5. 知っているものはない

問9 あなたの日常生活に関わる金銭管理は誰が行っていますか。(1つに)

1. 自分	6. 後見人・保佐人・補助人
2. 家族	7. 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)の生活支援員
3. 親戚	8. その他
4. ケアマネジャー	(具体的に:)
5. ホームヘルパー	

今後の生活についておたずねします。

問10 あなたは今後の生活について、どのようにお考えですか(1つに)

1. 自宅で家族中心の介護で暮らしたい
2. 自宅で介護保険サービスを中心として暮らしたい
3. 住み慣れた地域で、施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらったり、宿泊できるサービスを利用しながら暮らしたい
4. 高齢者向け賃貸住宅に住み替えたい
5. 介護付の有料老人ホームに住み替えたい
6. 認知症対応型グループホーム(認知症の高齢者が共同生活を営む場所)に入居したい
7. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)で暮らしたい
8. 介護老人保健施設や介護療養型医療施設に入所・入院したい
9. その他(具体的に:)
10. わからない

〔問10で「7」「8」と答えた方にお聞きします。〕
 問10-1 施設等を希望される(ご自宅での生活を希望しない)最も大きな理由は何ですか。(1つに)

1. 専門的な介護が受けられて、安心して生活できるため
2. 自宅で介護を受けたいが、先々の心配があるため
3. 介護をしている家族の負担が大きいため
4. 介護者がいないため
5. 経済的な理由のため
6. その他(具体的に:)

〔問10で「7」と答えた方にお聞きします。〕
 問10-2 いつ介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)に入所したいですか。(1つに)

1. 今すぐ入所したい
2. 自宅で生活が困難になったときに入所したい
3. その他(具体的に:)

介護保険サービスの利用についておたずねします。

問11 あなたが利用している介護保険サービスについて、日ごろどのように感じていますか。それぞれの利用状況、また利用していればその感想についてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに)

サービスの種類	サービスの内容	利用していない	利用している				
			満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
ア. 介護予防訪問介護	自力で困難な行為について、支援が受けられない場合のヘルパーによるサービス提供	0	1	2	3	4	5
イ. 介護予防訪問入浴介護	居宅に浴槽がない場合や、施設での浴槽利用が困難な場合に、訪問による入浴介護の提供	0	1	2	3	4	5
ウ. 介護予防訪問リハビリテーション	居宅での生活行為を向上させる訓練が必要な場合の短期集約的リハビリ	0	1	2	3	4	5
エ. 介護予防訪問看護	看護師による介護予防のための療養上の世話や診療の補助	0	1	2	3	4	5
オ. 介護予防居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士等による介護予防を目的とした療養上の管理や指導	0	1	2	3	4	5
カ. 介護予防通所介護(デイサービス)	通所介護施設で食事等の基本的サービスや生活行為向上のためのサービス	0	1	2	3	4	5
キ. 介護予防通所リハビリテーション(デイケア)	老人保健施設や医療機関等で食事などの基本的サービスや生活行為向上のためのサービス	0	1	2	3	4	5
ク. 介護予防認知症対応型通所介護(認知症デイサービス)	認知症で要支援の高齢者が、日常生活の世話や機能訓練など介護予防を目的とするサービス	0	1	2	3	4	5
ケ. 介護予防短期入所生活介護	福祉施設の短期入所での介護予防を目的とした日常生活上の支援や機能訓練	0	1	2	3	4	5
コ. 介護予防短期入所療養介護	老人保健施設や医療施設等に短期入所での介護予防を目的とした日常生活上の支援や機能訓練	0	1	2	3	4	5
サ. 介護予防福祉用具貸与	介護予防に資するものについての福祉用具の貸与	0	1	2	3	4	5
シ. 特定介護予防福祉用具販売	介護予防に役立つ入浴や排せつなどに使用する福祉用具の販売	0	1	2	3	4	5
ス. 介護予防住宅改修費支給	手すりの取り付けや段差解消などの改修	0	1	2	3	4	5
セ. 介護予防小規模多機能型居宅介護	通いを中心に、「訪問」や「泊まり」のサービスを組み合わせ、多機能な介護予防を中心としたサービス	0	1	2	3	4	5
ソ. 介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	介護予防を目的とするサービスを受けながら共同生活する住宅	0	1	2	3	4	5
タ. 介護予防特定施設入居者生活介護	有料老人ホーム等に入居している高齢者に、介護予防を目的とした日常生活上の支援や介護を提供	0	1	2	3	4	5

問11-1にお答えください。 をつけたサービスについて、問11-2にお答えください。 をつけたサービスについて、問11-3にお答えください。

〔問11ですべてに「0」と答えた方にお聞きします。〕

問11-1 あなたがどのサービスも利用していない理由は何ですか。(1つに)

1. 自分でまだできるから
2. 利用したいサービスがないから
3. 病院に入院しているから
4. 家族等の介護で十分だから
5. 他人に介護されるのが嫌だから
6. 利用料の負担が大きいか
7. 介護保険以外のサービスを利用しているから
8. その他(具体的に:)
9. 特にな
10. わからない

問17へお進みください

〔問11で「1」または「2」と答えた方にお聞きします。〕

問11-2 あなたはどのような点に「満足」していますか。利用している介護保険サービスについてあてはまる番号に をつけてください。(はいくつでも)

サービスの種類	自分でサービス事業者を選べた	希望するサービスが受けられた	サービスの内容・技術が良い	サービスの担当者の心構えや対応がよい	在宅生活が続けられる	自分ですることが増えた	かかりつけ医との連携がとれている	自己負担など経済的に楽になった	家族などの介護負担が減った	その他
ア. 介護予防訪問介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
イ. 介護予防訪問入浴介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ウ. 介護予防訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
エ. 介護予防訪問看護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
オ. 介護予防居宅療養管理指導	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
カ. 介護予防通所介護(デイサービス)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
キ. 介護予防通所リハビリテーション(デイケア)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ク. 介護予防認知症対応型通所介護(認知症デイサービス)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ケ. 介護予防短期入所生活介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
コ. 介護予防短期入所療養介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
サ. 介護予防福祉用具貸与	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
シ. 特定介護予防福祉用具販売	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ス. 介護予防住宅改修費支給	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
セ. 介護予防小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ソ. 介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
タ. 介護予防特定施設入居者生活介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問12へお進みください

〔問11で「4」または「5」と答えた方にお聞きします。〕

問11-3 あなたはどのような点が「不満足」でしたか。利用している介護保険サービスについて、あてはまる番号に をつけてください。(はいくつでも)

サービスの種類	選べるサービス事業者が少ない	希望する日時サービスを利用できなかった	希望する回数が利用できなかった	担当者の心構えや対応が悪い	サービスのレベルが低い	事業者の説明が不十分	事業者が要望を聞いてくれなかった	約束どおりサービスを受けられなかった	担当者が頻繁にかわった	自己負担が重い	その他
ア. 介護予防訪問介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
イ. 介護予防訪問入浴介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ウ. 介護予防訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
エ. 介護予防訪問看護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
オ. 介護予防居宅療養管理指導	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
カ. 介護予防通所介護(デイサービス)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
キ. 介護予防通所リハビリテーション(デイケア)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ク. 介護予防認知症対応型通所介護(認知症デイサービス)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ケ. 介護予防短期入所生活介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
コ. 介護予防短期入所療養介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
サ. 介護予防福祉用具貸与	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
シ. 特定介護予防福祉用具販売	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ス. 介護予防住宅改修費支給	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
セ. 介護予防小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ソ. 介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
タ. 介護予防特定施設入居者生活介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

問12へお進みください

問12 介護保険のサービスを利用するにあたって支払う利用者負担(1割負担)についてどのように感じていますか。(1つに)

1. 高いと思う
2. 少し高いと思う
3. 適当な額だと思う
4. まあまあ安いと思う
5. 安いと思う

問13 介護保険サービスの利用額について、制度上利用できる上限(区分支給限度額)いっぱいまで利用しましたか。(1つに)

1. 上限まで利用した
2. 上限まで利用していない
3. わからない

〔問13で「2」と答えた方にお聞きします。〕

問13-1 上限まで利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)

1. 現在のサービスに満足しているから
2. ケアマネジャーが決めたから
3. 自己負担が大変だから
4. 家族にみてもらっているから
5. 利用したいサービスがなかったから
6. サービス提供事業者が見つからなかったから
7. 利用したいサービス提供事業者・施設が混んでいたから
8. なるべく自分でするようにしているから
9. その他(具体的に:)

ケアプランについておたずねします。

平成18年より、要介護状態になることをできる限り防ぐため、予防給付(介護予防サービス)が創設されました。それに伴い、できないことをおぎなう援助から、できる可能性のあることを見つけ、また現実に出ることを増やしていくためのケアプランを作成することとなりました。

問14 あなたは、現在のケアプランに満足していますか。(1つに)

1. 満足している
2. やや満足している
3. ぶつ
4. やや不満である
5. 不満である

↓〔問14で「4」「5」と答えた方にお聞きします。〕

問14-1 ご不満の内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに)

1. サービスの種類が希望より少ない
2. サービスの種類が希望より多すぎる
3. サービスの回数が希望より少ない
4. サービスの回数が希望より多すぎる
5. サービスの種類が希望したものではない
6. 希望のサービス事業者が利用できていない
7. サービスの時間帯が希望とおりでない
8. その他(具体的に:)

ケアプランを作成する方(ケアマネジャー等)についておたずねします。

問15 あなたは、現在のケアプランを作成してくれる方に満足していますか。(1つに)

1. 満足している
2. やや満足している
3. ふつう
4. やや不満である
5. 不満である

↓〔問15で「4」「5」と答えた方にお聞きします。〕

問15-1 ご不満の内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに)

1. 訪問してくれない
2. サービスの内容や利用料などを教えてくれない
3. 言葉遣いなどの態度
4. 相談ののってくれない
5. 自分の要望を聞いてくれない
6. 困っていることが解消されない
7. なかなか連絡がとれない
8. 特定の事業者しか紹介しない
9. その他(具体的に:)

12

サービス事業者についておたずねします。

問16 サービス事業者はどのような理由で選びましたか。(あてはまるものすべてに)

1. ケアマネジャーの推薦で
2. 受けたい介護サービスを提供している事業者だから
3. 地域包括支援センターや在宅介護支援センターから情報を得て
4. 利用者間の評判、知人の紹介で
5. 事業所の所在地で
6. 事業者の知名度で
7. 市から提供された介護保険サービスガイドなどを見て
8. 複数の事業所に問い合わせ、話を聞いてから決めた
9. その他(具体的に:)

災害など緊急事態の対応についておたずねします。

問17 災害などの緊急事態が発生した場合、ひとりで避難場所まで避難できると思いますか。(1つに)

1. ひとりで避難できると思う 問18へお進みください
2. ひとりでは避難できないと思う
3. わからない 問18へお進みください

↓〔問17で「2」と答えた方にお聞きします。〕

問17-1 一緒に避難場所まで避難してくれる人がいますか。(1つに)

1. 同居の家族
2. 別居の親族
3. 隣近所の人
4. 友人・知人
5. 民生委員
6. 町内会の役員
7. その他(具体的に:)
8. 一緒に避難してくれる人がいない

問18 災害時の避難などに手助けが必要な人の情報を地域で共有することについてどう思いますか。(1つに)

1. 必要である
2. 必要とは思わない
3. わからない

13

介護保険についておたずねします。

問19 あなたは、介護保険制度についてどの程度知っていますか。(知っているものすべてに)

1. 原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める
2. 65歳以上の方(第1号被保険者)の保険料は、市町村ごとに被保険者本人の所得や世帯の課税状況によって決める
3. 介護保険のサービスを利用する場合、まず市に要介護(要支援)認定の申請をする
4. 要介護(要支援)度に応じて、利用できる介護(介護予防)サービスの利用限度額が異なる
5. サービスを利用したときは、原則、かかった費用の1割を利用者が負担する
6. 介護保険は、保険料・利用者1割の負担金のほかに約半分は税金を財源にしている
7. その他(具体的に:)
8. 知っていることはない

【問20と問21は、65歳以上の方がお答えください。】

問20 あなたの平成19年度の介護保険料の段階は次のうちどれですか(1つに)

1. 第1段階
2. 第2段階
3. 第3段階
4. 第4段階
5. 第5段階
6. 第6段階
7. 第7段階
8. わからない

保険料の段階については、松戸市からお送りしている「介護保険料納入通知書(2ページ目)」または、「介護保険料額決定通知書(4ページ目)」の所得段階区分をご覧ください。生活保護を受けている方は、第1段階です。

問21 あなたが納めている介護保険料について、次の3つの方針から、あえて1つ選ぶとしたら、どれを選びますか。(1つに)

1. 介護保険サービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない
2. 変わらない方がよい(現状維持)
3. 介護保険サービスの量や種類を減らしても良いから、保険料を安くしてほしい

14

介護サービスについておたずねします。

問22 あなたは、今後1年間のうちで、以下のサービスを利用したいとお考えですか。(あてはまるものすべてに) (用語の意味については、P7をご覧ください)

1. 介護予防訪問介護(ホームヘルプ)
2. 介護予防訪問入浴介護
3. 介護予防訪問リハビリテーション
4. 介護予防訪問看護
5. 介護予防居宅療養管理指導
6. 介護予防通所介護(デイサービス)
7. 介護予防通所リハビリテーション(デイケア)
8. 介護予防認知症対応型通所介護(認知症デイサービス)
9. 介護予防短期入所生活介護(ショートステイ)
10. 介護予防短期入所療養介護(ショートステイ)
11. 介護予防福祉用具貸与
12. 特定介護予防福祉用具販売
13. 介護予防住宅改修費支給
14. 介護予防小規模多機能型居宅介護
15. 介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
16. 介護予防特定施設入居者生活介護

要支援2のみ

問23 松戸市では、在宅生活を支援するため、介護保険サービス以外に次の福祉サービスを実施しています。あなたの知っているサービスはありますか。(知っているものすべてに)

1. 配食サービス
2. 介護保険外の住宅増改築資金助成
3. 移送サービス
4. 緊急通報装置の貸与
5. 紙おむつの支給
6. 軽度生活援助サービス
7. 徘徊探索サービス
8. その他
9. 特になし

15

配食サービスについておたずねします。

松戸市では、食の確保、食生活の改善及び健康の維持増進などを目的として食事の用意が困難な高齢者世帯・一人暮らし高齢者の方を対象にした配食サービスを実施しています。現在、1食あたり840円の費用を利用者と松戸市で負担して実施しています。

- 問24 あなたは、配食サービスを利用したことがありますか。(1つに)
- 1. 利用している
 - 2. 以前は利用していた
 - 3. 利用していない
- 問24-1へ 問24-2へ 問24-3へ

〔問24で「1」と答えた方にお聞きします。〕

- 問24-1 利用してみての感想はいかがですか。(あてはまるものすべてに)
- 1. 食事の時間が楽しになった
 - 2. 食生活が良くなり、体の調子が良くなった
 - 3. 金銭的な負担が少なくなった
 - 4. 定期的に安否確認してくれるので安心できるようになった
 - 5. 配食回数が少ないと感じた
 - 6. 金銭的な負担が大きくなった
 - 7. 口に合わない
 - 8. 気に入ったメニューがない
 - 9. 食事の内容(バランス)を自分なりに気を使うようになった
 - 10. その他
- (具体的に:)

〔問24で「2」と答えた方にお聞きします。〕

- 問24-2 現在、利用していない理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに)
- 1. 口に合わなかったから
 - 2. 気に入ったメニューがなかったから
 - 3. 自分や家族が調理するようになったから
 - 4. 1食あたり400円の利用率(自己負担)が高いから
 - 5. サービスの対象とならなかったから
 - 6. その他(具体的に:)

〔問24で「3」と答えた方にお聞きします。〕

- 問24-3 現在、利用していない理由はなぜですか。
- 1. サービスを知らなかったから
 - 2. サービスの対象とならなかったから
 - 3. 自分や家族が調理をするから
 - 4. 1食あたり400円の利用率(自己負担)が高いから
 - 5. その他(具体的に:)

配食サービスを実施するために、現在1食あたり440円を市で負担(税金)しています。

- 問25 対象者と利用料(自己負担)について、あなたの考えは次のどれに近いですか。(1つに)
- 1. 市の負担を増やしても、配食サービスを受けることが出来る条件を拡大して実施したほうが良い
 - 2. 市の負担を増やしても、1食あたり400円の利用率(自己負担)を安くした方が良い
 - 3. 特定の条件の人だけが受けられるサービスなので、市の負担を減らし、利用率(自己負担)を高くした方が良い
 - 4. 市の負担や利用料(自己負担)はそのままでも、配食サービスを受けることが出来る条件を見直したほうが良い
 - 5. 特定の条件の人だけが受けられるサービスなので、やめた方が良い
 - 6. 今のままでよい

- 問26 配食サービスの公費負担について、あなたの考えは次のどれに近いですか。(1つに)
- 1. 今のまま、税金でまかなうのが良い
 - 2. 65歳以上の保険料が上がっても、介護保険の保険料でまかなうのが良い
 - 3. わからない

介護に関して、市に期待することをたずねします。

- 問27 あなたが今後、介護に関して市に期待することは何ですか。(3つまでに)
- 1. 介護保険制度についてわかりやすく説明してほしい
 - 2. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい
 - 3. サービス提供事業者を選べるよう情報を提供してほしい
 - 4. 施設の空き状況などの情報を提供してほしい
 - 5. 介護保険サービス以外のサービスを増やしてほしい
 - 6. サービス提供事業者への助言・指導を強化してほしい
 - 7. その他(具体的に:)
 - 8. 特になし

主な介護者(お世話をする側)の状況についておたずねします。

- 問28 あなたの介護を主に行っている方はどなたですか。(1つに)
- 1. 配偶者
 - 2. 娘
 - 3. 息子
 - 4. 息子・娘の配偶者
 - 5. その他の親族
 - 6. ホームヘルパーなど
 - 7. 介護者はいない

↓
これで調査は終了です。
ありがとうございました。

【問29以降は、できるだけ主に介護している方がお答えください】

- 問29 主に介護している方の年齢はいくつですか。(1つに)
- 1. 50歳未満
 - 2. 50~64歳
 - 3. 65~74歳
 - 4. 75~84歳
 - 5. 85歳以上

- 問30 主に介護している方の健康状態はいかがですか。(1つに)
- 1. 健康
 - 2. 持病はあるがおおむね健康
 - 3. 病気がち

- 問31 見守りを含め、介護している時間は、1日のうちのどのくらいですか。(1つに)
- 1. 必要なときに手を貸す程度
 - 2. 2~3時間程度
 - 3. 半日程度
 - 4. ほとんど終日

- 問32 主に介護している方が、介護を行う上で困っていることや悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに)
- 1. 相談できる人がいない
 - 2. 相談する場所がわからない
 - 3. 介護の方法がわからない
 - 4. 早朝・夜間・深夜などの対応が大変である
 - 5. 緊急時の対応が大変である。
 - 6. 心身の負担が大きい
 - 7. 介護を行う側の健康状態が良くない
 - 8. 介護者のリフレッシュのための時間が取れない
 - 9. 家族や近隣の方などの理解が足りない
 - 10. 本人が介護サービスを使いたがらない
 - 11. イライラし、本人に対して怒鳴ってしまうことがある
 - 12. 本人の訴えを無視してしまうことがある
 - 13. 思わず手をあげてしまうことがある
 - 14. 介護に要する費用がかかる
 - 15. その他()
 - 16. 特になし

- 問33 家族が介護を行う上で、市に期待することは何ですか。(3つまでに)
- 1. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所
 - 2. 家族介護の負担の軽減
 - 3. 家族や近隣の方に介護の知識を持ってもらうための講座
 - 4. 介護する家族同士がお互いに知識や悩みを共有できるような場所
 - 5. 介護に関するさまざまな情報の提供
 - 6. 介護保険サービス以外のサービス
 - 7. 介護に要する費用負担の軽減
 - 8. 医療との連携
 - 9. その他(具体的に:)

介護等に関するご意見をご自由にお書きください。

アンケートは以上です。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

〔問4で「1～3」と答えた方にお聞きします。〕

問4-2 日ごろ、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに)

1. 自分で自家用車を運転する	6. 路線バス、電車を利用
2. 家族が運転する自家用車に乗せてもらう	7. 車いすを利用
3. 家族以外が運転する自家用車に乗せてもらう	8. 自転車、バイクを利用
4. タクシーを利用	9. 徒歩
5. 施設の送迎バス等を利用	10. ボランティア等による福祉有償運送
	11. その他

(具体的に:)

〔問4で「1～3」と答えた方にお聞きします。〕

問4-3 今以上に外出したいですか。(1つに)

1. 今以上に外出したい	2. 今のままでよい	} 問5へ
	3. わからない	

〔問4-3で「1」と答えた方にお聞きします。〕

問4-4 今以上に外出するためには、どのような援助があればよいですか。(あてはまるものすべてに)

1. 金銭的負担の軽減	4. 道路等の段差解消(バリアフリー化)
2. 介護者の派遣など介護者の負担軽減	5. その他(具体的に:)
3. リフト付き車両の普及	6. 特になし

問5 あなたは、日ごろ隣近所の方と、どの程度の付き合いをしていますか。(1つに)

1. 親しく付き合っている人(訪問したり、悩み事を相談するなど)がいる
2. 世間話や立ち話程度の人はいる
3. あいさつをする程度の人ならいる
4. 付き合いしている人はほとんどいない

問6 次にあげた項目のうち、不安になったり心配になったりすることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに)

1. 自分の体調や病気について	6. 財産や資産について
2. 家族や家庭について	7. 人とのつきあいについて
3. 現在の生活や家計について	8. その他(具体的に:)
4. 将来の生活や家計について	9. 困っていることはない 問7へお進みください
5. 住まいについて	

〔問6で「1～8」と答えた方にお聞きします。〕

問6-1 その心配事や悩みについて、だれかに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(あてはまるものすべてに)

1. 家族・親族	8. 社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャーが総合的に相談を受ける地域包括支援センター
2. 友人・知人	9. 病院や診療所の医師・相談員等
3. とり近所の人	10. ケアマネジャー
4. 民生委員	11. その他(具体的に:)
5. 市役所・保健福祉センター	12. 相談したりする人はいない
6. 県の窓口	
7. 地域で身近に相談できる在宅介護支援センター	

地域包括支援センターなどに勤務する主任ケアマネジャーは、対応困難な事例を抱える地域のケアマネジャーの支援をする指導的な役割を持つケアマネジャーです。

問7 高齢者が安心して暮らせるための権利擁護等の制度や仕組みを知っていますか。(知っているものすべてに)

1. 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)
(認知症等があり必要なサービスを利用するための判断等に支障や不安がある方が社会福祉協議会との契約で、「福祉サービス利用援助」「財産管理サービス」「財産保全サービス」について支援を受ける事業)
2. 成年後見制度
(判断能力が不十分な方について家庭裁判所に申し立てを行い、財産管理やサービス利用の契約などを本人に代わって行う成年後見人等を選任し、支援を受ける制度)
3. 松戸市高齢者虐待防止ネットワーク
(高齢者虐待の予防と早期発見・早期対応・再発防止を図るために、地域包括支援センターや在宅介護支援センターなどの関係機関が連携して予防のための研修会を開催したり虐待の相談を受け対応する等の活動を行うネットワーク)
4. クーリングオフ制度
(訪問販売や電話勧誘販売などで交わした不用な契約を一定の期間内であれば契約解除ができる制度)
5. 知っているものはない

問8 あなたの日常生活に関わる金銭管理は誰が行っていますか。(1つに)

1. 自分	4. ケアマネジャー	7. 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)の生活支援員
2. 家族	5. ホームヘルパー	8. その他
3. 親戚	6. 後見人・保佐人・補助人	(具体的に:)

今後の生活についておたずねします。

問9 あなたは今後の生活について、どのようにお考えですか(1つに)

1. 自宅で家族中心の介護で暮らしたい
2. 自宅で介護保険サービスを中心とした介護で暮らしたい
3. 住み慣れた地域で、施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらったり、宿泊できるサービスを利用しながら暮らしたい
4. 高齢者向け賃貸住宅に住み替えたい
5. 介護付の有料老人ホームに住み替えたい
6. 認知症対応型グループホーム(認知症の高齢者が共同生活を営む場所)に入居したい
7. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)で暮らしたい
8. 介護老人保健施設や介護療養型医療施設に入所・入院したい
9. その他(具体的に:)
10. わからない

〔問9で「7」「8」と答えた方にお聞きします。〕

問9-1 施設等を希望される(ご自宅での生活を希望しない)最も大きな理由は何ですか。(1つに)

1. 専門的な介護が受けられて、安心して生活できるため
2. 自宅で介護を受けたいが、先々の心配があるため
3. 介護をしている家族の負担が大きいため
4. 介護者がいないため
5. 経済的な理由のため
6. その他(具体的に:)

〔問9で「7」と答えた方にお聞きします。〕

問9-2 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)に入所したいですか。(1つに)

1. 今すぐ入所したい
2. 自宅で生活が困難になったときに入所したい
3. その他(具体的に:)

介護保険サービスの利用についておたずねします。

問10 あなたが利用している介護保険サービスについて、日ごろどのように感じていますか。それぞれの利用状況、また利用していればその感想についてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに)

サービスの種類	サービスの内容	利用していない	利用している				
			満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
ア. 訪問介護	介護や身の回りの世話や生活援助	0	1	2	3	4	5
イ. 訪問入浴介護	巡回入浴車の入浴介護	0	1	2	3	4	5
ウ. 訪問リハビリテーション	訪問によるリハビリテーション	0	1	2	3	4	5
エ. 訪問看護	看護師による療養上の世話や診療の補助	0	1	2	3	4	5
オ. 居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士等による療養上の管理や指導	0	1	2	3	4	5
カ. 通所介護(デイサービス)	通所介護施設での日常生活上の支援	0	1	2	3	4	5
キ. 通所リハビリテーション(デイケア)	老人保健施設や医療機関等での支援やリハビリテーション	0	1	2	3	4	5
ク. 認知症対応型通所介護(認知症デイサービス)	認知症の人を対象とした専門的なケアの提供	0	1	2	3	4	5
ケ. 短期入所生活介護	福祉施設の短期入所での日常生活上の支援や機能訓練	0	1	2	3	4	5
コ. 短期入所療養介護	老人保健施設や医療施設等での短期入所での日常生活上の支援や機能訓練	0	1	2	3	4	5
サ. 福祉用具の貸与	日常生活の自立を助けるための福祉用具の貸与	0	1	2	3	4	5
シ. 特定福祉用具販売	入浴や排泄などに使用する福祉用具の販売	0	1	2	3	4	5
ス. 住宅改修費支給	手すりの取り付けや段差解消などの改修費用の負担	0	1	2	3	4	5
セ. 小規模多機能型居宅介護	通いを中心に、「訪問」や「泊まり」のサービスを組み合わせ、在宅生活の継続	0	1	2	3	4	5
ソ. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	介護を受けながら共同生活する住宅	0	1	2	3	4	5
タ. 特定施設入居者生活介護	有料老人ホーム等に入居している高齢者に、日常生活上の支援や介護を提供	0	1	2	3	4	5

問10-1にお答えください。 つけたサービスについて、問10-2にお答えください。 つけたサービスについて、問10-3にお答えください。

〔問10で、すべてに「0」と答えた方にお聞きします。〕

問10-1 あなたがどのサービスも利用していない理由は何ですか。(1つに)

1. 自分でまだけるから
2. 利用したいサービスがないから
3. 病院に入院しているから
4. 家族等の介護で十分だから
5. 他人に介護されるのが嫌だから
6. 利用料の負担が大きいから
7. 介護保険以外のサービスを利用しているから
8. その他(具体的に)
9. 特にない
10. わからない

問17へお進みください

〔問10で「1」または「2」と答えた方にお聞きします。〕

問10-2 あなたはどのような点に「満足」していますか。利用している介護保険サービスについて、あてはまる番号に をつけてください。(はいくつでも)

サービスの種類	自分でサービス事業者を選べた	希望するサービスが受けられた	サービス担当者の心構えや対応がよい	サービスの内容・技術が良い	在宅生活が続けられる	自分で行えることが増えた	かかりつけ医との連携がとれている	自己負担など経済的に楽になった	家族などの介護負担が減った	その他
ア. 訪問介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
イ. 訪問入浴介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ウ. 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
エ. 訪問看護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
オ. 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
カ. 通所介護(デイサービス)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
キ. 通所リハビリテーション(デイケア)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ク. 認知症対応型通所介護(認知症デイサービス)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ケ. 短期入所生活介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
コ. 短期入所療養介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
サ. 福祉用具の貸与	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
シ. 特定福祉用具販売	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ス. 住宅改修費支給	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
セ. 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ソ. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
タ. 特定施設入居者生活介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問11へお進みください

〔問10で「4」または「5」と答えた方にお聞きします。〕

問10-3 あなたはどのような点が「不満足」でしたか。利用している介護保険サービスについて、あてはまる番号に をつけてください。(はいくつでも)

サービスの種類	選べるサービス事業者が少ない	希望する回数のサービスが利用できなかった	希望する回数にサービスが利用できなかった	担当者の心構えや対応が悪い	サービスのレベルが低い	事業者の説明が不十分	事業者が希望を聞いてくれなかった	約束どおりサービスを受けられなかった	担当者が連絡がなかった	自己負担が重い	その他
ア. 訪問介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
イ. 訪問入浴介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ウ. 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
エ. 訪問看護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
オ. 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
カ. 通所介護(デイサービス)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
キ. 通所リハビリテーション(デイケア)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ク. 認知症対応型通所介護(認知症デイサービス)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ケ. 短期入所生活介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
コ. 短期入所療養介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
サ. 福祉用具の貸与	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
シ. 特定福祉用具販売	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ス. 住宅改修費支給	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
セ. 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ソ. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
タ. 特定施設入居者生活介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

問11へお進みください

問11 介護保険のサービスを利用するにあたって支払う利用者負担分(1割負担)についてどのように感じていますか。(1つに)

1. 高いと思う
2. 少し高いと思う
3. 適当な額だと思う
4. まあまあ安いと思う
5. 安いと思う

問12 介護保険サービスの利用額について、制度上利用できる上限(区分支給限度額)いっぱいまで利用しましたか。(1つに)

1. 上限まで利用した
2. 上限まで利用していない
3. わからない

〔問12で「2」と答えた方にお聞きします。〕

問12-1 上限まで利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)

1. 現在のサービスに満足しているから
2. ケアマネジャーが決めたから
3. 自己負担が大変だから
4. 家族にみてもらっているから
5. 利用したいサービスがなかったから
6. サービス提供事業者が見つからなかったから
7. 利用したいサービス提供事業者・施設が混んでいたから
8. なるべく自分でするようにしているから
9. その他(具体的に:)

ケアプランについておたずねします。

問13 ケアマネジャーが作成した介護保険サービスの内容(ケアプラン)について、あなたは、現在のケアプランに満足していますか。(1つに)

1. 満足している
2. やや満足している
3. ふつう
4. やや不満である
5. 不満である

〔問13で「4」「5」と答えた方にお聞きします。〕

- 問13-1 ご不満の内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに)
1. サービスの種類が希望より少ない
 2. サービスの種類が希望より多すぎる
 3. サービスの回数が希望より少ない
 4. サービスの回数が希望より多すぎる
 5. サービスの種類が希望したものではない
 6. 希望のサービス事業者が利用できていない
 7. サービスの時間帯が希望とおりでない
 8. その他(具体的に:)

ケアマネジャーについておたずねします。

問14 ケアプランを作成するケアマネジャーは、どのような理由で選びましたか。(あてはまるものすべてに)

1. 市から提供された介護保険サービスガイドなどを見て
2. 地域包括支援センターや在宅介護支援センターから情報を得て
3. 認定調査に来た調査員から情報を得て
4. 友人、知人などに紹介されたから
5. 複数の事業所に問い合わせ、話を聞いてから決めた
6. その他(具体的に:)

問15 あなたは、現在のケアマネジャーに満足していますか。(1つに)

1. 満足している
2. やや満足している
3. ふつう
4. やや不満である
5. 不満である

〔問15で「4」「5」と答えた方にお聞きします。〕

問15-1 ご不満の内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに)

1. 訪問してくれない
2. サービスの内容や利用料金などを教えてくれない
3. 言葉遣いなどの態度
4. 相談にのってくれない
5. 自分の要望を聞いてくれない
6. 困っていることが解消されない
7. なかなか連絡がとれない
8. 特定の事業者しか紹介しない
9. その他(具体的に:)

12

サービス事業者についておたずねします。

問16 サービス事業者はどのような理由で選びましたか。(あてはまるものすべてに)

1. ケアマネジャーの推薦で
2. 受けたい介護サービスを提供している事業者だから
3. 地域包括支援センターや在宅介護支援センターから情報を得て
4. 利用者間の評判、知人の紹介で
5. 事業所の所在地で
6. 事業者の知名度で
7. 市から提供された介護保険サービスガイドなどを見て
8. 複数の事業所に問い合わせ、話を聞いてから決めた
9. その他(具体的に:)

災害など緊急事態の対応についておたずねします。

問17 災害などの緊急事態が発生した場合、ひとりで避難場所まで避難できると思いますか。(1つに)

1. ひとりで避難できると思う
2. ひとりでは避難できないと思う
3. わからない

問18へお進みください

問18へお進みください

〔問17で「2」と答えた方にお聞きします。〕

問17-1 一緒に避難場所まで避難してくれる人がいますか。(1つに)

1. 同居の家族
2. 別居の親族
3. 隣近所の人
4. 友人・知人
5. 民生委員
6. 町内会の役員
7. その他(具体的に:)
8. 一緒に避難してくれる人がいない

問18 災害時の避難などに手助けが必要な人の情報を地域で共有することについてどう思いますか。(1つに)

1. 必要である
2. 必要とは思わない
3. わからない

13

介護保険についておたずねします。

問19 あなたは、介護保険制度についてどの程度知っていますか。(あてはまるものすべてに)

1. 原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める
2. 65歳以上の方(第1号被保険者)の保険料は、市町村ごとに被保険者本人の所得や世帯の課税状況によって決める
3. 介護保険のサービスを利用する場合、まず市に要介護(要支援)認定の申請をする
4. 要介護(要支援)度に応じて、利用できる介護(介護予防)サービスの利用限度額が異なる
5. サービスを利用したときは、原則、かかった費用の1割を利用者が負担する
6. 介護保険は、保険料・利用者の1割の負担金のほかに約半分は税金を財源としている
7. その他(具体的に:)
8. 知っていることはない

【問20と問21は、65歳以上の方がお答えください。】

問20 あなたの平成19年度の介護保険料の段階は次のうちどれですか(1つに)

1. 第1段階
2. 第2段階
3. 第3段階
4. 第4段階
5. 第5段階
6. 第6段階
7. 第7段階
8. わからない

保険料の段階については、松戸市からお送りしている「介護保険料納入通知書(2ページ目)」または、「介護保険料額決定通知書(4ページ目)」の所得段階区分をご覧ください。生活保護を受けている方は、第1段階です。

問21 あなたが納めている介護保険料について、次の3つの方針から、あえて1つ選ぶとしたら、どれを選びますか。(1つに)

1. 介護保険のサービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない
2. 変わらない方がよい(現状維持)
3. 介護保険のサービスの量や種類を減らしても良いから、保険料を安くしてほしい

14

介護サービスについておたずねします。

問22 あなたは、今後1年間のうちで、以下のサービスを利用したいとお考えですか。(あてはまるものすべてに) (用語の意味については、P7をご覧ください)

1. 訪問介護(ホームヘルプ)
2. 夜間対応型訪問介護
3. 訪問入浴介護
4. 訪問リハビリテーション
5. 訪問看護
6. 居宅療養管理指導
7. 通所介護(デイサービス)
8. 通所リハビリテーション(デイケア)
9. 認知症対応型通所介護(認知症デイサービス)
10. 短期入所生活介護(ショートステイ)
11. 短期入所療養介護(ショートステイ)
12. 福祉用具貸与
13. 特定福祉用具販売
14. 住宅改修費支給
15. 小規模多機能型居宅介護
16. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
17. 特定施設入居者生活介護

夜間を含め、24時間対応してくれる訪問介護サービス

問23 松戸市では、在宅生活を支援するため、介護保険サービス以外に次の福祉サービスを実施しています。あなたの知っているサービスはありますか。(あてはまるものすべてに)

1. 配食サービス
2. 介護保険外の住宅増改築資金助成
3. 移送サービス
4. 緊急通報装置の貸与
5. 紙おむつの支給
6. 軽度生活援助サービス
7. 徘徊探索サービス
8. その他(具体的に:)
9. 特になし

15

配食サービスについておたずねします。

松戸市では、食の確保、食生活の改善及び健康の維持増進などを目的として、食事の用意が困難な高齢者世帯・一人暮らし高齢者の方を対象にした配食サービスを実施しています。現在1食あたり840円の費用を利用者と松戸市で負担して実施しています。

問24 あなたは、配食サービスを利用したことがありますか。(1つに)
 1. 利用している 2. 以前は利用していた 3. 利用していない

問24-1へ 問24-2へ 問24-3へ

〔問24で「1」と答えた方にお聞きします〕

問24-1 利用してみての感想はいかがですか。(あてはまるものすべてに)

- 1. 食事の時間が楽しみになった
- 2. 食生活が良くなり、体の調子が良くなった
- 3. 金銭的な負担が少なくなった
- 4. 定期的に安否確認してくれるので安心できるようになった
- 5. 配食回数が少ないと感じた
- 6. 金銭的な負担が大きくなった
- 7. 口に合わない
- 8. 気に入ったメニューがない
- 9. 食事の内容(バランス)を自分なりに気を使うようになった
- 10. その他

〔問24で「2」と答えた方にお聞きします。〕

問24-2 現在、利用していない理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに)

- 1. 口に合わなかったから
- 2. 気に入ったメニューがなかったから
- 3. 自分や家族が調理するようになったから
- 4. 1食あたり400円の利用料(自己負担)が高いから
- 5. サービスの対象とならなかったから
- 6. その他(具体的に:)

〔問24で「3」と答えた方にお聞きします。〕

問24-3 現在、利用していない理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに)

- 1. サービスを知らなかったから
- 2. サービスの対象とならなかったから
- 3. 自分や家族が調理をするから
- 4. 1食あたり400円の利用料(自己負担)が高いから
- 5. その他(具体的に:)

配食サービスを実施するために、現在1食あたり440円を市で負担(税金)しています。

問25 対象者と利用料(自己負担)について、あなたの考えは次のどれに近いですか。(1つに)

- 1. 市の負担を増やしても、配食サービスを受けることが出来る条件を拡大して実施したほうが良い
- 2. 市の負担を増やしても、1食あたり400円の利用料(自己負担)を安くした方が良い
- 3. 特定の条件の人だけが受けられるサービスなので、市の負担を減らし、利用料(自己負担)を高くした方が良い
- 4. 市の負担や利用料(自己負担)はそのままで、配食サービスを受けることが出来る条件を見直したほうが良い
- 5. 特定の条件の人だけが受けられるサービスなので、やめた方が良い
- 6. 今のままでよい

問26 配食サービスの公費負担について、あなたの考えは次のどれに近いですか。(1つに)

- 1. 今のまま、税金でまかなうのが良い
- 2. 65歳以上の保険料が上がっても、介護保険の保険料でまかなうのが良い
- 3. わからない

介護に関して、市に期待することをおたずねします。

問27 あなたが今後、介護に関して市に期待することは何ですか。(3つまでに)

- 1. 介護保険制度についてわかりやすく説明してほしい
- 2. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい
- 3. サービス提供事業者を選ぶよう情報を提供してほしい
- 4. 施設の空き状況などの情報を提供してほしい
- 5. 介護保険サービス以外のサービスを増やしてほしい
- 6. サービス提供事業者への助言・指導を強化してほしい
- 7. その他(具体的に:)
- 8. 特になし

主な介護者(お世話をする側)の状況についておたずねします。

問28 あなたの介護を主に行っている方はどなたですか。(1つに)

- 1. 配偶者
- 2. 娘
- 3. 息子
- 4. 息子・娘の配偶者
- 5. その他の親族
- 6. ホームヘルパーなど
- 7. 介護者はいない

これで調査は終了です。
 ありがとうございました。

【問29以降は、できるだけ主に介護している方がお答えください】

問29 主に介護している方の年齢はおいくつですか。(1つに)

- 1. 50歳未満
- 2. 50~64歳
- 3. 65~74歳
- 4. 75~84歳
- 5. 85歳以上

問30 主に介護している方の健康状態はいかがですか。(1つに)

- 1. 健康
- 2. 持病はあるがおおむね健康
- 3. 病気がち

問31 見守りを含め、介護している時間は、1日のうちのどのくらいですか。(1つに)

- 1. 必要ときに手を貸す程度
- 2. 2~3時間程度
- 3. 半日程度
- 4. ほとんど終日

問32 主に介護している方が、介護を行う上で、困っていることや悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに)

- 1. 相談できる人がいない
- 2. 相談する場所がわからない
- 3. 介護の方法がわからない
- 4. 早朝・夜間・深夜などの対応が大変である
- 5. 緊急時の対応が大変である。
- 6. 心身の負担が大きい
- 7. 介護を行う側の健康状態が良くない
- 8. 介護者のリフレッシュのための時間が取れない
- 9. 家族や近隣の方などの理解が足りない
- 10. 本人が介護サービスを使いたがらない
- 11. イライラし、本人に対して怒鳴ってしまうことがある
- 12. 本人の訴えを無視してしまうことがある
- 13. 思わず手をあげてしまうことがある
- 14. 介護に要する費用がかかる
- 15. その他(具体的に:)
- 16. 特になし

問33 家族が介護を行う上で、市に期待することは何ですか。(3つまでに)

- 1. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所
- 2. 家族介護の負担の軽減
- 3. 家族や近隣の方に介護の知識を持ってもらうための講座
- 4. 介護する家族同士がお互いに知識や悩みを共有できるような場所
- 5. 介護に関するさまざまな情報の提供
- 6. 介護保険サービス以外のサービスの提供
- 7. 介護に要する費用負担の軽減
- 8. 医療との連携
- 9. その他(具体的に:)

介護等に関するご意見をご自由にお書きください。

アンケートは以上です。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

介護保険施設サービス利用者調査

調査ご協力をお願い

市民の皆様におかれましては、日頃より市政へのご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、松戸市では、平成20年度に「松戸市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(いきいき安心プラン)」の見直しを予定しており、現在この作業を進めています。

そこで、その見直しに関しまして、皆様からの率直なご意見をいただきたいと考え、平成19年12月現在、介護保険関連施設に入所(入院)されている方から200名の方を無作為に選び、「介護保険施設サービス利用者調査」を実施することにいたしました。

調査は無記名で行い、皆様から頂いた結果は統計的に処理し、高齢者の福祉や介護サービスの充実のための基礎資料として活用してまいりますので、皆様にご迷惑をおかけすることはございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨を充分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成20年3月

松戸市長 川井 敏久

ご記入にあたってのお願い
(調査票・返信用封筒には氏名を記入しないでください)

- 質問へのお答えは、平成20年2月1日現在の状況についてお答えください。
- 宛名のご本人がお答えください。ご本人がお答えになれない場合には、ご家族の方などがご本人の意を汲んでご記入いただいてもかまいません。
- お答えは、あなた(宛名のご本人)のお考えに最も近いと思われる回答の番号を囲んでください。

ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、

3月28日(金)までに 郵便ポストに投函してください。(切手は不要です)

この調査に関してのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

松戸市役所 介護支援課

TEL:047-366-7370(直通) FAX:047-363-4008(直通)

E-MAIL:mckaigo@city.matsudo.chiba.jp

あなた(あて名のご本人)のことをおたずねします。

ここでいう「あなた」とは、調査票をお送りしている方のことです。
お間違のないようお答えください。

- F1 この調査に回答される方を教えてください。(1つに)
- 本人(封筒の宛名の方)
 - 家族・親族
 - その他
 - 具体的に: ()
- F2 あなたの性別は。(1つに)
- 男性
 - 女性
- F3 あなたの年齢は。(1つに)
- 40~64歳
 - 65~69歳
 - 70~74歳
 - 75~79歳
 - 80~84歳
 - 85歳以上
- F4 あなたの要介護状態区分は。(1つに)
- 要介護1
 - 要介護2
 - 要介護3
 - 要介護4
 - 要介護5

1

介護保険サービスの利用についておたずねします。

- 問1 12月現在で、あなたが入所していた施設はどれですか。(1つに)
- 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
 - 介護老人保健施設(老人保健施設)
 - 介護療養型医療施設(療養型医療施設)
- 問2 施設に入所したことにより、あなたの生活に具体的にどのような変化がありましたか。(あてはまるものすべてに)
- 自分で身の回りのことができるようになった
 - 意欲が出てきた
 - 体調がよくなった
 - 精神的ストレスが減った
 - 家族に対する気兼ねが減った
 - 外出する機会が増えた
 - 自分で身の回りのことをしなくなった
 - 意欲がなくなった
 - 体調が悪くなった
 - 精神的ストレスが増えた
 - 家族に対する気兼ねが増えた
 - 外出する機会が減った
 - その他の変化(具体的に: ())
 - 特に変化はない
- 問3 施設での生活を選んだ主な理由は何ですか。(1つに)
- ひとり暮らしで介護者がいなかったから
 - 介護している人の負担が大きかったから
 - 自宅の居住環境では介護を続けていくことが難しかったから
 - 専門的なケア(医療ケア、認知症ケア等)が必要だったから
 - その他(具体的に: ())
 - わからない

「ケア」には、配慮、世話、保護または介護等の意味があります。

2

- 問4 主に施設でどのように過ごしていますか。(1つに)
- 外出することが多い
 - リハビリ体操を行っている
 - 趣味の活動を行っている
 - ロビーで仲間と過ごしている
 - ベッドで過ごしている
 - その他(具体的に: ())
 - わからない
- 問5 施設での楽しみは何ですか。(あてはまるものすべてに)
- 食事
 - 入浴
 - 趣味
 - リハビリテーション
 - 仲間との会話・レクリエーション
 - 職員との散歩
 - 家族や友人の訪問
 - 地域の人たちとの交流
 - テレビ・読書・パソコン
 - その他(具体的に: ())
 - 特になし
- 問6 地域活動に参加する機会がありますか。(1つに)
- ある
 - ない

問7 施設での生活についてどのように感じますか。ア~オについて満足度をお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに)

	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
ア. 要望を聞いてくれる	1	2	3	4	5
イ. 費用の負担	1	2	3	4	5
ウ. 職員の対応、態度	1	2	3	4	5
エ. 介護のサービス	1	2	3	4	5
オ. 施設・設備	1	2	3	4	5

3

日常生活状況等についておたずねします。

問8 あなたは心配事や悩み事ができた場合、だれに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(あてはまるものすべてに)

- 1. 家族・親族
- 2. 友人・知人
- 3. 隣人
- 4. 施設の相談員
- 5. 施設の介護職員
- 6. 介護相談員
- 7. その他 (具体的に:)
- 8. 相談したりする人はいない

問9 あなたは下記のような高齢者が安心して暮らせる権利擁護制度やしくみを知っていますか。(あてはまるものすべてに)

- 1. 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)
(認知症等があり必要なサービスを利用するための判断等に支障や不安がある方が社会福祉協議会との契約で、「福祉サービス利用援助」「財産管理サービス」「財産保全サービス」について支援を受ける事業)
- 2. 成年後見制度
(判断能力が不十分な方について家庭裁判所に申し立てを行い、財産管理やサービス利用の契約などを本人に代わって行う成年後見人等を選任し、支援を受ける制度)
- 3. 松戸市高齢者虐待防止ネットワーク
(高齢者虐待の予防と早期発見・早期対応・再発防止を図るために、地域包括支援センターや在宅介護支援センターなどの関係機関が連携して予防のための研修会を開催したり虐待の相談を受け対応する等の活動を行うネットワーク)
- 4. クーリングオフ制度
(訪問販売や電話勧誘販売などで交わした不用な契約を一定の期間内であれば契約解除ができる制度)
- 5. 介護相談員制度
(相談員が介護施設等を訪問し、利用者の話をきき、日々の生活の中での不安や不満、疑問などにきめ細かく対応し、利用者の権利保護の手助けをする制度)
- 6. 知っているものはない

問10 あなたの日常生活に関わる金銭管理は誰が行っていますか。(1つに)

- 1. 自分
- 2. 家族
- 3. 親戚
- 4. 施設の人
- 5. 施設のケアマネジャー
- 6. 成年後見人・保佐人・補助人
- 7. 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)の生活支援員
- 8. その他(具体的に:)

問11 平成17年10月から、居住費・食費が給付対象外になるという制度変更が行われました。この変更は、あなたの生活にどのような影響を与えましたか。(1つに)

- 1. あまり大きな影響は受けていない
- 2. 支払いが苦しくなったが、何とか対応できる範囲内に収まっている
- 3. 費用を支払うことが困難となり、施設を出ることを検討せざるを得ない状態になっている
- 4. その他(具体的に:)
- 5. 考えたことがなく、よくわからない

今後の生活についておたずねします。

問12 あなたは今後の生活についてどのようにお考えですか。(1つに)

- 1. このまま施設で暮らしたい
- 2. 自宅に戻りたい
- 3. わからない

(問12で「2」と答えた方にお聞きします。)

問12-1 帰宅にあたり、問題になることがあるとしたら何ですか。(あてはまるものすべてに)

- 1. 家が狭い
- 2. 自分で使える部屋がない
- 3. 段差が多いなど過ごしにくい
- 4. 介護してくれる家族がいない
- 5. 一緒に過ごす仲間がなくなる
- 6. 介護用の設備や用具がない
- 7. 介護費用の負担が大きい
- 8. 家族が介護するには心身の負担が大きすぎる
- 9. その他(具体的に:)
- 10. 帰宅できる家がない

介護等について御自由に御意見をお書きください。

アンケートはこれで終了です、長い時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

「松戸市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
(いきいき安心プラン)」見直しのための
市民アンケート調査報告書

平成 20 年 3 月発行

発行 松戸市健康福祉本部
〒271-8588 千葉県松戸市根本 387- 5
電話 047-366-1111 (代表)

調査実施機関 (株) アイアールエス
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5 - 16 - 11
朝日生命代々木ビル
電話 03-3357-7181 (代表)

